

取扱説明書

NTTFAX T-240CL



第1章

ご使用の前に

第2章

基本的な
使いかた

第3章

便利な
使いかた

第4章

各種登録・
設定のしかた

第5章

こんなときには

このたびは、NTTFAX T-240CLをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
お読みになったあとも、本機のそばなどいつも手元においてお使いください。

はじめに

このたびはNTT FAX T-240CLをお買い求めいただきましてまことにありがとうございます。
この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本機を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

安全にお使いいただくために必ずお守りください

-  **危険** : この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
-  **警告** : この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
-  **注意** : この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
-  **お願い** : この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本機の性能を発揮できなかつたり、機能停止をまねく内容を示しています。
-  **ワンポイント** : この表示は、本機を取り扱う上で知っておくと便利な内容を示しております。

本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、NTT窓口等へお申しつけください。

操作ガイドを使用の際は、必ず取扱説明書をよく読み理解した上でお使いください。

本機の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、受信文書の全部または一部が消失したり、通話や録音などの機会を逸したために生じた損害等の纯粹経済損害につきましては、当社は一切その責任をおいかねますので、あらかじめご了承ください。

本機の設置および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は、違法となりまた事故のもととなりますので絶対おやめください。

安全にお使いいただくために

⚠ 危険

火災、感電、やけど、けがを避けるために

コードレス電話機使用時の注意

充電は、コードレス電話機専用の充電器を使用してください。その他の充電条件で充電すると、電池パックを漏液、発熱、破裂させる原因となることがあります。

電池パックは、赤(プラス)・黒(マイナス)の向きが決められています。コードレス電話機に接続するときは、赤・黒の向きを確かめて正しく差し込んでください。電池パックを漏液、発熱、破裂させる原因となることがあります。

電池パックを単体では充電しないでください。電池パックを漏液、発熱、破裂させる原因となります。専用の電池パックを使用してください。また、専用の電池パックは他の機器には使用しないでください。電池パックを漏液、発熱、破裂させる原因となります。

電池パックを使用する場合は、次のことを必ず守ってください。電池パックを漏液、発熱、破裂させる原因となります。

- ・火の中に投入したり、加熱しない。
- ・直接はんだ付けしない。
- ・赤(プラス)・黒(マイナス)を針金などの金属類で接触しない。

電池パックを分解・改造しないでください。電池パックの発熱、破裂の原因となることがあります。

電池パック内部の液が眼に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。

⚠ 警告

対処のしかたについて

発煙への対処

万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに電源プラグをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認して当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

破損時の対処

万一、本機を落としたり、キャビネットを破損した場合、電源プラグをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

水が装置内部に入った場合の対処

万一、内部に水などが入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

異物が装置内部に入った場合の対処

本機の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

⚠ 警告

火災・感電を避けるために

改造・分解の禁止

本機を分解したり、改造したりしないでください。火災・感電および故障の原因となることがあります。指定以外の内部の点検・調整・清掃・修理は、当社のサービス取扱所にご依頼ください。

装置上に水、薬品を置かない旨の注意

本機の上に花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

湿度の高い場所への設置禁止

ふる場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

アース線の取り付け

万一、漏電した場合の感電事故防止のため、必ずアース線を取り付けてください。

商用電源以外の禁止

AC 100 Vの商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災や故障の原因となることがあります。

電源コードの取扱注意

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物を載せたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

濡れた手での操作禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

プラグの取扱注意

電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

タコ足配線の禁止

テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となることがあります。

電源仕様の注意

本機は国内電源仕様になっていますので、海外ではご使用になれません。

コードレス電話機について

医療電気機器等への電波の影響

コードレスシステムは、航空機内や病院内などの使用を禁止された区域には、持ち込まないでください。電子機器や医用機器に影響を与え、事故の原因になります。

分解や改造の禁止

コードレス電話機は、郵政省の技術基準に適合したものです。内部を改造したり、外部にアンテナを取り付けて電波を強くすることなどは、感電や故障の原因となるだけでなく、法律で禁じられています。

充電器の内部には、高電圧がかかっているので、分解しないでください。感電の原因となることがあります。

水や薬品をかけることの禁止

コードレス電話機には、水や薬品をかけないでください。火災・感電の原因となることがあります。

コードレス電話機を圧迫することの禁止

ねじったり、重いものを載せたり、(ポケットに入れたままイスなどに)強く押しついたりして、圧迫しないでください。本機が破損し、火災、けが、やけどの原因となることがあります。

⚠ 注意

火災・感電を避けるために

雷のときの注意

近くに雷が発生したときは、電源プラグをコンセントから、電話機コードを回線端子から抜いてご使用をお控えください。雷によっては、火災・感電の原因となることがあります。

⚠ 注意

火気のそばへの設置禁止

本機や電源コードを熱器具に近づけないでください。キャビネットや電源コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

長期不在時の注意

長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

温度の高い場所への設置禁止

直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒータなどの発熱器具のそばなど、温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

油飛びや湯気の当たる場所への設置禁止

調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

プラグコンセントにたまったほこりが起因となる火災の防止

電源プラグの刃および刃の取付面にほこりが付着している場合はよく拭いてください。火災の原因となります。

けがを避けるために

高温部等への接触禁止

記録紙交換などでカバーを開けるときは接触禁止、高温注意マークのラベルが貼ってある部分には、触らないように注意してください。

不安定な場所への設置禁止

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。また、本機の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

物的損害を避けるために

高温での変色に注意

漆、カーペット等、高温で変色する可能性のある材質の上には置かないでください。変色の原因となることがあります。

底面部をふさぐような場所への設置禁止

本機の底面部は温度が上昇しますので、カーペットやソファーなどの上に置かないでください。焦げたり、火災の原因となることがあります。

本機底面にはゴム製の滑り止めを使用していますので、ゴムとの接触面が、まれに変色するおそれがあります。

コードレス電話機について

ほこりの多い場所、振動の激しい場所への設置禁止

コードレス電話機は、ほこりの多い場所や振動の激しい場所に置かないでください。

充電器の取扱注意

充電器の充電部分に金属製のピンや指輪などを置かないでください。発熱し、やけどの原因となることがあります。

この取扱説明書は、本機の利用のしかたを説明したものです。

この取扱説明書をお手元におき、常に本機を最良の状態でご使用いただくための手引書としてご利用ください。本書を紛失または損傷したときはNTT窓口等でお求めください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づく第二種情報技術装置です。

この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本機は、お買い求めいただいたときには、国内の相手と通信することを前提とした設定になっています。

海外との通信を主に行われる方は、重要な通信を行う前に相手の方と正常に通信できるか確認をしてください。正常に通信できないときは、本機の設定を変更することにより、通信できるようになる場合もありますので、当社のサービス取扱所にご相談ください。

NTTFAX T-240CLの特長

詳しくは本文を参照してください。

コードレス電話機

ファクシミリから離れたところで外線通話やファクシミリの操作ができます。⇒(P.47、48、55)
本体とコードレス電話機の間では内線通話をすることができます。⇒(P.66) コードレス電話機は、あと3台増設して最大4台で利用でき、本体からコードレス電話機を指定して内線通話をしたり、コードレス電話機どうして外線通話を転送したりすることができます。⇒(P.71)



ハンドスキャナ

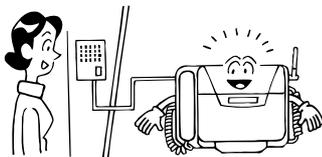
本や厚い原稿でも、コピーをとったりファクシミリで送ったりすることができます。⇒(P.92)



ドアホン通話

専用のドアホンと接続することにより、ドアホンと通話したり、ドアホンをモニタしたりすることができます。⇒(P.104)

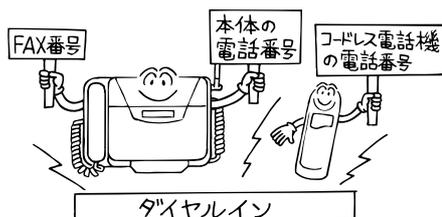
また、専用のカメラドアホンを接続することにより、カメラドアホンからのビデオ画像を取り込み、プリントすることもできます。



ダイヤルインサービス対応

1本の電話回線でファクシミリ用と電話用(本体とコードレス電話機)の電話番号を使い分けられる、ダイヤルインサービスをご利用いただけます。⇒(P.118)

(ダイヤルインサービスのご契約が必要です。)



留守番電話

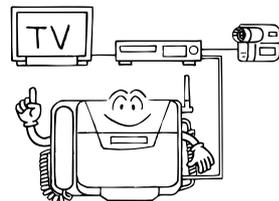
留守中にかかってきた電話の相手のメッセージを録音します。⇒(P.72)

留守中に録音された用件は、外出先の電話機で聞くことができます。また、ファクシミリもリモート操作で取り出すことができます。⇒(P.84)



ビデオキャプチャ

ビデオデッキやビデオカメラからの映像をプリントしたりファクシミリで送ったりすることができます。(白黒記録画) ⇒(P.99)



ハンズフリー通話

受話器またはコードレス電話機を持たずに話することができます。⇒(P.59、61)



高速14.4 kbit/s通信

A4サイズ700字程度の原稿を約6秒(ECM・メモリ送信時)で送信することができます。⇒巻末



目次

第1章 ご使用の前に

使用上のご注意	1
装置について	1
記録紙について	3
コードレス電話機について	4
商品の構成	7
機器の設置にあたって	8
このようなところには置かないで	8
電源について	10
機器の接続のしかた	11
受話器の取り付け	11
電話回線の接続	12
電源の接続	12
記録紙スタッカの取り付け	13
記録紙のセット	13
回線種別の設定	15
コードレス電話機の充電	16
充電機を壁にかけて使うとき	18
最初に必要な登録 (日付/時刻、電話番号、名前(発信元登録))	19
各部の名称とはたらき	20
外観図(前面)	20
外観図(背面)	20
操作パネル	21
日頃のお手入れ	23
本機の清掃	23
ハンドスキャナ (原稿読み取り部とローラ)の清掃	23
ローラの清掃	24
保守サービスのご案内	26

第2章 基本的な使いかた

原稿について	27
送信の準備	29
写真や小さい文字の原稿を送る	29
色のついた原稿や薄い文字の原稿を送る	31
原稿セットのしかた	32
送信のしかた	34
ファクシミリを送る(自動送信)	34
話をしてから送る(手動送信)	36
原稿をメモリに読み込んでから送る (メモリ送信)	38
ワンタッチダイヤルでファクシミリを送る	40

電子電話帳(短縮ダイヤル)で ファクシミリを送る	41
受信のしかた	43
受信モードについて	43
電話を優先した使いかた(手動受信モード)	44
ファクシミリ/電話自動切替のしくみ	45
呼び出し回数について	46
電話を受ける (呼出ベルの音量の調節)	47
話をしてからファクシミリを受ける	48
ファクシミリを受ける(親切受信)	49
コピーのしかた	51
電話のかけかた	52
本体で電話をかける (相手の声が聞き取りにくいときは (受話音量の調節))	52
ワンタッチダイヤルで電話をかける	53
電子電話帳(短縮ダイヤル)で電話をかける	54
コードレス電話機で電話をかける (相手の声が聞き取りにくいときは (受話音量の調節))	55
コードレス電話機の短縮ダイヤル	56
コードレス電話機の短縮ダイヤルで 電話をかける	56
コードレス電話機の短縮ダイヤルの登録	57
コードレス電話機から 本体の短縮ダイヤルを使ってかける	57
同じ相手にもう一度かける	58
本体の受話器を持たずに話をする (ハンズフリー通話)	59
(相手の声が聞き取りにくいときは (モニタ音量の調節))	60
コードレス電話機を持たずに話をする (ハンズフリー通話)	61
(相手の声が聞き取りにくいときは (モニタ音量の調節))	62
保留する	63
キャッチホンの利用	64
ダイヤル回線でプッシュ信号を出す	65
本体とコードレス電話機で話をする (内線電話)	66
本体からコードレス電話機にかける (ボイスコールの設定をしているとき)	67
コードレス電話機から本体にかける (ボイスコールの設定をしているとき)	68
内線電話の途中で電話がかかってきたとき	69

外線電話を他の電話機に転送する (外線転送).....70	
本体からコードレス電話機に転送する.....70	
コードレス電話機から本体に転送する.....71	
コードレス電話機からコードレス電話機 に転送する.....71	

第3章 便利な使いかた

留守番電話を使う.....72	
留守番電話のセット.....72	
留守番電話の応答メッセージを録音する.....75	
用件の再生.....77	
用件の消去.....78	
用件の再生順序の設定.....79	
コードレス電話機で留守番電話を操作する...80	
通話中の会話を録音する(通話録音)...82	
外出先の電話機や ファクシミリから操作する.....84	
外出先から留守番電話の用件を聞く (リモート操作).....84	
外出先のファクシミリで受信文書を取り出す (リモート取り出し).....85	
リモート操作コード表.....87	
トールセイバの設定.....88	
電話やファクシミリを 外出先に転送する (用件転送 / 受信文書転送).....89	
おやすみモードを利用する.....91	
ハンズキャナを使う.....92	
ハンズキャナを外す、戻す.....92	
ハンズキャナで原稿を読み取るときの注意...93	
ハンズキャナでコピーする.....95	
ハンズキャナで送信する.....96	
ハンズキャナの設定(拡大・縮小コピー)....98	
ビデオキャプチャを使う.....99	
ビデオキャプチャを使うための準備.....99	
ビデオキャプチャで送信(プリント)する...102	
ドアホンとの接続(ドアホン通話)...104	
ドアホンと通話する.....105	
ドアホンをモニタする.....106	
カメラドアホンの画像をプリントする.....106	
コードレス電話機の活用.....108	
ベルを優先して鳴らす(優先着信).....108	

いろいろなファクシミリ 情報サービスの利用.....109	
[F A X 情報] ボタンの使いかた.....109	
ワンタッチボタンでファクシミリ 情報を取り出すとき...112	
F ネットとは.....116	
ダイヤルインを利用する.....118	
個別呼び出しをする.....118	
共通鳴動をする.....119	
代理応答をする.....119	

第4章 各種登録・設定のしかた

登録モード.....120	
受信設定.....124	
設定モード.....124	
リストプリント.....128	
文字の入れかた.....130	

第5章 こんなときには

記録紙を交換するとき.....132	
紙づまりのとき.....136	
原稿が詰まったとき.....136	
記録紙が詰まったとき.....138	
コードレス電話機の電池を交換するとき...140	
停電がおきたときは.....142	
故障かなと思ったら.....143	
メモリランプが点灯したとき.....147	
主なエラー番号.....148	
消耗品・別売品の購入について.....149	
コードレス電話機の増設.....149	
登録・設定の一覧.....150	
機能選択早見表.....152	

索引.....153	
付録	
操作ガイド	
コードレス電話機の使い方	
リモート操作カード	
主な仕様.....巻末	

使用上のご注意

いつも快適な状態で本機をお使いいただくために、以下の点にご注意ください。

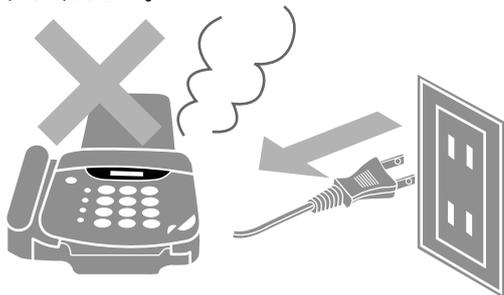
装置について

こんなときは

⚠ 警告

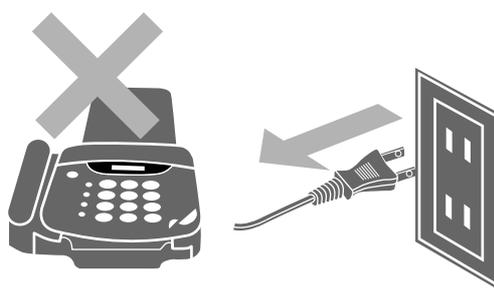
発煙への対処

万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに電源プラグをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認して当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。



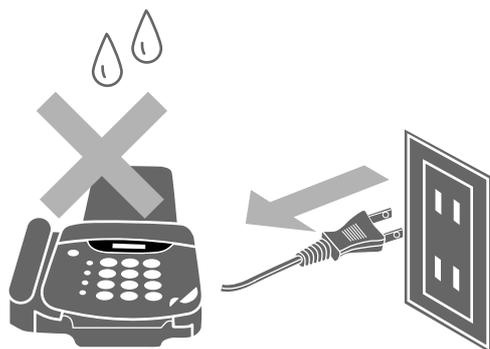
破損時の対処

万一、本機を落としたり、キャビネットを破損した場合、電源プラグをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。



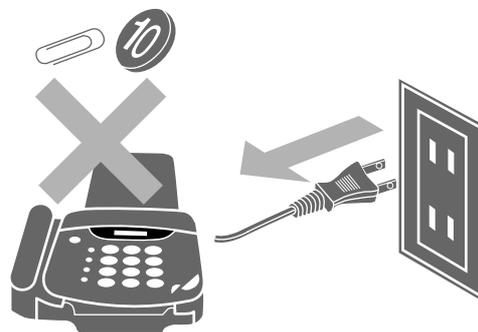
水が装置内部に入ったときの対処

万一、内部に水などが入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。



異物が装置内部に入った場合の対処

本機の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

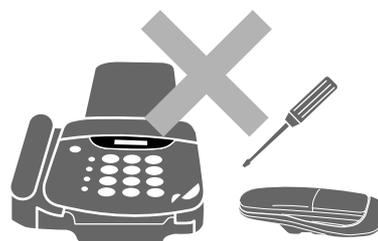


こんなことはしないでください

⚠ 警告

改造・分解の禁止

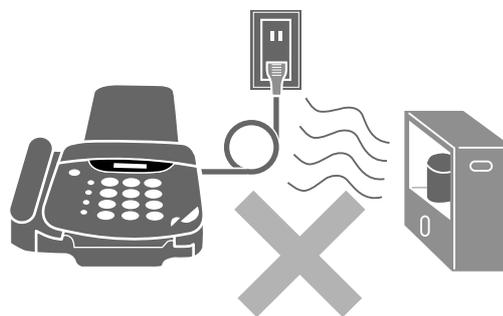
本機を分解したり、改造したりしないでください。火災・感電および故障の原因となることがあります。指定以外の内部の点検・調整・清掃・修理は、当社のサービス取扱所にご依頼ください。



⚠ 注意

火気のそばへの設置禁止

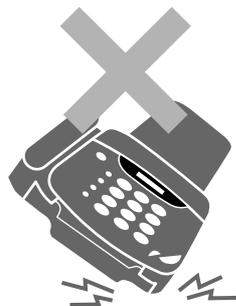
本機や電源コードを熱器具に近づけないでください。キャビネットや電源コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



STOP お願い

落下、衝撃の禁止

落としたり、強い衝撃を与えないでください。本機の故障の原因となります。



機器上に重いものを置くことの禁止

本機の上に重いものをのせたり、衝撃を与えないでください。本機の破損、故障の原因となります。



動作中の電源断の禁止

通信やコピー等の動作中に電源プラグを抜いたり、本機のカバーを開けたりしないでください。故障の原因となります。



記録紙について

STOP お問い合わせ

記録紙の保存方法

青焼紙等と重ねて保管しないでください。記録紙が変色します。

指定紙以外の紙の使用禁止

記録品質への悪影響および故障の原因となることがありますので、当社指定のNTTFAX T-240CL用記録紙のご使用をお奨めします。

こんなことにもご注意を

⚠ 警告

装置上に水、薬品を置かない旨の注意

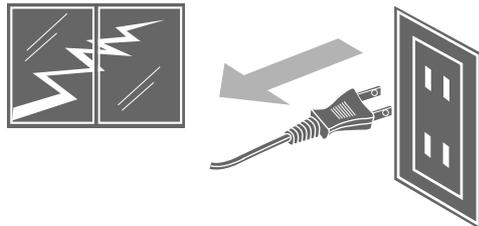
本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



⚠ 注意

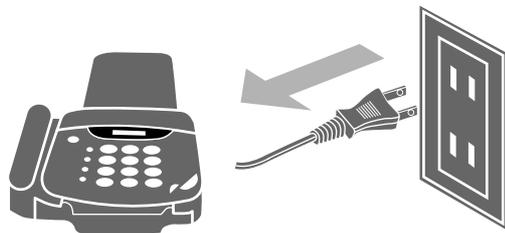
雷のときの注意

近くに雷が発生したときは、電源プラグをコンセントから、電話機コードを回線端子から抜いてご使用をお控えください。雷によっては、火災・感電の原因となることがあります。



長期不在時の注意

長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



STOP お問い合わせ

本機を設置する場所がNTTの支店・営業所から遠距離の場合は、お使いになれないことがありますので当社のサービス取扱所にご相談ください。

コードレス電話機について

⚠ 危険

火災、感電、やけど、けがをさけるために

コードレス電話機使用時の注意

充電は、コードレス電話機専用の充電器を使用してください。その他の充電条件で充電すると、電池パックを漏液、発熱、破裂させる原因となることがあります。

電池パックは、赤(プラス)・黒(マイナス)の向きが決められています。コードレス電話機に接続するときは、赤・黒の向きを確かめて正しく差し込んでください。電池パックを漏液、発熱、破裂させる原因となることがあります。

電池パックを単体では充電しないでください。電池パックを漏液、発熱、破裂させる原因となります。専用の電池パックを使用してください。また、専用の電池パックは他の機器には使用しないでください。電池パックを漏液、発熱、破裂させる原因となります。

電池パックを使用する場合は、次のことを必ず守ってください。電池パックを漏液、発熱、破裂させる原因となります。

- ・火の中に投入したり、加熱しない。
- ・直接はんだ付けしない。
- ・赤(プラス)・黒(マイナス)を針金などの金属類で接触しない。

電池パックを分解・改造しないでください。電池パックの発熱、破裂の原因となることがあります。電池パックの内部の液が眼に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。

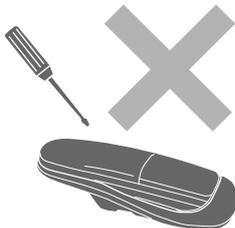
こんなことはしないでください

感電、故障の原因となることがあるので、次のようなことにご注意ください。

⚠ 警告

分解や改造の禁止

コードレス電話機は、郵政省の技術基準に適合したものです。内部を改造したり、外部にアンテナを取り付けて電波を強くすることなどは、感電や故障の原因となるだけでなく、法律で禁じられています。



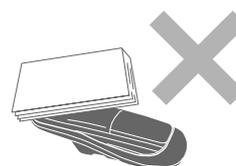
水や薬品をかけることの禁止

コードレス電話機には、水や薬品をかけないでください。火災・感電の原因となることがあります。



コードレス電話機を圧迫することの禁止

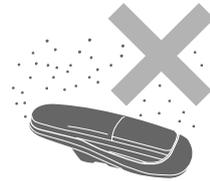
ねじったり、重いものを載せたり、(ポケットに入れたままイスなどに)強く押しついたりして、圧迫しないでください。本機が破損し、火災、けが、やけどの原因となることがあります。



こんなことにもご注意を

⚠ 注意

ほこりの多い場所、振動の激しい場所への設置禁止
ほこりの多い場所や振動の激しい場所に置かないでください。



STOP お願い

盗聴にご注意

コードレス電話機は、電波を使って通話しています。そのため、特殊な装置により盗聴されるおそれがあります。大切な話は本体の受話器を使用するなど、注意してお使いください。

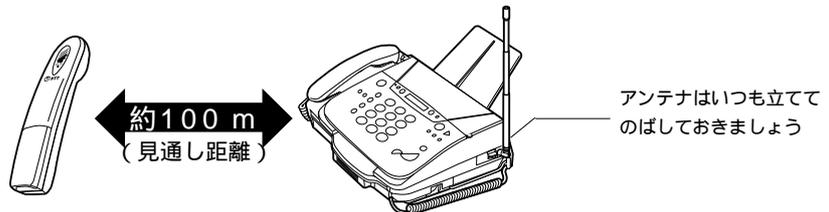
通話範囲について

コードレス電話機を本体から離しすぎると、通話できなくなったり、呼出ベルが鳴らなくなったりします。使用できるのは、本体とコードレス電話機の間にもささえぎるものがない広い場所で、100m程度です。

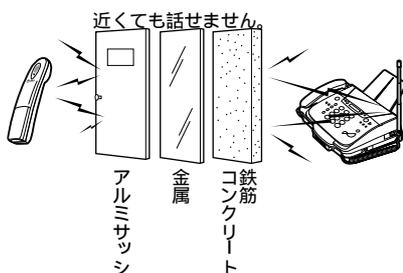
建物の中などでは、本体とコードレス電話機に間にもささえぎるものがなくても電波の届く範囲が狭くなります。

使用範囲外では、電話がかかってきたときコードレス電話機の呼出ベルが鳴りません。またコードレス電話機で電話をかけようとするとき「ピーピー...」と警告音が鳴ります。あらかじめ内線通話等により、使用できる範囲をお確かめください。

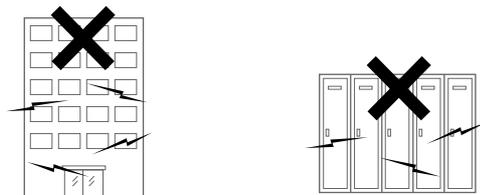
アンテナはまっすぐ立ててのばしてお使いください。電波の届く範囲が狭くなったり、雑音が入ることがあります。



本体との間に鉄筋コンクリート、金属、アルミサッシ等の障害物がある場合は、電波が届きません。



次のような場合は、電波の届く距離が短くなります。



・マンションなど鉄筋コンクリートの壁で仕切られていたり金属製のドアの内と外のように障害物があるとき

・金属製家具の近くなど

その他

次のような機器の近くで使用しないでください。雑音や誤動作の原因となることがあります。

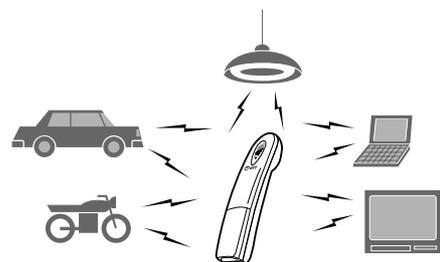
- ・ビジネスホン、モデム、パソコン、ワープロ、コピー機、他のコードレス電話機
- ・テレビ、ラジオ、蛍光灯、CDプレーヤ、ヘッドドライヤ、電子レンジ、ステレオ、電気こたつ
- ・自動車、オートバイ、ネオンサイン

極端に寒いところで使用しないでください。

車のダッシュボードなど、直接日光の当たるところに放置しないでください。

ふる場やシャワールームなど、湿度の高いところで使用しないでください。

自動車やオートバイが近くを通ったときや、電気製品や蛍光灯のスイッチを「入」「切」にしたときなど、雑音が入ることがあります。



コードレス電話機の防水機能について

コードレス電話機は生活防水（JIS保護等級 防まつ形）機能付きです。

洗車やお料理中に電話があってもぬれた手のままでコードレス電話機をとって通話することができます。ただし水中電話ではありませんので、次のような点にはご注意ください。

浴室内などの湿気の多いところに放置しない。

水道の水などを直接かけない。

ぬれたまま0 以下になるところに放置しない。

ぬれたコードレス電話機は、よく拭いてから充電器に戻してください。ぬれたままにしておくと、防水機能が低下することがあります。

ファクシミリ本体および充電器は、防水構造ではありませんのでご注意ください。

コードレス電話機がぬれたときは

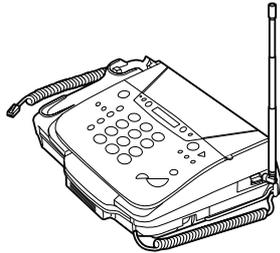
送話口や受話口が水滴でふさがってしまった場合、そのままお使いになりますと、通話の妨げになります。コードレス電話機を軽く振って水滴を落とすか、または乾いた柔らかい布で送話口や受話口を拭いてからお使いください。

JIS保護等級 防まつ形とは

バスルームやプールサイドなどで使用したとき、水しぶきがかかっても内部に水分が進入するのを防ぐ構造になっているものをいいます。

商品の構成

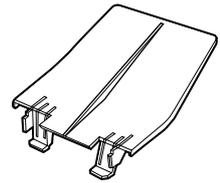
次のものがそろっているか確かめてください。セットに足りないものがあったり、取扱説明書に落丁があった場合には、NTT窓口等にご連絡ください。



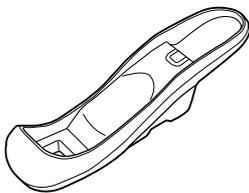
本体 1台



受話器 1個



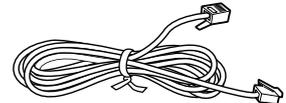
記録紙スタック 1個



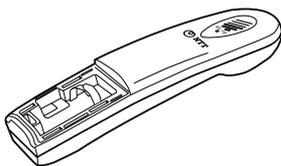
充電器 1個



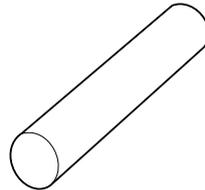
電池カバー
(コードレス電話機用) 1個



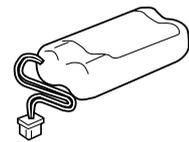
電話機コード(3m) 1本



コードレス電話機 1個



感熱記録紙
(B4サイズ 10m) 1巻



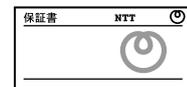
電池パック
(コードレス電話機用) 1個



取扱説明書(本書) 1冊



工事説明書 1枚



保証書 1枚



商品アンケート
ハガキ 1枚



壁かけ用ネジ 2個



「NTT通信機器お取扱相談センター」
のシール 1枚

機器の設置にあたって

このようなところには置かないで

⚠ 警告

湿度の高い場所への設置禁止
ふる場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。



アース線の取り付け

万一漏電した場合の感電事故防止のため、必ずアース線を取り付けてください。

アース線が取り付けられるところは次の部分です。

- ・電源コンセントのアース端子
- ・銅片などを65 cm以上、地中に埋めたもの
- ・接地工事(第3種)が行われている接地端子

次のようなところには絶対にアース線を取り付けしないでください。

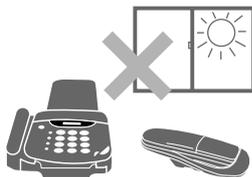
- ・ガス管・電話専用アース線・避雷針・水道管や蛇口



⚠ 注意

温度の高い場所への設置禁止

直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒーターなどの発熱器具のそばなど、温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。



油飛びや湯気の当たる場所への設置禁止

調理台のそばなど油飛びや湯気が直接当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



不安定な場所への設置禁止

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。また、本機の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。



高温での変色に注意

漆、カーペット等、高温で変色する可能性のある材質の上には置かないでください。変色の原因となることがあります。



底面をふさぐような場所への設置禁止

本機の底面は温度が上昇しますので、カーペットやソファなどの上に設置しないでください。焦げたり、火災の原因となることがあります。



本機底面にはゴム製の滑り止めを使用していますので、ゴムとの接触面が、まれに変色するおそれがあります。

その他の設置禁止場所

本機を正常にまた安全に使用していただくために、次のような場所への設置は避けてください。

低温環境

製氷倉庫など特に温度が下がるところ。本機が正常に動作しないことがあります。

磁気や電磁波が発生する場所

テレビ、スピーカボックスの近く、こたつの上など、磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところ。本機が正常に動作しないことがあります。

温度が急激に変化する場所

冷えきった部屋をストーブなどで急激に暖めるときなどは本機の内部に水滴が付着し、部分的に写らないコピーが発生する原因となります。

高温、多湿、低温の場所

いつも良い条件でお使いいただける環境の範囲は次のとおりです。

温度 5 ~ 35

湿度 45 ~ 85 %

温度が 35 のときは湿度 70 % 以下、湿度が 85 % のときは温度 30 以下で使用してください。

その他

クーラ、暖房器具、換気口などから風が直接あたる場所

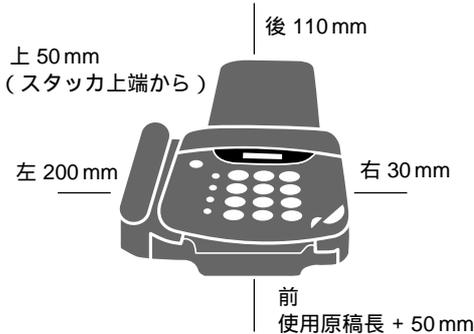
ほこりや振動が多い場所

換気の悪い場所

揮発性可燃物やカーテンに近い場所

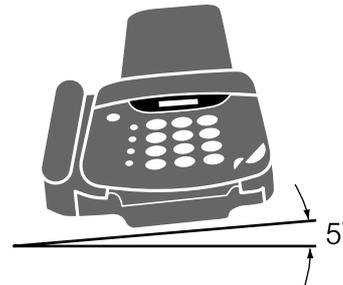
設置スペースの確保

本機の操作、消耗品類の交換、日常点検など、本機を正しく使用し性能を維持する作業を行うために、下図のような設置スペースを確保してください。



機器の傾きの限界

本機は下図の傾き以上に傾けないようにしてください。正常に動作しないことがあります。



電波障害時の対処

本機の設置場所等によっては、近くに置いたラジオへの雑音やテレビ画面のチラツキやゆがみなどが発生する場合があります。

このような現象が本機の影響によると思われる場合は、本機の電源プラグをいったん抜いてください。電源プラグを抜くことにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、次のような方法を試みてください。

- ・本機をテレビ等から遠ざける
- ・本機またはテレビ等の向きを変える



「NTT通信機器お取扱相談センタ」のシールについて

「NTT通信機器お取扱相談センタ」のシールは、本機または本機そばの見やすいところに貼ってください。

電源について

⚠ 警告

電源コードの取扱注意

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物を載せたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となることがあります。電源コードが傷んだら当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。



商用電源以外の禁止

AC 100Vの商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災や故障の原因となることがあります。

115V
200V

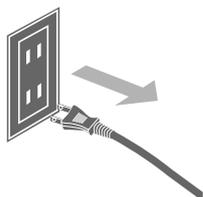
濡れた手で操作禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。



プラグの取扱注意

電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となります。



タコ足配線の禁止

テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となります。



電源仕様の注意

本機は国内電源仕様になっていますので、海外ではご使用になれません。

⚠ 注意

プラグコンセントにたまったほこりが起因となる火災の防止

電源プラグの刃および刃の取付面にほこりが付着している場合はよく拭いてください。火災の原因となります。



機器の接続のしかた

設置工事は担当者(工事担任者資格を有する者)におまかせください。

本機をご使用にあたって、NTTのレンタル電話機が不要となった場合は、NTTへご連絡ください。ご連絡いただいた日をもって、「機器使用料」は不要となります。詳しくは、局番なしの116番(無料)へお問い合わせください。

STOP お願い

お使いになる電話回線に、すでに何台かの電話機等が接続されている場合は、本機がご使用になれない場合があります。この場合は他の電話機等を外してください。

お使いの電話回線がモジュラジャック式でないときは、NTT窓口等にご相談ください。接続工事には、工事担任者資格が必要です。

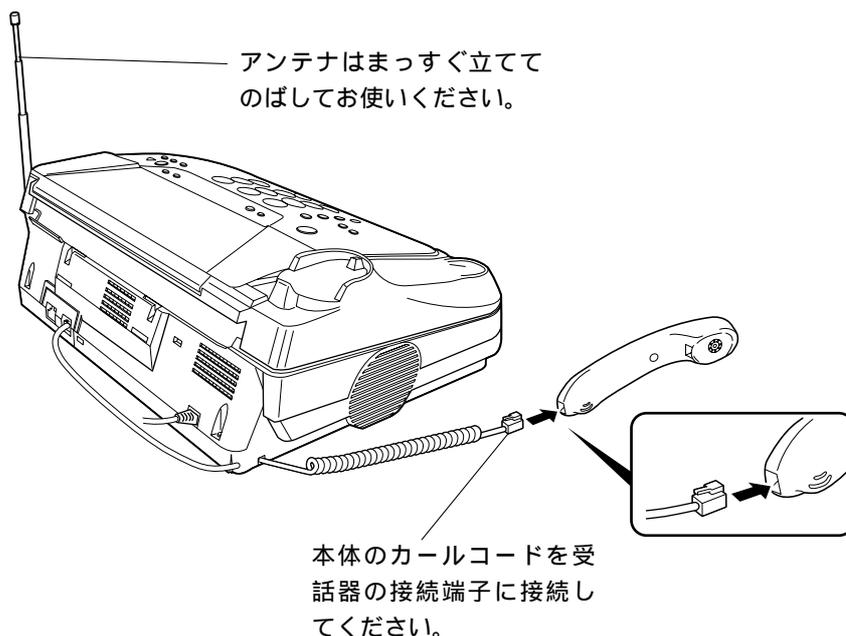
電話コンセントが遠いとき

付属の電話機コードの長さは約3 mです。本機の設置場所と電話コンセントが離れていて、電話機コードが届かないときは、NTT窓口等にご相談ください。

① 受話器の取り付け

1 本体と受話器を接続します。

本体のカールコードを、受話器の接続端子に接続します。



STOP お願い

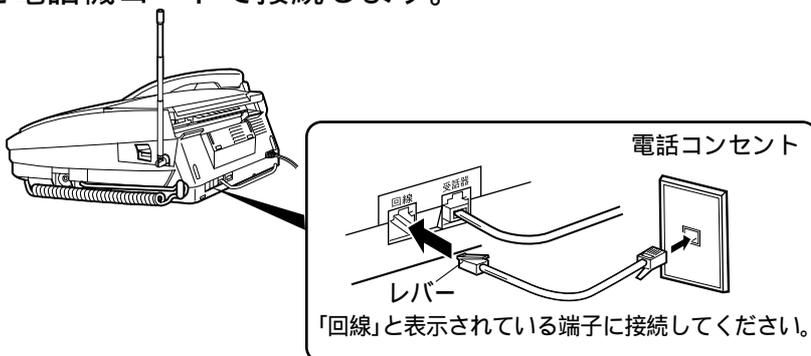
カチッと音がするまで差し込んでください。

カールコードを抜くときは、モジュラプラグのレバーを押さえながら引き抜いてください。

② 電話回線の接続

1 本体と電話コンセントを電話機コードで接続します。

付属の電話機コードの一方を、本体背面の回線接続端子(「回線」と表示されている端子)に接続し、もう一方を電話コンセント(モジュラジャック)に接続します。



STOP お願い

カチッと音がするまで差し込んでください。

電話機コードを抜くときは、モジュラプラグのレバーを押さえながら引き抜いてください。

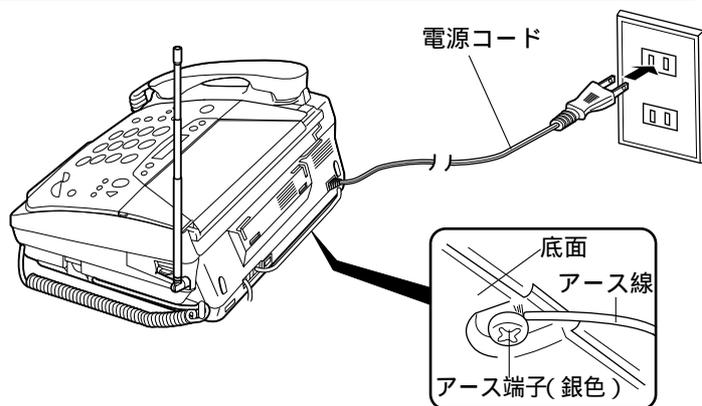
③ 電源の接続

電源プラグをAC 100 Vの電源コンセントに差し込んでください。本体には電源スイッチはありません。電源プラグを差し込むと電源が入ります。

電源を入れると、ディスプレイに「カバー / キロクシ カクニン」と表示され、アラームランプ(赤色)が点灯します。

本体の底面にアース端子(銀色)があります。他の色のネジは外さないように注意してください。アース線は付属しておりません。

アース線をご用意のうえ接続してください。



STOP お願い

テレビやステレオなどは、別のコンセントに接続してください。

アース線は本体底面後方にあるアース端子に接続してください。

⚠ 警告

万一漏電した場合の感電事故防止のため、必ずアース線を取り付けてください。

アース線が取り付けられるところは次の部分です。

- ・電源コンセントのアース端子
- ・銅片などを65 cm以上、地中に埋めたもの
- ・接地工事(第3種)が行われている接地端子

次のようなところは絶対にアース線を取り付けないでください。

- ・ガス管
- ・電話専用アース線
- ・避雷針
- ・水道管や蛇口

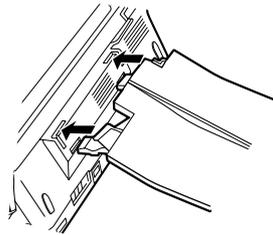
金属部に触ったり、ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重いものを載せたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となることがあります。電源コードが傷んだら当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

④ 記録紙スタックの取り付け

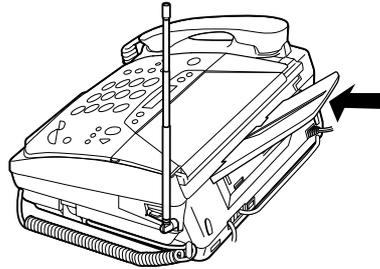
1 記録紙スタックを本体の穴に合わせます。

記録紙スタックの下側の位置決めを本体の穴に合わせたあと、上側のフックを本体の穴に合わせます。



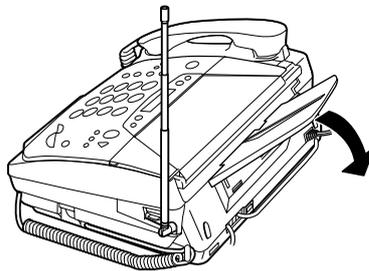
2 記録紙スタックを本体に押し込みます。

カチッと音がするまで記録紙スタックを押し込みます。



▶ 記録紙スタックを外すとき

記録紙スタックを外すときは、カチッと音がして外れるまで、記録紙スタックの根本を押さえて、下向きに押し下げてください。

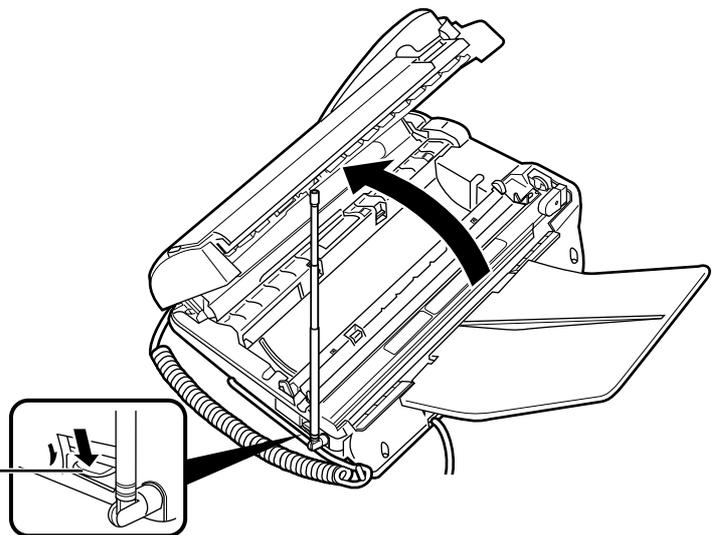


⑤ 記録紙のセット

1 カバーを開けます。

カバー開レバーを下に押し、カバーを開けます。カバーは背面の方から開きます。カバーは止まるまで、いっばいに開けてください。

カバー開レバー



⚠ 注意



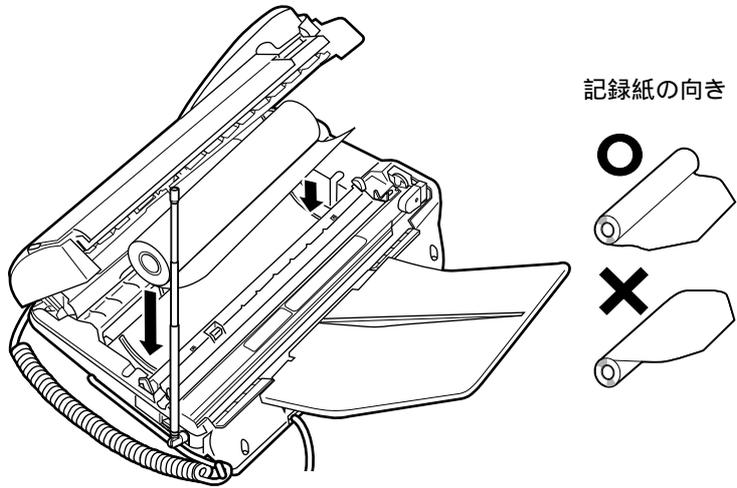
このマークの貼ってある所には手を触れないようにご注意ください。けがをする場合があります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

サーマルヘッド周辺は高温になっている場合があります。高温時は、手を触れないようにご注意ください。やけどをする場合があります。

2 記録紙を入れます。

付属の記録紙を包装紙から出し、本体の中に入れます。

記録紙の先端を本体より 10 cm 位引き出します。

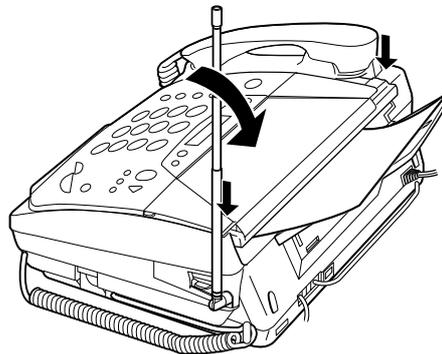


STOP お願い

記録紙の向きを間違えないように注意してください。向きを間違えると、プリントされずに白紙が出てきます。

3 カバーを閉めます。

記録紙をはさむように、カバーを閉めます。カバーの両端を押して、確実に閉めてください。カバーを閉めると、アラームランプが消灯します。



キロクシハ? 1:B4 2:A4

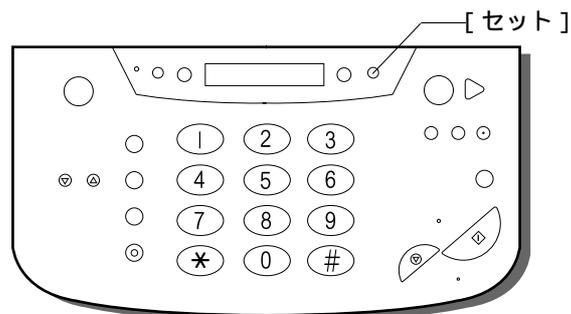
4 [セット] ボタンを押します。

しばらくすると(約5秒)自動的に記録紙をカットします。

キロクシサイズ B4 ニシマシタ

シバラク オマチダサイ

ジ コクセツテイ シテクダサイ



STOP お願い

記録紙をセットしたらコピーをとって正しくセットできたか確認してください。「コピーのしかた」⇒(P.51)

ワンポイント

お買い求めいただいたときは、「B4」に設定されています。そのまま[セット]ボタンを押してください。

[セット]ボタンを押さなくても、約30秒経つと「キロクシサイズB4 ニシマシタ」と表示されます。

「キロクシサイズB4 ニシマシタ」と表示されている間に、もう一度[セット]ボタンを押すと、すぐに記録紙をカットします。

付属以外の記録紙をセットするときや記録紙を交換するときは、「記録紙を交換するとき」(P.132)をご覧ください。

記録紙の交換時期

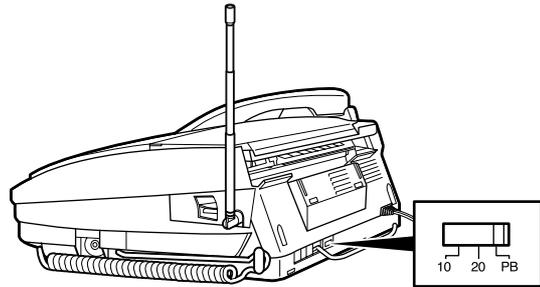
記録紙がなくなると、ディスプレイに「カバー/キロクシ カクニン」と表示され、アラームランプ(赤色)が点灯します。新しい記録紙と交換してください。記録紙を交換するときは、「記録紙を交換するとき」(P.132)をご覧ください。

⑥ 回線種別の設定

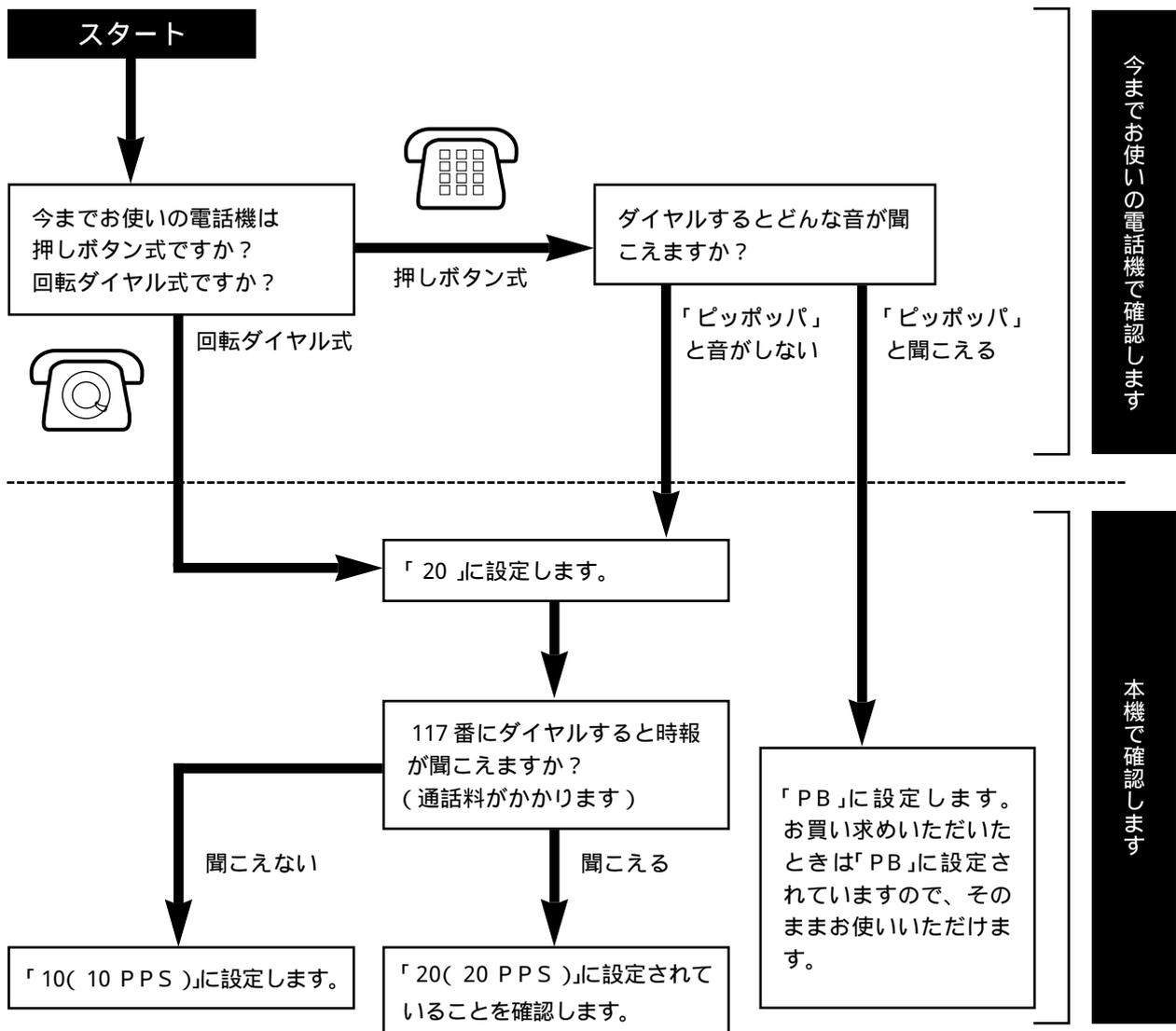
電話回線には、ダイヤル回線(DP)とプッシュ回線(PB)の2つの種類があります。また、ダイヤル回線には、10 PPS(10)と20 PPS(20)の2つのダイヤルスピードがあります。お使いの電話回線の種類と装置の設定が合っていないと電話をかけることができません。現在お使いの電話機で、電話回線の種類を確認して回線種別を設定します。

1 回線種別設定スイッチをお使いの回線種別に合わせます。

ボールペンの先などで操作してください。



お使いの回線種別がわからないときは次の方法で回線種別を確認してください。



上記の方法でご使用の回線種別がわからないときは、NTT窓口等にお問い合わせください。

⑦コードレス電話機の充電

お買い求めいただいたときは、コードレス電話機は充電されていません。充電してからご使用ください。

⚠ 危険

火災、感電、やけど、けがを避けるために

充電は、コードレス電話機専用の充電器を使用してください。その他の充電条件で充電すると、電池パックを漏液、発熱、破裂させる原因となることがあります。

電池パックは、赤(プラス)・黒(マイナス)の向きが決められています。コードレス電話機に接続するときは、赤・黒の向きを確かめて正しく差し込んでください。電池パックを漏液、発熱、破裂させる原因となることがあります。

電池パックを単体では使用しないでください。電池パックを漏液、発熱、破裂させる原因となります。専用の電池パックを使用してください。また、専用の電池パックは他の機器には使用しないでください。電池パックを漏液、発熱、破裂させる原因となります。

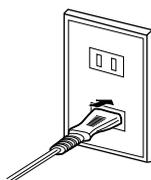
電池パックを使用する場合は、次のことを必ず守ってください。電池パックを漏液、発熱、破裂させる原因となります。

- ・火の中に投入したり、加熱しない。
- ・直接はんだ付けしない。
- ・赤(プラス)・黒(マイナス)を針金などの金属類で接触しない。

電池パックを分解・改造しないでください。電池パックの発熱、破裂の原因となることがあります。電池パックの内部の液が眼に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。

1 充電器の電源プラグを電源コンセントに差し込みます。

充電器の電源プラグをAC 100Vの電源コンセントに差し込んでください。



STOP お願い

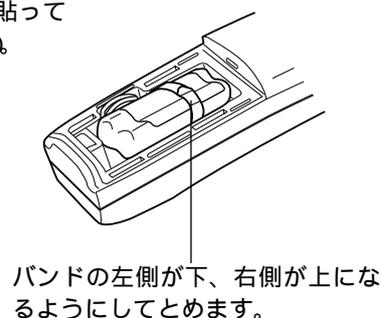
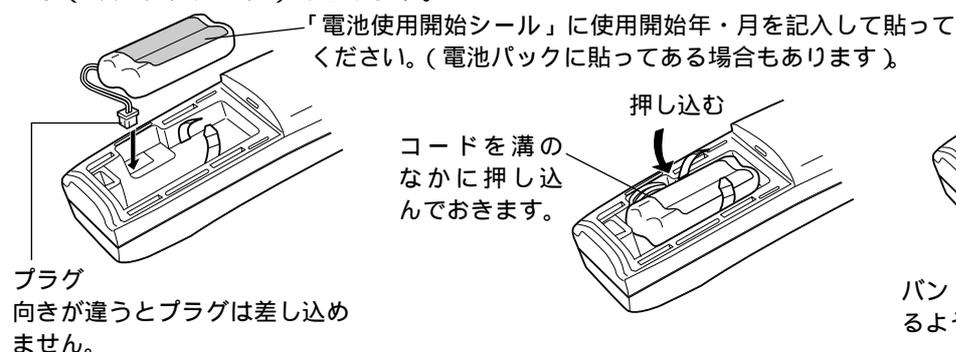
テレビやステレオなどとは、別のコンセントに接続してください。

⚠ 警告

ぬれた手で充電器の電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

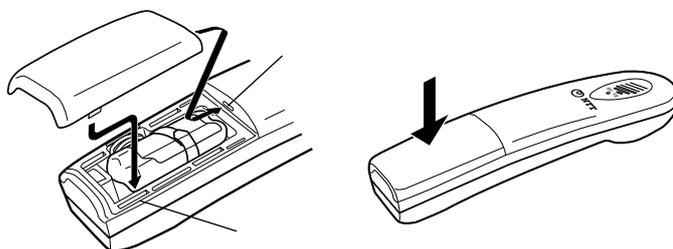
2 電池パックを入れます。

電池パックのプラグを差し込んでから、電池パックを押し込みます。電池パックを入れたあと、固定用のバンド(マジックテープ)でとめます。



3 電池カバーを閉めます。

の穴に入れてから、の穴にツメを入れるようにして、カバーを閉めます。



STOP お願い

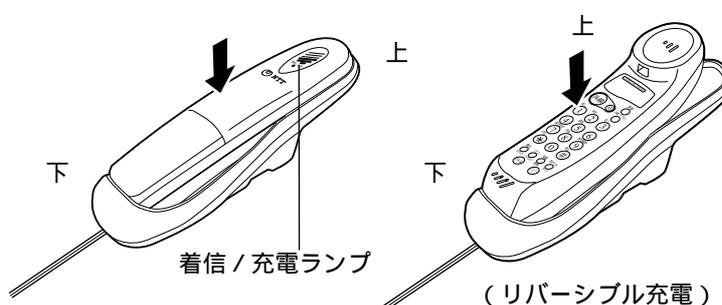
添付されている電池パックはT-240CL専用です。他の装置には使用しないでください。
電池接続用のコードを強く引っぱらないでください。故障の原因となることがあります。
コードをはさまないように注意してください。
防水効果を高めるために、すきまがないようにしっかり閉めてください。

4 コードレス電話機を充電器に置きます。

充電を始め、着信/充電ランプが赤く点灯します。はじめてお使いになるときは、9時間以上充電してください。

コードレス電話機を裏返しにして充電すること(リバーシブル充電)もできます。ただし、コードレス電話機の向きが上下反対になっていると充電されません。

着信/充電ランプが点灯するようにコードレス電話機を置きます。



ワンポイント

コードレス電話機を使わないときは充電器に置くようにしてください。充電し過ぎにはなりません。

はじめてお使いになるときなどまったく充電されていない場合は、充電を始めてもしばらくの間(およそ5分程度)着信/充電ランプが点灯しないことがありますが、故障ではありません。

電池パックを交換するときは、「コードレス電話機の電池を交換するとき」(P.140)をご覧ください。

電池パックの寿命は、通常の使用で約2年です。

固定用のバンドのとめ方がゆるいと、コードレス電話機を持ったときに「カタカタ」と電池が動く音がしますので、しっかり固定してください。

コードレス電話機の使用可能時間

コードレス電話機の電池をいっぱい充電したときの連続使用可能時間の目安は、次のとおりです。

- ・連続待受時(充電器に置いていない状態): 200時間
- ・連続通話時間: 8時間

注意

充電器の充電部分に金属製のピンや指輪などを置かないでください。発熱し、やけどの原因となることがあります。

ワンポイント

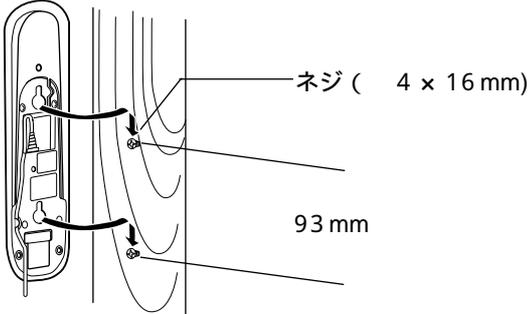
通話中に電池が切れると「ピピピピピピピピピピ」という音がして、着信/充電ランプが点滅します。そのまま20秒以上経つと電話が切れます。

⑧ 充電器を壁にかけて使うとき

充電器は壁などにかけてお使いいただけます。コードレス電話機を置いたまま、壁にかけることができます。

1 付属のネジを使って充電器を取り付けます。

付属のネジを壁などに取り付けます。ネジの頭を6mm位壁から出しておきます。充電器の裏側の壁掛け用の穴にネジを入れて、少し下に引きます。

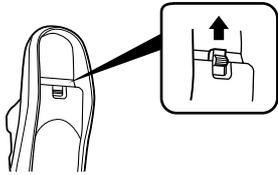


ワンポイント

ガタガタするときは、壁掛け用ネジを締めてください。

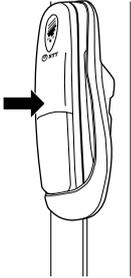
2 壁掛け用のツメを上へ引き出します。

コードレス電話機をかけるためのツメを上方向に引き出します。



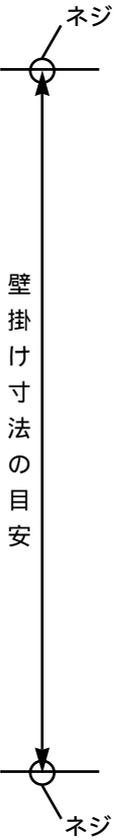
3 コードレス電話機をかけます。

充電器の壁掛け用ツメにコードレス電話機を引っかけます。



STOP お願い

壁掛けをしたい場所から内線通話などをして、通話ができるかあらかじめ確認してください。



⑨ 最初に必要な登録

装置の設置が終わったら、次の登録を行ってください。

- ・日付/時刻⇒(P.122)

現在の日付と時刻を登録しておく、ディスプレイに表示されます。また、留守番電話の用件を録音した時刻を記録するために必要です。

ワンポイント

長い間使っていると、時刻がずれてくることがあります。時刻がずれたときも同じ手順で修正できます。時計表示はあくまでも目安としてご利用ください。なお誤差が生じた場合は設定をなおしてください。(時間精度: 平均月差 ± 60秒以内)

- ・電話番号⇒(P.120)

自分の電話番号を登録しておく、相手先のファクシミリによってはディスプレイや通信管理レポートなどに、こちらの電話番号が表示されます。

- ・名前(発信元登録)⇒(P.120)

自分の名前を登録しておく、原稿を送信したときに相手先の記録紙に、こちらの名前(カタカナ、数字、アルファベット、記号で40文字まで)が自動的にプリントされます。自分の電話番号も相手先の記録紙にプリントしたいときは、発信元登録の中に、名前と一緒に電話番号も登録してください。また、こちらの名前を相手先の記録紙にプリントされないようにするには、「発信元記録をつけない」に設定します。⇒(P.124)

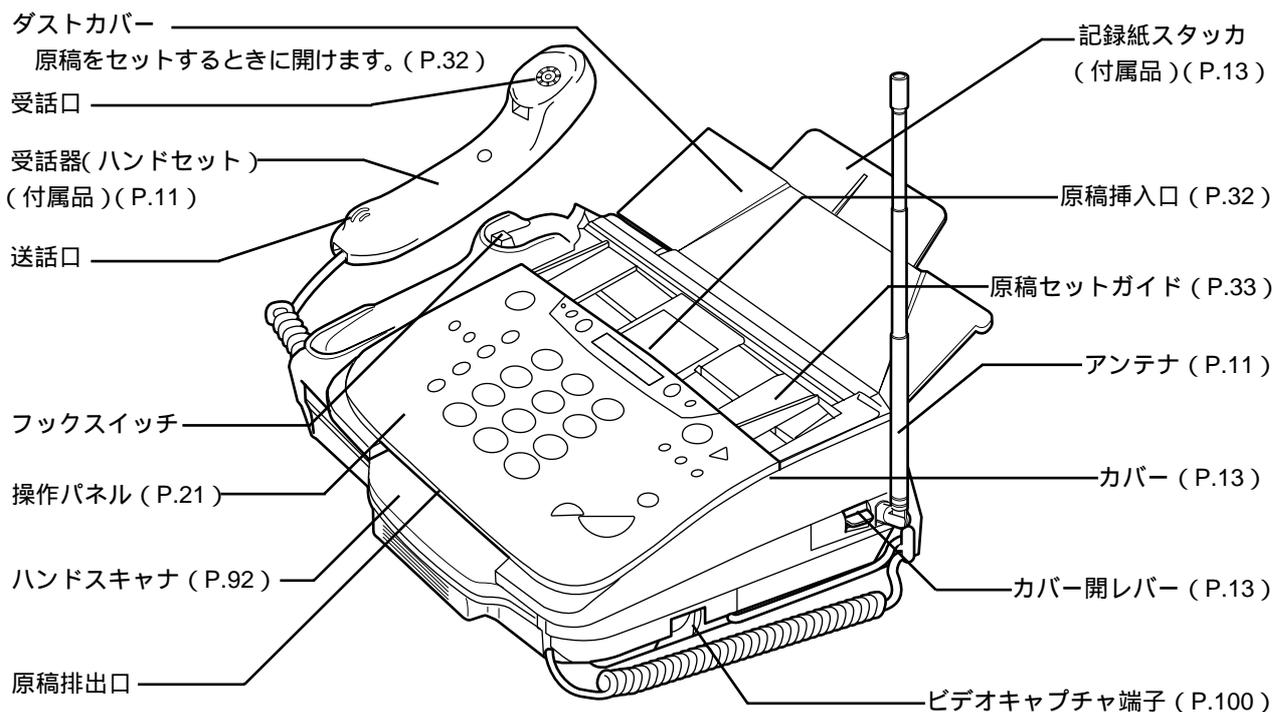
発信元記録のプリント例

日付/時刻を登録しておく、こちらの名前と一緒に日付/時刻が相手先の記録紙にプリントされます。

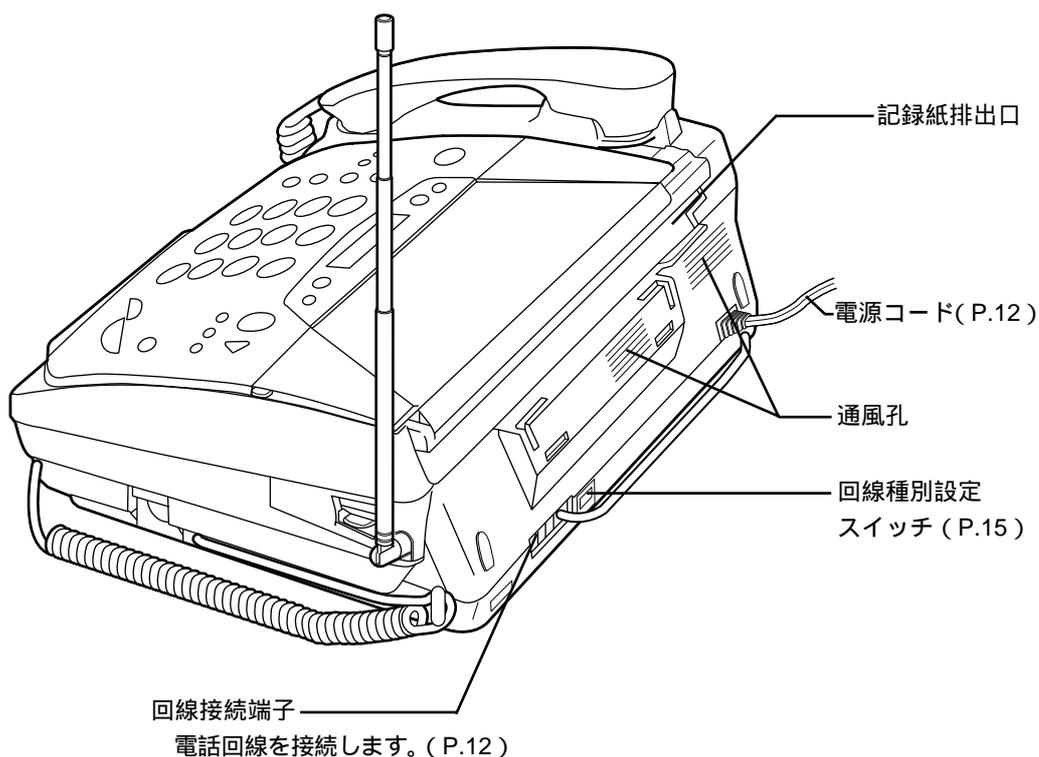
FROM エイキ ヨウ	1997.4.30 12:01	P.1
-------------	-----------------	-----

各部の名称とはたらき

外観図（前面）



外観図（背面）



上図は、付属品を取り付けた状態です。

操作パネル

メモリランプ

保存原稿があるときや、原稿を蓄積中のときに緑色に点灯します。

[内線 / ドアホン] ボタン

内線電話をかけるとき (P.67) や、ドアホン通話するとき (P.105) に押します。

[画質] ボタン

画質モードを選ぶときに押します。(P.29)

液晶ディスプレイ

入力する内容 (16文字まで) や、設定のガイドを表示します。通常は、日付、時刻、留守番電話の用件件数が表示されています。

4/30 12:00 1

日付 時刻 留守番電話の用件件数

[ファンクション] ボタン

いろいろな機能を選ぶときに押します。

[セット] ボタン

いろいろな設定をするときに押します。

[留守] ボタン

留守設定にするとき (P.73) 、通話録音するとき (P.82) に押します。

[再生 / マイクオフ] ボタン

留守番電話に録音された用件を再生するとき (P.77) 、ハンズフリー通話中にこちらの会話を聞かれないとき (P.60) に押します。

ワンタッチボタン

ワンタッチダイヤルするときに押します。(P.40、53)

[◀◀] [戻し] [ワンタッチ1] ボタン

再生中の用件をもう一度聞くとときや、ひとつ前の用件を聞くととき (P.77) 、カーソルを左方向に進めるときに押します。

[▶▶] [送り] [ワンタッチ2] ボタン

次の用件の再生に進めるとき (P.77) 、カーソルを右方向に進めるときに押します。

[消去] [ワンタッチ3] ボタン

留守番電話に録音された用件を消去するときに押します。(P.78)

[おやすみ] ボタン

おやすみモードにするときに押します。電話やファクシミリがかかってくると緑色に点滅します。

[音量] ボタン

ベルの音量 (P.47) 、受話音量 (P.52) 、モニタスピーカの音量 (P.34、60) を調節するときに押します。

[PB] ボタン

ダイヤル回線を使用している場合に、プッシュホンサービスを利用するときなどに使います。(P.65)

ダイヤルボタン

ダイヤルするときに押します。[*][#] ボタンは通常のダイヤル発信以外の新しいサービスに使用する機能ボタンです。

[FAX情報] ボタン

FAX情報取出アシスト機能を利用するときに押します。(P.109)

通信 / アラームランプ

ファクシミリの送受信時には緑色に、本機に異常が起きたときは赤色に点灯します。

[スタート] ボタン (緑色)

ファクシミリの送受信時、コピーをとるときなどに押します。

[ストップ] ボタン (赤色)

操作を途中でやめるときに押します。

[電話帳 / キャッチ] ボタン

電子電話帳を使ってダイヤルするとき (P.41、54) 、キャッチホンが入ったとき (P.64) に押します。

[保留 / クリア] ボタン

通話中に相手に待ってもらったとき (P.63) 、入力を間違えたときに押します。

[再ダイヤル / ポーズ] ボタン

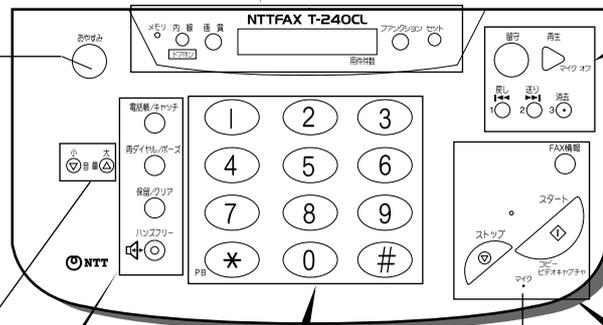
最後にかけた相手にもう一度かけるとき (P.58) 、ダイヤル中に空白時間 (約3秒) を入れるとき (P.121) に押します。

[ハンズフリー] ボタン

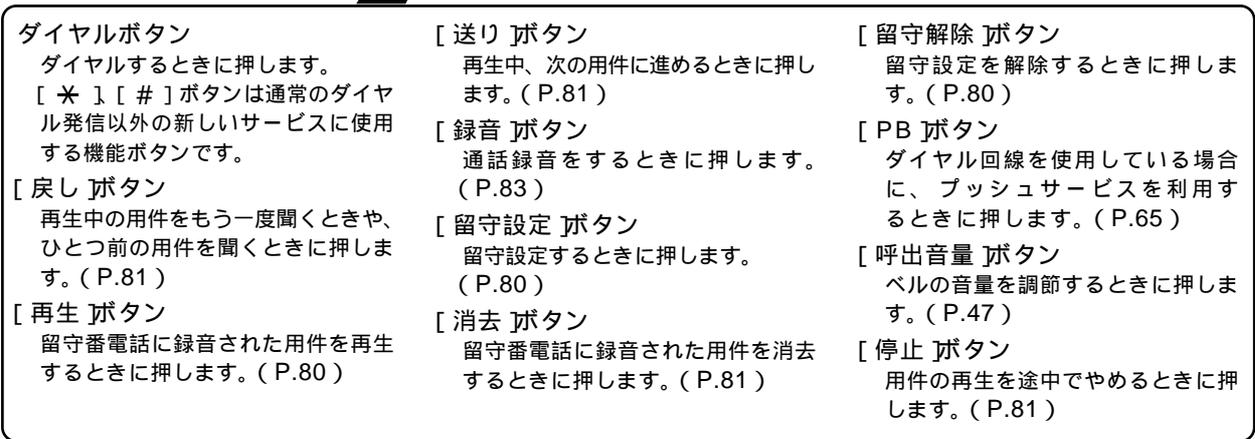
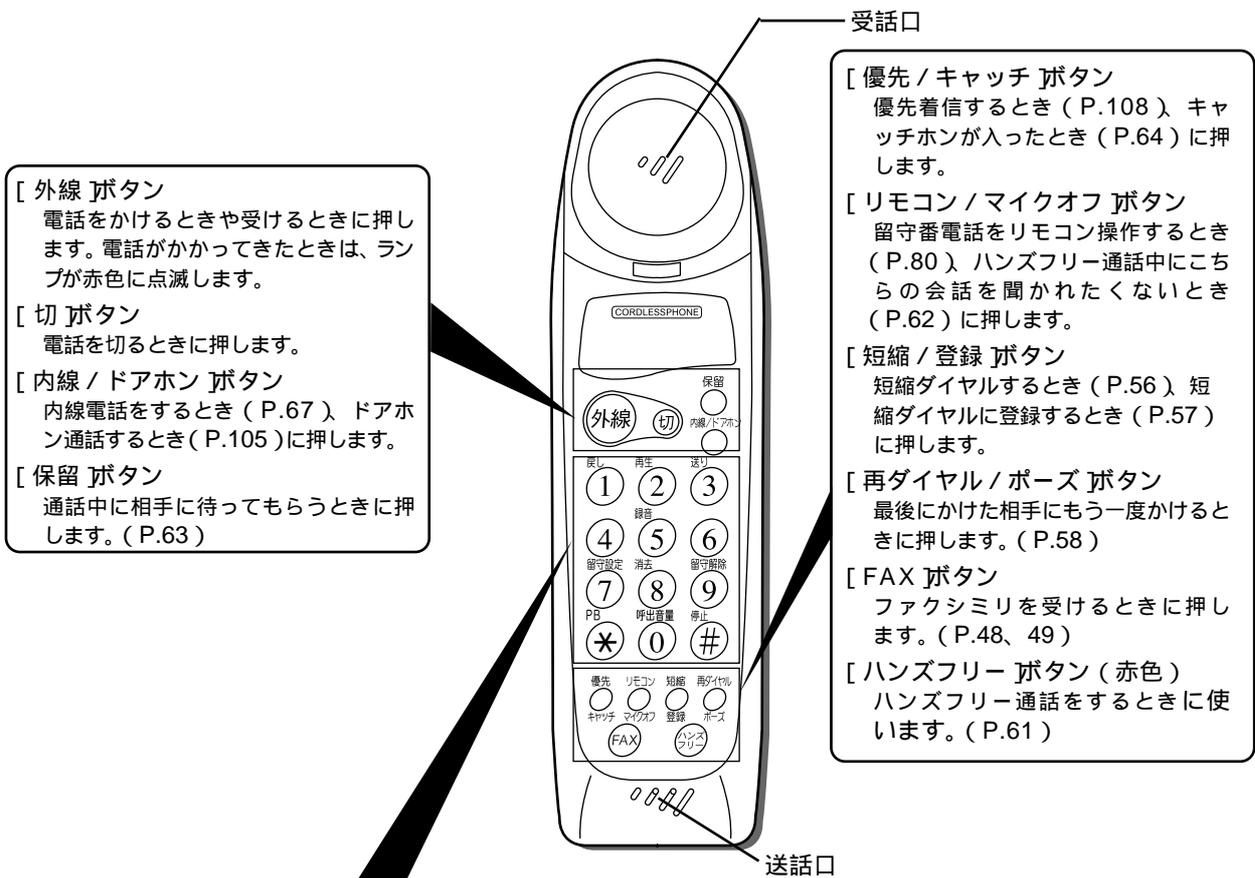
受話器を持たずに電話をするときに押します。(P.59)

マイク

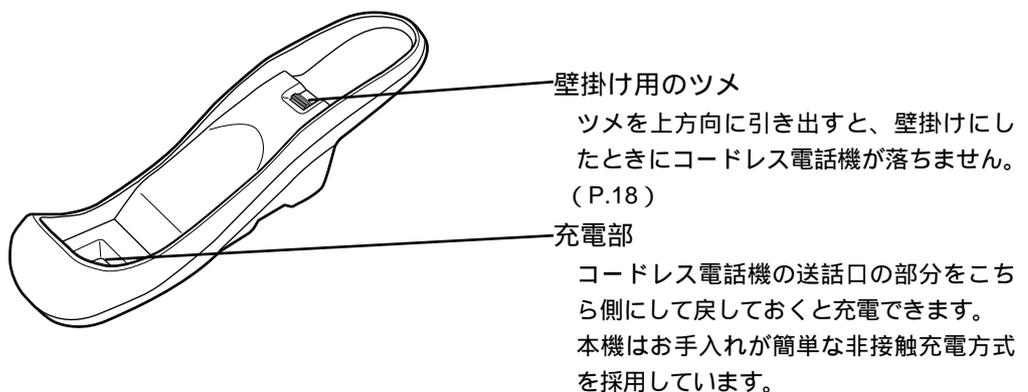
留守番電話の応答メッセージを録音するとき (P.75) 、ハンズフリー通話をするとき (P.59) に使います。



コードレス電話機



充電器



日頃のお手入れ

快適にお使いいただくために、本機をいつもきれいにしておいてください。

STOP お願い

ベンジン、シンナーなどの有機溶剤、アルコールは、絶対に使用しないでください。変形や変色の原因となることがあります。

本体の清掃

装置表面のホコリや汚れは、柔らかい布で拭き取ってください。汚れがひどいときは、薄めた台所用中性洗剤にひたした布を固く絞って拭き取り、最後に乾いた柔らかい布で拭いてください。

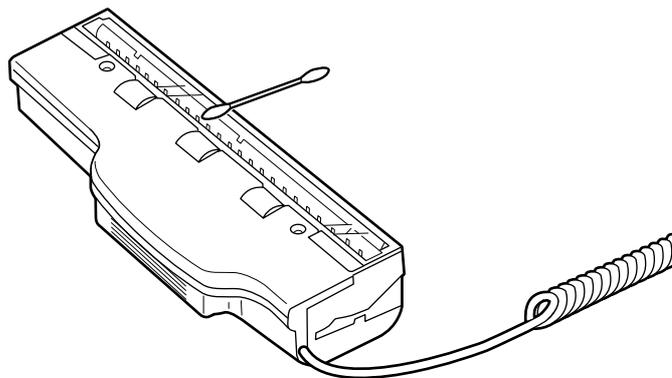
ハンドスキャナ(原稿読み取り部とローラ)の清掃

原稿を読み取る部分のガラス面が汚れると、コピーしたときや、相手先のファクシミリの記録画に汚れが出てしまいます。原稿読み取り部は定期的に(月に1回程度)清掃し、いつもきれいにしておきましょう。

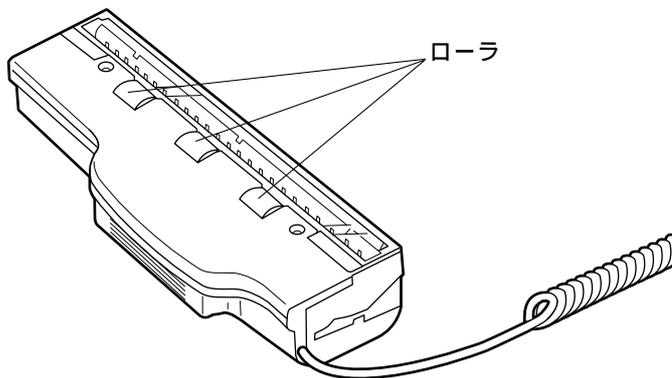
1 ハンドスキャナを外します。

「ハンドスキャナを外す、戻す」⇒(P.92)

2 ハンドスキャナのガラス面を綿棒で拭きます。



3 水にひたした布を固く絞り、ローラを拭きます。



4 ハンドスキャナを戻します。

カチッと音がするまで押し込んでください。「ハンドスキャナを外す、戻す」⇒(P.92)

STOP お願い

ハンドスキャナを本体に戻すときは、ハンドスキャナのコードをはさまないように注意してください。

ローラの清掃

ローラが汚れると、原稿づまりの原因となります。原稿読み取り部の清掃といっしょにローラも清掃してください。

1 電源プラグを抜きます。

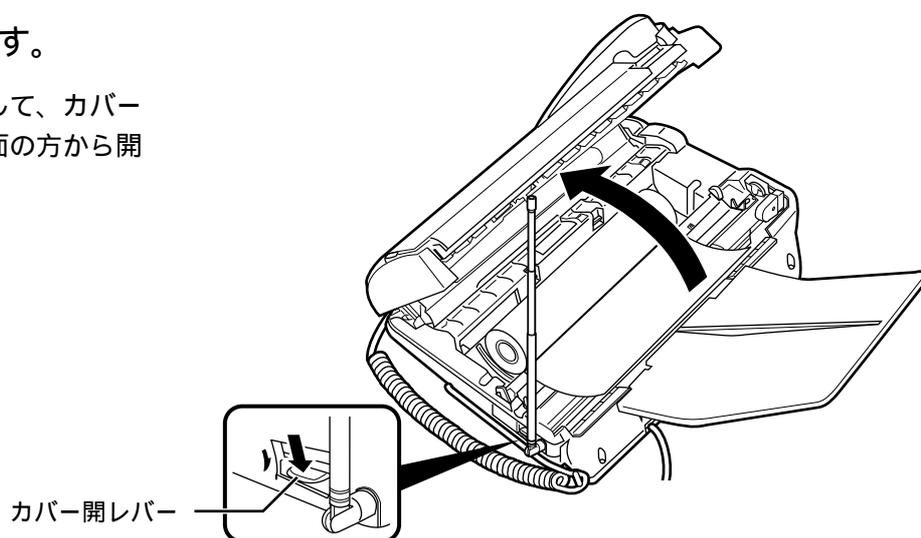
メモリランプが点灯していないことを確認してから、電源プラグを抜いてください。

STOP お願い

メモリランプが点灯していないことを確認してから、電源プラグを抜いてください。長時間、電源プラグを抜いたままにしないでください。

2 カバーを開けます。

カバー開レバーを下に押し、カバーを開けます。カバーは背面の方から開きます。



! 注意



このマークの貼ってある所には手を触れないようにご注意ください。けがをする場合があります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



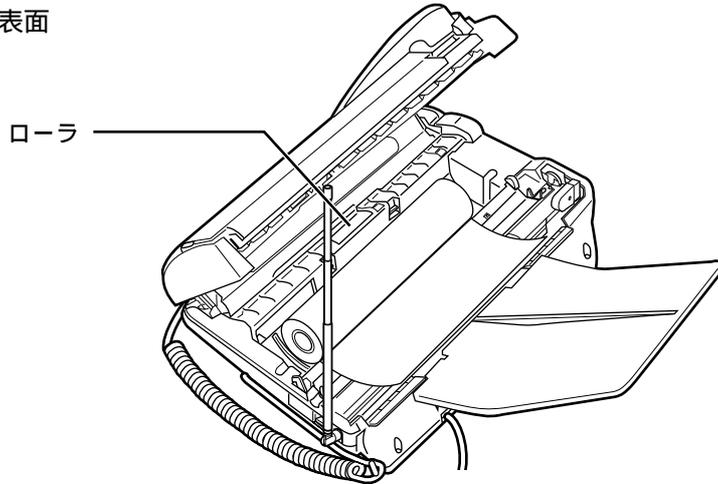
サーマルヘッド周辺は高温になっている場合があります。高温時は、手を触れないようにご注意ください。やけどをする場合があります。

STOP お願い

記録紙スタッカに記録紙が残っているときは、記録紙を取り除いてから、カバーを開けてください。

3 水にひたした布を固く絞り、ローラを拭きます。

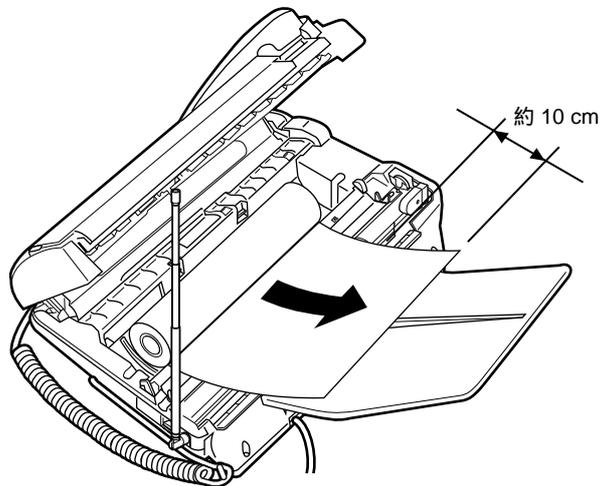
ローラを手で回しながら、ローラの表面全体を拭いてください。



4 電源プラグを差し込みます。

5 記録紙を引き出します。

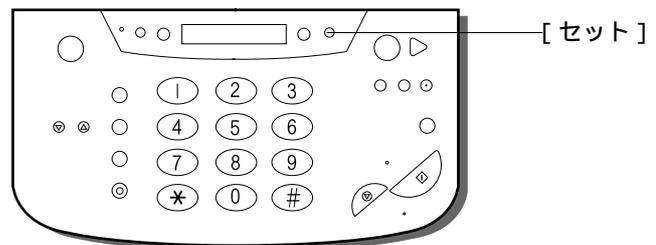
記録紙の先端を本体より 10 cm位引き出します。



6 カバーを閉め、[セット] ボタンを押します。

記録紙をはさむように、カバーを閉めます。カバーの両端を押して、確実に閉めてください。

しばらくすると(約5秒)、自動的に記録紙がカットされます。

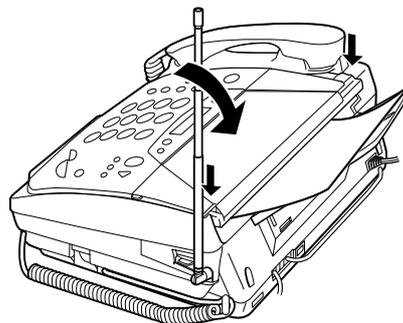


ワンポイント

「キロクシサイズB4 ニシマシタ」と表示されている間に、もう一度 [セット] ボタンを押すと、すぐに記録紙をカットします。

シバラク オマチクダサイ

4/30 12:00 0



保守サービスのご案内

保証について

保証期間（1年間）中の故障につきましては無償で修理いたしますので、「保証書」は大切に保管してください。（詳しくは「保証書」の無料修理規定をご覧ください。）

保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。

NTTでは、安心してご利用いただける定額保守サービスをお勧めしています。

保守サービスの種類は

定額保守サービス	毎月決められた料金をお支払いいただくことで、定期点検、故障時の修理など、性能維持に必要な保守サービスを行いますので、本商品を安心してご利用いただけます。
実費保守サービス	故障時の修理等に要した費用をその都度いただきます。 <ul style="list-style-type: none"> お客様宅へお伺いするための費用および修理に要する技術費用・部品代をいただきます。 故障内容によっては、高額になる場合もありますのでご承知願います。 NTT窓口等まで本商品をお持ちの場合は、お客様宅へお伺いするための費用が不要になります。

故障した場合のお問い合わせは

局番なしの113番へご連絡ください。

お話し中調べ

局番なしの114番へご連絡ください。

その他

定額保守サービスの料金については、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

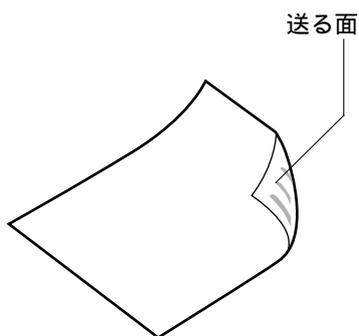
NTT通信機器お取扱相談センタ：  0120-109217 トークニーナ

補修用部品の保有期間について

本商品の補修用性能部品（商品の性能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後、最低7年間保有しております。

原稿について

原稿のセット方法、送信できる原稿の制限について、以下の点を守って操作してください。



原稿は、送る面を裏にしてセットします。

▶ 原稿は一度に 10 枚以内
一度に 10 枚までの原稿をセットして、1 回の操作で連続して送信できます（同じ紙質、同じ大きさの場合）。11 枚以上送りたいときは、何回かに分けて送信してください。

▶ 原稿の先端をそろえてからセット
複数枚の原稿をセットするときは、先端をそろえてください。

▶ 用紙の幅や厚さをそろえる
紙の厚さが異なる原稿を重ねてセットすると、送信もれが発生することがあります。また、幅の異なる原稿は同時にセットしないでください。原稿がつまる原因となることがあります。このような場合は、1 枚ずつ送信してください。

原稿のサイズおよび厚さ

原稿のサイズおよび厚さには以下の制限があります。

	1 枚だけ送る場合	複数枚の原稿をセットして送る場合
最大	257 × 1 000 mm	257 × 364 mm (B4 サイズ)
最小	128 × 100 mm	148 × 105 mm (A6 サイズ)
厚さ	0 .05 ~ 0 .15 mm	0 .065 ~ 0 .10 mm

ワンポイント

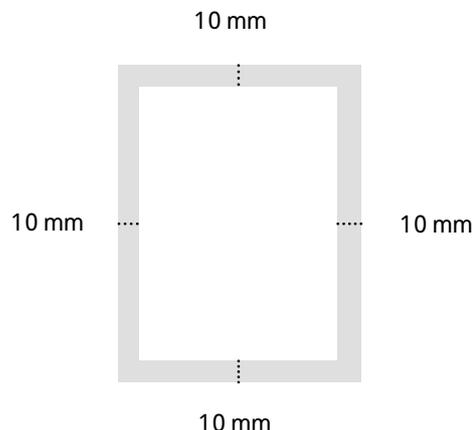
相手が A4 サイズの記録紙を使用している場合、B4 サイズの原稿を送ると、自動的に A4 サイズに縮小して送信されます。

取扱説明書の表紙の厚さが 0 .14 mm、本ページの厚さが 0 .075 mm、官製はがきの厚さが 0 .22 mm ですので、原稿の厚さの目安としてください。

本機の感熱記録紙（厚さ 0.065 mm）、ハイグレード感熱記録紙（厚さ 0.083 mm）は原稿としてセットできません。ハンドスキャナまたはキャリアシートを使って送信してください。

読み取り可能範囲

原稿の縁から 10 mm 以内の範囲は、読み取れない場合があります。右記のグレーの部分に文字や図がかかっていると、その部分は消えた状態で送信されたりコピーされたりすることがあります。



そのままでは送れない原稿

次のような原稿は、複写機でコピーするか、ハンドスキャナまたは別売のキャリアシートを使って送信してください。ハンドスキャナの使いかたは、「ハンドスキャナを使う」(P.92)をご覧ください。

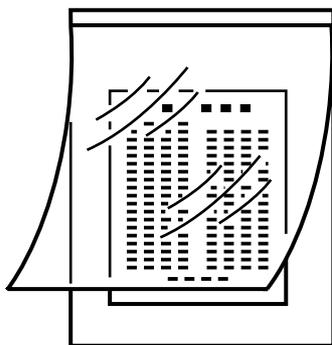
	ハンドスキャナ	キャリアシート
フィルムやトレーシングペーパーのような透明なもの	*	
破れたり、しわが入ったり、丸まった紙		
感圧紙、裏カーボン紙など、化学処理した紙		
はがきより小さい紙 (128 × 100 mm未満)	*	
薄すぎる紙 (0.05 mm未満)	*	
厚すぎる紙 (0.15 mmを超える)		×
のりやテープで貼り合わせた紙	×	×

* 白い紙などの上に原稿を置いて読み取ってください。

STOP お願い

クリップやホチキスの針は必ず取り除いてください。付けたまま送信すると、故障の原因となることがあります。

インクや修正液、のりなどが付いた原稿は、完全に乾かしてからセットしてください。



キャリアシートの使いかた(別売品)

キャリアシートは、当社指定のものをご使用ください。

キャリアシートは、原稿の表が透明フィルム側に向くようにはさみ、透明フィルム側を下に向けてとじしろの部分からセットします。

2枚以上のキャリアシートを同時にセットすることはできません。1枚ずつ送信してください。

原稿の色にご注意

 ファクシミリは、青色のボールペンやサインペンなどで書かれた原稿は、鮮明に読み取れないことがあります(ブルーブラックのインクや紺色に近い青の場合は問題ありません)。薄い鉛筆や、蛍光マーカーで書かれた文字も鮮明に読み取れません。

 赤は、黒と同様に鮮明に読み取ることができます。その代わりに、赤などの濃い地色の紙に黒で書かれた原稿は、地色と文字色がいずれも黒くなってしまうため、鮮明に送信できません。

 文字の小さな原稿や写真の入った原稿は、画質モードを設定することで鮮明なファクシミリを送信することができます。「写真や小さい文字の原稿を送る」(P.29)をご覧ください。

送信の準備

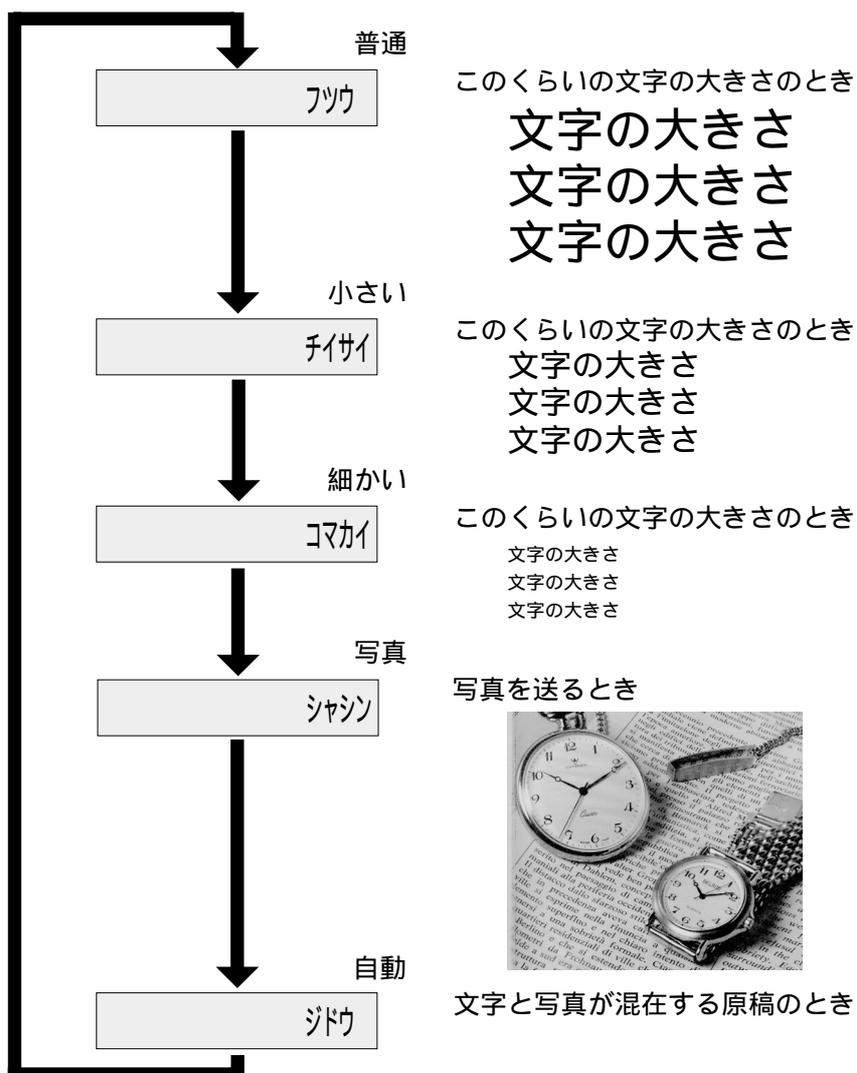
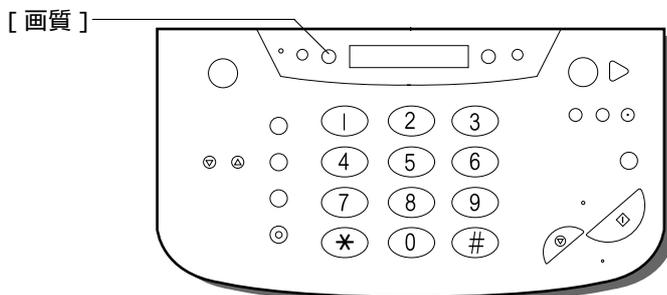
ファクシミリを送る前に知っておいていただきたい、原稿を鮮明に送るための設定と原稿のセットのしかたについて説明します。

写真や小さい文字の原稿を送る

文字の小さい原稿や写真のように濃淡のある原稿でも鮮明に送ったり、コピーをとったりすることができます。送信やコピーをする前に送る原稿の文字の大きさに合わせて[画質]ボタンで調節してください。

1 [画質] ボタンを押します。

現在の画質の設定が表示され、[画質] ボタンを押すごとにディスプレイの表示が変わります。2秒経つと、待機画面「4/30 12:00 0」(例)に戻ります。



ワンポイント

お買い求めいただいたときは「フツウ」に設定されています。

「コマカイ」に設定した場合、相手機によっては「チイサイ」で送信することがあります。

コピーのときは、「チイサイ」、「ジドウ」、「コマカイ」、「シャシン」の中から選んでください。「フツウ」に設定した場合は「チイサイ」でコピーします。

ハンドスキャナを使って送信するときやコピーするときは、「チイサイ」、「ジドウ」、「シャシン」の中から選んでください。

写真や濃淡のある原稿を送信するときやコピーをするときは、「シャシン」に設定してください。よりきれいに送信やコピーができます。

写真と文字がいっしょになっている原稿を送信するときやコピーするときは、「ジドウ」に設定してください。よりきれいに送信やコピーができます。

「ジドウ」、「シャシン」に設定した場合に、原稿によっては原稿の白い部分にゴマ模様の記録が出る場合があります。その場合には、読み取り濃度を「薄くプリント」または「より薄くプリント」に設定してください。⇒ (P.31)

ファクシミリの基本的なご注意



原稿の読み取りは、ハンドスキャナの原稿読み取り部で行います。読み取り部が汚れていると、その汚れは黒い縦線となって送信されてしまいます。読み取り部は月に一度くらい定期的に清掃をして常にきれいな状態にしておきましょう。清掃のしかたは、「ハンドスキャナ（原稿読み取り部とローラ）の清掃」(P.23)をご覧ください。



ファクシミリは、同じ大きさの原稿でも、黒い部分が多い原稿や色地の原稿、縦の罫線のある原稿では送信に時間がかかります。

色のついた原稿や薄い文字の原稿を送る

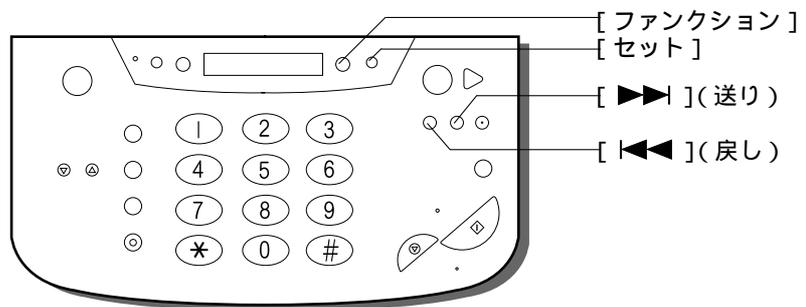
キャリアシートを使うときや、用紙に色がついているとき、原稿の文字が薄いときなどは、相手を読みやすいように読み取り濃度を調節することができます。送信やコピーをする前に調節してください。

ワンポイント

ビデオキャプチャを使ってビデオ画像を取り込んだときも、読み取り濃度の調節ができます。⇒ (P.102)

▶ 読み取り濃度の目安

コピーや黒ペン書きの原稿.....「」
カラー紙等の色地原稿や新聞紙などの濃い原稿.....「」
鉛筆書きなどの薄い原稿やキャリアシートを使っている原稿.....「」



1 [ファンクション] ボタンを押します。

キノセンタク シテクダ サイ

お願い

ハンドスキャナが外れていないことを確認してください。

2 [3] ボタンを押します。

セツテイ モード

設定モードになります。

3 [セット] ボタンを押します。

ヨミトリ ノド

4 読み取り濃度を [戻] ボタン、[送] ボタンで調節します。

5段階の調節ができます。[戻] ボタンを押すごとに薄くなり(濃い原稿を読み取るとき) [送] ボタンを押すごとに濃くなります(薄い原稿を読み取るとき)。

ヨトリ ノド'	より薄くプリントされます。
[▶▶▶]を押す [◀◀◀]を押す	
ヨトリ ノド'	薄くプリントされます。
[▶▶▶]を押す [◀◀◀]を押す	
ヨトリ ノド'	普通にプリントされます。
[▶▶▶]を押す [◀◀◀]を押す	
ヨトリ ノド'	濃くプリントされます。
[▶▶▶]を押す [◀◀◀]を押す	
ヨトリ ノド'	より濃くプリントされます。

5 [セット]ボタンを押します。

かんりょう

これで設定の操作は終わりです。

4/30 12:00 0

ワンポイント

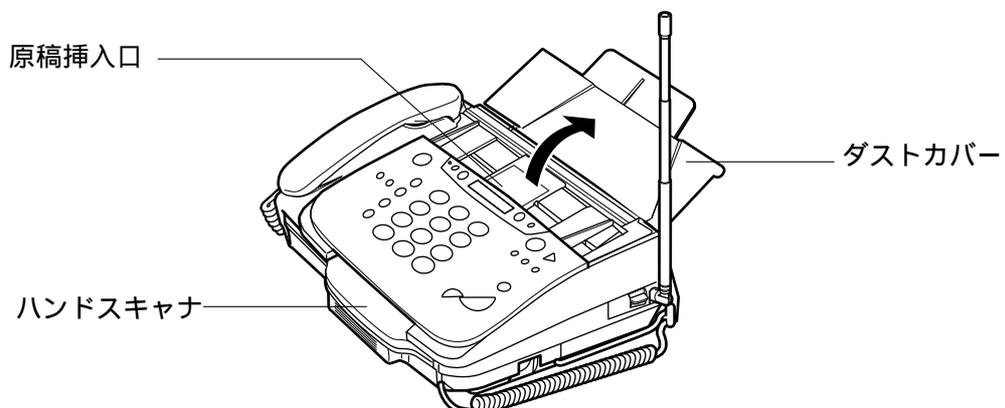
設定した状態は次に変更するまで変わりません。送信やコピーが終わったら「普通」に設定を戻してください。

読み取りの具合を確認したいときは、コピーをとって確認してください。
途中で設定をやめたいときは、[ストップ]ボタンを押してください。

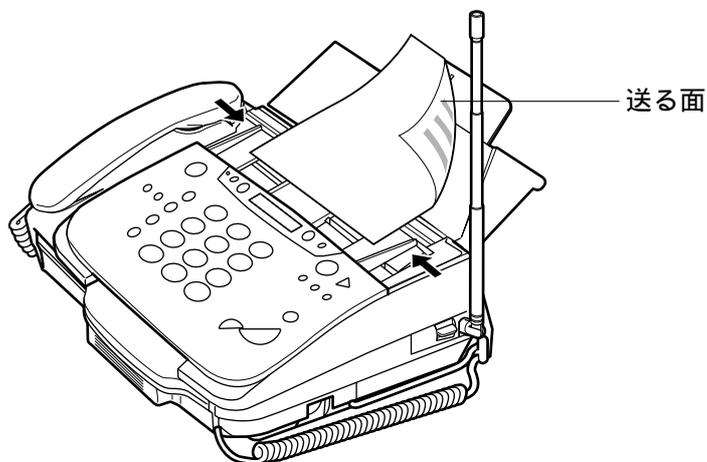
原稿セットのしかた

1 ダストカバーを開けます。

STOP **お願い**
ハンドスキャナが外れていないことを確認してください。

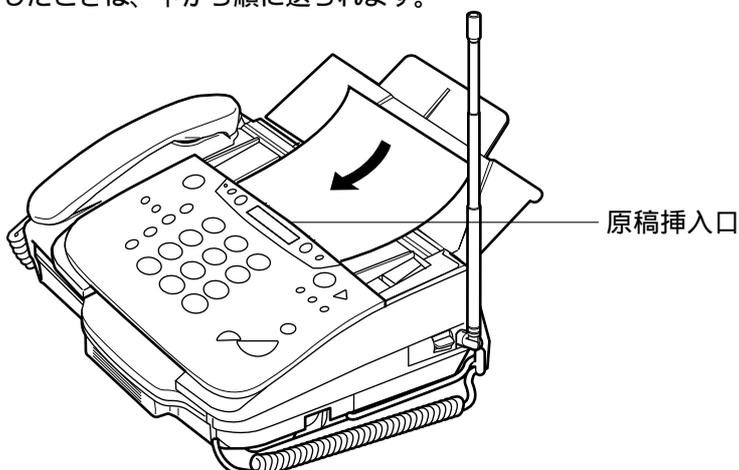


2 原稿の幅に原稿セットガイドを合わせます。



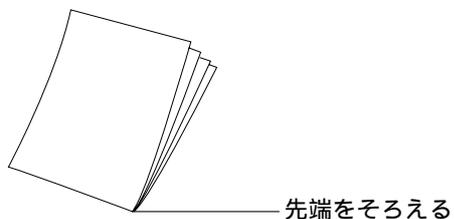
3 送る面を下に向けて、原稿の上の方から原稿挿入口に差し込みます。

原稿が自動的に引き込まれるまで、軽く差し込んでください。複数枚セットしたときは、下から順に送られます。



ワンポイント

原稿は一度に10枚までセットできます。複数枚セットするときは、先端をそろえてください。

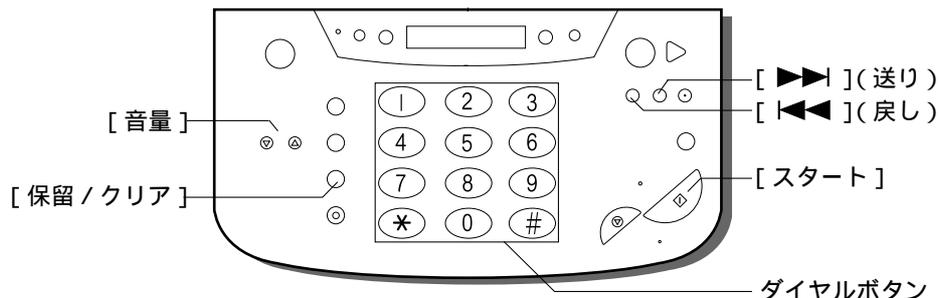


11枚以上の原稿を送ったり、コピーをするときは、何回かに分けて送信またはコピーをしてください。途中で原稿を追加することはできません。
幅や厚さの異なる原稿を同時にセットしないでください。
差し込んだ原稿を取り除きたいときは、[ストップ]ボタンを押してください。

送信のしかた

受話器をとらずに送ったり、電話で話をしてから送ったりできます。

ファクシミリを送る(自動送信)



1 原稿をセットします。

フック

「原稿セットのしかた」⇒ (P.32)
現在の画質の設定 (P.29) が表示されます。

2 相手先の電話(ファクシミリ)番号をダイヤルします。

0335095538_

受話器を置いたまま本体のダイヤルボタンでダイヤルします。
番号がディスプレイに表示されるので、間違いがないか確かめたうえで送信できます。

▶ 番号を押し間違えたら
最初から入れなおしたいときは、[保留/クリア]ボタンまたは[ストップ]ボタンを押します。間違えたところだけをなおしたいときは、[戻シ]ボタン、[送リ]ボタンでカーソルを動かしてください。

3 [スタート]ボタンを押します。

ダイヤルチュウ

送信が始まります。
送信が終わると、「ピーツ」という音がします。

アイテ: 0335095538

STOP お願い
原稿は、自動的に排出されます。一時的に排出が止まり、排出されるまでに時間がかかることがあります。無理に引き抜かないでください。

0335095538

▶ モニタ音量の調節
モニタスピーカから聞こえる呼び出し中の音は [音量] ボタンで調節できます。[](大) ボタンを押すと音が大きくなります。[](小) ボタンを押すと音が小さくなります。さらに [](小) ボタンを押すと音を鳴らさなくすることもできます。モニタ音量の設定は、送信が終わってももとに戻りません。

0335095538 P01

4/30 12:00 0

モニタ音量「切」
オリヨウ: - +

モニタ音量「小」
オリヨウ: - +

モニタ音量「中」
オリヨウ: - +

モニタ音量「大」
オリヨウ: - +

ワンポイント

ワンタッチダイヤル (P.40)、電子電話帳 (短縮ダイヤル) (P.41)、再ダイヤル (P.58) も使えます。

相手機種によっては、ディスプレイに相手先の名前(ワンタッチダイヤル・短縮ダイヤルに登録した場合)や電話番号が表示されます。ディスプレイには、12文字まで表示できます。13文字以上のときは後ろの部分を表示します。

電話がつながると、まず通信ランプ(緑色)が点滅します。送信を開始すると、通信ランプ(緑色)が点灯します。

送信が終わったら、ダストカバーを閉じてください。

途中で送信をやめたいときは、[ストップ]ボタンを押してください。送信終了後、残った原稿を排出するときは、もう一度[ストップ]ボタンを押すと、「ハイシュツチュウ」と表示し、原稿が排出されます。

▶ 相手先が話中のときは

サイハッコ マチ 1カイメ

ディスプレイに「サイハッコ マチ 1カイメ」(再発呼待ち 1回目)と表示されたときは、相手先が話中であることを示します。

この場合、3分間隔で2回まで、自動的にダイヤルしなおしますので、そのままお待ちください。2回ダイヤルしなおしても送信できないときは、不達レポートがプリントされます。しばらくしてから、もう一度送りなおしてください。

3分待たずに、すぐかけなおしたいときは、[再ダイヤル]ボタンを押してください。

原稿を取り出すときは、[ストップ]ボタンを2回押してください。

送信できなかったとき

ファクシミリが正常に送れなかったときは、不達レポートがプリントされます。

(例)

フタツ レポ ート					
1997 . 4 . 30 12 : 18					
スズキ					
ツウシン カイシ ニチジ	ツウシン シ カン	アイテサキ	モード	マイスウ	ツウシン ケッカ
4 . 30 12 : 17		0335095538	G3	0	ハナシチュウ

「ツウシン ケッカ」欄の見かた

ツウシンケッカ欄には、送信できなかった理由を次の様に表示します。

「ムオウトウ」.....・相手先のファクシミリが受信できない状態になっています。

- ・相手先が電話にお出になりません。
- ・電話回線が正しく接続されていないか、断線しているおそれがあります。

「ハナシチュウ」.....次のいずれかの場合に表示します。

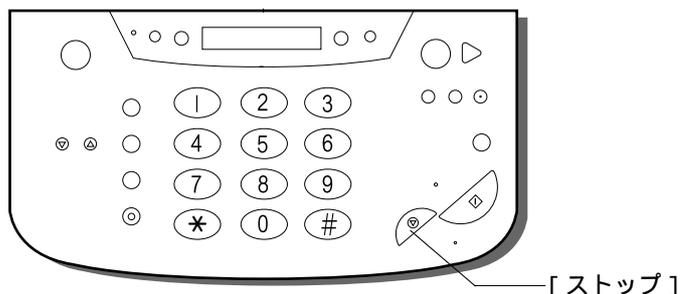
- ・相手先が話中です。
- ・回線が混み合っています。

「ヨビダシ」.....相手先から通話予約などで呼び出しを受けています。

「××」(2桁の数字) ... 「主なエラー番号」(P.148)をご覧ください。

送信の中断

相手先をうっかり間違えてしまったり、送り始めてから原稿の間違いに気づいた場合など、送信を中断したいときは、[ストップ]ボタンを押します。



海外へ送るときは

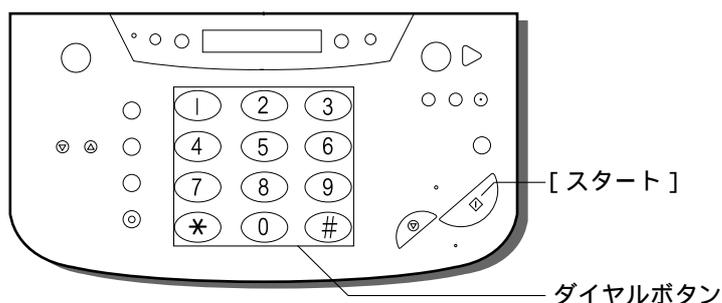
海外へファクシミリを送るときは、海外通信の設定をしてください。
⇒ (P.126)

話をしてから送る(手動送信)

相手先に電話をかけて、話をしてからそのままファクシミリを送ることができます。

ワンポイント

相手から電話がかかってきた場合でも、話をしたあとにそのままこちらからファクシミリを送ることもできます。



1 原稿をセットします。



「原稿セットのしかた」⇒ (P.32)
現在の画質の設定 (P.29) が表示されます。

2 受話器をとります。

「ツー」という音が聞こえます。

3 相手先の電話(ファクシミリ)番号をダイヤルします。



相手先を呼び出します。番号がディスプレイに表示されるので、間違いがないか確認できます。

▶ 番号を押し間違えたら
一度受話器を戻し、もう一度ダイヤルしなおしてください。

4 話をします。

ツウツカ 0 20

▶「ピーヒョロヒョロ」という音がしたときや何も音がしなくなったときは相手先が自動受信(ファクシミリだけを受信する状態)になっています。[スタート]ボタンを押してください。

5 相手に受信の操作をしてもらいます。

準備ができると「ピー」という音がしたり、何も音がしなくなります。

ワンポイント

こちらが先に[スタート]ボタンを押してから、相手に受信の操作をしてもらっても送信できます。

6 [スタート]ボタンを押し、受話器を戻します。

ソウシチュウ

送信が始まります。
受話器を戻しても、ファクシミリを送り終わるまで電話は切れません。
送信が終わると「ピーッ」という音がします。

0335095538 P01

お願い

原稿は自動的に排出されます。一時的に排出が止まり、排出されるまでに時間がかかることがあります。無理に引き抜かないでください。

4/30 12:00 0

ワンポイント

ワンタッチダイヤル(P.53)、電子電話帳(短縮ダイヤル)(P.54)、再ダイヤル(P.58)も使えます。

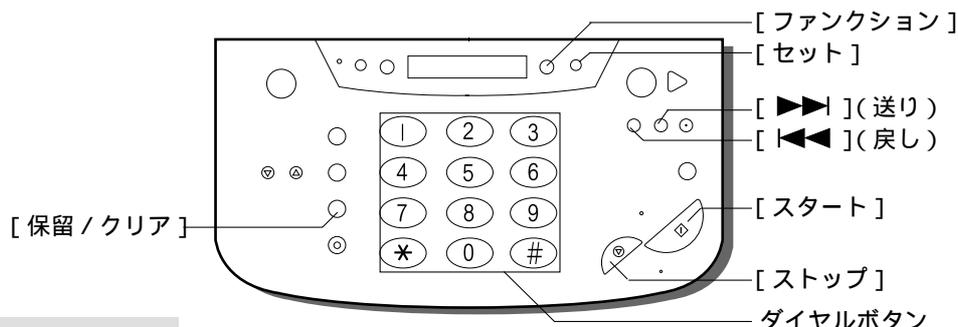
送信が終わったら、ダストカバーを閉じてください。

途中で送信をやめたいときは、[ストップ]ボタンを押してください。

原稿をメモリに読み込んでから送る（メモリ送信）

原稿をいったんメモリに読み取ってから、ファクシミリを送ることができます。ダイレクト送信に比べて原稿を読み取る速度が早く、送信が完了するまで待つ必要がありません。

メモリ送信をする前に、メモリ送信選択の設定をする必要があります。



メモリ送信選択の設定をする

1 [ファンクション] ボタンを2回押します。

キノウセンタク シテクダサイ

メモリソウシン

メモリ送信選択になります。

2 [◀◀] ボタン、[▶▶] ボタンを押して、メモリ送信をする () を選び、[セット] ボタンを押します。

メモリソウシン

ワンポイント

ダイレクト送信をするときは、「メモリ送信をしない」(×) に設定します。

メモリ送信選択の設定は、一度メモリ送信を行うと解除されます。メモリ送信をよく使う場合は、送信ホームポジションを「メモリ送信」に設定しておく、送信のたびにメモリ送信選択の設定をする手間が省けます。⇒ (P.126)

お問い合わせいただいたときは、「ダイレクト送信」に設定されています。

カンリョウ

4/30 12:00

0

メモリ送信をする

1 原稿をセットします。

フツウ

「原稿セットのしかた」⇒ (P.32)

現在の画質の設定 (P.29) が表示されます。

STOP **お願い**

メモリ送信選択の設定をしてから送信してください。

2 相手先の電話（ファクシミリ）番号をダイヤルします。

0335095538_

受話器を置いたまま本体のダイヤルボタンでダイヤルします。

番号がディスプレイに表示されるので、間違いがないか確認できます。

▶ 番号を押し間違えたら

最初から入れなおしたいときは、[保留/クリア] ボタンを押します。間違えたところだけをなおしたいときは、[◀◀] ボタン、[▶▶] ボタンでカーソルを動かしてください。

3 [スタート] ボタンを押します。

ゲンコウヨミトリチュウ P01

原稿の読み取りが始まります。
原稿の読み取りが終わると、送信が始まります。
送信が終わると、「ピーッ」という音がします。

ハコマチ

ダイヤルチュウ

アイテ:0335095538

0335095538

0335095538 P01

4/30 12:00 0

メモリフル P05

(5秒後)

04ページ ソウシマシ

ゲンコウ トツテクダサイ

ワンポイント

メモリには、「フツウ」モード (P.29) で、A4判に700字程度の文字が書かれた原稿を最大20枚程度記憶することができます。

ワンタッチダイヤル (P.40)、電子電話帳 (短縮ダイヤル) (P.41) も使えます。

相手機種によっては、ディスプレイに相手先の名前 (ワンタッチダイヤル・短縮ダイヤルに登録した場合) や電話番号が表示されます。ディスプレイには、12文字まで表示できます。13文字以上のときは後ろの部分を表示します。

原稿の読み取りが始まると、まずメモリランプ (緑色) が点灯します。送信を開始すると、通信ランプ (緑色) が点灯します。

原稿の読み取りが終わったら、ダストカバーを閉じてください。

途中で原稿の読み取りや送信をやめたいときは、[ストップ] ボタンを押してください。

相手先が話中のときは、3分間隔で2回まで自動的にダイヤルしなおします。

⇒ (P.35)

送信できなかったときは、不達レポートがプリントされます。⇒ (P.35)

メモリ送信をよく使うときは、送信ホームポジションで「メモリ送信」に設定しておきます。送信ホームポジションを設定しておく (P.126) と、メモリ送信をするときに、「メモリ送信選択の設定をする」の手順1~2の操作 (P.38) をする手間が省けます。

原稿の読み取り中にメモリがいっぱいになったとき

「ピーピーピーピーピー」という音がしてアラームランプ (赤色) が点灯し、何ページ目の読み取り中にメモリがいっぱいになったかをディスプレイに表示します。

5秒後に、メモリに読み取った原稿のみを送信するかどうかの選択画面が表示されます。([ストップ] ボタンを押すと、すぐに表示されます。)

・読み取った原稿のみを送信するとき

[スタート] ボタンを押すと、メモリに読み取ったページまでが送信されます。メモリフルが発生したページ (左記のディスプレイ表示例では5ページ目) は送信されません。

60秒間何も操作せずにいると、自動的に送信が始まります。

・読み取った原稿も含めて送信をやめるとき

[ストップ] ボタンを押します。

もう一度 [ストップ] ボタンを押して、原稿を排出してください。

ワンポイント

1ページ目の読み取り中にメモリがいっぱいになったときは、[ストップ] ボタンを押すと「ゲンコウ トツテクダサイ」とディスプレイに表示されます。

もう一度 [ストップ] ボタンを押して、原稿を排出してください。

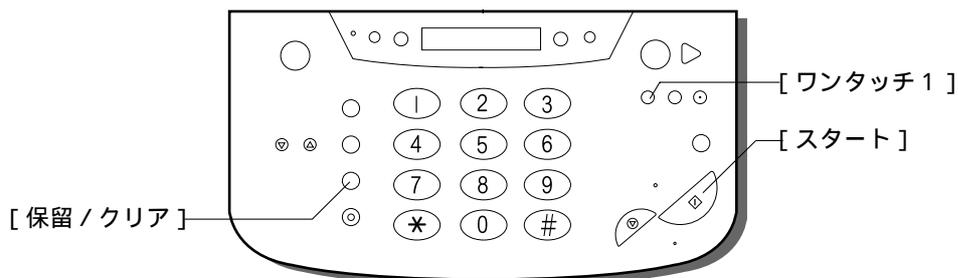
送信できなかった原稿があるときは、メモリが空ののを待って送信しなおすか、ダイレクト送信で送信してください。⇒ (P.34、36)

ワンタッチダイヤルでファクシミリを送る

ワンタッチダイヤルに登録してある相手先に、ワンタッチボタンを押すだけでファクシミリを送ることができます。

STOP お願い

ファクシミリを送る前にワンタッチダイヤルの登録が必要です。ワンタッチダイヤルの登録のしかたはP.120をご覧ください。



1 原稿をセットします。

フツ

「原稿セットのしかた」⇒ (P.32)
現在の画質の設定 (P.29) が表示されます。

2 ワンタッチボタンを押します。

アイテ:エイキ ヨウ

例 [ワンタッチ1]ボタンでかける場合
[ワンタッチ1]ボタンを押します。

ファクシミリを送りたい相手先を登録したワンタッチボタンを押します。ディスプレイに登録した相手先の名前が表示されるので、間違いがないか確かめたうえで送信できます。

▶ ワンタッチボタンを押し間違えたら

[保留/クリア]ボタンを押してから、ワンタッチボタンを押しなおしてください。

▶ ワンタッチダイヤルが登録されていないときは

ワンタッチダイヤルが登録されていないワンタッチボタンを押すと、ディスプレイに「デンワバンゴウミトウロク」と表示され、送信できません。ワンタッチダイヤルを登録してから送りなおしてください。

3 [スタート]ボタンを押します。

ダイヤルチュウ

ワンポイント

[スタート]ボタンを押さなくても、7秒後にダイヤルを始めます。
途中で送信をやめたいときは[ストップ]ボタンを押してください。

アイテ:エイキ ヨウ

エイキ ヨウ

エイキ ヨウ P01

4/30 12:00 0

STOP お願い

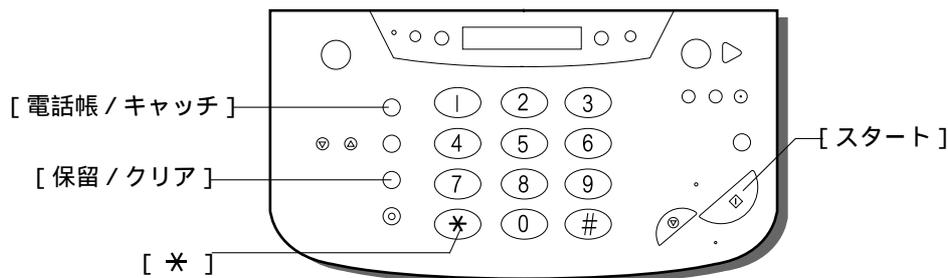
電話番号とファクシミリ番号を別にしている相手先にファクシミリを送るときは、ワンタッチボタンにどちらの番号を登録しているか注意してください。

電子電話帳（短縮ダイヤル）でファクシミリを送る

電子電話帳（短縮ダイヤル）に登録してある相手先の名前を検索して、ファクシミリを送ることができます。また、短縮番号をダイヤルボタンに入れて、相手先を指定することもできます。

STOP お願い

ファクシミリを送る前に電子電話帳（短縮ダイヤル）の登録が必要です。電子電話帳（短縮ダイヤル）の登録のしかたは P.120をご覧ください。



1 原稿をセットします。

フツ

「原稿セットのしかた」⇒（P.32）
現在の画質の設定（P.29）が表示されます。

2 [電話帳/キャッチ] ボタンを押します。

アテ:エイ ヨウ

最も若い短縮番号に登録してある相手先の名前が表示されます。

3 ファクシミリを送りたい相手先を [電話帳/キャッチ] ボタン、[*] ボタンを押して表示させます。

アテ:ソム

[電話帳/キャッチ] ボタンを繰り返して押すと短縮番号順に相手先が表示され、[*] ボタンを押すとひとつ前の相手先が表示されます。

ワンポイント

短縮番号（01～10）をダイヤルボタンに入れて相手先を指定することもできます。01～10以外の番号を入れると、ディスプレイに「シテイ デキマセン」と表示され、送信できません。また、相手先を登録していない短縮番号を入れると、ディスプレイに「デンワバンゴウミトウロク」と表示され、送信できません。短縮番号を入れたときは、7秒後に自動的にダイヤルされます。短縮番号を間違えたときは、[保留/クリア] ボタンを押してからダイヤルしなおしてください。

例 短縮番号04にかける場合
[0] [4] ボタンを押します。

タンシユク 04

STOP お願い

電話番号とファクシミリ番号を別にしている相手先にファクシミリを送るときは、短縮ダイヤルにどちらの番号を登録しているか注意してください。

4 [スタート]ボタンを押します。

ダイヤルチュウ

ワンポイント

短縮番号を入れたときは、[スタート]ボタンを押さなくても7秒後にダイヤルを始めます。

途中で送信をやめたいときは[ストップ]ボタンを押してください。

アイト:ソム

ソム

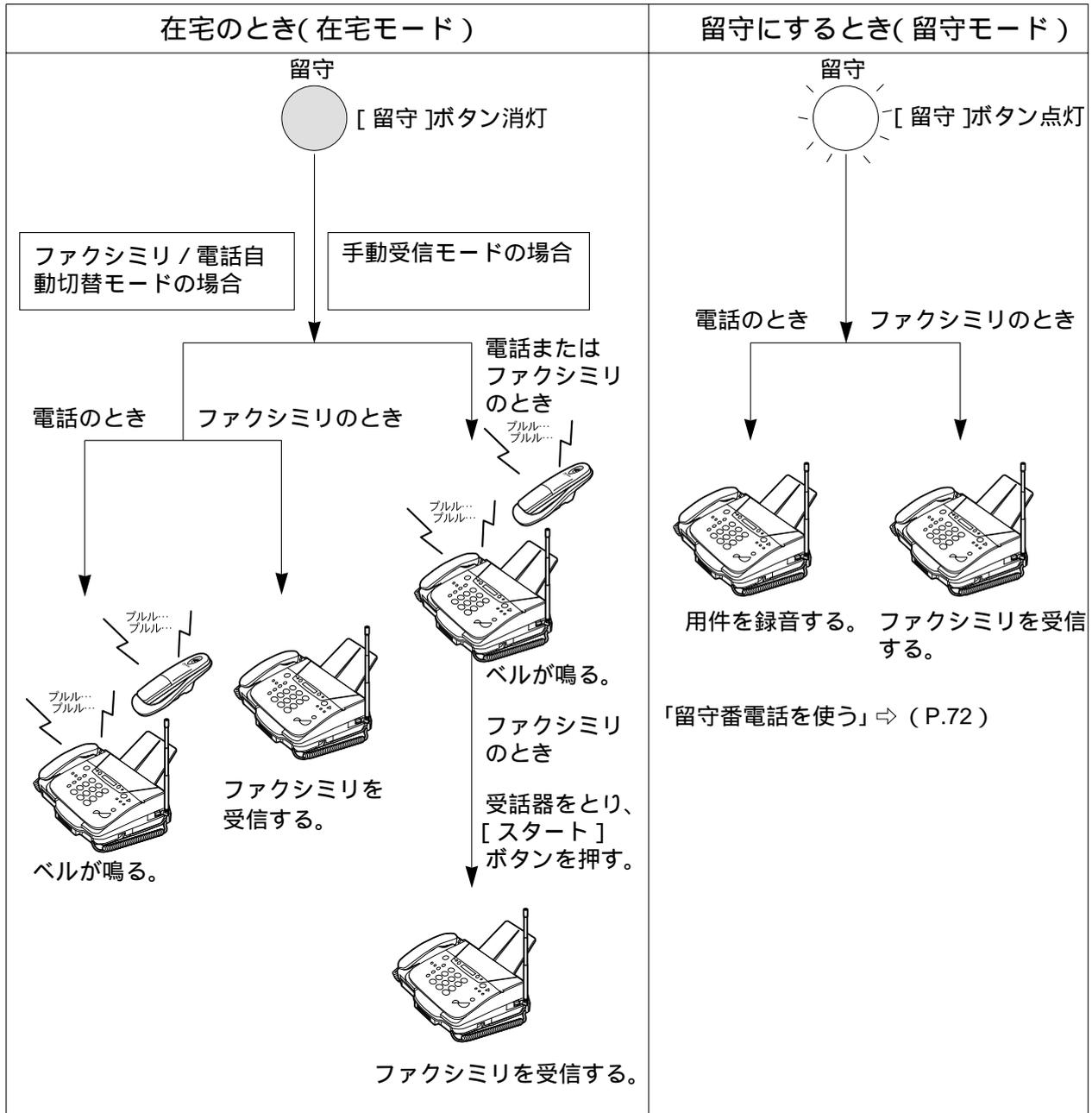
ソム P01

4/30 12:00 0

受信のしかた

受信モードについて

本機は、在宅のときと留守にするときとで受信モードを切り替えて使用できます。



在宅モードには、「手動受信モード」と「ファクシミリ/電話自動切替モード」があります。

「手動受信モード」では、電話とファクシミリのどちらがかかっても、ファクシミリを受信するときは手動受信の操作を行ってファクシミリを受信します。

「ファクシミリ/電話自動切替モード」では、電話とファクシミリのどちらがかかってきたかを本機が判断して、ファクシミリのときは自動的にファクシミリを受信します。

ワンポイント

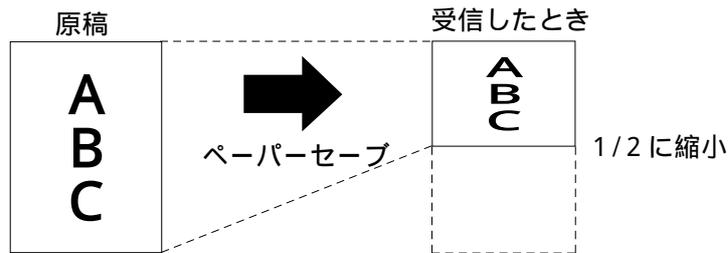
ファクシミリの受信中に記録紙がなくなったときは受信を中断し、次に受信した住所からは自動的にメモリに記憶されます。メモリには、「フツウ」モードで送られてきた、A4判に700字程度の文字が書かれた原稿で、最大20枚程度記憶することができます。新しい記録紙を入れると、受信文書が自動的にプリントされます。⇒(P.132)

記録紙を節約して受信すること(ペーパーセーブ受信)ができます。ペーパーセーブ受信の設定をしておくと、ファクシミリを受けるときに縦方向に1/2に縮小してプリントされます。⇒(P.124)

相手が「普通」の文字の大きさに送ってきたときだけペーパーセーブ受信がはたらきます。「自動」、「小さい」、「細かい」、「写真」で送信してきたときはペーパーセーブ受信することはできません。

お買い求めいただいたときは、ペーパーセーブ受信の設定はされていません。

ペーパーセーブ受信したときのプリント例



受信したファクシミリのページ間を切断したくないときは、手動カットモードを設定します。⇒(P.126)

手動カットモードでは、ページ間と最後のページの終わりに破線がプリントされます。

お買い求めいただいたときは、自動カットモードになっています。

お願い

ファクシミリを受信すると、原稿読み取り部のランプが点灯します。光源自体は無害ですが強い光が出ますので、ハンドスキャナを外しているときは光源を見ないようにご注意ください。

電話を優先した使いかた(手動受信モード)

ファクシミリを受ける回数が少ないため、ファクシミリを自動的に受信する必要がない場合や、なるべく相手に料金を負担させないようにしたい場合は、着信ベルの回数を無制限に設定することで「ファクシミリ/電話自動切替」しないようにすることができます(手動受信モード)。手動受信モードにすると、電話のときもファクシミリのときも普通の電話機と同じようにベルが鳴り続け、こちらが受話器をとったところから相手先に通話料金がかかります。手動受信モードは、着信ベル回数で設定してください。⇒(P.124)

お願い

手動受信モードに設定すると、ファクシミリを自動的に受信することはできません。受話器をとって受信の操作をしてください。⇒(P.48)

手動受信モードにしても、留守番電話を留守設定にしたときはファクシミリを自動的に受信します。

相手が自動送信のファクシミリの場合、ベルが10回以上鳴ると受信できないことがあります。

早めに受話器をとるようにしてください。

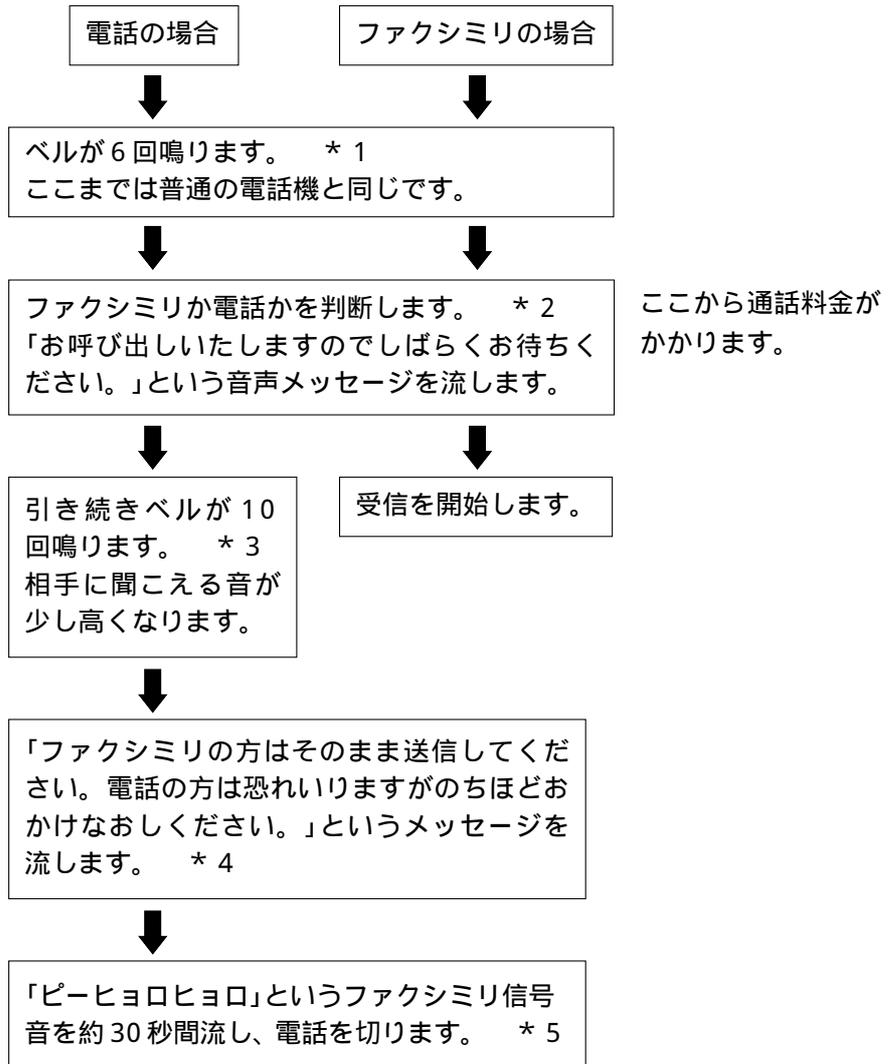
無鳴動着信(P.124)をするに設定しているときは、手動受信モードの設定が無効になります。

在宅モードを手動受信モードに設定している場合、留守番電話のセットを忘れて外出したときなどは外から本機をリモート操作することはできません。外から本機をリモート操作する場合は留守番電話を忘れずにセットするか、在宅モードをファクシミリ/電話自動切替モードにしておいてください(着信ベル回数を無制限以外に設定してください)。

ファクシミリ / 電話自動切替のしくみ

かかってきた電話にだれも出ないと

電話がかかったときにだれも電話に出ないと、本機は電話をつないで、相手がファクシミリか普通の電話かを自動的に判断します(ファクシミリ/電話自動切替)。ファクシミリの場合には自動的に受信します。電話の場合はあらかじめ設定した回数だけベルを鳴らし、その間にだれも電話をとらないと電話を切ります。



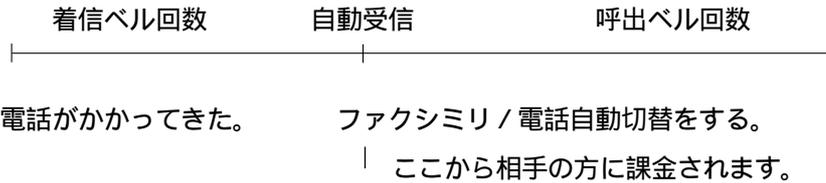
- * 1 着信ベル回数は、1回～19回または、無制限(手動受信モード)に設定できます。⇒(P.124)
0回にしたいときは「無鳴動着信」を設定します。⇒(P.124)
- * 2 音声メッセージを流さないようにすることもできます。⇒(P.124)
- * 3 呼出ベル回数は、1回～19回まで設定できます。⇒(P.124)
- * 4 メッセージを流し終わる前に受話器をとれば、話をする事ができます。
- * 5 ベルが止まったあと相手に「ピーヒョロヒョロ」というファクシミリ信号音を約30秒流します。この間に相手がファクシミリの送信操作を行うと受信を開始します。

ワンポイント

着信ベル回数と呼出ベル回数については、「呼び出し回数について」(P.46)をご覧ください。
留守番電話をセットしたときは、ベルの鳴りかたや動作のしかたが異なります。詳しくは、「留守番電話を使う」(P.72)をご覧ください。

呼び出し回数について

電話がかかってきたときに、相手に聞こえる呼出音の回数は、次のようになります。



着信ベルと呼出ベルの鳴る回数は、それぞれ変更することができます。ご自分の使いかたに合わせて設定してください。⇒ (P.124)

▶ 手動受信の場合

着信ベルの回数を無制限(手動受信モード)にします。

▶ 電話を主に使うがファクシミリのときは自動的に受信したい場合の設定例

お買い求めいただいたときの状態でお使いください。

着信ベル = 6回

呼出ベル = 10回

STOP お願い

着信ベルを10回以上に設定した場合、相手が自動送信で送ってきたときに受信できないことがあります。

▶ ファクシミリを主に使う場合の設定例

無鳴動着信に設定し、すぐに「ファクシミリ / 電話自動切替」するようにします。

着信ベル = 無鳴動着信

呼出ベル = 10回

📞 ワンポイント

無鳴動着信に設定すると、着信してから5秒程度は、相手が電話であってもベルが鳴りません。

電話を受ける

電話がかかってくるとベルが鳴り、[おやすみ]ボタンが点滅します。受話器をとって話をしてください。

▶ コードレス電話機で電話をとるとき

コードレス電話機を充電器からとります。充電器に置いていないときは[外線]ボタンを押します。

ワンポイント

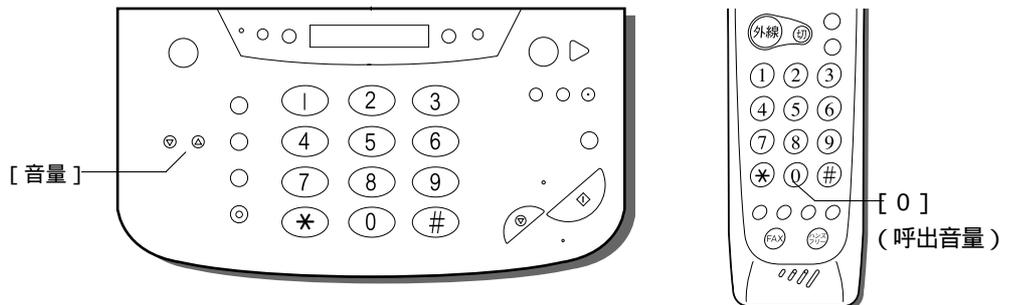
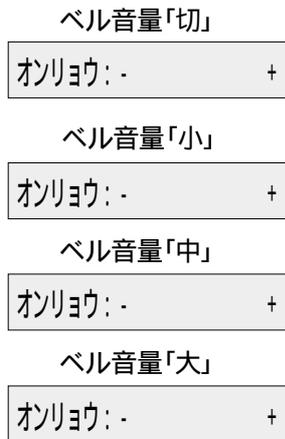
本体の受話器は、補聴器をお使いの方に通話が聞き取りやすい「補聴器対応受話器」(ヒヤリングエイド対応)です。お使いいただけるのは、誘導コイルタイプの補聴器の場合です。(コードレス電話機は補聴器対応ではありません。)

コピー中に電話がかかってきた場合には、本体の受話器で受けるようにしてください。コードレス電話機で電話をとると、雑音がする場合があります。そのような場合は、[ストップ]ボタンを押して、途中でコピーを停止させてください。

呼出ベルの音量の調節

本体のベルの音量は[音量]ボタンで調節できます。待機中(電話もファクシミリも使用していないとき)に、[] [大]ボタンを押すと音が大きくなります。[] [小]ボタンを押すと音が小さくなります。さらに[] (小)ボタンを押すと呼出音を鳴らさなくすることもできます。(コードレス電話機の呼出音は鳴ります。)

ベルの音量は、次のように表示されます。



ワンポイント

[音量]ボタンを押すごとに、設定した大きさで呼出ベルが1回鳴ります。呼出ベルの音量を確認してください。

ドアホンを接続している場合、呼出ベルの音量を調節するとドアホンの呼出音量も変わります。ただし、ベル音量を「切」にしてもドアホンの呼出音は「小」の音量で聞こえます。

▶ コードレス電話機の呼出ベルの音量を調節するとき

コードレス電話機のベルの音量は[0](呼出音量)ボタンで調節できます。電話を切った([外線]ボタンが消えている)状態で、[0](呼出音量)ボタンを1秒以上押し続けると、そのとき設定されている音量でベルが鳴ります。続けて[0](呼出音量)ボタンを押し続けると、ベルの音量が次の順番で切り替わります。

「切」(「ピピッ」という音がします) 「標準」 「大」

ワンポイント

内線電話の呼出ベルを鳴らさないようにすることはできません。

コードレス電話機の呼出ベルを鳴らさないように設定すると、設定を変更するまでコードレス電話機のベルが鳴らなくなります。

話をしてからファクシミリを受ける

電話で話をしたあとに、そのまま電話を切らずにファクシミリの受信をすることができます。

1 相手と話をします。

ワンポイント

どちらから電話をかけた場合でも、ファクシミリを受けることができます。

▶ 受話器から「ポー・ポー・ポー…」という音がしたときは
相手が自動送信のファクシミリです。[スタート]ボタン(またはコードレス電話機の[FAX]ボタン)を押してください。

2 相手に送信の操作をしてもらいます。

「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえます。

▶ 何も音が聞こえないときは
相手機によっては何も音が聞こえないことがあります。呼びかけて応答がないことを確認してから、[スタート]ボタン(またはコードレス電話機の[FAX]ボタン)を押してください。

3 [スタート]ボタンを押します。

受信を開始し、受信した文書がプリントされます。

ワンポイント

先にこちらで[スタート]ボタン(またはコードレス電話機の[FAX]ボタン)を押してから相手に送信の操作をしてもらっても、受信することができます。

「ジュシンチュウ」と表示されているとき以外は、[ストップ]ボタンを押しても、途中で受信をやめることはできません。

こちらと相手先の両方で受話器を上げたまましていると、ファクシミリを受信したあとにもう一度話をすることができます。ただし、コードレス電話機で話をしていたときは、もう一度話をすることはできません。

▶ コードレス電話機で電話をしていたときは
[FAX]ボタンを押します。

ワンポイント

親切受信をするに設定すると、相手から「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえれば、[スタート]ボタンを押さずに受話器を戻すだけで受信させることができます。

お願い

記録紙スタッカに、受信した記録紙をためすぎないようにしてください。11枚以上ためると記録紙づまりの原因となることがあります。

相手が話をしないで送ろうとしているファクシミリ(自動送信)の場合は、受話器をとらなくても、ベルが6回鳴ると自動的にファクシミリの受信を始めます。

詳しくは、「ファクシミリ/電話自動切替のしくみ」(P.45)をご覧ください。

ファクシミリが入ったときはすぐに受信するようにしたいときは、ベルの鳴る回数を少なく設定してください。詳しくは、「呼び出し回数について」(P.46)をご覧ください。

ファクシミリを受ける(親切受信)

電話をとったときに相手がファクシミリであることがわかったら(「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえたあと「ファクシミリを受信します。受話器を置いてお待ちください。」と聞こえたら)、そのまま受話器を戻すだけでファクシミリの受信を開始させることができます。

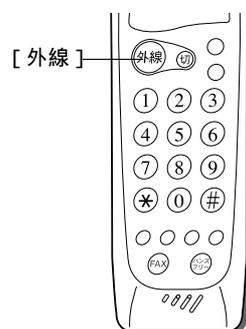
「親切受信」の設定(P.126)を「する」にしてください。

1 ベルが鳴ったら受話器をとります。

「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえたあと、「ファクシミリを受信します。受話器を置いてお待ちください。」と聞こえます。

▶ コードレス電話機で電話をとるとき

コードレス電話機を充電器からとります。充電器に置いていないときは[外線]ボタンを押します。



2 受話器を戻します。

受信を開始します。

受話器を戻しても、ファクシミリを受け終わるまで電話は切れません。全部受信し終わると、「ピーツ」という音がします。

▶ コードレス電話機で電話をとったとき

コードレス電話機を充電器に戻します。

ワンポイント

「ファクシミリを受信します。受話器を置いてお待ちください。」というメッセージが聞こえ始めたら、メッセージの途中で受話器を戻しても受信を開始します。

「ジュシンチュウ」と表示されているとき以外は、[ストップ]ボタンを押しても、途中で受信をやめることはできません。

▶ 受話器から声が聞こえたときは

受話器をとって人の声がしたときは普通の電話です。そのまま話をしてください。

▶ 何も音が聞こえないときは

相手がファクシミリの場合、何も音が聞こえないことがあります。

呼びかけて応答がないことを確認してから、[スタート]ボタン(またはコードレス電話機の[FAX]ボタン)を押してください。

STOP お願い

キャッチホンが入った場合等で[電話帳/キャッチ]ボタンをご使用になった場合は、親切受信はできません。ファクシミリの受信を行う場合は、[スタート]ボタンを押してください。

親切受信をしないに設定したときは、[スタート]ボタン(またはコードレス電話機の[FAX]ボタン)を押してから受話器を戻してください。

相手の電話から入る声質や音により、誤ってファクシミリの受信状態になることがあります。このような場合は、親切受信しないに設定してください。

周囲の騒音等により「ポー・ポー・ポー...」という音がしても、メッセージが流れないことがあります。このような場合は[スタート]ボタンを押して受信してください。

コピー中や登録・設定中にファクシミリが入ったときは、親切受信できません。このような場合は、コピーや登録・設定を中断すると、受信します。

コピーのしかた

本機を使って、簡単にコピーをとることができます。本機でとったコピーで、相手に送るファクシミリの状態を確認することができます。

ワンポイント

本などをコピーしたいときは、ハンドスキャナを使ってコピーします。詳しくは、「ハンドスキャナを使う」(P.92)をご覧ください。

お願い

法律によりコピーが禁じられているものもあります。以下のようなもののコピーには注意してください。

- 法律で禁止されているもの(絶対にコピーしないでください)
- 貨幣、紙幣、公債証書、政府発行の有価証券、郵便切手、印紙等(以上外国で発行されたものを含む)
- 著作権のあるもの
- 書籍、楽譜、絵画、版画、地図、図面、映画、写真等
- その他注意を要するもの
- 民間発行の有価証券、パスポート、免許証、身分証明書、食券、定期券、回数券等

1 原稿をセットします。

「原稿セットのしかた」⇒(P.32)

2 [スタート]ボタンを押します。

コピー -チュウ P01

コピーを始めます。
コピーした文書は、1枚ずつカットされ記録紙スタッカにページ順に重ねられます。
すべてコピーが終わると、「ピーッ」という音がします。これでコピーは終わりです。

お願い

原稿は自動的に排出されます。無理に引き抜かないでください。
記録紙スタッカに、コピーした記録紙をためすぎないようにしてください。11枚以上ためると記録紙づまりの原因となることがあります。
白紙が出たときは、記録紙の向きを確認してください。⇒(P.14)

ワンポイント

コピーが終わったら、ダストカバーを閉じてください。
途中でコピーをやめたいときは、[ストップ]ボタンを押してください。
コピー中に電話がかかってきた場合には、本体の受話器で受けるようにしてください。
コードレス電話機で電話をとると雑音がする場合があります。そのような場合は、[ストップ]ボタンを押して、途中でコピーを停止させてください。

電話のかけかた

本体で電話をかける

STOP お願い

コードレス電話機が使われているときは、ディスプレイに「ナイセン2 ショウチュウ」と表示されます。コードレス電話機が使用中のときは、電話をかけることはできません。

1 受話器をとります。

「ツー」という音が聞こえます。

2 相手先の電話番号をダイヤルします。

0335098571_

相手先を呼び出します。番号がディスプレイに表示されるので、間違いがないか確認できます。

▶ 番号を押し間違えたら
一度受話器を戻し、もう一度ダイヤルしなおしてください。

3 話をします。

ツウワジ^カ 0'35"

4 用件が済んだら、受話器を戻します。

ツウワジ^カ 1'15"

4/30 12:00 0

相手の声が聞き取りにくいときは（受話音量の調節）

話をしている、相手の声が小さくて聞き取りにくいときなどは、[音量]ボタンで受話音量(相手の声)を調節できます。話をしながら、[] [大]ボタンを押すと音が大きくなります。[] [小]ボタンを押すと音が小さくなります。受話音量の設定は、電話を切ってももとに戻りません。受話音量は、次のように表示されます。

受話音量「小」

オリヨウ: - +

受話音量「標準」

オリヨウ: - +

受話音量「大」

オリヨウ: - +

[音量]



ワンポイント

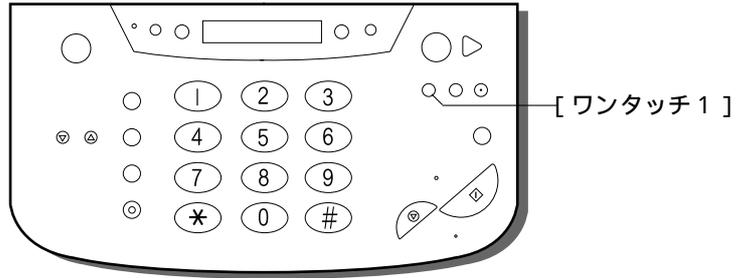
本体の受話器は、補聴器をお使いの方に通話が聞き取りやすい「補聴器対応受話器」(ヒヤリングエイド対応)です。お使いいただけるのは、誘導コイルタイプの補聴器の場合です。(コードレス電話機は補聴器対応ではありません。)

ワンタッチダイヤルで電話をかける

STOP

お願い

電話をかける前にワンタッチダイヤルの登録が必要です。ワンタッチダイヤルの登録のしかたはP.120をご覧ください。



1 受話器をとってワンタッチボタンを押します。

ダイヤル

例 [ワンタッチ1]ボタンでかける場合
[ワンタッチ1]ボタンを押します。

アイキョウ

電話をかけたい相手先を登録したワンタッチボタンを押します。相手先を呼び出します。ディスプレイに登録した相手先の名前が表示されるので、間違いがないか確認できます。

ワンポイント

受話器をとらずにワンタッチボタンを押して電話をかけることもできます。

STOP お願い

電話番号とファクシミリ番号を別にして登録している相手先に電話をかけるときは、ワンタッチボタンにどちらの番号を登録しているか注意してください。

▶ ワンタッチボタンを押し間違えたら

一度受話器を戻し、ワンタッチボタンを押しなおしてください。

▶ ワンタッチダイヤルが登録されていないときは

ワンタッチダイヤルが登録されていないワンタッチボタンを押すと、ディスプレイに「デンワバンゴウミトウロク」と表示され、送信できません。ワンタッチダイヤルを登録してから送りなおしてください。

2 話をします。

ツウジカ 0'35"

3 用件が済んだら受話器を戻します。

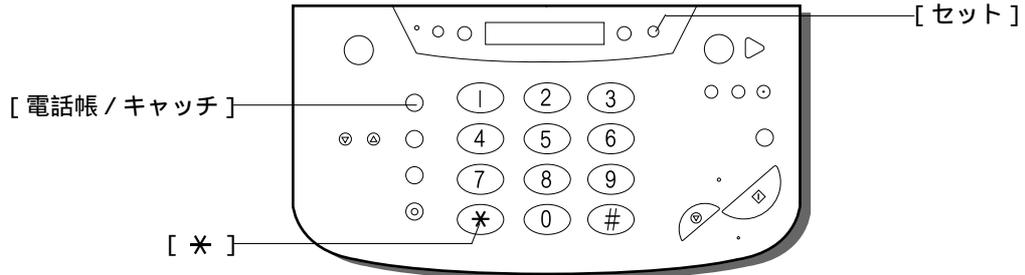
ツウジカ 1'15"

4/30 12:00 0

電子電話帳（短縮ダイヤル）で電話をかける

STOP お願い

電話をかける前に電子電話帳（短縮ダイヤル）の登録が必要です。電子電話帳（短縮ダイヤル）の登録のしかたはP.120をご覧ください。



1 受話器をとって [電話帳/キャッチ] ボタンを押します。

ア行:イキョウ

最も若い短縮番号に登録してある相手先の名前が表示されます。

ワンポイント

受話器をとらずに [電話機/キャッチ] ボタンを押して電話をかけることもできます。

2 電話をかけたい相手先を [電話帳/キャッチ] ボタン、[*] ボタンを押して表示させます。

ア行:ソウム

[電話帳/キャッチ] ボタンを繰り返して押すと短縮番号順に相手先が表示され、[*] ボタンを押すとひとつ前の相手先が表示されます。

ワンポイント

短縮番号（01～10）をダイヤルボタンに入れて相手先を指定することもできます。01～10以外の番号を入れると、ディスプレイに「シテイ デキマセン」と表示され、送信できません。また、相手先を登録していない短縮番号を入れると、ディスプレイに「デンワパンゴウミトウロク」と表示され、送信できません。短縮番号を入れたときは、7秒後に自動的にダイヤルされます。短縮番号を間違えたときは、[保留/クリア] ボタンを押してからダイヤルしなおしてください。

例 短縮番号04にける場合
[0] [4] ボタンを押します。

タンシユク 04

STOP お願い

電話番号とファクシミリ番号を別になっている相手先にファクシミリを送るときは、短縮ダイヤルにどちらの番号を登録しているか注意してください。

3 [セット] ボタンを押します。

ダイヤルチュウ

短縮番号を入れたときは [セット] ボタンを押す必要はありません。受話器をとらずに [電話帳/キャッチ] ボタンを押したときは、[セット] ボタンを押してください。

ア行:ソウム

4 話をします。

ツウワジ カン 0'35"

5 用件が済んだら受話器を戻します。

ツウワジ カン 1'15"

4/30 12:00 0

コードレス電話機で電話をかける

STOP お願い

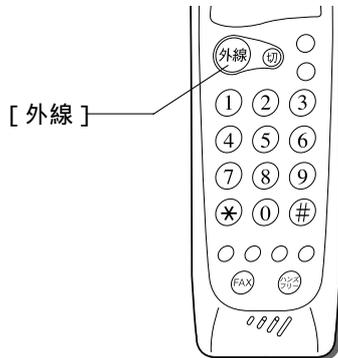
本体が使われているときは、電話をかけることはできません。
通話中に「ピーピーピー...」という音がしたときは、本体から離れすぎています。音がなくなるまで本体に近づいてください。そのままの状態でも10秒以上経つと電話が保留されます（相手にはメロディ音が流れます）。本体に近づき〔外線〕ボタンを押すと、もう一度話ができます。
本体から離れすぎたまま、1分以上経過すると電話が切れてしまいます。
スクランブル機能の設定をしておくと、ファクシミリ本体とコードレス電話機間の電波を傍受されても電話の内容が盗聴されにくくなっております。ただし第三者が特殊な手段を講じた場合には、盗聴を完全に防ぐことはできませんので、十分にご配慮のうえご使用ください。また、スクランブル機能の設定をすると、音質が多少変わる場合があります。お問い合わせいただいたときは、スクランブル機能の設定はされていません。⇒（P.126）
充電器に戻す向きを間違えると電話が切れず充電もできません。着信/充電ランプが点灯するようにコードレス電話機を置いてください。⇒（P.17）

1 コードレス電話機を充電器からとります。

〔外線〕ボタンが点滅したあと、〔外線〕ボタンとダイヤルボタンが点灯し、「ツー」という音がします。

▶ コードレス電話機を充電器に置いていないとき

〔外線〕ボタンを押します。〔外線〕ボタンとダイヤルボタンが点灯します。



2 相手先の電話番号をダイヤルします。

相手先を呼び出します。

▶ 番号を押し間違えたら

一度充電器に戻し、もう一度ダイヤルしなおすか、〔切〕ボタンを押して電話を切り、もう一度〔外線〕ボタンを押してからダイヤルしなおしてください。

3 話をします。

4 用件が済んだら、コードレス電話機を充電器に戻します。

ワンポイント

充電器に戻す代わりに、〔切〕ボタンを押しても結構です。

▶ 相手の声が聞き取りにくいときは（受話音量の調節）

コードレス電話機で話をしていて、相手の声が小さくて聞き取りにくいときは、〔外線〕ボタンを押してください。〔外線〕ボタンを押すごとに、受話音量（相手の声）が次の順番で変わります。

受話音量の設定は、充電器に戻したあとももとに戻りません。

「標準」 「大」 「特大」

通常は、受話音量の設定を「標準」または「大」でご使用ください。受話音量を大きくすると、音が割れたり、歪んだりすることがあります。「特大」の設定は、「大」の設定で音が小さい場合にお使いください。

ワンポイント

コードレス電話機の使い方については、付録の早見表（「コードレス電話機の使い方」）をご利用ください。

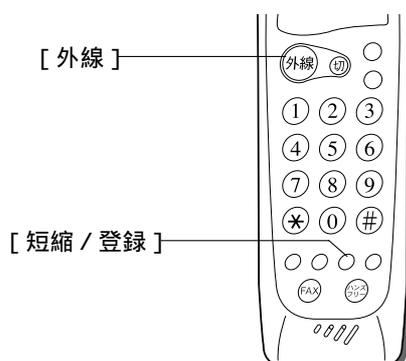
コードレス電話機の短縮ダイヤル

本体の短縮ダイヤルとは別に、コードレス電話機の短縮ダイヤルに、よくかける相手先を登録できます。コードレス電話機の短縮ダイヤルは、10カ所まで相手先を登録できます。

コードレス電話機の短縮ダイヤルで電話をかける

STOP お願い

電話をかける前に短縮ダイヤルの登録が必要です。詳しくは、「コードレス電話機の短縮ダイヤルの登録」(P.57)をご覧ください。



1 コードレス電話機を充電器からとります。

[外線] ボタンが点滅したあと、[外線] ボタンとダイヤルボタンが点灯し、「ツー」という音がします。

▶ コードレス電話機を充電器に置いていないとき

[外線] ボタンを押します。[外線] ボタンとダイヤルボタンが点灯します。

2 [短縮 / 登録] ボタンを押し、短縮番号 (0 ~ 9) を入れます。

電話をかけたい相手先を登録した短縮番号をダイヤルボタンで入れると、相手先を呼び出します。

▶ 番号を押し間違えたら

一度充電器に戻し、もう一度ダイヤルしなおすか、[切] ボタンを押して電話を切り、もう一度[外線] ボタンを押してからダイヤルしなおしてください。

3 用件が済んだらコードレス電話機を充電器に戻します。

ワンポイント

充電器に戻す代わりに[切] ボタンを押しても結構です。

コードレス電話機の短縮ダイヤルの登録

コードレス電話機の短縮ダイヤルは、[外線] ボタンが点灯しているときは登録できません。その場合は [切] ボタンを押してから操作してください。

ワンポイント

短縮番号は0から9まで登録できます。

各ボタンは20秒以内に操作してください。20秒以上何もしないと「ピピピピピ」という音がして登録が中断されま

1 [短縮 / 登録] ボタンを押します。

2 短縮番号 (0 ~ 9) を入れます。

3 登録する電話番号を入れます。

16桁まで登録できます。

▶ 番号を押し間違えたら

コードレス電話機を充電器に戻し、もう一度はじめからやりなおしてください。

4 [短縮 / 登録] ボタンを押します。

「ピー」という音がします。これで登録の操作は終わりです。

ワンポイント

続けて登録するときは、コードレス電話機を充電器に戻さずに、もう一度同じ手順で登録してください。

途中で登録をやめたいときは、コードレス電話機を充電器に戻すか、[切] ボタンを押してください。

▶ 消去するとき

手順2で、消去したい短縮番号を入れ、[短縮 / 登録] ボタンを押します。

コードレス電話機から本体の短縮ダイヤルを使ってかける

コードレス電話機から本体の短縮ダイヤルを使って、電話をかけることもできます。

1 コードレス電話機を充電器からとります。

[外線] ボタンが点滅したあと、[外線] ボタンとダイヤルが点灯し、「ツー」という音がします。

▶ コードレス電話機を充電器に置いていないとき

[外線] ボタンを押します。[外線] ボタンとダイヤルボタンが点灯します。

2 [短縮 / 登録] ボタンを押します。

3 [#] ボタンを押してから短縮番号 (0 ~ 9) を入れます。

本体に登録した短縮番号をダイヤルボタンで入れると、相手先を呼び出します。

例 短縮番号 04 にかける場合

[#] [4] ボタンを押します。

例 短縮番号 10 にかける場合

[#] [0] ボタンを押します。

▶ 番号を押し間違えたら

一度充電器に戻し、もう一度ダイヤルしなおすか、[切] ボタンを押して電話を切り、もう一度[外線] ボタンを押してからダイヤルしなおしてください。

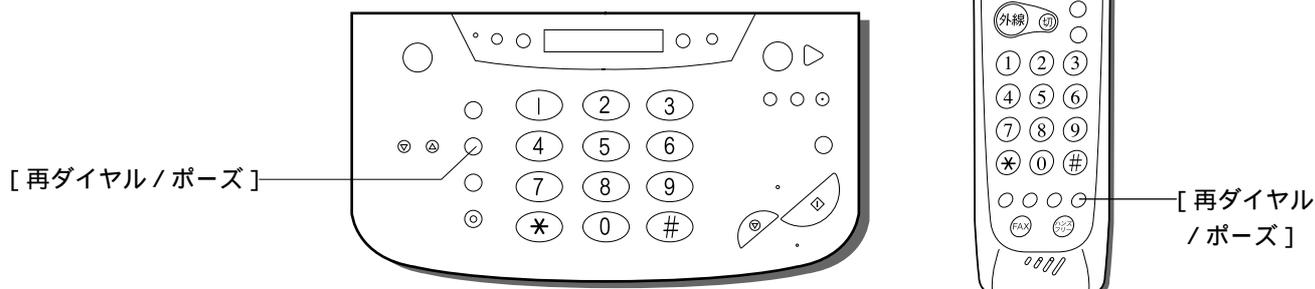
4 用件が済んだらコードレス電話機を充電器に戻します。

ワンポイント

充電器に戻す代わりに[切] ボタンを押しても結構です。

同じ相手にもう一度かける

最後にかけた相手先には、ダイヤルしなおさなくても、[再ダイヤル / ポーズ] ボタンを押すだけでかけなおすことができます。話中だった相手にもう一度かけなおすときなどにご利用ください。



STOP お願い

最後にかけた相手先には、ファクシミリを送った相手先も含まれます。この中には、相手先が話中などでファクシミリを送れなかった場合も含まれますのでご注意ください。

コードレス電話機で電話をかけた相手先には、本体から再ダイヤルすることはできません。

本体で電話をかけたり、ファクシミリを送った相手先には、コードレス電話機から再ダイヤルすることはできません。

ワンポイント

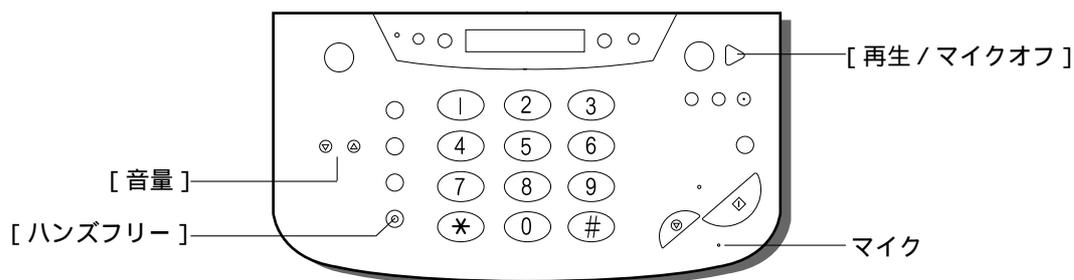
本体で再ダイヤルできるのは 40 桁までです。41 桁以上ダイヤルしたときは、最初の 40 桁分まで再ダイヤルします。

コードレス電話機で再ダイヤルできるのは 32 桁までです。

33 桁以上ダイヤルしたときは、再ダイヤルできません。

本体の受話器を持たずに話をする（ハンズフリー通話）

本体の受話器を持たずに電話ができます。両手がふさがっているときや、みんなで話をしたいときに便利です。



1 [ハンズフリー] ボタンを押します。

[ハンズフリー] ボタン（赤色）が点灯します。

2 相手先の電話番号をダイヤルします。

0335095538_

相手先を呼び出します。

▶ 番号を押し間違えたら

[ハンズフリー] ボタンを押し、もう一度ダイヤルしなおしてください。

3 マイクに向かって話をします。

ツウジカ 0'35"

4 用件が済んだら、[ハンズフリー] ボタンを押します。

4/30 12:00 0

[ハンズフリー] ボタンが消灯します。

STOP お願い

ハンズフリー通話は、周囲の雑音のない静かな場所でお使いください。
話をするときはマイクに手など近づけないようにして、マイクから約 50 cm 以内の範囲で話をしてください。
周囲の雑音が大きいつきや、話を始めたとき、相手が話をしている間は、こちらの声が小さいと相手に声がきこえにくくなります。このようなときは、マイクに近づいて話をしてください。
呼出音や相手の声はモニタスピーカから聞こえます。モニタスピーカをふさがないように、壁などから 20 cm 以上離して設置してください。

ワンポイント

ワンタッチダイヤル (P.53)、電子電話帳 (短縮ダイヤル) (P.54)、再ダイヤル (P.58) も使えます。

ハンズフリー通話中にこちらの会話を相手に聞かれないときは、[再生/マイクオフ] ボタンを押してください。マイクがオフになっているときは、[ハンズフリー] ボタンが点滅します。こちらから話すときは、もう一度 [再生/マイクオフ] ボタンを押して、マイクをオンにしてから話をしてください。

受話器での通話中にハンズフリー通話に切り替えたいときは、[ハンズフリー] ボタンを押してから受話器を戻してください。

ハンズフリー通話中に受話器での通話に切り替えたいときは、受話器をとってください。ハンズフリー通話中は、通話録音 (P.82) はできません。

相手の声が聞き取りにくいときは(モニタ音量の調節)

モニタスピーカから聞こえる呼出音や相手の声が聞き取りにくいときは、[音量] ボタンで調節できます。モニタスピーカから音が出ているときに、[] (大) ボタンを押すと音が大きくなり、[] (小) ボタンを押すと音が小さくなります。

モニタ音量は6段階に設定でき、左記のように表示されます。

モニタ音量の設定は、電話を切ってももとに戻りません。

モニタ音量

オンリョウ: - +

ワンポイント

ベルの音量を調節することができます。⇨ (P.47)

異常音 (ハウリング音) がしたとき

ハンズフリー通話中に会話以外の「ピー」、「キー」等の異常音 (ハウリング音) が聞こえたとき、またはモニタスピーカの音量が不安定になったときには、次のようにしてください。

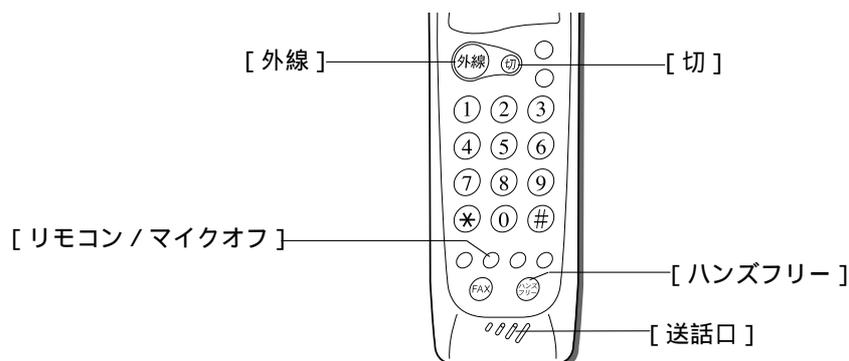
- ・ [] (小) ボタンを押してモニタスピーカの音量を小さくする
- ・ 相手が話をしているときは、[再生/マイクオフ] ボタンを押して、マイクをオフにする (こちらの声は相手に聞こえなくなります。こちらから話すときは、もう一度 [再生/マイクオフ] ボタンを押して、マイクをオンにしてから話をしてください。)

また、次のようなときは異常音 (ハウリング音) が起こりやすくなりますのでご注意ください。

- ・ モニタスピーカ、マイクに手などを近づけたとき
- ・ 反響音が大きい所に設置したとき
- ・ 相手から音声以外の信号 (保留音、トーン信号等) が入ってきたとき

コードレス電話機を持たずに話をする（ハンズフリー通話）

コードレス電話機を持たずに電話ができます。



1 [ハンズフリー] ボタンを押します。

[ハンズフリー] ボタン（赤色）と [外線] ボタン（赤色）が点滅したあと点灯し、[ツーン] という音がします。

▶ コードレス電話機を充電器に置いているとき
コードレス電話機を充電器からとり、[ハンズフリー] ボタンを押します。
リバーシブル充電時（P.17）は、充電器に置いたまま操作ができます。

2 相手先の電話番号をダイヤルします。

相手先を呼び出します。

▶ 番号を押し間違えたら
[切] ボタンを押して電話を切り、もう一度 [ハンズフリー] ボタンを押してからダイヤルしなおしてください。

3 送話口に向かって話をします。

4 用件が済んだら、[切] ボタンを押します。

[ハンズフリー] ボタンと [外線] ボタンが消灯します。

ワンポイント

[切] ボタンを押す代わりに充電器に戻しても結構です。

お願い

ハンズフリー通話は、周囲の雑音のない静かな場所でお使いください。
話をするときは送話口に手など近づけないようにして、送話口から約50 cm以内の範囲で話をしてください。
周囲の雑音が大きいつきや、話を始めたとき、相手が話をしている間は、こちらの声が小さいと相手に声がきこえにくくなります。このようなときは、送話口に近づいて話をしてください。
周囲の雑音が大きいつきや、コードレス電話機に手を近づけたときには、異常音（ハウリング音）がしたり、モニタ音量が小さくなったりすることがあります。

ワンポイント

ハンズフリー通話中にこちらの会話を相手に聞かれたくないときは、[リモコン/マイクオフ] ボタンを押してください。マイクオフになっているときは、[ハンズフリー] ボタンが点滅します。

こちらから話すときは、もう一度 [リモコン/マイクオフ] ボタンを押してマイクをオンにしてから話をしてください。

コードレス電話機での通話中にハンズフリー通話に切り替えたいときは、[ハンズフリー] ボタンを押してください。

ハンズフリー通話中に、コードレス電話機を持った通常の通話に切り替えたいときは、[外線] ボタンを押してください。充電器に置いているときは、充電器からとります。

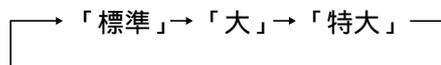
呼出ベルが鳴ったときは、[ハンズフリー] ボタンを押して電話を受けることもできます。

ハンズフリー通話中は、通話録音 (P.82) はできません。

相手の声が聞き取りにくいときは(モニタ音量の調節)

受話口から聞こえる呼出音や相手の声が聞き取りにくいときは、ハンズフリー通話中に [ハンズフリー] ボタンを押してモニタスピーカの音量を調節できます。

[ハンズフリー] ボタンを押すごとに、モニタスピーカの音量が次の順番で変わります。モニタ音量の設定は、充電器に戻したあとももとに戻りません。



通常のハンズフリー通話は、モニタ音量の設定を「標準」または「大」でご使用ください。

モニタスピーカの音量を大きくすると、音が割れたり、歪んだりすることがあります。

「特大」の設定は、「大」の設定で音が小さい場合にお使いください。

異常音(ハウリング音)がしたとき

ハンズフリー通話中に会話以外の「ピー」、「キー」等の異常音(ハウリング音)が聞こえたとき、またはモニタスピーカの音量が不安定になったときには、次のようにしてください。

- ・ [ハンズフリー] ボタンを押して音量を小さくする
- ・ 相手が話をしているときは、[リモコン/マイクオフ] ボタンを押して、マイクをオフにする(こちらの声は相手に聞こえなくなります。こちらから話すときは、もう一度 [リモコン/マイクオフ] ボタンを押して、マイクをオンにしてから話をしてください。)

また、次のようなときは異常音(ハウリング音)が起りやすくなりますのでご注意ください。

- ・ ハンズフリー通話中のモニタ音量を大きくしすぎたとき
- ・ 受話口、送話口に手などを近づけたとき
- ・ 反響音が大きい所に設置したとき
- ・ 相手から音声以外の信号(保留音、トーン信号等)が入ってきたとき

保留する

話をしている途中で、相手に待っていてほしいときに、メロディ音を流すことができます。メロディ音が流れている間は、こちらの声は相手に聞こえません。

お願い

本体で保留した場合、10分以上保留にしたまましていると、自動的に保留が解除され、電話は切れます。

ワンポイント

保留中は受話器を戻しても電話は切れません。

保留中はコードレス電話機を充電器に戻しても電話は切れません。

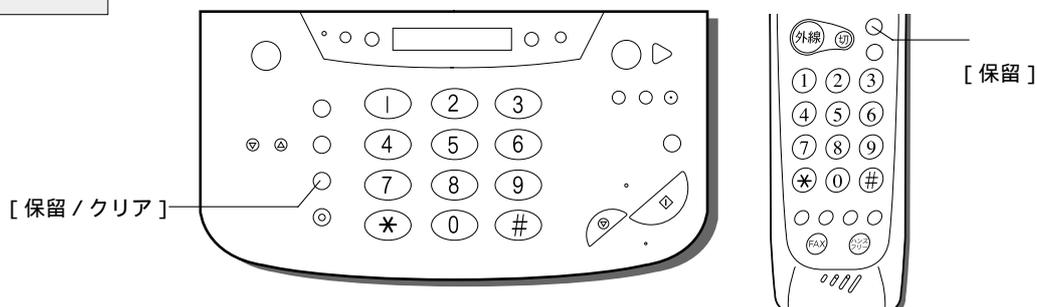
保留中はコードレス電話機の[外線]ボタンを押しても電話は切れません。

1 相手と話をします。

2 [保留/クリア]ボタンを押します。

ホリュウチュウ

相手にはメロディ音(あなたが欲しい)が流れます。



もう一度話をしたいとき

受話器を戻したときは、受話器をとるとそのまま話ができます。受話器を戻していないときは、もう一度[保留/クリア]ボタンを押してください。コードレス電話機で話をしていてコードレス電話機を充電器に戻したときは、コードレス電話機をとるとそのまま話ができます。充電器に戻していないときは、もう一度[保留]ボタンを押してください。

本体で保留した電話をコードレス電話機でとりたいとき

本体で保留した電話をコードレス電話機でとることができます。コードレス電話機で電話をとるときは、[保留/クリア]ボタンを押したあとに、受話器を本体に戻してからコードレス電話機を充電器からとってください。コードレス電話機を充電器に置いていないときは、コードレス電話機の[外線]ボタンを押してください。

コードレス電話機で保留した電話を本体でとりたいとき

コードレス電話機で保留した電話を本体でとることができます。本体で電話をとるときは、[保留]ボタンを押したあとに、コードレス電話機を充電器に戻してから本体の受話器をとってください。充電器が近くにないときは、[保留]ボタンを押したあとに、[切]ボタンを押してから本体の受話器をとってください。

ハンズフリー通話中に保留にしたとき

[ハンズフリー]ボタンを押すと話ができます。

キャッチホンの利用

キャッチホンサービス(通話中着信サービス)は、NTTが行っているサービスのひとつで、電話で話をしていても、別の人からかかってきた電話をとることができるサービスのことです。

STOP お願い

キャッチホンを利用するには当社との契約が必要です。

ファクシミリの送信中や受信中にキャッチホンが入ると、ファクシミリの画像が乱れたり、送信や受信が中断されることがあります。

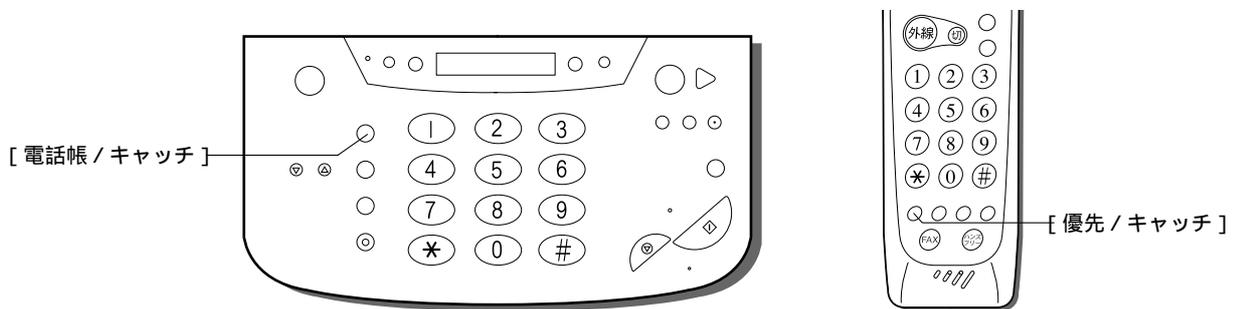
またこの場合、電話がかかってきたことはこちらではわかりません。キャッチホンサービスの異常ではありませんので、ご了承願います。

キャッチホン サービスをご利用になり、割り込み回数を「0」回に設定していただくと通信中にキャッチホンが入っても異常なく通信できます。

通話中にキャッチホンサービスにより割り込まれた相手がファクシミリの場合は、そのファクシミリは受けられません。

[電話帳/キャッチ]ボタンをもう一度押して先に通話していた方とお話ください。

なお、この場合はファクシミリを送られてきた相手の方は通信エラーとなってしまいます。また続けてファクシミリが送られてくることが考えられますので、早めに通話を終わらせることをおすすめします。



1 相手と話をします。

2 キャッチホンの着信音が聞こえたら、[電話帳/キャッチ]ボタンを押します。

話をしているときに、別の人からの電話が入ると「プルルー・プップ」という音が聞こえます。

[電話帳/キャッチ]ボタンを押すと、あとからかけてきた人と話ができます。初めに話していた人との電話は、保留になります(メロディ音は流れません)。

▶ もう一度初めの人と話をしたいときは

もう一度[電話帳/キャッチ]ボタンを押すと、初めに話していた人と話ができます。あとからかけてきた人の電話は保留になります。

STOP お願い

キャッチホンが入っていないときに[電話帳/キャッチ]ボタンを押すと電話が切れてしまいます。

▶ コードレス電話機で話をしていたときは

[優先/キャッチ]ボタンを押してください。

3 両方の用件が済んだら受話器を戻します。

▶ コードレス電話機で話をしていたときは

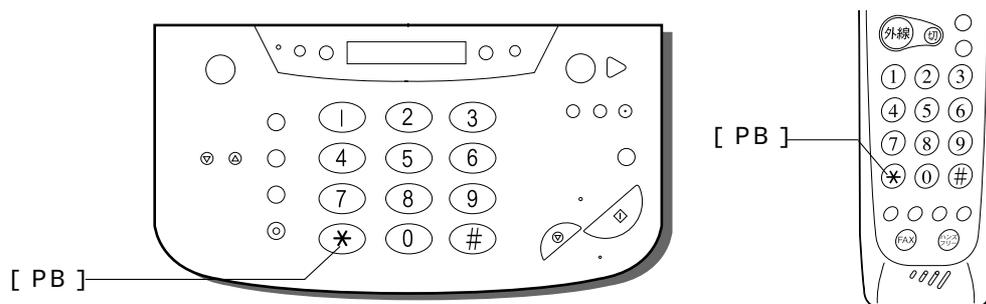
コードレス電話機を充電器に戻すか、[切]ボタンを押してください。

ダイヤル回線でプッシュ信号を出す

プッシュホンサービスや、FAX情報サービスを利用して情報を取り出すためには、通常プッシュ信号「ピッポッパ」を使用します。

ダイヤル回線でご使用の場合でも、相手を呼び出したあとに[PB]ボタンを押すことにより、プッシュホンサービス(銀行ANSER、クレジット通話サービス、ポケットベルサービス、照会案内サービス、ホームテレホンにおけるテレコントロール、留守番電話における遠隔制御等)を利用することができます。

プッシュ信号は、本体とコードレス電話機のどちらからでも出すことができます。



1 相手に電話をかけます。

2 [PB] ボタンを押します。

[PB]ボタンを押したあとダイヤルボタンを押すと、プッシュ信号が送られます。

例 「123」の番号をプッシュ信号で送る場合

[PB]ボタンを押したあと、[1] [2] [3]ボタンを続けて押します。

STOP お願い

停電時には、[PB]ボタンを押すと約3秒間のポーズ(空白時間)が入り、そのあとプッシュ信号が出せるようになります。

[PB]ボタンに続けて、ポーズ時間中(約3秒間)にダイヤルボタンを押した場合は、ポーズ時間経過後、ポーズ中に押されたダイヤルのプッシュ信号が自動的に出力されます。

本体とコードレス電話機で話をする (内線電話)

本体とコードレス電話機で話すること(内線電話)ができます。

内線電話をかけるときは、本体やコードレス電話機に割り当てられている内線番号をダイヤルします。

内線番号は次のとおりです。

	本体	付属のコードレス 電話機(1台目)	増設したコードレス 電話機(2台目)	増設したコードレス 電話機(3台目)	増設したコードレス 電話機(4台目)
内線番号	1	2	3	4	5

ワンポイント

増設できるコードレス電話機については「コードレス電話機の増設」(P.149)をご覧ください。

コードレス電話機の使い方については、付属の「コードレス電話機の使い方」をご利用ください。

内線通話中は、受話音量の調節はできません。

お願い

本体からコードレス電話機にかけるときに、コードレス電話機が外線(外の人と話す通常の電話)で使われているときは、ディスプレイに「ナイセン2 ショウチュウ」と表示され、内線電話をかけることはできません。

コードレス電話機から本体にかけるときに、本体が外線(外の人と話す通常の電話やファクシミリ)で使われているときは、内線電話をかけることはできません。

コードレス電話機とコードレス電話機で内線通話をすることはできません。

ボイスコール機能について

内線電話をかけたときに、ベルを2~3回鳴らしてだれも出ないときは、自動的に着信し、スピーカからメッセージを流します。この機能をボイスコールといいます。お買い求めいただいたときは、「ボイスコールする」に設定されています。「ボイスコールしない」に設定することもできます。⇒(P.126)

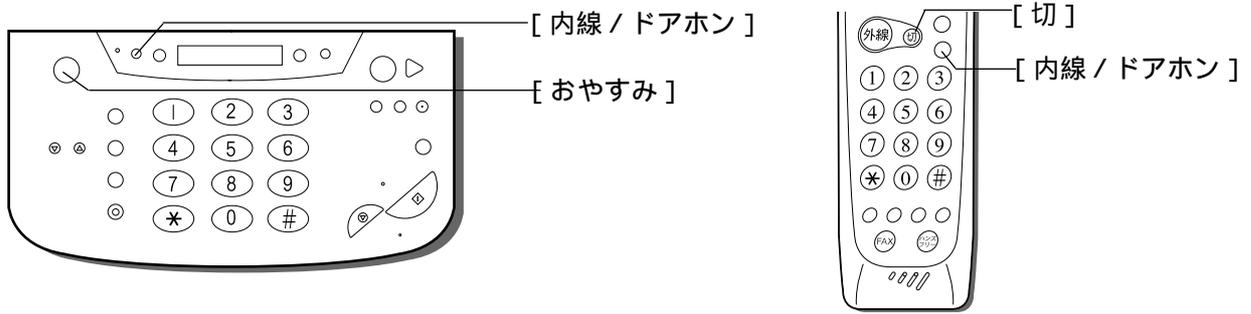
「ボイスコールしない」に設定すると、電話に出るまでベルが鳴り続けます。

内線電話が入ったときのベルの鳴りかた

内線電話のベルの鳴りかたは、普通の電話(外線)のときと異なります。



本体からコードレス電話機にかける(ボイスコールの設定をしているとき)



本 体

コードレス電話機

1 [内線/ドアホン] ボタンを押してから [2] ボタンを押します

コードレス電話機を呼び出します。
[おやすみ] ボタンが点滅します。

ナイケン バンゴウ?

ナイケン2 ヨビダシチュウ

▶ コードレス電話機を増設したとき

[内線/ドアホン] ボタンを押してから、コードレス電話機の内線番号(2~5)を押してください。⇒ (P.66)

[内線/ドアホン] ボタンを押してから、[*] ボタンを押すと、すべてのコードレス電話機を一斉に呼び出します。この場合はボイスコールはできません。

2 呼出音が止まったら、受話器をとって話します。

[おやすみ] ボタンが消灯します。

ボイスコールチュウ

相手がコードレス電話機を充電器からとったり、[内線/ドアホン] ボタンを押したりしたときは、表示が変わります。

ナイケン2 トツウチュウ

STOP **お願い**

内線電話をかけるときは、ハンズフリーは使えません。必ず受話器をとってください。

3 用件が済んだら受話器を戻します。

4/30 12:00 0

1 ベルが2~3回鳴ります。

着信/充電ランプと[内線/ドアホン] ボタンが点滅します。ベルが2~3回鳴ると自動的に着信し、ベルが止まります。

▶ ボイスコールの設定をしていないとき
充電器からコードレス電話機をとるまでベルが鳴り続けます。充電器からとって話をしてください。

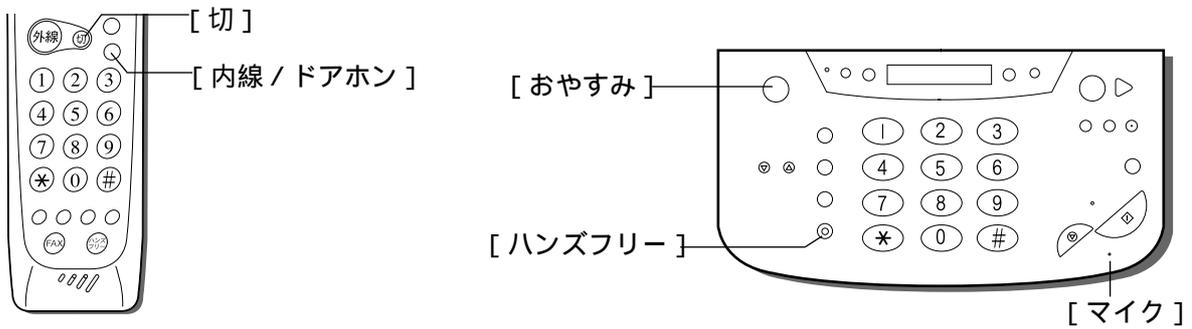
2 モニタスピーカから相手の声が聞こえます。ハンズフリーで話をすることができます。

充電器からとるか、[内線/ドアホン] ボタンを押して話することもできます。

3 内線電話が切れます。
充電器からとっていたときは、充電器に戻すか、[切] ボタンを押します。

[内線/ドアホン] ボタンが消灯します。

コードレス電話機から本体にかける(ボイスコールの設定をしているとき)



コードレス電話機

本体

- 1 充電器からコードレス電話機を取り、[内線/ドアホン] ボタンを押してから [1] ボタンを押します。
[内線/ドアホン] ボタンが点滅します。

STOP お願い

内線電話をかけるときは、ハンズフリーは使えません。必ず充電器からコードレス電話機をとってください。

- 2 呼出音が止まったら、話をします。
[内線/ドアホン] ボタンが点灯します。

- 3 用件が済んだらコードレス電話機を充電器に戻すか、[切] ボタンを押します。
[内線/ドアホン] ボタンが消灯します。

- 1 ベルが2~3回鳴ります。
[おやすみ] ボタンと [ハンズフリー] ボタンが点滅します。ベルが2~3回鳴ると自動的に着信し、ベルが止まります。

ナヤン2 カラ ヨビダシ

ボイスコール チュウ

▶ ボイスコールの設定をしていないとき
受話器をとるまでベルが鳴り続けます。受話器をとって話をしてください。

- 2 モニタスピーカから相手の声が聞こえます。ハンズフリーで話をすることができます。

受話器をとって話をすることもできます。
受話器をとると、表示が変わります。

ナヤン2 トツワチュウ

- 3 内線電話が切れます。
受話器をとっていたときは、受話器を戻します。

4/30 12:00 0

内線電話の途中で電話がかかってきたとき

内線通話中に外からの電話（外線電話）が入ると、外線電話のベルが鳴ります。
内線電話のベルが鳴っているときに外線電話が入ったときは、内線の呼び出しを中止して、外線電話のベルが鳴ります。

本体で外線電話をとるとき

- 1 内線通話中に外線電話のベルが聞こえたら、相手に内線電話を切ることを伝えます。
- 2 受話器を戻し、もう一度受話器をとります。

ツツツッ かん 0'05"

内線電話が切れ、外の人と話ができます。



[内線 / ドアホン] ボタンを押して内線電話を切り、外の人と話をすることもできます。

- 3 用件が済んだら受話器を戻します。

4/30 12:00 0

コードレス電話機で外線電話をとるとき

- 1 内線電話中に受話口から外線電話のベルが聞こえたら、相手に内線電話を切ることを伝えます。
- 2 [外線] ボタンを押します。
内線電話が切れ、外の人と話ができます。
- 3 用件が済んだらコードレス電話機を充電器に戻します。



受話器に戻す代わりに、[切] ボタンを押しても結構です。

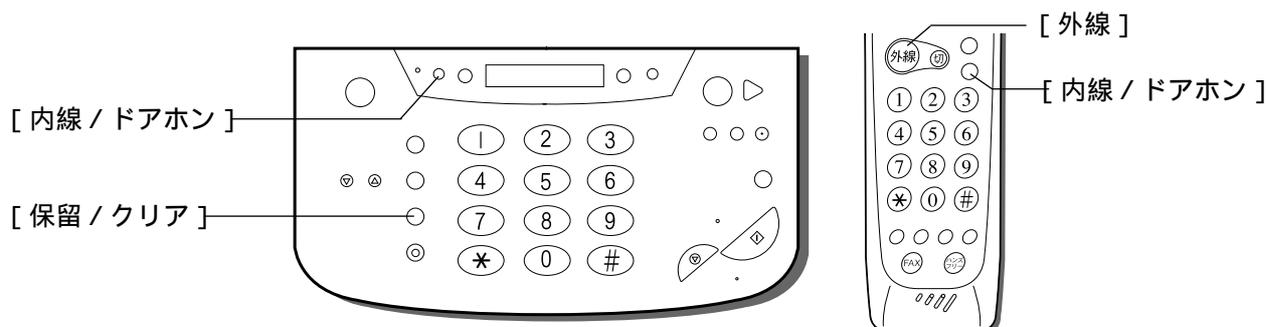
外線電話を他の電話機に転送する(外線転送)

外線電話を、本体の受話器からコードレス電話機に転送することができます。

また、コードレス電話機から他の電話機に転送することもできます。

外からかかってきた電話を転送したいことを内線電話で伝えることもできます。

外線通話中に [内線 / ドアホン] ボタンを押すと、外線を保留(相手には保留音が流れます)し、コードレス電話機(または本体)を呼び出すことができます。



本体からコードレス電話機に転送する

1 外線と通話中に[内線 / ドアホン]ボタンを押します。

ワンポイント

[保留 / クリア] ボタンを押して受話器を戻し、コードレス電話機で電話に出ることもできます。

ハンズフリー通話中のときは、受話器をとってから [内線 / ドアホン] ボタンを押します。

2 [2] ボタンを押します。

外線が保留になります。

ボイスコールの設定 (P.126) をしているときは、ベルが 2 ~ 3 回鳴ったあと自動的に着信し、ベルが止まります。

ボイスコールの設定をしていないときは、コードレス電話機で応答するまでベルが鳴り続けます。

▶ コードレス電話機を増設したとき

コードレス電話機の内線番号 (2 ~ 5) を押してください。⇒ (P.66)
[*] ボタンを押すと全部のコードレス電話機を一斉に呼び出します。

ワンポイント

コードレス電話機側が応答しないときは、もう一度 [内線 / ドアホン] ボタンを押すと、外線の人と再び通話することができます。受話器を戻すと外線は保留になります。

3 電話がかかっていることを伝え、受話器を戻します。

ボイスコールの設定をしているときは、コードレス電話機をとるか、[外線] ボタンを押すと、外線とつながります。

ボイスコールの設定をしていないときは、そのまま外線とつながります。

コードレス電話機から本体に転送する

1 外線と通話中に[内線 / ドアホン]ボタンを押します。

ワンポイント

[保留] ボタンを押して充電器に戻し、本体で電話に出ることもできます。

2 [1] ボタンを押します。

ボイスコールの設定 (P.126) をしているときは、ベルが 2 ~ 3 回鳴ったあと自動的に着信し、ベルが止まります。

ボイスコールの設定をしていないときは、本体で受話器をとるまで鳴り続けます。

ワンポイント

本体側が応答しないときは、[外線] ボタンを押すと、外線の人と再び通話することができます。コードレス電話機を充電器に戻すと外線は保留になります。

3 電話がかかっていることを伝え、コードレス電話機を充電器に戻します。

ボイスコールの設定 (P.126) をしているときは、受話器をとると外線とつながります。

ボイスコールの設定をしていないときは、そのまま外線とつながります。

ワンポイント

コードレス電話機を充電器に戻す代わりに、[切] ボタンを押しても結構です。

コードレス電話機からコードレス電話機に転送する

コードレス電話機を増設すると、コードレス電話機からコードレス電話機へ外線を転送できます。

1 外線と通話中に[内線 / ドアホン]ボタンを押します。

2 転送したいコードレス電話機の内線番号(2 ~ 5)をダイヤルします。

ワンポイント

コードレス電話機の内線番号についてはP.66をご覧ください。

相手側が応答しないときは、[外線] ボタンを押すと、外線の人と再び通話することができます。コードレス電話機を充電器に戻すと外線は保留になります。

[*] ボタンを押すと、本体と他のコードレス電話機を一斉に呼び出します。

3 電話がかかっていることを伝え、コードレス電話機を充電器に戻します。

相手側のコードレス電話機と外線がつながります。

ワンポイント

コードレス電話機を充電器に戻す代わりに、[切] ボタンを押しても結構です。

コードレス電話機どうして通話することはできません。

コードレス電話機からコードレス電話機へ外線を転送するときは、かけたほうからのみ最大 20 秒間メッセージを伝えることができます (相手側のコードレス電話機が内線電話に出ると呼出音が止まります)。

コードレス電話機からコードレス電話機へ外線を転送するときは、内線がつながった後 20 秒経つと、かけたほうのコードレス電話機の電話が切れ相手側のコードレス電話機に外線が転送されます。

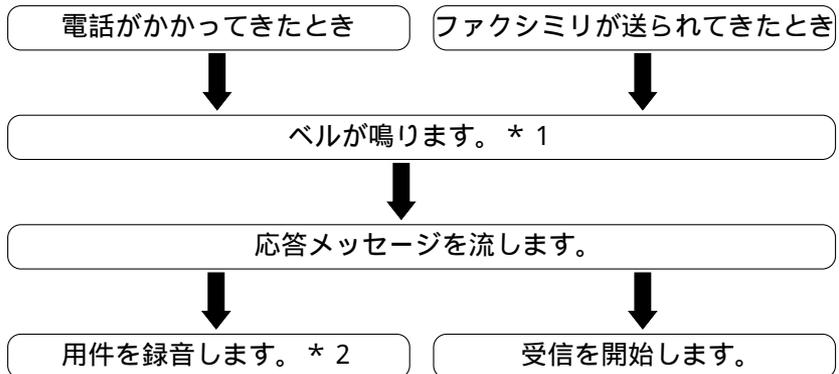
留守番電話を使う

電話に出られないときでも、相手の用件を録音しておくことができます。ファクシミリが入ったときは自動的に受信します。

ワンポイント

相手先がファクシミリ信号(ポー・ポー・ポー...という音)を出さないファクシミリの場合は、自動的に受信できません。

留守番電話をセットすると



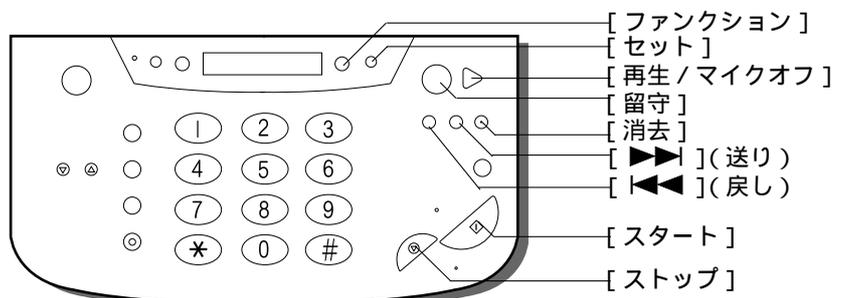
- * 1 : 留守番電話に用件が入っていないときは5回、用件が入っているときは2回ベルが鳴ります。(トールセイバ) ⇒ (P.84)
トールセイバが不要なときは、解除することもできます。⇒ (P.88)
- * 2 : 相手が話をしてからファクシミリを送ろうとしているときは、用件を録音したあとに相手が送信の操作をすると、続けてファクシミリを受信できます。

留守番電話のセット

留守番電話をセットすると、留守にしている間にかかってきた電話の用件を録音することができます。

ワンポイント

留守番電話には、最大で30件あるいは合計で約15分間(自分で録音した応答メッセージも含む)用件を録音できます。録音した用件の中に無音の時間が少ない場合は、録音時間が15分より短くなる場合があります。
お好みの応答メッセージ(電話がかかってきたときに相手に流すメッセージ)を録音することができます。「留守番電話の応答メッセージを録音する」(P.75)をご覧ください。



留守にするとき

アウトメッセージ コティ

ルissetイ 0

アウトメッセージ 1

アウトメッセージ 2

ヨウケンガ イハ イス

1 [留守]ボタンを押します。

留守番電話が設定されます。応答メッセージが流れ[留守]ボタン(赤色)が点灯します。留守番電話に用件が残っているとき、またはリモート取り出し用の文書が残っているときは、[留守]ボタンが点滅します。

▶自分で応答メッセージを録音しているとき

[留守]ボタンを押すと、「アウトメッセージ 1」と表示され、録音されている応答メッセージが流れます。

応答メッセージを2種類録音しているときは[◀◀]ボタン、[▶▶]ボタンを押して、応答メッセージを選択します。

応答メッセージの録音のしかたはP.75をご覧ください。

ワンポイント

用件が残っているとき、またはリモート取り出し用の文書が残っているときは[留守]ボタンが点滅します。

次のようなときは「用件がいっぱいです。不要な用件を消去してください。」と聞こえ、[留守]ボタンを押しても留守番電話の設定ができません。用件を消去してから留守設定してください。⇒(P.78)

- ・録音できる時間の残りが20秒以下のとき
- ・すでに用件が30件入っているとき

次のようなときは、応答メッセージに続き、「メモリ残量が少なくなっています。不要な用件を消去してください。」と聞こえ、[留守]ボタンが点滅します。

- ・録音できる時間の残りが21秒以上2分以下のとき
- ・用件が27件～29件入っているとき

用件録音はできますが、すぐに用件がいっぱいになってしまいます。

▶留守中に電話やファクシミリがあったとき

留守中に電話がかかってくると、相手に「ただいま留守にしております。電話の方はピーという音のあとに、お名前とご用件をお話してください。ファクシミリの方はそのまま送信してください。」というメッセージを流します。ご自分で応答メッセージを録音した場合は、録音されている応答メッセージを流します。電話のときはメッセージが終わると相手の用件を録音します。ファクシミリのときは自動的に受信します。

ワンポイント

相手の用件は1件につき3分間録音できます。録音時間が3分になると、相手に「ピー」という音を流し電話を切ります。

▶用件がいっぱいになったとき

用件が30件になったとき、または録音時間の合計が15分以上になったときは、「ただいま留守にしております。ファクシミリの方はそのまま送信してください。電話の方は恐れ入りますがのちほどおかけなおしてください。」というメッセージを流します(ご自分で応答メッセージを録音している場合でも、録音された応答メッセージではなく、このメッセージを流します)。この場合、用件の録音はできません。ファクシミリは受信できます。

ワンポイント

録音した用件の中に無音の時間が少ない場合は、録音時間が15分より短くても、用件の録音ができなくなることがあります。

用件を録音するためのメモリと、受信した文書などを記録するメモリは同じものです。そのためメモリ内に受信文書などが残っていると録音できる用件が少なくなってしまう。こまめに用済みの用件を消去したり、メモリ内の受信文書をプリントしてください。

応答メッセージ

留守番電話を留守の設定にしてあるときに電話がかかってくると、次のいずれかの応答メッセージを流します。

通常	「ただいま留守しております。電話の方はピーという音のあとにお名前とご用件をお話してください。ファクシミリの方はそのまま送信してください。」
	ご自分で応答メッセージを録音しているとき (P.75) は、録音した応答メッセージ
用件は録音できないが、ファクシミリの受信はできるとき	「ただいま留守しております。ファクシミリの方はそのまま送信してください。電話の方は恐れ入りますがのちほどおかけなおしてください。」
用件は録音できるが、ファクシミリの受信はできないとき	「ただいま留守しております。電話の方はピーという音のあとにお名前とご用件をお話してください。ファクシミリの方は、恐れ入りますがのちほどおかけなおしてください。」
用件の録音も、ファクシミリの受信もできないとき	「ただいま留守しております。恐れ入りますがのちほどおかけなおしてください。」

帰宅したとき

ルissetイ

5

ワンポイント

留守中に用件を録音したときは[留守]ボタンが点滅し、用件件数がディスプレイに表示されます。

1 [留守]ボタンを押します。

留守番電話が解除されます。[留守]ボタンが消灯します。

▶ 留守中に電話がなかったとき

「用件はありません。」というメッセージが流れます。

▶ 留守中に電話があったとき

留守設定中に用件を録音したときは[留守]ボタンが点滅し、録音した用件の数をディスプレイに表示します。

[留守]ボタンを押すと「用件は 件です。」というメッセージを流し、かかってきた順に用件を再生します。

1件再生するごとに、用件を録音した(電話がかかってきた)月日および時間を流します(この機能をタイムスタンプといいます)。

用件を全部再生し終わると、「用件は以上です。」というメッセージを流します。

サイセイチュウ

1 / 5

サイセイチュウ

2 / 5

⋮

サイセイチュウ

5 / 5

サイセিশュウリョウ***...

ワンポイント

用件は新しいものから順に再生するように設定することもできます。「用件の再生順序の設定」(P.79)をご覧ください。

お願い

タイムスタンプ機能で正確な時間を記録するために、時刻を正しくセットしておいてください。「日付/時刻」の登録のしかたはP.122をご覧ください。

4/30 12:00

5

留守番電話の応答メッセージを録音する

電話をかけてきた相手に自分の声で応答メッセージを流したいときは応答メッセージを録音します。応答メッセージは2種類まで録音でき、何度でも録音しなおすことができます。

ワンポイント

留守設定中でも応答メッセージの録音、消去ができます。

応答メッセージを録音する

キノウセツク シテダ サイ

- 1 [ファンクション] ボタンを押してから
[5] ボタンを押します。

留守電機能モードになります。

ルステ ノキノ

お願い

ハンドスキャナが外れていないことを確認してください。

ヨウケン ショウキョ

- 2 [セット] ボタンを押します。

オウトウメッセージ ロクオン

- 3 [ファンクション] ボタンを押します。

応答メッセージ録音になります。

オウトウメッセージ 1

- 4 [セット] ボタンを押します。

オウトウメッセージ 2

- 5 応答メッセージを [◀◀] ボタン、[▶▶] ボタンで
選び、[セット] ボタンを押します。

スタート ヲ オシテダ サイ

ロクオンチュウ 20"

- 6 [スタート] ボタンを押して応答メッセージを録音します。
マイクに向かって応答メッセージを吹き込みます。最大20秒まで録音
できます。残りの録音可能時間(20 "、19 " ... 0 ")を表示します。

例 応答メッセージの例

「はい です。ただいま留守にしております。電話の方はピーという音のあとに、お名前とご用件をお話ください。約3分間録音できます。ファクシミリの方は送信してください。」

ワンポイント

マイクは本体前面の右寄りにあります。ほかの音を入れないようにして、20 cm程度に近づいてお話しください。最大20秒まで録音できます(ディスプレイに残りの秒数が表示されます)。メモリの残量が少なくて20秒まで録音できないときは、「用件がいっぱいです。不要な用件を消去してください。」と聞こえ、ディスプレイに「ヨウケンガ イッパイデス」と表示され、録音できません。不要な用件を消去してから録音してください。⇒ (P.78)

受話器から録音することはできません。

お願い

「ファクシミリの方は送信してください。」等、ファクシミリを受信できることを知らせるメッセージも録音しておいてください。

マイクは、人間の声の音域に合わせた設定になっています。メッセージといっしょに音楽を録音することはおすすめでできません。

ロクオンチュウ 0"

オウトウ サイセイチュウ

4/30 12:00 0

7 応答メッセージを録音し終わったら [ストップ]ボタンを押します。

「ピー」という音がして録音が止まります。録音した応答メッセージを再生します。再生が終わると「ピー」という音がします。これで応答メッセージの録音は終わりです。

お願い

録音中に電話がかかってきたときは録音を中断します。この場合やりかけの録音は無効になりますので、もう一度はじめからやりなおしてください。

ワンポイント

[ストップ]ボタンを押さなくても20秒経過すると録音が止まります。メッセージを短くしてはじめてから録音しなおしてください。

再生の途中で[ストップ]ボタンを押すと再生が止まります。

録音しなおすときはもう一度はじめからやりなおしてください。

録音しなおすと、前に録音した応答メッセージは消去されます。

応答メッセージを消去する

録音した応答メッセージを消去します。

ワンポイント

本機にはじめてから用意されている応答メッセージを消すことはできません。

キノウセンタク シテクダ サイ

ルステ' ンキノ

1 [ファンクション]ボタンを押してから [5]ボタンを押します。

留守電機能モードになります。

お願い

ハンドスキャナが外れていないことを確認してください。

ヨウケン ショウキョ

オウトウメッセージ' ショウキョ

2 [セット]ボタンを押します。

3 [ファンクション]ボタンを2回押します。

応答メッセージ消去になります。

オウトウメッセージ' 1

オウトウメッセージ' 2

4 [セット]ボタンを押します。

5 応答メッセージを [◀◀] ボタン、 [▶▶] ボタンで 選び、[セット]ボタンを押します。

「消去しました。」と聞こえます。これで応答メッセージの消去は終わりです。

ワンポイント

途中で消去をやめたいときは、[ストップ]ボタンを押してください。

用件の再生

録音した用件は、何回でも繰り返し聞くことができます。

サイイチュウ 1 / 5

サイセイシュウリョウ***...

4/30 12:00 5

1 [再生 / マイクオフ] ボタンを押します。

録音されている用件の数をディスプレイに表示します。[再生 / マイクオフ] ボタンを押すと「用件は 件です。」というメッセージを流します。メッセージを流したあとに、再生順序の設定による順に用件を再生します。用件を全部再生し終わると、「用件は以上です。」というメッセージを流します。

ワンポイント

留守番電話を設定している場合でもそのまま再生できます。

再生中の操作

用件をとばして再生したり、再生中の用件を初めから聞きなおしたりできます。

ボタン	留守番電話の動き
再生 / マイクオフ	用件を再生します。 再生中に押すと、高速で再生します。 高速再生中に押すと、通常の再生速度に戻ります。
▶▶ (送り)	再生中に1回押すと、次の用件を再生します。続けて押すと、さらに次の用件を再生します。
◀◀ (戻し)	再生中に1回押すと、再生中の用件を初めから再生します。続けて2回押すと、1つ前の用件を再生します。
ストップ	再生を止めます。[ストップ] ボタンを押してから、もう一度 [再生 / マイクオフ] ボタンを押すと、1件目から再生します。

用件の消去

録音した用件は消去しない限り残っています。用済みになった用件は消去してください。用件は一度にすべて消すことも、特定の用件だけを選んで消すこともできます。

用件をすべて聞いてから消去する

サイセイチュウ 1 / 5

⋮

サイセイシュウリョウ***...

4/30 12:00 0

1 用件を再生します。

用件の再生が終わると、「用件は以上です」というメッセージが聞こえたあと、「サイセイシュウリョウ***...」と6秒間表示します(1秒ごとに*の表示が増えていきます)。

2 [消去] ボタンを押します。

「サイセイシュウリョウ***...」と表示されている間に[消去]ボタンを押します。再生済みの用件をすべて消去します。「再生済みの用件を消去しました。」というメッセージが流れます。

STOP お願い

[▶▶] (送り) ボタンでとばしてしまい、一度も再生されなかった用件は消去されません(最後まで聞き終わらなくても、少しでも再生した用件は消去されます)。すべての用件を聞いてから消去してください。一度も再生していない用件もすべて消去したいときはこのあとの「全用件消去」をご覧ください。

特定の用件を消去する

サイセイチュウ 1 / 5

サイセイチュウ 2 / 5

4/30 12:00 4

1 用件を再生します。

2 [消去] ボタンを押します。

消去したい用件を再生している間に、[消去]ボタンを押します。その用件を再生し終わると、「消去しました。」と聞こえ、その用件だけを消去します。

全用件消去

録音されている用件をすべて一度に消去できます。

キノウセンタク シテクダサイ

ルステ ンキノ

1 [ファンクション] ボタンを押してから [5] ボタンを押します。

留守電機能モードになります。

STOP お願い

ハントスキャナが外れていないことを確認してください。

ヨウケン ショウキョ

4/30 12:00 0

2 [セット] ボタンを2回押します。

「消去しました。」と聞こえます。

ワンポイント

途中で消去をやめたいときは、[ストップ] ボタンを押してください。

用件の再生順序の設定

留守番電話に録音された用件を録音した順に再生するか、新しいものから順に再生するかを設定できます。留守番電話の用件を外出先から聞く(P.84)ときなどは新しいものから順に再生するように設定すると、同じ用件を繰り返し聞かなくて済みます。お買い求めいただいたときは、録音した順に再生するように設定されています。

キノウセンタク シテクダ サイ

ルステ'ンキノウ

1 [ファンクション] ボタンを押してから [5] ボタンを押します。

留守電機能モードになります。

お願い

ハンドスキャナが外れていないことを確認してください。

ヨウケン ショウキョ

サイセイ OLD NEW

サイセイ NEW OLD

カンリョウ

4/30 12:00 0

2 [セット] ボタンを押します。

3 [ファンクション] ボタンを3回押します。

再生順序の設定になります。

4 再生順序を[◀◀] ボタン、[▶▶] ボタンで選び、 [セット] ボタンを押します。

これで再生順序の設定は終わりです。

▶ 録音した順に再生したいとき

「OLD NEW」を選び[セット] ボタンを押します。

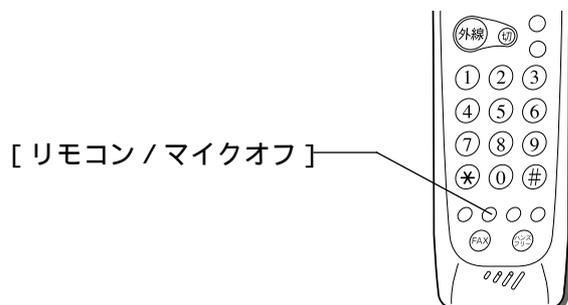
▶ 新しいものから順に再生したいとき

「NEW OLD」を選び[セット] ボタンを押します。

ワンポイント

途中で消去をやめたいときは、[ストップ] ボタンを押してください。

コードレス電話機で留守番電話を操作する



留守にするとき

- 1 コードレス電話機を充電器からとり、[リモコン/マイクオフ]ボタンを押してから[7]〔留守設定〕ボタンを押します。
留守番電話が設定されます。

ワンポイント

コードレス電話機で留守設定したときは、設定時の応答メッセージの再生は行いません。

- 2 コードレス電話機を耳にあてます。

コードレス電話機から「留守設定をしました。」と聞こえます。

ワンポイント

「用件がいっぱいです。不要な用件を消去してください。」または「メモリ残量が少なくなっています。不要な用件を消去してください。」と聞こえたときは、用件を消去して、もう一度設定しなおしてください。

- 3 コードレス電話機を充電器に戻します。

ワンポイント

充電器に戻す代わりに、[リモコン/マイクオフ]ボタンを押しても結構です。

帰宅したとき

- 1 コードレス電話機を充電器からとり、[リモコン/マイクオフ]ボタンを押してから[9]〔留守解除〕ボタンを押します。
留守番電話が解除されます。

- 2 コードレス電話機を耳にあてます。

コードレス電話機から「留守設定を解除しました。」と聞こえます。

ワンポイント

コードレス電話機で留守設定を解除したときは、用件の自動再生は行われません。

- 3 コードレス電話機を充電器に戻します。

ワンポイント

充電器に戻す代わりに、[リモコン/マイクオフ]ボタンを押しても結構です。

用件の再生と消去

- 1 コードレス電話機を充電器からとり、[リモコン/マイクオフ]ボタンを押してから[2]〔再生〕ボタンを押します。

2 コードレス電話機を耳にあてます。

「用件は 件です。」というメッセージに続いて、かかってきた順に用件が再生されます。再生が終わると、「用件は以上です。」と聞こえます。用件がないときは、「用件はありません。」というメッセージが流れます。

ワンポイント

コードレス電話機で再生したときは、本体のモニタスピーカから再生内容は聞こえません。

用件は新しいものから順に再生するように設定することもできます。「用件の再生順序の設定」(P.79)をご覧ください。

再生中にもう一度 [2] (再生) ボタンを押すと高速で再生します。

▶ 用件をすべて聞いてから消去するとき

「用件は以上です。」と聞こえたら [8] (消去) ボタンを押します。録音されている用件をすべて消去します。「再生済みの用件を消去しました。」というメッセージが流れます。

ワンポイント

[8] (消去) ボタンは「ピッピッピッピッピッ」と聞こえている間(6秒間)に押しください。

コードレス電話機からは、本体のような「全用件消去」はできません。

▶ 特定の用件を消去するとき

消去したい用件を再生している間に [8] (消去) ボタンを押します。その用件を再生し終わると、「消去しました。」と聞こえ、その用件だけを消去します。

3 コードレス電話機を充電器に戻します。

ワンポイント

充電器に戻す代わりに、[リモコン / マイクオフ] ボタンを押しても結構です。

留守番電話を設定している場合でもそのまま再生できます。

再生中の操作

用件をとばして再生したり、再生中の用件を初めから聞きなおしたりできます。

ボタン	留守番電話の動き
[1] (戻し)	再生中に1回押すと、再生中の用件を初めから再生します。続けて2回押すと、1つ前の用件を再生します。
[2] (再生)	用件を再生します。 再生中に押すと、高速で再生します。 高速再生中に押すと、通常の再生速度になります。
[3] (送り)	再生中に1回押すと、次の用件を再生します。続けて押すと、さらに次の用件を再生します。
[8] (消去)	再生中に [8] ボタンを押すと、その用件を再生し終わると「消去しました。」というメッセージを流し、その用件だけを消去します。すべての用件を再生し、「用件は以上です。」と聞こえたあと、「ピッピッピッピッピッ」という音が6秒間聞こえている間に、[8] ボタンを押すと「再生済みの用件を消去しました。」というメッセージを流し、再生済みの用件を消去します。
[#] (停止)	再生を止めます。[#] ボタンを押してから、もう一度 [2] ボタンを押すと、1件目から再生します。

通話中の会話を録音する(通話録音)

通話中の会話を録音することができます。通話中にちょっとメモをとりたいときなどにご利用ください。

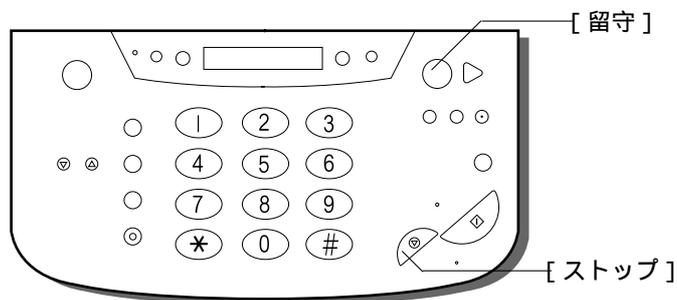
ワンポイント

1件ごとの録音可能時間に制限はありません。メモリがいっぱいになるまで、または30件まで録音できます。
留守番電話の用件が30件録音されているとき、または残りの録音可能時間が20秒以下のときは、通話録音できません。
通話録音するメモリと留守番電話の用件、ハンズキャナ使用時の送信文書、ビデオキャプチャ使用時の画像データおよび受信した文書などを記録するメモリは同じものです。そのためメモリ内に受信文書などが残っていると録音できる時間が少なくなってしまうので、こまめに用済みの用件を消去したり、メモリ内の受信文書をプリントしてください。

お願い

ハンズフリー通話中(P.59、61)は、通話録音をすることはできません。

本体で通話録音する



ツウワ 0カウ チュウ

- 1 相手と話をしている途中で [留守] ボタンを押します。
「ピー」という音がして、録音を開始します。

ワンポイント

相手にも「ピー」という音が聞こえます。

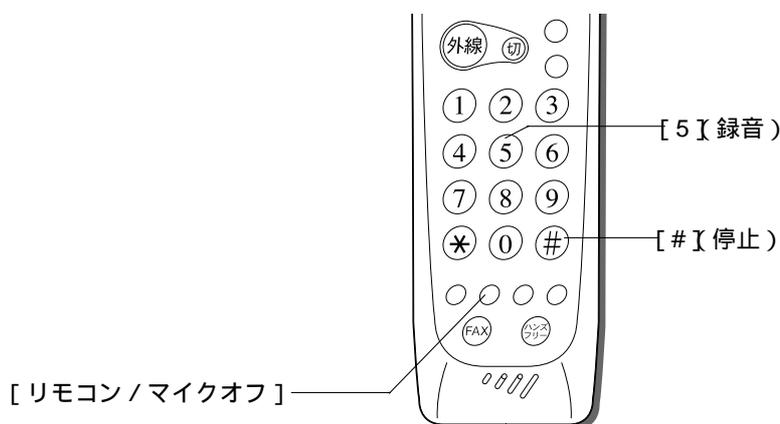
ツウワジ カン 0 35

- 2 録音をやめるときは、[ストップ] ボタンを押します。

4/30 12:00 1

- 3 用件が済んだら、受話器を戻します。

コードレス電話機で通話録音する



1 相手と話をしている途中で [リモコン/マイクオフ] ボタンを押してから、[5] (録音) ボタンを押します。

「ピー」という音がして、録音を開始します。

ワンポイント

相手にも「ピー」という音が聞こえます。

[リモコン/マイクオフ] ボタンを押してリモコンモードにしたときは、[保留] ボタンを押しても保留できません。保留するときは、もう一度 [リモコン/マイクオフ] ボタンを押してリモコンモード解除してください。

2 録音をやめるときは、[#] (停止) ボタンを押します。

ワンポイント

録音を終了せずに充電器に戻すと、電話が切れ、録音も止まります。

[リモコン/マイクオフ] ボタンを押すと、コードレス電話機からのリモコンモードが解除され、録音も停止します。

3 用件が済んだら、充電器に戻します。

ワンポイント

充電器に戻す代わりに、[切] ボタンを押しても結構です。

録音の途中でメモリがいっぱいになったとき

録音の途中でメモリがいっぱいになると、「メモリがいっぱいです。」というメッセージが流れ、ディスプレイに「メモリがいっぱいデス」と表示されます。メモリがいっぱいになると録音を中断します。

通話録音した会話の再生と消去

通話録音した内容は、留守番電話に録音した用件と同じように何度でも繰り返し聞き直したり消去したりすることができます。再生や消去のしかたは留守番電話の用件のときと同じです。

「用件の再生」(P.77)、「用件の消去」(P.78)をご覧ください。

コードレス電話機で再生や消去をしたいときは「コードレス電話機で留守番電話を操作する」(P.80)をご覧ください。

外出先の電話機やファクシミリから操作する

外出先の電話機から留守番電話に録音された用件などを聞いたり、留守中に受信した文書を外出先のファクシミリで取り出したりすることができます。

トールセイバ機能について

外出先から電話をかけ、呼出音の回数で留守番電話に用件が入っているかを確認することができます。

用件が1件も入っていないときは、呼出音が5回鳴ってから応答メッセージが流れます。用件が入っているとき、またはリモート取り出し文書が受信されているときは、呼出音が2回鳴ると応答メッセージが流れます。

呼出音が3回鳴ったときは、用件が入っていないので3回目の呼出音を聞いてから電話を切れば通話料金がかかりません。

トールセイバが不要なときは、解除することもできます。⇒(P.88)

STOP お願い

留守番電話を留守設定にしていないときはこの機能は使えません。
確認するための呼出音の回数は変更できません。
プッシュホンまたはプッシュ信号「ビッポッパ」の出せる電話機からかけてください。

外出先から留守番電話の用件を聞く(リモート操作)

STOP お願い

リモート操作するには、あらかじめ設定とリモートパスワードの登録が必要です。⇒(P.120)

1 [留守]ボタンを押してから外出します。

[留守]ボタンが点灯します。

2 外出先から電話をかけます。

電話がつながると応答メッセージが流れます。

3 [#]ボタンを押します。

応答メッセージが止まることを確認します。

4 リモートパスワード(4桁)を入れ、[#]ボタンを押します。

例 パスワードが6231の場合

[#][6][2][3][1][#]ボタンを押します。

「パスワードが一致しました。」と聞こえ、続けて以下のメッセージが聞こえます。

用件も受信文書もないとき : 「用件はありません。」

用件があり受信文書はないとき : 「用件は 件です。」

用件はなく受信文書があるとき : 「受信文書は 件です。」

用件も受信文書もあるとき : 「用件は 件です。受信文書は 件です。」

STOP お願い

パスワードは応答メッセージが終わったあと、7秒以内に入れてください。
「パスワードを入れなおしてください。」と聞こえたときはパスワードを入れなおしてください。3回入力しても正しいパスワードであると判定されなかったときは、電話が切れます。

▶ 留守設定しないで外出したときは

ファクシミリが着信し、「お呼び出しいたしますのでしばらくお待ちください。」のメッセージが流れている間にパスワードを入れてください(お買い求めいただいたときはベルが6回鳴った後に流れます)。パスワードが一致すると留守設定となり「留守設定をしました。」と聞こえます。

5 操作コードをダイヤルボタンで入れます。

例 用件の再生の場合

[#] [2] [#] ボタンを押します。

本機は操作コードに対応した動作をします。操作コードについては「リモート操作コード表」(P.87)をご覧ください。

STOP お願い

用件が録音されている場合は、操作コードを入れなくてもパスワードを入れたあと2秒経つと用件の古い順に自動的に再生します。再生以外の操作をしたいときは、パスワードを入れてから2秒以内に操作コードを入れてください。再生終了後何もしないで20秒経過すると電話が自動的に切れます。

 ワンポイント

リモート操作コード表にない操作コードを入れると、「操作コードを入れなおしてください。」と聞こえます。正しい操作コードを入れなおしてください。
新しいものから順に用件を再生することもできます。「用件の再生順序の設定」(P.79)をご覧ください。
リモート操作で用件を聞いても、留守番電話の用件は消去されません。

6 用件が済んだら、電話を切ります。

これでリモート操作は終わりです。

外出先のファクシミリで受信文書を取り出す(リモート取り出し)**STOP** お願い

リモート取り出しするには、あらかじめ設定とリモートパスワードの登録が必要です。⇒(P.120)
リモート取り出しをするように設定すると、留守設定中に入ったファクシミリは、プリントせずにメモリに記憶されます。ブッシュホンまたはブッシュ信号「ピッポッパ」の出せるファクシミリからかけてください。

1 [留守] ボタンを押してから外出します。

[留守] ボタンが点灯します。

2 外出先のファクシミリから電話をかけます。

電話がつながると応答メッセージが流れます。

3 [#] ボタンを押します。

応答メッセージが止まることを確認します。

4 リモートパスワード（4桁）を入れ、[#] ボタンを押します。

例 パスワードが6231の場合

[#] [6] [2] [3] [1] [#] ボタンを押します。

「パスワードが一致しました。」と聞こえ、続けて以下のメッセージが聞こえます。

用件も受信文書もないとき : 「用件はありません。」

用件があり受信文書はないとき : 「用件は 件です。」

用件はなく受信文書があるとき : 「受信文書は 件です。」

用件も受信文書もあるとき : 「用件は 件です。受信文書は 件です。」

お願い

パスワードは応答メッセージが終わったあと、7秒以内に入れてください。
「パスワードを入れなおしてください。」と聞こえたときはパスワードを入れなおしてください。3回入力しても正しいパスワードであると判定されなかったときは、電話が切れます。

▶ 留守設定しないで外出したときは

ファクシミリが着信し、「お呼び出しいたしますのでしばらくお待ちください。」のメッセージが流れている間にパスワードを入れてください（お買い求めいただいたときは、ベルが6回鳴った後に流れます）。

パスワードが一致すると留守設定となり「留守設定をしました。」と聞こえます。

5 [#] [0] [#] ボタンを押します。

「送信します。スタートボタンを押してください。」と聞こえます。

受信文書がない場合は、「送信する文書がありません。」と聞こえます。

▶ 「リモート取り出しする」に設定していないときは

[#] [0] [#] ボタンを押すと「リモート取り出しする」に設定されます。

設定されると、「リモート取り出しを設定しました。」と聞こえます。

ワンポイント

リモート取り出しするに設定しないで外出(留守設定)した場合、留守中に入ったファクシミリはプリントされ、あとからリモート取り出しすることはできません。

6 外出先のファクシミリの通信スタートボタンを押し、受話器を戻します。

受信を開始します。これでリモート取り出しは終わりです。

ワンポイント

外出先で受信文書を取り出すと、メモリ内の受信文書は消去されます。

リモート操作コード表

「リモート操作」(P.90)の手順4の操作で次の表のコードを入力すると、操作コードに対応した動作をします。外出時には、付録の「リモート操作カード」をご利用ください。

ワンポイント

再生を中止するときは、[#] ボタンを押します。

項目	操作コード	本体の動き
用件再生	# 2 #	用件を再生します。 再生中に[#] [2] [#]を押すと、高速で再生します。 高速再生中に[#] [2] [#]を押すと、通常の再生速度になります。
戻し	# 1 #	1つ前の用件を再生します。
送り	# 3 #	次の用件を再生します。続けて[#] [3] [#]を押すと、さらに次の用件を再生します。
用件消去	# 8 #	再生中に[#] [8] [#]を押すと、「消去しました。」というメッセージを流し、その用件だけを消去します。 すべての用件を再生し「用件は以上です。」と聞こえたあと、「ピッピッピッピッピッ」という音がしている間に[#] [8] [#]を押すと、「再生済みの用件を消去しました。」というメッセージを流し、再生済みの用件を全部消去します。
用件転送設定	# 6 1 #	「用件転送を設定しました。転送先は×××です。」というメッセージを流し、用件転送を設定します。転送先を登録していないときは「用件転送は使用できません。」というメッセージを流します。この場合、用件転送の設定はできません。
用件転送解除	# 6 2 #	「用件転送を解除しました。」というメッセージを流し、用件転送を解除します。
留守設定	# 7 #	「留守設定をしました。」というメッセージを流し、留守設定します。
留守設定解除	# 9 #	「留守設定を解除しました。」というメッセージを流し、留守設定を解除します。
リモート取り出し	# 0 #	リモート取り出しの設定をしてあるときは、「送信します。スタートボタンを押してください。」というメッセージを流します。ここで外出先のファクシミリの通信スタートボタンを押すと送信を開始します。 リモート取り出しの設定をしていないときは「リモート取り出しを設定しました。」というメッセージを流し、リモート取り出しを設定します。

トールセイバの設定

トールセイバをするかしないかを設定することができます。お買い求めいただいたときは、「トールセイバする」に設定されています。

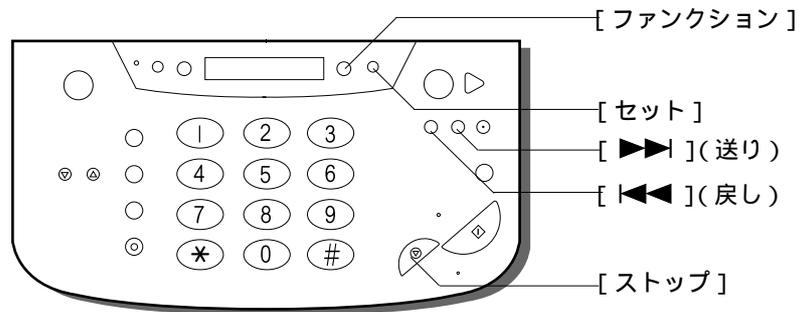
ワンポイント

「手動受信モード」に設定されているときは、「トールセイバしない」に設定すると留守設定しても留守番電話が着信しません。「手動受信モード」で使うときは、「トールセイバする」に設定してください。

「トールセイバしない」に設定すると、相手先のファクシミリが自動送信の場合、着信ベルの回数を10回以上に設定すると、自動的にファクシミリを受信できないことがあります。

「トールセイバしない」に設定すると、用件の有無に関係なく、「着信ベル回数」(P.124)で設定した回数(お買い求めいただいたときは6回)ベルが鳴ります。

「無鳴動着信」(P.124)を「する」に設定しているときは、ベル6回で着信します。



キノセンタク シテクダ サイ

1 [ファンクション] ボタンを押します。

STOP お願い

ハンズキャナが外れていないことを確認してください。

ルステ ンキノ

2 [5] ボタンを押します。

ヨウケン ショウキョ

3 [セット] ボタンを押します。

トールセイバ _x

4 [ファンクション] ボタンを4回押します。

カンリョウ

5 トールセイバする() しない(x)を[◀◀] ボタン、[▶▶] ボタンで選び、[セット] ボタンを押します。

4/30 12:00 0

ワンポイント

途中で設定をやめたいときは、[ストップ]ボタンを押してください。

電話やファクシミリを外出先に転送する (用件転送 / 受信文書転送)

留守番電話に録音された用件や留守中に送られてきたファクシミリを外出先の電話機やファクシミリに転送し、外出先で転送された用件を聞いたり（用件転送）、ファクシミリを受信したり（受信文書転送）することができます。また、用件を聞いたあと続けてファクシミリを受信することもできます。

STOP お願い

留守番電話に録音された用件を転送するには、あらかじめ転送先の登録(P.122)およびリモート操作の設定 / リモートパスワードの登録(P.120)が必要です。電話のときだけ転送したいときは、リモート取り出し(P.120)を「しない」に設定してください。

受信文書を転送するには、あらかじめ転送先の登録(P.122)およびリモート操作 / リモート取り出しの設定 / リモートパスワードの登録(P.120)が必要です。ファクシミリのときだけ転送するように設定することはできません。

ブッシュホンまたは、ブッシュ信号「ピッポッパ」の出せる電話機に転送してください。

ダイヤル回線の電話機またはファクシミリに転送した場合は、ブッシュ信号が出せるように操作してください。

録音された用件が6秒より短いときは、用件を転送しません。

ルissetイ & テソウ 0

1 [留守] ボタンを押してから外出します。

[留守] ボタンが点灯します。

2 転送先として登録した電話機のベルが鳴ったら受話器をとります。

「用件転送をします。パスワードを入れてください。」と繰り返し聞こえます（メッセージが途中から聞こえることがあります）。

ワンポイント

「用件転送をします。パスワードを入れてください。」とメッセージを流している間に、パスワードが入らないときは自動的に電話を切ります（最大6回までメッセージを流します）。

用件が録音されてから転送するまでの間に、停電等で本機の電源が切れた場合は用件転送を行いません。

▶ 転送先が話中のときは

3分間隔で2回まで自動的にかけなおします。2回かけなおしてもつながらなかったときは、用件転送を行いません。

ワンポイント

転送先が話中で、自動的にかけなおそうとして待機している間に別の用件を録音したときは、最初に録音した用件の残りの回数分だけ用件転送を行います。この場合、転送先とつながると、録音済みのすべての用件を転送します。

3 [#] ボタンを押します。

メッセージが止まることを確認します。

4 リモートパスワード(4桁)を入れ、[#]ボタンを押します。

例 パスワードが6231の場合

[#][6][2][3][1][#]ボタンを押します。

▶ 用件転送のとき

「パスワードが一致しました。用件は 件です。」と聞こえたあと録音された用件を再生します。再生済みの用件も再生されます。用件を聞きなおしたいときは、続けてリモート操作をしてください。リモート操作コードについては、「リモート操作コード表」(P.87)をご覧ください。

▶ 受信文書転送のとき

「パスワードが一致しました。受信文書は 件です。」と聞こえます。相手が用件を録音してからファクシミリを送信した場合は、「パスワードが一致しました。用件は 件です。受信文書は 件です。」と聞こえたあと録音された用件を再生します。用件再生が終わると「用件は以上です。」と聞こえます。

STOP お願い

パスワードは「用件転送をします。パスワードを入れてください。」というメッセージが終わったあと、3秒以内に入れてください。

「パスワードを入れなおしてください」と聞こえたときはパスワードを入れなおしてください。3回入力しても正しいパスワードであると判定されなかったときは、電話が切れます。

5 用件転送のとき(用件だけを聞くとき)は、電話を切ります。受信文書転送のときは、[#][0][#]ボタンを押します。

「送信します。スタートボタンを押してください。」と聞こえます。

6 外出先のファクシミリの通信スタートボタンを押し、受話器を戻します。

受信を開始します。これで受信文書転送は終わりです。

ワンポイント

文書転送が終了すると、その文書はメモリから消去されます。

帰宅したときに、転送されていない文書が残っているときは、留守設定を解除すると自動的にプリントします。

留守設定を解除すると、転送の設定も自動的に解除されます。

▶ ポケットベルを呼び出すには

ご自分のポケットベルの番号を転送先として登録しておく、留守中に電話やファクシミリがあったことをポケットベルで知ることができます。

STOP お願い

ポケットベルを呼び出すには、あらかじめ転送先の登録が必要です。⇒(P.122)

ポケットベルを呼び出したいときは、留守番電話を留守設定にしておいてください。

ディスプレイ付のポケットベルを転送先として登録して、メッセージ(ダイヤル番号)を表示させることもできます。⇒(P.122)

おやすみモードを利用する

電話やファクシミリが入ったときのベルを鳴らしたくないときや、ファクシミリの動作音が気になるときはおやすみモードを利用します。おやすみモードにすると、留守番電話が留守設定になります。ファクシミリが入るとメモリに記憶します。おやすみモードはタイマで時間設定すること（おやすみモードタイマ切替）もできます。

お願い

おやすみモードにしていると、相手が電話であってもファクシミリであっても、ベルを鳴らさずに着信します。このため緊急の用件で電話があった場合も、こちらではわかりませんのでご注意ください。メモリ容量が残り少ないときに、メモリ残量を超える文書が送られてくると、受信できないことがあります。更にメモリ容量が残り少なくなると、メモリに記憶しないでプリントします。

ワンポイント

おやすみモードにするとモニタスピーカからは着信ベル、留守電着信時のモニタ、受信終了時の「ピー」という音などが聞こえなくなります。

ドアホンを接続している場合は、おやすみモードにしてもドアホンの呼出音が音量「小」で聞こえます。

おやすみモードにする

ルスセットイ

0

1 [おやすみ] ボタンを押します。

[おやすみ] ボタン(緑色)と[留守] ボタン(赤色)が点灯します。

ワンポイント

電話がかかってくるとベルが鳴らないで、[おやすみ] ボタンが点滅します。ファクシミリを受信すると、メモリランプ(緑色)が点灯します。

おやすみモードの解除

1 [おやすみ] ボタンを押します。

おやすみモードが解除され、[おやすみ] ボタンが消灯します。用件が録音されているときは用件を再生します。ファクシミリが入っているときは、メモリ内の受信文書をプリントします。留守設定したあとに、おやすみモードにしたときは、おやすみモードを解除しても、留守設定は解除されません。

▶[留守] ボタンが点滅しているときは

[留守] ボタンを押して留守設定を解除してください。用件を再生します。

ワンポイント

[留守] ボタンを押すとおやすみモードと留守番電話の両方の設定が解除されます。

おやすみモードタイマ切替の利用

おやすみモードにする時間帯を登録しておく(P.120)と、自動的に毎日同じ時間帯におやすみモードに切り替えることができます。おやすみモード開始と終了の時刻を別々に登録できます。開始の時刻だけを登録したときは、[おやすみ] ボタンを押して、おやすみモードを解除してください。

ワンポイント

お買い求めいただいたときは、おやすみモードタイマ切替は行わない設定になっています。おやすみモードのタイマ設定をすると、留守設定中でも時間になるとおやすみモードに切り替わります。

あらかじめ留守設定されていたときは、おやすみモードが解除されても留守設定は解除されません。

次のような場合は、おやすみモードをタイマで解除すると留守番電話が留守設定になります。

- 留守設定してからおやすみモードにしたとき
- おやすみモード中に用件を録音したとき
- リモート取り出し用の文書をメモリに受信したとき

ハンスキャナを使う

本などの綴じられた原稿や厚すぎて原稿挿入口にセットできない原稿でも、ハンスキャナを使ってコピーや送信をすることができます。

原稿の読み取りは、コピー(送信)したい部分をなぞるようにハンスキャナを手で移動して行います。

原稿のサイズに合わせて読み取り幅を変更したり、コピー(送信)の倍率を変更したりすることができます。

STOP お願い

法律によりコピーが禁じられているものもあります。以下のようなもののコピーには注意してください。

法律で禁止されているもの(絶対にコピーしないでください)

貨幣、紙幣、公債証書、政府発行の有価証券、郵便切手、印紙等(以上外国で発行されたものを含む)

著作権のあるもの

書籍、楽譜、絵画、版画、地図、図面、映画、写真等

その他注意を要するもの

民間発行の有価証券、パスポート、免許証、身分証明書、食券、定期券、回数券等

ハンスキャナを外す、戻す

ハンスキャナを本体から外す

図の矢印の方向に引き抜いてください。

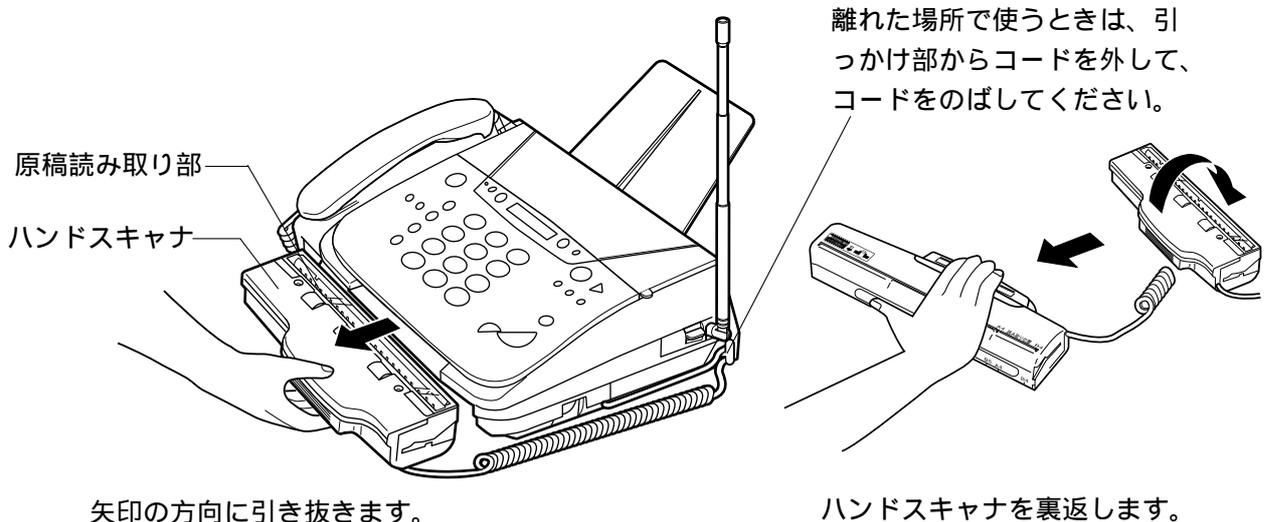
STOP お願い

ハンスキャナを落としたり、固いものにぶついたりしないように注意してください。

ハンスキャナは、本体に装着されているときは、本体の原稿読み取り部としてはたります。使用しないときはハンスキャナを本体に戻してください。

ハンスキャナの裏側には原稿読み取り部があります。原稿読み取り部には手を触れないようにしてください。

原稿読み取り部はいつもきれいにしておいてください。詳しくは「ハンスキャナ(原稿読み取り部とローラ)の清掃」(P.23)をご覧ください。

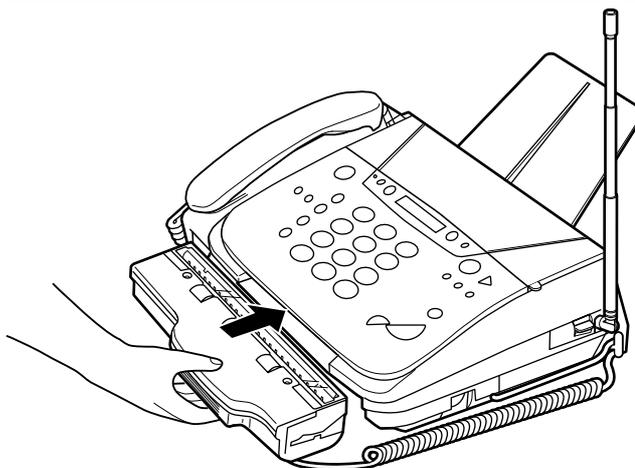


ハンドスキャナを本体に戻す

矢印の方向にカチッと音がするまで押し込んでください。

STOP お願い

ハンドスキャナを本体に戻すときは、ハンドスキャナのコードをはさまないように注意してください。断線の原因になることがあります。



ハンドスキャナで原稿を読み取るときの注意

▶ ハンドスキャナで読み取れる原稿のサイズ

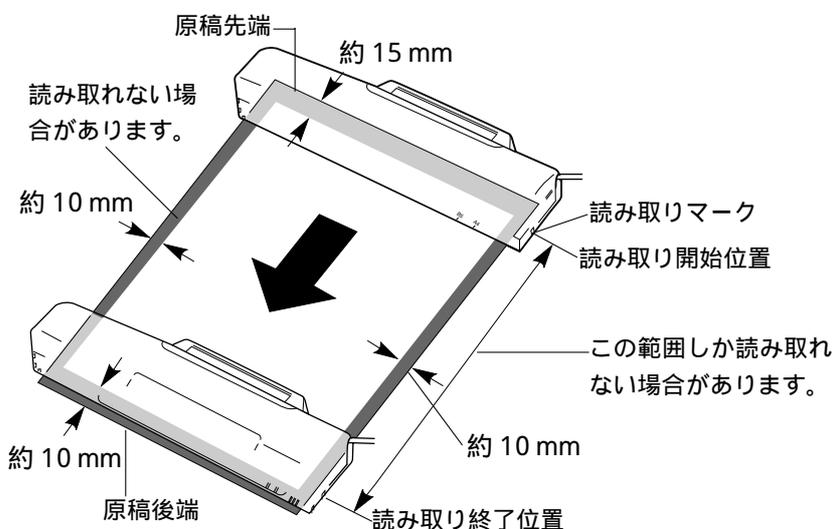
	コピー	送信
最大読み取り幅	250 mm(B4 サイズ)	250 mm(B4 サイズ)
最大読み取り長さ	無制限	370 mm(標準的な原稿) (原稿の色や文字の量、 文字の大きさの指定に よって変わります。)

STOP お願い

送信するときに、メモリ内に留守番電話の用件や受信文書があると、読み取れる長さが短くなります。

▶ 原稿の読み取り

原稿の先端から後端までハンドスキャナを動かした場合、原稿の読み取り開始約 15 mm と、読み取り終了および原稿の左右約 10 mm は読み取れない場合があります。

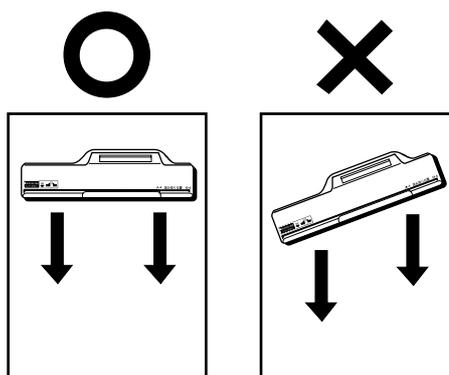


▶ 読み取り方向(ハンドスキャナを動かす方向)

ハンドスキャナは読み取り方向にまっすぐ動かしてください。斜めに動かすとうまく読み取れません。

 **ワンポイント**

ハンドスキャナを通常の読み取り方向と逆に動かすと、鏡に写したときのように左右が逆になったものがコピーされます。



▶ 読み取りをおすすめできない原稿

ハンドスキャナを使うと色々なものをコピーしたり送信したりできますが、次のような原稿には使わないようにしてください。読み取り結果や装置に不具合が発生することがあります。

- ・表面に凹凸のある原稿
- ・コーティングなどで表面が滑りやすい原稿
- ・インクや修正液、ノリなどが乾いていない原稿
- ・表面が汚れている原稿

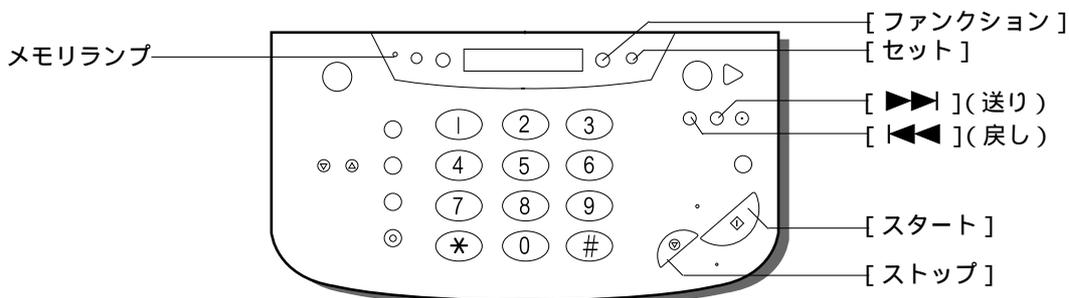
▶ 読み取りに注意が必要な原稿

フィルムやトレーシングペーパーのように透明な原稿は、原稿を白い紙の上に置くか、キャリアシートに入れてから読み取るようにしてください。

▶ 文字の大きさの選択

文字の小さい原稿や写真をコピーしたり送ったりするときは、読み取りを始める前に[画質]ボタンで選択してください。詳しくは、「写真や小さい文字の原稿を送る」(P.29)をご覧ください。ハンドスキャナを使って送信するときは、「ジドウ」、「チイサイ」、「シャシン」の中から選びます。

ハンズキャナでコピーする

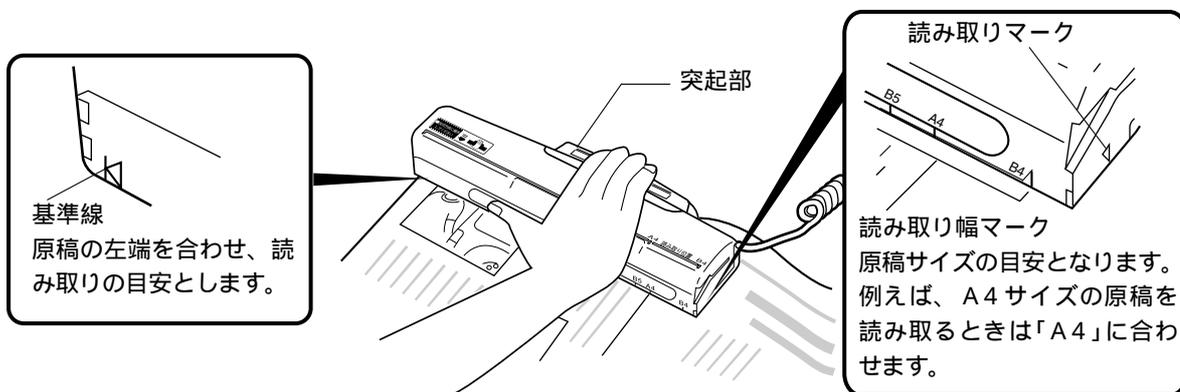


ハンズキャナ B4 タイプ

1 ハンズキャナを本体から外します。

2 ハンズキャナの読み取りマークを原稿の読み取り開始位置に合わせます。

原稿の左端をハンズキャナの基準線に合わせ、ハンズキャナの突起部のある面を後ろにして、読み取る部分の上端にハンズキャナの読み取りマークを合わせます。



コピー機 B4 タイプ

3 [スタート] ボタンを押します。

ハンズキャナの原稿読み取り部のランプが点灯します。

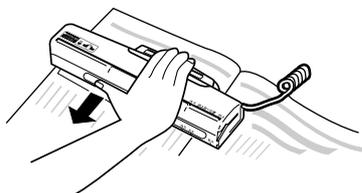
STOP お願い

光源自体は無害ですが、強い光が出ますのでハンズキャナの読み取り部を顔に向けしないでください。
ファクシミリを受信したときも、原稿読み取り部のランプが点灯しますので、ご注意ください。

4 ハンズキャナをゆっくり動かして原稿を読み取ります。
コピーした文書がプリントされます。

STOP お願い

動かしかたが速すぎると「ピッピッピッ...」または「ピー」という音がします。そのまま読み取りを続けると、コピーに線が入ったり、画像が欠落することがあります。ゆっくりと動かしてください。コピーをしないときは、[ストップ] ボタンを押して、手順2から操作をやりなおしてください。



ハンドスキャナ B4 チイサイ

5 読み取りを終了する位置に来たら [ストップ]ボタンを押します。

[ストップ]ボタンを押したあとも、読み取った原稿をプリントし終わるまでプリントを続けます。プリントが終わると、記録紙がカットされ原稿読み取り部のランプが消灯します。

ワンポイント

ハンドスキャナを動かさずに 30 秒以上経過すると、読み取りを中断し、記録紙をカットします。

4/30 12:00 0

6 ハンドスキャナを本体に戻します。

これでコピーの操作は終わりです。

ハンドスキャナで送信する

ハンドスキャナ B4 チイサイ

1 ハンドスキャナを本体から外します。

0335095538_

2 相手先の電話(ファクシミリ)番号をダイヤルします。

お願い

ハンドスキャナを使う場合、電話で話をしてから送ることはできません。受話器をおいたままダイヤルしてください。

3 ハンドスキャナの読み取りマークを 原稿の読み取り開始位置に合わせます。

コピーチュウ B4 チイサイ

4 [スタート]ボタンを押します。

ハンドスキャナの原稿読み取り部のランプと、本体のメモリランプ(緑色)が点灯します。

お願い

光源自体は無害ですが、強い光が出ますのでハンドスキャナの読み取り部を顔に向けしないでください。
ファクシミリを受信したときも、原稿読み取り部のランプが点灯しますので、ご注意ください。

5 ハンドスキャナをゆっくり動かして原稿を読み取ります。

読み取った原稿は、メモリに記憶しながら同時にプリントします。

お願い

動かしかたが速すぎると「ピッピッピッ...」または「ピー」という音がします。そのまま読み取りを続けると送信内容に線が入ったり、画像が欠落したりすることがあります。ゆっくりと動かしてください。

1:ソウシ 2:ショウキョ

6 読み取りを終了する位置に来たら

[ストップ] ボタンを押します。

[ストップ] ボタンを押したあとも、読み取った原稿をプリントし終わるまでプリントを続けます。プリントが終わると、記録紙がカットされ原稿読み取り部のランプが消灯します。読み取りの結果を確認してください。

▶ メモリがいっぱいになったとき

読み取りの途中でメモリがいっぱいになると「ピーピーピーピー」という音がして、読み取りを中断し、読み取ったところまでをプリントします。そのまま読み取ったところまでを送信することもできます。

メモリル

ワンポイント

メモリには、メモリに何も入っていない場合で 29 cm 程度の長さの原稿まで読み取れます(原稿の色や文字の量により、読み取れる長さが変わります)。

留守番電話に用件が入っているときやメモリ内に受信文書が入っているときは、読み取れる長さが短くなります。用件を消去したり、メモリ内の文書をプリントしたりすると読み取れる長さが長くなります。

ハンドスキャナを動かさずに 30 秒以上経過すると、読み取りを中断します。

ダイヤルチュウ

7 [1] ボタンを押します。

送信を開始します。

アイテ:0335095538

ワンポイント

送信が終わるとメモリの内容は消去されます。

[1] ボタンを押したあと、送信を中断したいときは [ストップ] ボタンを押してください。

0335095538

▶ もう一度読み取りなおしたいときは

[2] ボタンを押します。「データ ヲ ショウキョシマシタ」と表示されます。

「ヨミトリマチ B4 チイサイ」と表示されたら、手順 3 からやりなおします。

0335095538 P01

▶ 送信をやめたいとき

[2] ボタンを押します。「データ ヲ ショウキョシマシタ」と表示されます。

[ストップ] ボタンを押します。

ハンド'スキャナ B4 チイサイ

お願い

送信中に通信異常のアラームが表示された場合、メモリの内容は消去されます。

4/30 12:00 0

8 ハンドスキャナを本体に戻します。

ハンドスキャナを戻しても送信は中断されません。

これで送信の操作は終わりです。

▶ 相手先が話中のとき

3 分間隔で 2 回までかけなおします。2 回かけなおしても送信できないときは、メモリに記憶した文書を消去し、不達レポートをプリントします。

ハンズキャナの設定(拡大・縮小コピー)

読み取り幅とプリント(記録)幅を設定すると自動的に拡大や縮小して送信やコピーができます。

ハンズキャナ B4 サイズ

1 ハンズキャナを本体から外します。

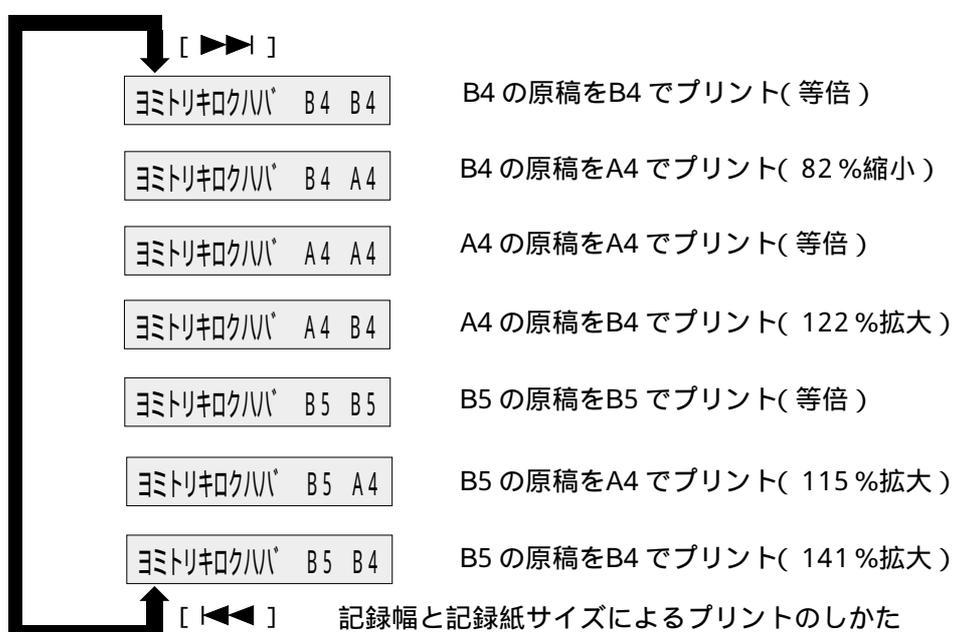
ヨミトリキロクハバ B4 B4

2 [ファンクション] ボタンを押します。

3 読み取り幅と記録幅の組み合わせを[◀◀] ボタン、
[▶▶] ボタンで選び[セット] ボタンを押します。

ディスプレイのサイズ表示は次のように変わります。矢印の左側が読み取り幅、右側が記録幅です。

例 A4 サイズの原稿を B4 サイズに拡大する場合
「ヨミトリキロクハバ A4 B4」に設定します。



記録幅	本機の記録紙(コピー時)		相手先の記録紙	
	A4	B4	A4	B4
A4	A4 幅	A4 幅	A4 幅	A4 幅
B4	A4 幅 * 1	B4 幅	A4 幅 * 1	* 2
B5	B5 幅	B5 幅	B5 幅	B5 幅

* 1 はみ出す部分(原稿の右側)は、コピー(送信)できません。

* 2 本機の記録紙がA4 のときはA4 幅、B4 のときはB4 幅でプリントします。

ワンポイント

設定した状態は次に変更するまでそのままです。

途中で設定をやめたいときは、[ストップ] ボタンを押してください。

ビデオキャプチャを使う

ビデオデッキやテレビ、ビデオカメラからのビデオ信号を取り込んで、画像をファクシミリで送ったりプリントしたりするときに使います。画像は拡大して送信(プリント)することもできます。読み取り濃度の調整をすることにより、送信(またはコピー)画像の濃度を調整することができます。なお、入力画面がカラーであっても、本機は白黒で送信(またはコピー)します。

STOP お願い

他人の著作物をコピー(プリント)または送信するときは、個人または家庭内、その他これに準ずる限られた範囲内で使用する場合等、著作権法で認められている場合を除き、基本的にコピーすることが禁止されています。

ご使用になれるのは、テレビの受信画像およびビデオカメラ、ビデオデッキ等による録画画像です。それ以外のビデオ機器ではご使用になれない場合があります。

ビデオデッキ等、ビデオ機器の種類・機種によっては、静止およびコマ送り操作中の画像を正しく取り込めないものがあります。

録画状態の悪いビデオテープやコピープロテクト信号(ビデオテープのダビング防止のための信号)の入ったビデオテープを再生した場合は、画像を正しく取り込めないことがあります。

ビデオ機器の映像をモニタまたは再生し始めた直後は、画像を正しく取り込めないことがあります。

映像によっては、コピー画像の上・下または左・右に黒い縁取りが入ることがあります。

ワンポイント

ビデオキャプチャの使用中でも、電話を受けたり、本体でドアホン通話をしたりすることができます(コードレス電話機でのドアホン通話はできません)。ファクシミリの受信や、内線通話はできません。

ビデオカメラなどで撮影した映像をビデオキャプチャする場合、次のことに気をつけていただくと、きれいなコピー画像が得られます。

- ・被写体が画面いっぱいに映るように撮影してください。
- ・明るい場所で撮影してください。
- ・正面から被写体に光が当たるようにしてから撮影してください。
- ・太陽や蛍光灯などが被写体の背後に映らない(逆光にならない)ようにしてください。

ビデオキャプチャを使うための準備

接続できるビデオ機器

映像出力端子をもつ次のようなビデオ機器が接続できます。

- ・テレビ
- ・ビデオデッキ
- ・ビデオカメラ

ビデオ入力の接続

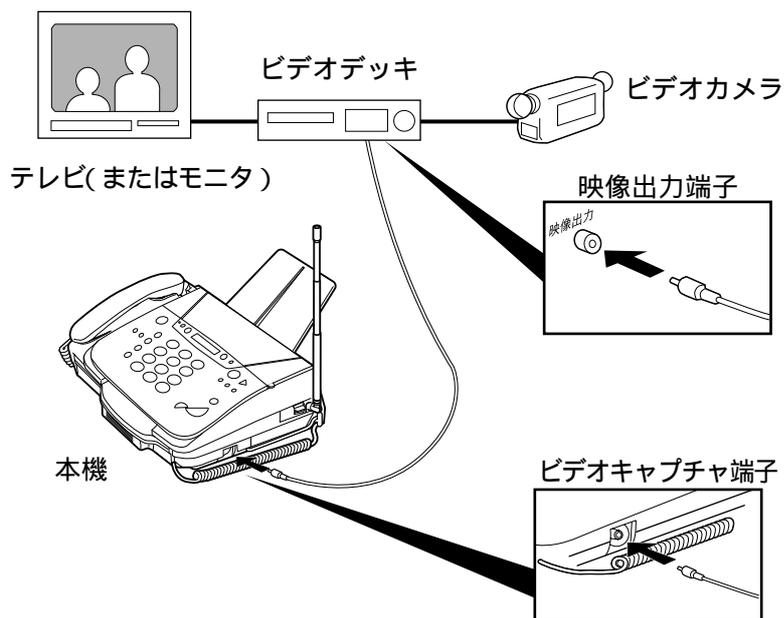
本体とビデオ機器を市販のビデオケーブルで接続します。ビデオケーブルの一方のピンプラグを本体右側面のビデオキャプチャ端子に、もう一方をビデオ機器の映像出力端子に差し込みます。

STOP お願い

接続する前に、接続するビデオ機器の取扱説明書をお読みの上、接続してください。
ビデオケーブルは、必ずビデオ機器の電源を切ってから接続してください。
ビデオケーブルのプラグはしっかり差し込んでください。また、プラグを抜くときは、プラグを持って抜いてください。

ワンポイント

ビデオケーブルは、一般のビデオ機器に添付または別売されているものを使用してください。(ビデオ専用ケーブル、またはコードの両端が黄色のピンコードです。)



接続の例

ビデオキャプチャに使用されると考えられるビデオ機器類の接続形態の例を示します。

▶ テレビを接続するとき

- ・映像出力端子がある場合

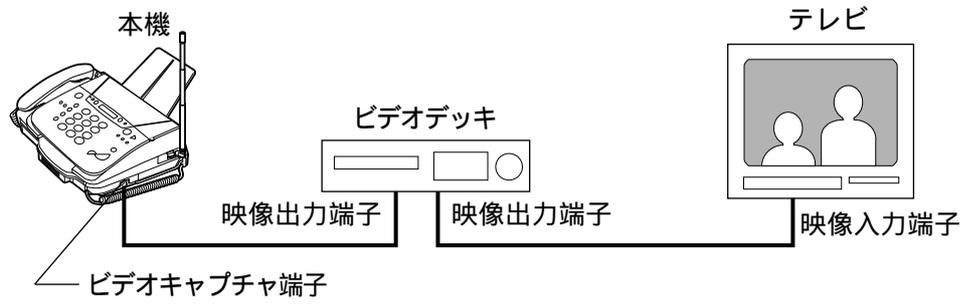


- ・映像出力端子がない場合

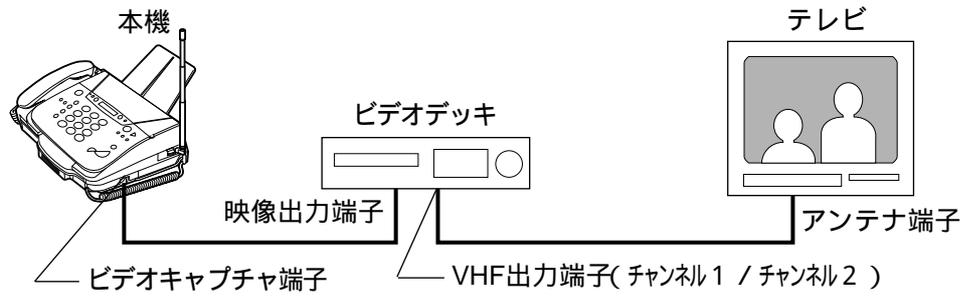
テレビ内蔵チューナでの受信画像は入力できません。
ビデオデッキ等のチューナにより受信し、そこから接続してください。
次の「ビデオデッキを接続するとき」を参照してください。

▶ ビデオデッキを接続するとき

- ・映像出力端子が2つ以上ある場合

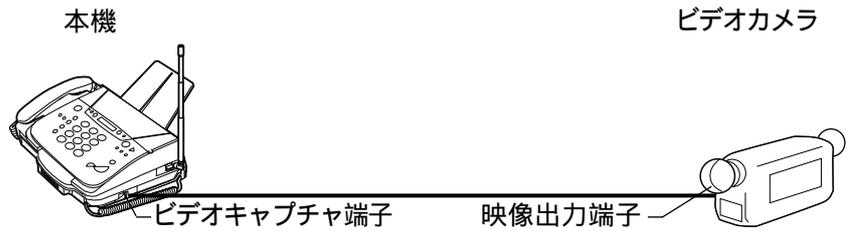


- ・映像出力端子が1つの場合

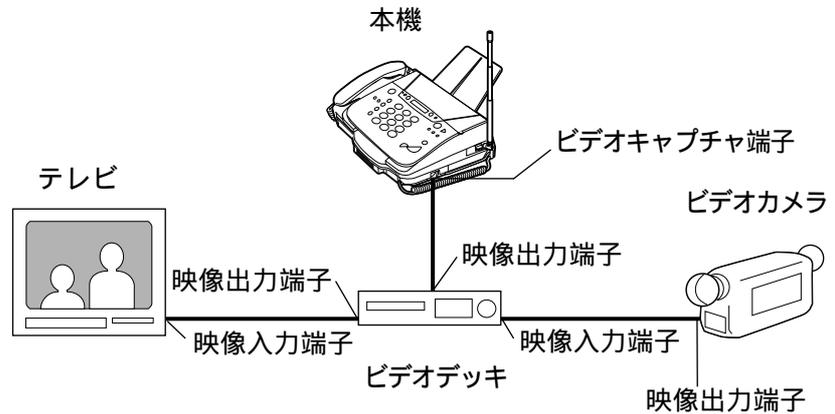


▶ ビデオカメラを接続するとき

- ・ビデオカメラから直接入力する場合



- ・テレビ等でモニタしながら入力する場合



ビデオキャプチャで送信(プリント)する



ビデオカクダイ O_x

1 [スタート] ボタンを押します。

STOP お願い

ハンドスキャナが外れていないことを確認してください。
原稿挿入口に原稿が挿入されていないことを確認してください。
ビデオキャプチャの送信(またはコピー)画像の濃度を変更する場合は、ビデオ画像を取り込む前に読み取り濃度を調節しておきます。調節のしかたは、「色のついた原稿や薄い文字の原稿を送る」(P.31)をご覧ください。

2 ビデオ画像を拡大する()、しない(x)を [戻し] ボタン、[送る] ボタンで選びます。

ワンポイント

標準サイズでは約60mm(縦)×約75mm(横)の大きさにプリントされます。約30秒でプリントが始まります。
「」にすると120mm(縦)×150mm(横)に拡大されます。
約70秒でプリントが始まります。

ビデオショリチュウ



シバラク オマチダサイ

▼(画像処理終了)

ビデオフ°リントチュウ

▼(プリント終了)

1:ソウシン 2:フ°リント

3 テレビなどで画像を見ながら、 [スタート] ボタンを押します。

メモリランプ(緑色)が点灯し、ビデオ画像がメモリに取り込まれます。画像処理が終わると画像データがプリントされます。

ワンポイント

ビデオ機器の操作については、ビデオ機器の取扱説明書をご覧ください。
ビデオデッキ等の場合は、通常の再生中に[スタート]ボタンを押します。(静止およびコマ送りの画像は正しく取り込めないことがあります。)
取り込む画像の確認はテレビなどで行います。
ビデオ入力が正常にできなかったときは、「ビデオ セツゾク エラー」と表示され、「ピーピーピーピー」という音が鳴ります。ビデオケーブルの接続を確認し、手順1からやりなおしてください。
(全体が暗い画像を取り込むと、接続エラーになることがあります。)

1:ソウシ 2:フ°リト



アテサキ シテイシテクダ サイ

4 送信するかしないかを選びます。

▶ 送信するとき

[1] ボタンを押します。

▶ コピーだけのとき

[ストップ] ボタンを押します。コピーのときはこれで操作は終わりです。

▶ 再プリントするとき

[2] ボタンを押します。

お願い

何も操作しないで90秒以上経過すると取り込んだ画像データは消去されます。

0335095538_

5 相手の電話(ファクシミリ)番号をダイヤルします。

お願い

電話で話をしてから送ることはできません。受話器を置いたままダイヤルしてください。

ワンポイント

ワンタッチダイヤル、電子電話帳(短縮ダイヤル)、再ダイヤルを使ってダイヤルすることもできます。

6 [スタート] ボタンを押します。

送信を開始します。送信が終わるとメモリの内容は消去されます。これで送信の操作は終わりです。

▶ 相手が話中のとき

3分間隔で2回までかけなおします。2回かけなおしても送信できないときは、取り込んだ画像データを消去し、不達レポートをプリントします。

4/30 12:00 0

ドアホンとの接続（ドアホン通話）

ドアホンと接続して、ドアホンと本体の受話器またはコードレス電話機で通話したり、ドアホンをモニターしたりすることができます。カメラドアホンをご利用の場合は、カメラドアホンからのビデオ画像を取り込み、プリントすることもできます。

STOP お願い

ドアホンを接続するには、ドアホン線と電話回線の接続工事が必要です。
接続工事には、工事担任者資格が必要です。NTT窓口等にご相談ください。
ドアホンと接続するには専用のドアホンボックスと電源アダプタおよびドアホン制御ユニットが必要です。
接続をする前に、接続する機器の取扱説明書をお読みの上、接続してください。
ドアホンとカメラドアホンを合わせて2台まで接続できます。
コードレス電話機からドアホン通話したときは、画像プリントできません。

ドアホンと通話する

STOP お願い

ドアホン通話をする前にドアホン接続の設定が必要です。ドアホン接続の設定のしかたはP.126をご覧ください。

ワンポイント

ドアホン通話中でも外線電話を受けることができます。ベルが鳴ったら、本体で通話中は[内線/ドアホン]ボタンを押し、コードレス電話機で通話中は[外線]ボタンを押してください。(ダイヤルインをご利用の場合は、ドアホン通話中に外線電話を受けられません。)

ドアホン通話中は内線通話はできません。

ファクシミリの送受信中は、本体から呼出音が鳴りますが、ドアホン通話はできません(コードレス電話機は鳴りません)。留守設定中やおやすみモード設定中(音量「小」で呼出音が鳴ります)でもドアホン通話することができます。

ドアホン通話の保留はできません。

本体とコードレス電話機間でドアホン通話の転送はできません。

ドアホン通話中は、本体の[音量]ボタンで受話音量を調節することができます。⇒(P.47)コードレス電話機では受話音量の調節はできません。

本体でドアホンと通話するとき

ドアホン1 チャクン

呼出音が鳴り、[おやすみ]ボタンが約20秒間点滅します。この間に受話器をとって話をしてください。

▼(受話器をとる)

ドアホン1 ツワチユ

(ドアホン1から着信した場合の例)

ワンポイント

ドアホン1とドアホン2で呼出音が異なります。

ドアホン1の呼出音.....「ピーンポー、ピーンポー」

ドアホン2の呼出音.....「ピンポンピンポー、ピンポンピンポー」

呼出音の音量は調節できます。⇒(P.47)

コードレス電話機でドアホンと通話するとき

呼出音が鳴り、[内線/ドアホン]ボタンが約20秒間点滅します。この間に充電器からとって話をしてください。充電器に置いていないときは[内線/ドアホン]ボタンを押します。

ワンポイント

ドアホン1とドアホン2で呼出音が異なります。

ドアホン1の呼出音.....「ピピピ...」と3~4回ずつ3回鳴ります。

ドアホン2の呼出音.....「ピピピ...」と7回ずつ3回鳴ります。

外線通話中は本体と同じように、受話口から呼出音が聞こえます。

外線通話中にドアホンが鳴ったとき

ドアホン1 ツワチユ

(ドアホン1から着信した場合の例)

▶ 本体でとる場合

[内線/ドアホン]ボタンを押します。外線は保留になります。もう一度[内線/ドアホン]ボタンを押すと、外線通話ができます。

ワンポイント

コードレス電話機で外線通話しているときは、本体でドアホン通話はできません。

▶ コードレス電話機でとる場合

[内線/ドアホン]ボタンを押します。外線は保留になります。[外線]ボタンを押すと、外線通話ができます。

内線通話中にドアホンが鳴ったとき

▶ 本体でとる場合

受話器を戻し、もう一度受話器をとります。内線通話は切れます。

▶ コードレス電話機でとる場合

[切]ボタンを押してから、[内線/ドアホン]ボタンを押します。内線通話は切れます。

ドアホンをモニタする

ベルが鳴らないときでも、外の人と話をすることができます。

STOP お願い

ドアホンをモニタする前にドアホン接続の設定が必要です。ドアホン接続のしかたはP.126をご覧ください。

本体でドアホンをモニタするとき

- 1** [内線/ドアホン] ボタンを押してから [8] ボタンまたは [9] ボタンを押します。
ドアホン1をモニタしたいときは [8] ボタン、ドアホン2をモニタしたいときは [9] ボタンを押します。
- 2** 受話器をとります。
外の人と話をすることができます。
- 3** 受話器を戻します。

コードレス電話機でドアホンをモニタするとき

- 1** 充電器からコードレス電話機を取り、[内線/ドアホン] ボタンを押してから [8] ボタンまたは [9] ボタンを押します。
ドアホン1をモニタしたいときは [8] ボタン、ドアホン2をモニタしたいときは [9] ボタンを押します。
- 2** 外の人と話をすることができます。
- 3** コードレス電話機を充電器に戻します。[切] ボタンを押してモニタを切ることもできます。

カメラドアホンの画像をプリントする

カメラドアホンを接続して、カメラドアホンからの画像をプリントするには、次の2つの方法があります。

▶ 手動プリント

カメラドアホンとの通話中にテレビで画像を確認してから、[スタート] ボタンを押して画像をプリントします。

▶ 自動プリント

留守設定中やおやすみモード設定中に、カメラドアホンからの呼び出しがあると、自動的にカメラドアホンの画像をプリントします。

STOP お願い

カメラドアホンの画像をプリントする前にドアホン接続の設定が必要です。ドアホン接続の設定のしかたはP.126をご覧ください。

コードレス電話機からドアホン通話したときは、画像プリントはできません。

カメラドアホンから取り込んだビデオ画像が、暗すぎたり明るすぎたりして見にくいときは、プリントする前にカメラ濃度を調節してください。⇒ (P.124)

手動でカメラドアホンの画像をプリントする場合は

ドアホン1 ツウワチュウ

1 ドアホンが鳴ったら受話器をとります。

ワンポイント

ドアホンの音がしたときに、受話器をとらずに[スタート]ボタンを押しても画像プリントできます。

ビデオ ショリチュウ



シバラク オマチダ サイ

▼(画像処理終了)

ビデオ フォリントチュウ

▼(プリント終了)

ドアホン1 ツウワチュウ

2 テレビ等で画像を確認して[スタート]ボタンを押します。

プリントを開始します。

ワンポイント

プリント中もドアホン通話することができます。

受話器をとらずにプリントした場合でも、ドアホンが鳴ってから20秒以内に受話器をとると、ドアホン通話できます。

プリントを中断したいときは、「ストップ」ボタンを押します。

ビデオキャプチャ端子へ映像出力を接続していない場合は、「ビデオ セツゾク エラー」と表示されます。この場合画像プリントはできません。

4/30 12:00 0

3 用件が済んだら受話器を戻します。

自動的にカメラドアホンの画像をプリントする場合は

留守設定中やおやすみモード設定中に、カメラドアホンからの呼び出しがあると、自動的にカメラドアホンの画像をプリントします。

ワンポイント

自動プリントするには、画像自動プリントの設定が必要です。カメラドアホン画像自動プリントの設定のしかたはP.122をご覧ください。カメラドアホン画像自動プリントを「しない」に設定している場合でも、カメラドアホンにより撮られた画像がテレビに映っているときに[スタート]ボタンを押せば、プリントできます。

カメラドアホンを2台接続していても、どちらか一方の画像しか自動プリントできません。

コードレス電話機の活用

コードレス電話機のベルを本体より先に鳴らしたり、コードレス電話機のベルだけを鳴らさないようにしたりすることができます。

ベルを優先して鳴らす(優先着信)

電話がかかってきたときに本体より先にベルを鳴らすことができます。

優先着信を設定すると、電話がかかってきたときにコードレス電話機のベルだけが先に5回鳴ります。5回ベルが鳴ってもだれも電話に出ないときは、あらかじめ設定した回数着信ベルと呼出ベルが鳴ります。5回鳴ったあとのベルの鳴りかたについては、「ファクシミリ/電話自動切替のしくみ」(P.45)をご覧ください。

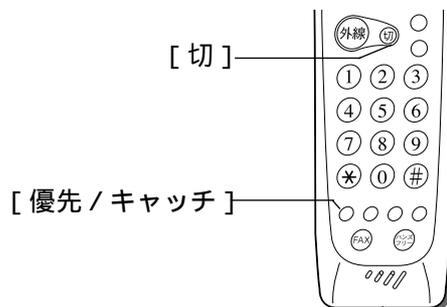
STOP お願い

本体のベルをコードレス電話機より先に鳴らすことはできません。

コードレス電話機のベルを鳴らさないように設定しているときは、優先着信の設定をしてもベルが鳴らなくなるので、ご注意ください。

ワンポイント

コードレス電話機を増設している場合は、1個のコードレス電話機だけが設定できます。この場合、そのコードレス電話機のベルが5回鳴ったあとは、本体とコードレス電話機全部のベルが鳴ります。



1 コードレス電話機を充電器からとります。

STOP お願い

ほかのコードレス電話機が使用中のときは、設定の操作はできません。

2 [切] ボタンを押します。

3 [優先 / キャッチ] ボタンを押します。

「ピー」という音がして[優先 / キャッチ]ボタンが早く点滅したあと点灯します。しばらくすると、[優先 / キャッチ]ボタンが遅く点滅します。

4 コードレス電話機を充電器に戻します。

ワンポイント

ベルが鳴ると、優先着信したコードレス電話機をとらなくても、優先着信が解除されます。

いろいろなファクシミリ情報サービスの利用

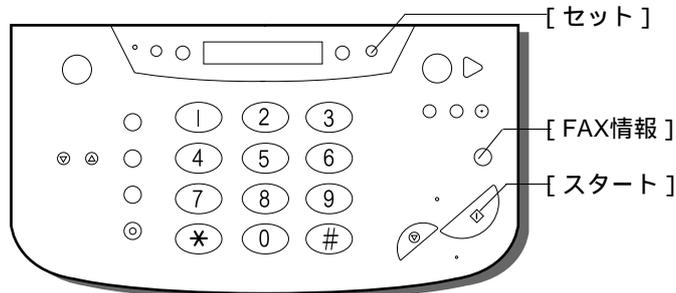
[F A X 情報] ボタンを使って、各種のファクシミリ情報サービスを簡単な操作でご利用になれます。

[F A X 情報] ボタンの使いかた

いろいろなファクシミリ情報サービスを利用するときは、[F A X 情報] ボタンを使用します。ファクシミリ情報サービスの利用のしかたには、ポーリング方式、ガイダンス方式、F ネット方式があります。本機では[F A X 情報] ボタンにより、いずれの方式の場合でも簡単にファクシミリ情報を取り出すことができます。また、これらの方式をワンタッチボタンに登録すると、さらに簡単な操作でファクシミリ情報を取り出すことができます。

ワンポイント

受話器を上げて[F A X 情報] ボタンを押すと、「ピピピー」とアラーム音がして「ハンドセット オイテクダサイ」と表示されます。受話器(ハンドセット)を戻してから[F A X 情報] ボタンを押してください。



ダイヤルするだけで情報が取り出せるとき(ポーリング方式)

1. ポーリング ハウシキ?

1 [F A X 情報] ボタンを押します。

ワンポイント

[F A X 情報] ボタンを続けて押すと、ディスプレイの表示は次のように変わります。また、ダイヤルボタン(1 ~ 3)を押して選ぶこともできます。



アイテ=_

2 [セット] ボタンを押します。

アイテ=03P35095538_

3 相手先のファクシミリ番号を入れます。

ワンポイント

ダイヤルボタンと[再ダイヤル / ポーズ] ボタンで入力できます。[再ダイヤル / ポーズ] ボタンを押すと「P」と表示されます。

ダイヤル チュウ

4 [スタート]ボタンを押します。

相手先へダイヤルし、受信を開始します。これで操作は終わりです。

アイテ:03P35095538

ガイダンスに従って情報を取り出すとき(ガイダンス方式)

1.ボ-リング ホウシキ?

1 [FAX情報]ボタンを2回押します。

2.ガイダンス ホウシキ?

アイテ=_

2 [セット]ボタンを押します。

アイテ=03P35095538_

3 相手先のファクシミリ番号を入れます。

ワンポイント

ダイヤルボタンと[再ダイヤル/ポーズ]ボタンで入力できます。[再ダイヤル/ポーズ]ボタンを押すと「P」と表示されます。

ダイヤル チュウ

4 [スタート]ボタンを押します。

相手先へのダイヤルを開始します。

アイテ:03P35095538

(回線がつながる)

シジニシタガ ッテクダサイ

5 スピーカから聞こえる指示に従って操作します。

ワンポイント

ボックス番号等の入力はダイヤルボタン、[#]ボタンで行います。
受話器をとると、受話器から音が聞こえます。受話器をとって操作することもできます。
ダイヤル回線でお使いの場合でも、ブッシュ(トーン)信号が送出されます。[PB]ボタンを押す必要はありません。
手順4以降で操作をやめたいときは、[ハンズフリー]ボタンを押してください。

ジ ュシチュウ

6 [スタート]ボタンを押します。

受信を開始します。これで操作は終わりです。必要な場合は、さらにガイダンスに従ってください。

F ネットを利用してFAX 情報を取り出すとき(F ネット方式)

F ネットのご利用については利用契約が必要ですので、NTT窓口等へお問い合わせください。

1.ポ-リング ホウシキ?

2.ガ イダ ンス ホウシキ?

3. F ネット ホウシキ?

コード =162#284

[ファンクション] [ファンクション]

コード =162#287

アイテ=162#28403P3_

ダイヤル チュウ

アイテ:162#28403P35

4/30 12:00 0

1 [FAX 情報] ボタンを 3 回押します。

2 [セット] ボタンを押します。

F ネットのファクシミリコードが表示されます。[ファンクション] ボタンを押すごとに 2 種類のコードが交互に表示されます。いずれかを選んでください。

3 相手先のファクシミリ番号を入れます。

ワンポイント

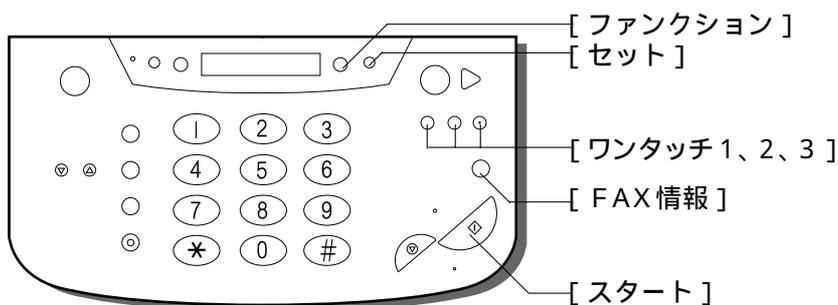
ダイヤルボタンと[再ダイヤル / ポーズ]ボタンで入力できます。[再ダイヤル / ポーズ] ボタンを押すと「P」と表示されます。

4 [スタート] ボタンを押します。

F ネットへのダイヤルを開始します。これで操作は終わりです。F ネットが受付をすると一旦回線が切れます。F ネットからのファクシミリの送信があると受信を開始します。

ワンタッチボタンでファクシミリ情報を取り出すとき

ワンタッチボタンにファクシミリ情報サービスの電話番号と取り出し方をあらかじめ登録しておく、簡単な操作で、ファクシミリ情報を取り出すことができます。通常のワンタッチボタンの操作は、この機能とは別にご利用いただけます。



ファクシミリ情報を取り出す相手先のワンタッチボタンへの登録

キノセンタク シテクダ サイ

1. トウロク?

ワンタッチシテイ=_

ワンタッチシテイ=1

ナマエ=_

ナマエ=NTTイキ ヨウ_

1. ポーリング ホウシキ?

1 [ファンクション] ボタンを押してから
[FAX情報] ボタンを押します。

2 [セット] ボタンを押します。

ワンポイント

3つのワンタッチボタンがすべて登録されているときは、「スベテ トウロクズミ デス」と表示されます。

3 登録するワンタッチボタンを押します。

例 [ワンタッチ1] に登録する場合
[ワンタッチ1] ボタンを押します。

4 [セット] ボタンを押します。

ワンポイント

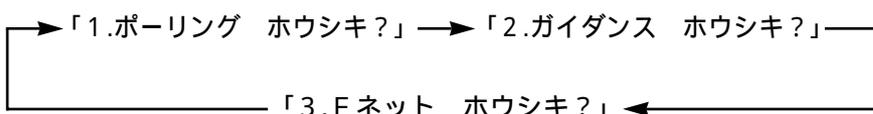
すでに登録してある番号を指定すると「トウロクズミ デス」と表示されます。

5 相手先の名前を入力し、[セット] ボタンを押します。
文字の入力はダイヤルボタンで行います。⇒ (P.130)

6 [FAX情報] ボタンを押して、利用方式を選びます。

ワンポイント

[FAX情報] ボタンを続けて押すと、ディスプレイの表示は次のように変わります。また、ダイヤルボタン(1~3)を押して選ぶこともできます。



▶ ポーリング方式で登録するとき

アイテ=_

アイテ=03P35095538_

カリョウ

4/30 12:00 0

手順6で「1. ポーリング ホウシキ?」を選び、
[セット]ボタンを押します。
相手先のファクシミリ番号を入れます。

 **ワンポイント**

ダイヤルボタンと[再ダイヤル/ポーズ]ボタンで入力できます。[再ダイヤル/ポーズ]ボタンを押すと「P」と表示されます。

[セット]ボタンを押します。
これでポーリング方式での登録の操作は終わりです。

▶ ガイダンス方式で登録するとき

 **お願い**

この登録では、登録の操作中にガイダンスの指示に従って実際の操作を行っていただき、その手順を記憶します。そのため通話料がかかりますのでご了承ください。

2. ガイダンス ホウシキ?

アイテ=_

アイテ=03P35095538_

ダイヤル チュウ

アイテ:NTTイキョウ

(回線がつながる)

ジジニシタガツテクダサイ

コード=12#34#_

手順6で「2. ガイダンス ホウシキ?」を選び、
[セット]ボタンを押します。

相手先のファクシミリ番号を入れ
[セット]ボタンを押します。
相手先へのダイヤルを開始します。

 **ワンポイント**

ダイヤルボタンと[再ダイヤル/ポーズ]ボタンで入力できます。[再ダイヤル/ポーズ]ボタンを押すと「P」と表示されます。

モニタスピーカから聞こえる指示に従って操作します。

 **ワンポイント**

ボックス番号等の入力はダイヤルボタン、[#]ボタンで行います。

▶ コードを間違えたときは
電話を切って登録の手順の最初からやりなおしてください。

[スタート]ボタンを押します。
受信を開始します。これでガイダンス方式での登録操作は終わりです。

▶ 受信をせずに登録のみを行うときは
手順 で[ハンズフリー]ボタンを押します。
[スタート]ボタンを押すと登録のみが行われます。
[ストップ]ボタンを押すと登録操作が中断されます。

 **ワンポイント**

ファクシミリ情報サービスによっては、うまく登録できなかったり、登録したワンタッチボタンを使っても正常に情報を取り出せないことがあります。この場合は、その都度ガイダンスに従って手動で操作してください。⇒(P.110)

トウロク シマスカ

カリョウ

4/30 12:00 0

▶ F ネット方式で登録するとき

F ネットのご利用については利用契約が必要ですので、NTT窓口等へお問い合わせください。

3.Fネット ホウシキ?

手順6で「3.F ネット ホウシキ?」を選び、
[セット] ボタンを押します。

コード =162#284

F ネットのファクシミリコードが表示されます。[ファンクション] ボタンを押すごとに2種類のコードが交互に表示されます。

[ファンクション] [ファンクション]

コード =162#287

コード =162#28403P_

ファクシミリコードを選んで相手先のファクシミリ番号を入れます。

 **ワンポイント**

ダイヤルボタンと[再ダイヤル/ポーズ]ボタンで入力できます。[再ダイヤル/ポーズ] ボタンを押すと「P」と表示されます。

かりヨウ

[セット] ボタンを押します。

4/30 12:00 0

登録を削除するとき

キノセンタク シテクダ サイ

1 [ファンクション] ボタンを押してから
[FAX 情報] ボタンを押します。

1. トウロク?

2. サクジョ?

2 [ファンクション] ボタンを押して「2. サクジョ」を選び、
[セット] ボタンを押します。

ワンタッチステイ=_

[ファンクション] ボタンを押すごとに「登録」と「削除」を交互に表示します。ダイヤルボタン(1、 2)を押して選ぶこともできます。

ワンタッチステイ=1

3 削除するワンタッチボタンを押します。

例 [ワンタッチ 1] を削除する場合
[ワンタッチ 1] ボタンを押します。

ナマエ=NTTイキ' ヨウ

4 [セット] ボタンを押します。

 **ワンポイント**

未登録の番号を指定すると「トウロクサレテイマセン」と表示されます。

サクジ' ヨ シマシタ

5 [セット] ボタンを押します。

これで削除の操作は終わりです。

4/30 12:00 0

ポーリング方式で登録したワンタッチボタンで情報を取り出すとき

アイテ:NTTイキ'ヨウ

ダイヤルチュウ

アイテ:NTTイキ'ヨウ

NTTイキ'ヨウ

- 1 [FAX 情報] ボタンを押し、
続けて登録してあるワンタッチボタンを押します。

これで操作は終わりです。7秒後にダイヤルを開始し、回線がつながると受信を開始します。

ワンポイント

[スタート] ボタンを押すとすぐにダイヤルを始めます。

途中で受信の操作をやめたいときは[ストップ] ボタンを押してください。ただし、受信を開始したあとは、受信をやめることはできません。

ガイダンス方式で登録したワンタッチボタンで情報を取り出すとき

アイテ:NTTイキ'ヨウ

ダイヤルチュウ

アイテ:NTTイキ'ヨウ

(回線がつながる)

ガイダンスチュウ

ダイヤルチュウ

アイテ:NTTイキ'ヨウ

ガイダンスチュウ

- 1 [FAX 情報] ボタンを押し、
続けて登録してあるワンタッチボタンを押します。

これで操作は終わりです。7秒後にダイヤルを開始し、回線がつながると自動的にコードを送り、受信を開始します。

ワンポイント

[スタート] ボタンを押すとすぐにダイヤルを始めます。

途中で受信の操作をやめたいときは[ストップ] ボタンを押してください。ただし、受信を開始したあとは、受信をやめることはできません。

F ネット方式で登録したワンタッチボタンで情報を取り出すとき

アイテ:NTTイキ'ヨウ

ダイヤルチュウ

アイテ:NTTイキ'ヨウ

4/30 12:00 0

- 1 [FAX 情報] ボタンを押し、
続けて登録してあるワンタッチボタンを押します。

これで操作は終わりです。

7秒後にF ネットへのダイヤルを開始し、回線がつながります。自動的にコードを送り、F ネットが自動的に受付をすると一旦回線が切れます。

F ネットからのファクシミリの送信があると受信を開始します。

ワンポイント

[スタート] ボタンを押すとすぐにダイヤルを始めます。

途中で操作をやめたいときは[ストップ] ボタンを押してください。ただし、受信を開始したあとは、受信をやめることはできません。

▶ F ネット親展通信

暗証番号を使って通信するサービスです。暗証番号を知っている人以外には原稿が取り出せないのも、重要な書類も安心してやりとりできます。

▶ ファクシミリボックス

F ネットから送信された原稿を、F ネット側で一時お預かりするサービスです。ファクスや電話を長時間使っても、ファクシミリボックスに蓄積された原稿を後で受け取ることができます。()

▶ 一斉同報通信

1 回のダイヤル操作で、10 カ所までの宛先に同一原稿を同時に送信できます。サークルやクラブなどの連絡に便利です。F ネット短縮ダイヤルを利用すれば、簡単な操作で最大 10 000 カ所までの同報通信が行えます。

▶ 夜間配送指定通信

昼間 F ネットへ原稿を送信し、夜間の割引時間帯(午後 7 時～翌朝 8 時まで)に F ネットから相手先へ送信させることができます。約 40 % の割引になります。

短縮ダイヤルや()印のサービスには別途ご契約が必要です。

F ネットのご利用については利用契約が必要ですので、NTT 窓口等へお問い合わせください。
なお、記載しているサービス内容及び料金については 1997 年 3 月現在のものです。

ダイヤルインを利用する

NTTのダイヤルインサービスをご契約になると、1本の電話回線でファクシミリ用、本体の電話機用、コードレス電話機用の3つの電話番号（コードレス電話機を増設すると最大6つの電話番号）を使い分けることができます。電話番号の登録のしかたにより、特定の電話機のみを呼び出したり、複数の電話機を一度に呼び出したりすることができます。ただし、1本の電話回線なので、ファクシミリと電話を同時に使用することはできません。

STOP お願い

ダイヤルインサービスをご利用になるには、NTTとのご契約およびダイヤルインの登録（P.122）が必要です。ダイヤルインサービスをご契約いただく際は、「2つの番号（最大6つ）は4桁（送出番号）」とご指定ください。ダイヤルインを利用するために、特別な装置を接続する必要はありません。一部の地域ではダイヤルインサービスをご利用になれない場合があります。詳しくはNTT窓口等へお問い合わせください。ダイヤルインサービスをご契約いただいた場合は、次のNTTサービスはご利用になれません。

- ・キャッチホン
- ・トリオホン
- ・転送電話
- ・電話会議
- ・トーキ案内

ダイヤルインサービスが開始される前にダイヤルインの登録をしてしまうと、電話が使用できなくなってしまいます。ご契約時にダイヤルインサービスの開始日時を確認し、必ずダイヤルインサービスが利用可能になってからダイヤルインの登録を行ってください。

個別呼び出しをする

ファクシミリ用、本体の電話機用、コードレス電話機用の3つ（コードレス電話機を増設した場合は最大6つ）にそれぞれ別の電話番号を登録すると、個別に呼び出しを受けることができます。また、本体の電話機とコードレス電話機、あるいはコードレス電話機どうしに同じ電話番号を登録して使い分けることもできます。ファクシミリ用の電話番号は割り当てないことも可能です。

STOP お願い

ファクシミリ用と電話用（本体とコードレス電話機）には、異なる番号を登録してください。同じ番号を登録しようとすると、ディスプレイに「FAXニトウロクス`ミテ`ス」と表示されるので、もう一度登録しなおしてください。⇒（P.122）

例

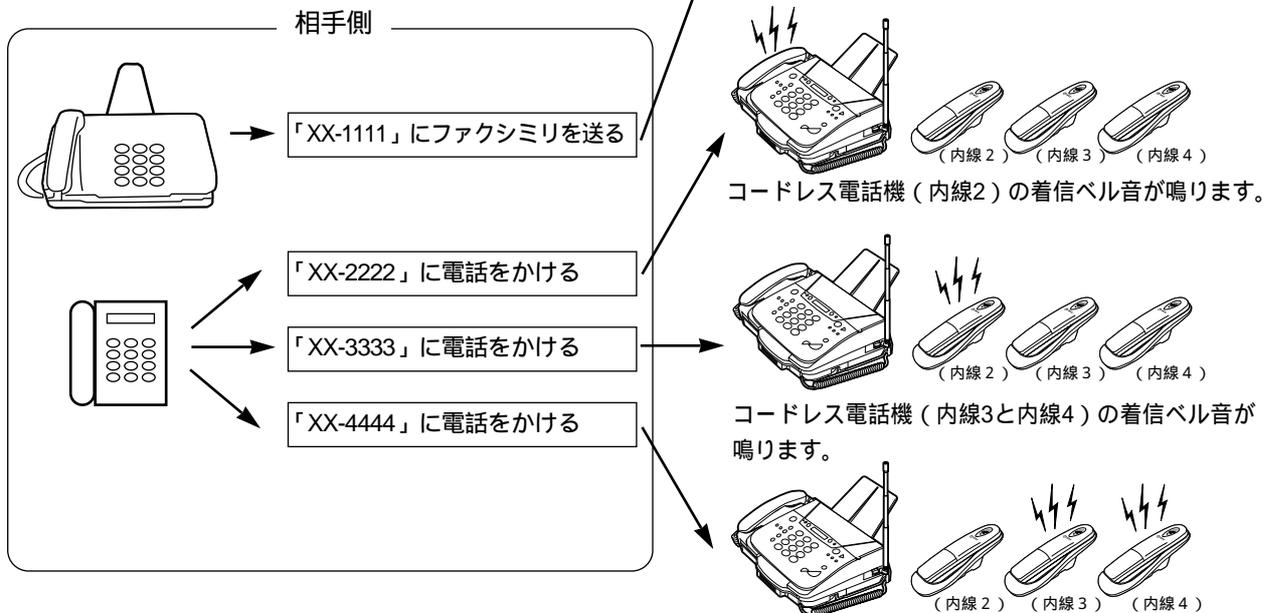
ファクシミリ：XX-1111

本体の電話機（内線1）：XX-2222

付属のコードレス電話機（内線2）：XX-3333

増設したコードレス電話機（内線3）：XX-4444

増設したコードレス電話機（内線4）：XX-4444 に登録した場合



共通鳴動をする

本体の電話機が呼び出されたときに、すべてのコードレス電話機も呼び出すこと（共通鳴動）ができます。

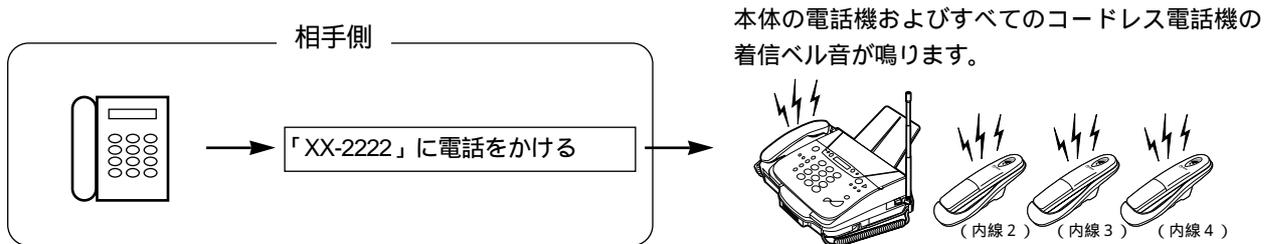
例

本体の電話機（内線1）：XX-2222

付属のコードレス電話機（内線2）：XX-3333

増設したコードレス電話機（内線3）：XX-4444

増設したコードレス電話機（内線4）：XX-4444 に登録した場合



代理応答をする

呼び出されていない電話機でも代わりに応答すること（代理応答）ができます。

代理応答を設定しておくと、呼び出された電話機の着信ベル音が鳴り、呼び出されていない電話機では[おやすみ]ボタンが点滅して電話がかかってきたことを知らせます（本体の場合）。このとき受話器をとると話をすることができます。呼び出されていないコードレス電話機では、着信/充電ランプは点滅しませんが、コードレス電話機をとると話をすることができます。

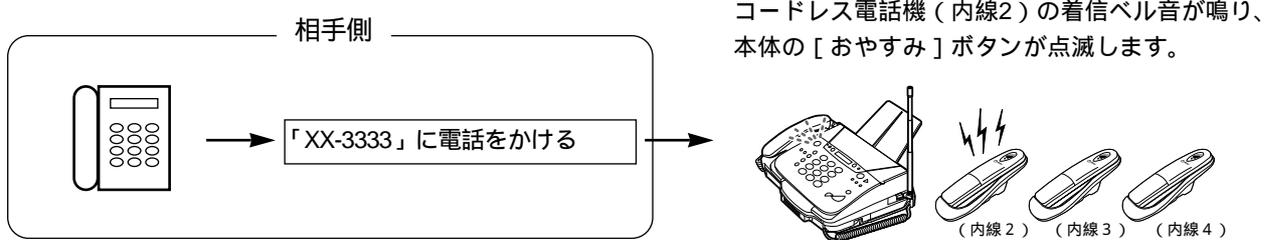
例

本体の電話機（内線1）：XX-2222

付属のコードレス電話機（内線2）：XX-3333

増設したコードレス電話機（内線3）：XX-4444

増設したコードレス電話機（内線4）：XX-4444 に登録した場合



ワンポイント

電話用の番号にファクシミリが送られてきたとき（「ポー・ポー・ポー...」という音が聞こえたとき）は、[スタート]ボタン（またはコードレス電話機の[FAX]ボタン）を押してください。

ファクシミリ用の番号に電話がかかってきたときは、通話できません。

留守番電話を留守設定にした場合は、電話用の番号に電話がかかってきたときに限り、留守番電話が用件を録音します。ファクシミリ用の番号にファクシミリが送られてきたときは、自動的に受信します。留守番電話の応答メッセージに「ファクシミリの方は、ファクシミリ用の番号におかけなおしてください。」等のメッセージを入れておいてください。

停電時に電話を受けるときは、次の方法で行ってください。

ベルが2回だけ鳴ります。

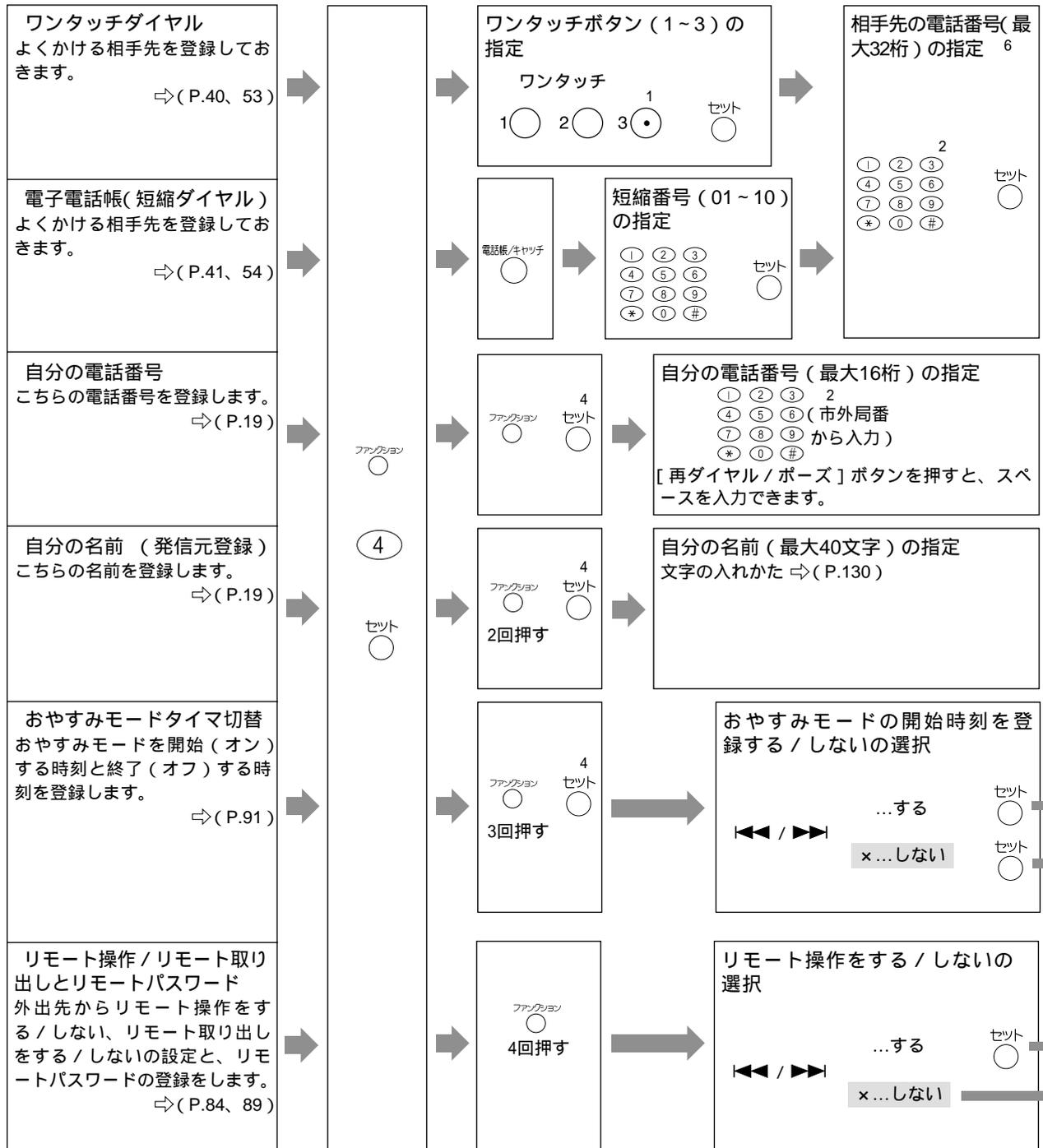
ベルが鳴り終わる前に、受話器をとってください。

「ピバババ」という音が聞こえます。音が鳴り終わったら、受話器を戻します。

1~2秒待ってから、もう一度受話器をとって話をします。

登録モード

登録・設定をする際は、ハンズキャナが外れていないことを確認してください。途中で登録・設定をやめたいときは、[ストップ] ボタンを押してください。登録した内容を変更したいときは、同じ手順で登録しなおします。すでに登録されている内容が表示されたときは、[保留/クリア] ボタンを押して登録しなおします。お買い求めのときは、 に設定されています。



- ワンタッチダイヤル1~3は、電子電話帳(短縮ダイヤル)の短縮番号が01~03と同じものになります。[ワンタッチ1] ボタンに登録すると、短縮番号01に自動的に登録されます(その逆も同様です)。
- 入力を間違えたときは、[◀◀] ボタン、[▶▶] ボタンで間違えた桁にカーソルを移動して入れなおします。最初から入力しなおすときは、[保留/クリア] ボタンを押します。

- 続いてほかの登録をするときは、[セット] ボタンの代わりに [ファンクション] ボタンを押します。
- [セット] ボタンを押さなくても、約3秒後に次の画面が表示されます。
- 例 午後10時05分を指定する場合
2 2 0 5 を押します。

表記の説明

① ② ... : ダイヤルボタンを順に押します。
 ファンクション セット : 各ボタンを順に押します。
 ◀▶▶▶ / ▶▶▶▶ : [◀▶▶▶]ボタンまたは[▶▶▶▶]ボタンを押します。

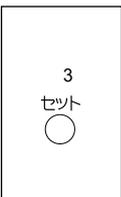
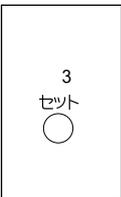
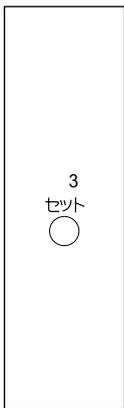
STOP お願い

間違い電話や誤送信を防ぐために、ワンタッチダイヤルや電子電話帳（短縮ダイヤル）に番号を登録する際には、間違いのないようディスプレイの表示を見ながら正確に行ってください。また、登録後には電話番号リスト（P.128）で正しく登録されていることを確認してください。本機に一般電話の電話番号を誤って登録すると、自動再ダイヤル機能により、相手様を何度も呼び出し、大変ご迷惑をおかけすることになりますのでご注意ください。

相手先の名前（最大12文字）の指定

文字の入れかた セット
 ⇨ (P.130)

- ほかのワンタッチボタンを押すと、続けてワンタッチダイヤルの登録ができます。
- [電話帳/キャッチ]ボタンを押すと、続けて短縮ダイヤルの登録ができます。



おやすみモードの開始時刻の指定（24時間制4桁）⁵

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ * 0 # セット

すでに登録されているときは、新しい時刻を入れると前の時刻が消えます。

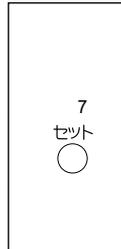
おやすみモードの終了時刻を登録する/しないの選択

...する
 ◀▶▶▶ / ▶▶▶▶

x...しない

おやすみモードの終了時刻の指定（24時間制4桁）⁵

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ * 0 # セット



リモート取り出しをする/しないの選択

...する
 ◀▶▶▶ / ▶▶▶▶

x...しない

リモートパスワード（4桁）の指定

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ * 0 # セット

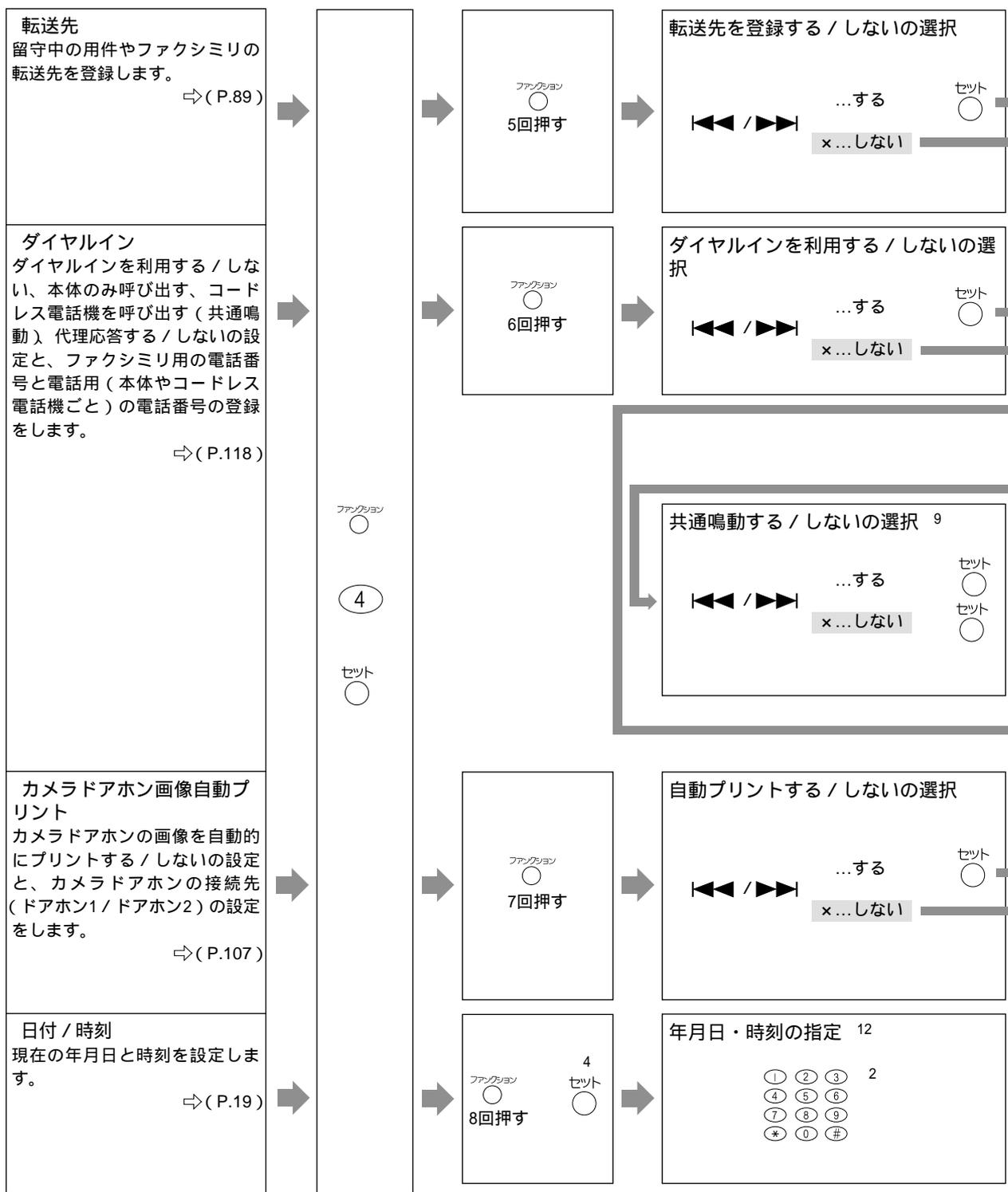
すでに登録されているときは、新しいパスワードを入れると前のパスワードが消えます。



6 • [再ダイヤル/ポーズ]ボタンを押すと「P」と表示され、ダイヤルするときに約3秒間の間隔が入ります。
 • ブッシュ回線でお使いの場合は「*」や「#」も登録できます。ただし、ブッシュ回線からダイヤル回線に変更した場合は、「*」や「#」を入力する前に[PB]ボタンを押して登録しなおしてください。[PB]ボタンを押すと「T」と表示され、「T」のあとに登録した番号がブッシュ信号でダイヤルされます。

• 登録できる相手先の電話番号は、「P」や「T」も含めて最大32桁です。
 7 続いてほかの登録をするときは、[セット]ボタンの代わりに[ファンクション]ボタンを押します（1つ前の手順で「しない(x)」を選んだとき以外）。

登録・設定をする際は、ハンズキャナが外れていないことを確認してください。途中で登録・設定をやめたいときは、[ストップ]ボタンを押してください。登録した内容を変更したいときは、同じ手順で登録しなおします。すでに登録されている内容が表示されたときは、[保留/クリア]ボタンを押して登録しなおします。お買い求めのときは、 に設定されています。



- 2 入力を間違えたときは、[◀◀]ボタン、[▶▶]ボタンで間違えた桁にカーソルを移動して入れなおします。最初から入力しなおすときは[保留/クリア]ボタンを押します。
- 3 続いてほかの登録をするときは、[セット]ボタンの代わりに[ファンクション]ボタンを押します。
- 4 [セット]ボタンを押さなくても、約3秒後に次の画面が表示されます。
- 7 続いてほかの登録をするときは、[セット]ボタンの代わりに[ファンクション]ボタンを押します(1つ前の手順で「しない(x)」を選んだとき以外)。
- 8 • [再ダイヤル/ポーズ]ボタンを押すと、ポーズ「P」を入力できます。

- 転送先にポケットベルの番号を登録すると、留守中に電話やファクシミリが入ったときにポケットベルを呼び出します。ディスプレイ付のポケットベルにメッセージ(ダイヤル番号)を表示させたいときは、次のように入力してください。
NTT DoCoMoの場合
転送先の電話番号 + [ポーズ]10回 + 表示させる番号 + ## (ダイヤル回線でお使いの場合は、表示させる番号を入力する前に[PB]ボタンを押してください。)
NTT DoCoMo以外のポケットベルへ転送するときは操作が異なることがありますので、詳しくは転送するポケットベルの取扱説明書をご覧ください。

表記の説明

① ② ... : ダイヤルボタンを順に押します。
 ファンクション セット : 各ボタンを順に押します。
 ◀▶ / ▶▶▶ : [◀▶▶]ボタンまたは[▶▶▶]ボタンを押します。

転送先の電話番号 (最大40桁) の指定 8

① ② ③ 2
 ④ ⑤ ⑥
 ⑦ ⑧ ⑨
 * 0 #

すでに登録されているときは、[保留 / クリア] ボタンを押して入力しなおします。

7
 セット
 ○

ファクシミリ用の電話番号を登録する / しないの選択

...する セット ○
 x...しない セット ○

◀▶▶ / ▶▶▶

ファクシミリ用の電話番号 (局番なしの下4桁) の指定

① ② ③ 2 セット ○
 ④ ⑤ ⑥
 ⑦ ⑧ ⑨
 * 0 #

電話 (本体) 用の電話番号 (局番なしの下4桁) の指定

① ② ③ 2 セット ○
 ④ ⑤ ⑥
 ⑦ ⑧ ⑨
 * 0 #

電話 (コードレス電話機) 用の電話番号 (局番なしの下4桁) の指定 10

① ② ③ 2 セット ○
 ④ ⑤ ⑥
 ⑦ ⑧ ⑨
 * 0 #

コードレス電話機ごとに指定

代理応答する / しないの選択

...する
 x...しない

◀▶▶ / ▶▶▶

15
 セット
 ○

カメラドアホンの接続先の指定 11

◀▶▶ / ▶▶▶ ドアホン1
 ドアホン2

7
 セット
 ○

3
 セット
 ○

STOP お願い

ダイヤルインサービスが開始される前にダイヤルインの登録をしてしまうと、電話が使用できなくなってしまいます。ご契約時にダイヤルインサービスの開始日時を確認し、必ずダイヤルインサービスが利用可能になってから、ダイヤルインの登録を行ってください。

ファクシミリ用と電話用 (本体とコードレス電話機) の電話番号は、送出番号 (局番なしの下4桁) をそれぞれ登録してください。

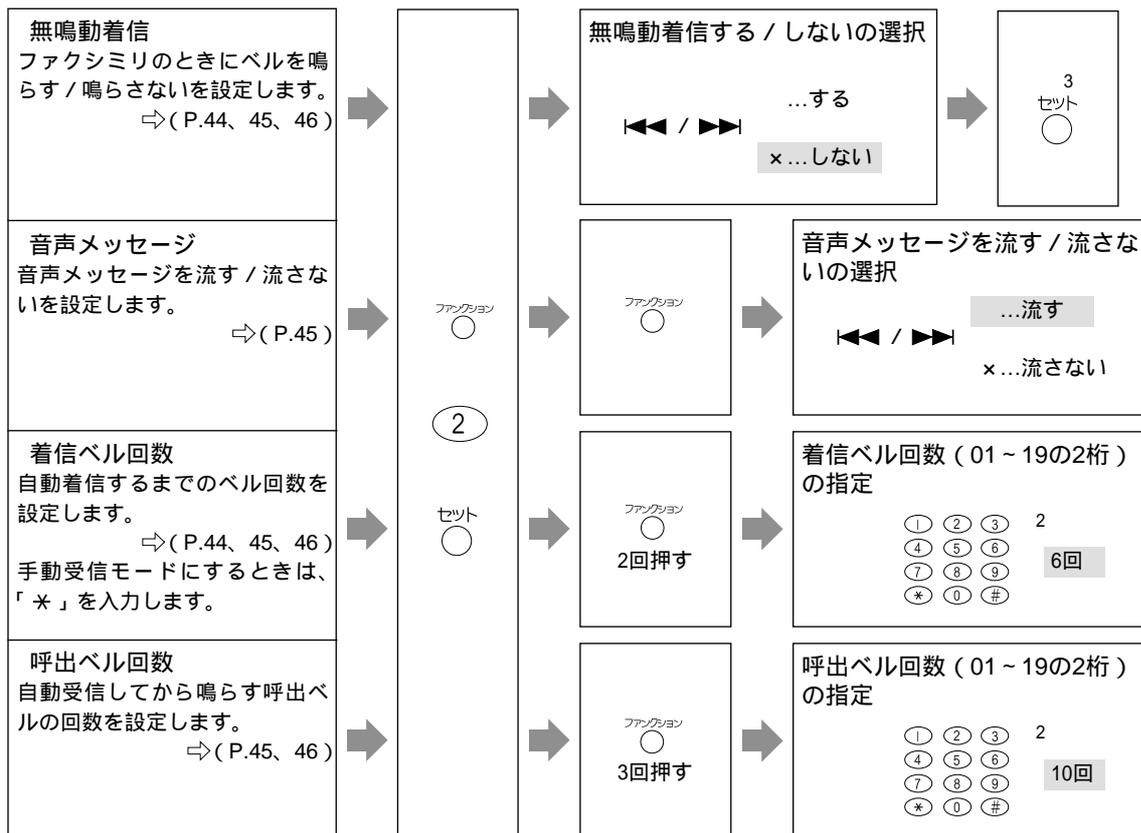
電話用 (本体とコードレス電話機) の電話番号には、ファクシミリ用と異なる番号を登録してください。同じ番号を登録しようとすると、ディスプレイに「FAXニトウロクズミデス」と表示されるので、もう一度登録しなおしてください。

- 9 共通鳴動を「する ()」に設定すると、本体の電話機が呼び出されたときに、すべてのコードレス電話機でも呼び出音が鳴ります。
- 10 コードレス電話機を増設したときは、コードレス電話機ごとに電話番号を登録することができ、特定のコードレス電話機のみ呼び出したり、複数のコードレス電話機を一度に呼び出したりすることが可能です。
 ディスプレイに「ナイセン2=」 「ナイセン3=」...の順に表示されるので、それぞれ電話番号を登録してください。
- 11 接続先の指定を間違えると画像プリントができませんので、ご注意ください。また、カメラドアホンが2台接続されている場合でも、自動プリントできるカメラドアホンは、ここで指定した1台のみです。

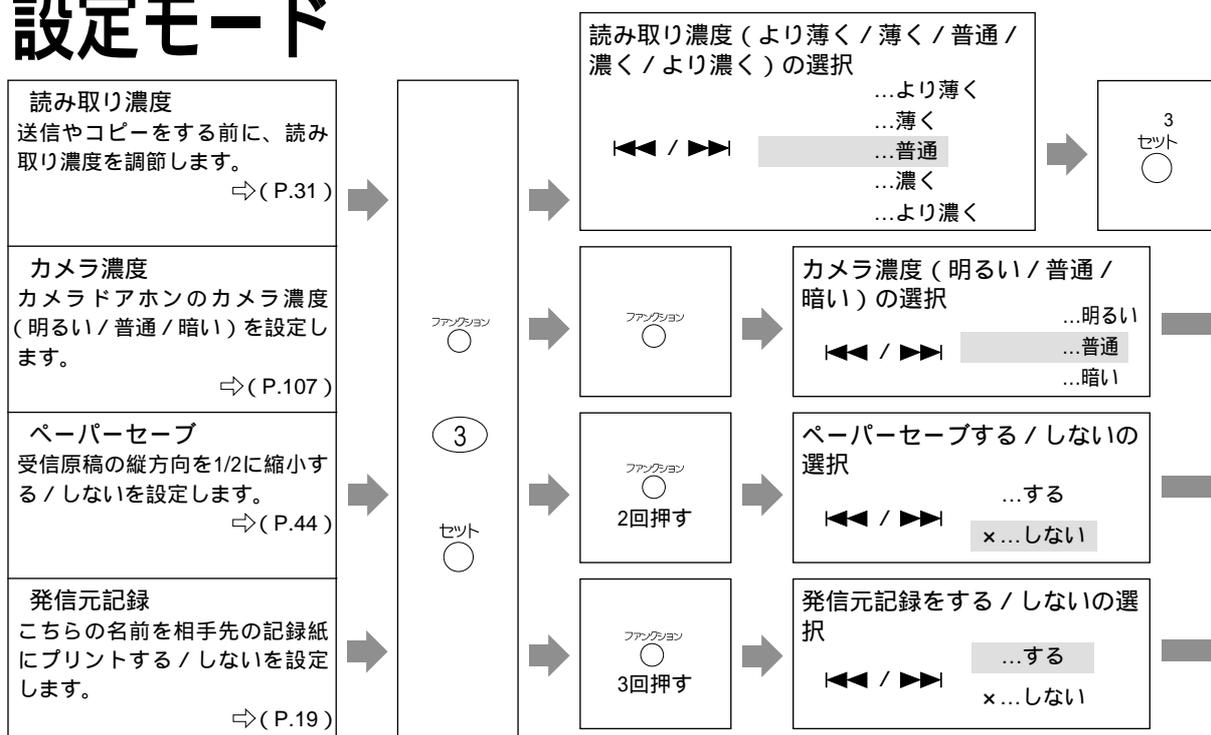
- 12 年は、西暦で下2桁を入力してください。「90」~「99」を入力すると1990~1999年、「00」~「89」を入力すると2000~2089年となります。
 - 時刻は、24時間制で入力してください。
 例 1997年4月30日午後2:00に設定する場合
 ⑨ ⑦ ⑦ ⑦ ④ ③ ④ ③ ① ④ ① ④ ① ①
 と押します。
- 15 続いてほかの登録をするときは、[セット] ボタンの代わりに [ファンクション] ボタンを押します (ダイヤルインを利用する / しないの選択で「しない (x)」を選んだとき以外)。

受信設定

登録・設定をする際は、ハンズキャナが外れていないことを確認してください。途中で登録・設定をやめたいときは、[ストップ] ボタンを押してください。登録した内容を変更したいときは、同じ手順で登録しなおします。すでに登録されている内容が表示されたときは、[保留/クリア] ボタンを押して登録しなおします。お買い求めのときは、 に設定されています。



設定モード

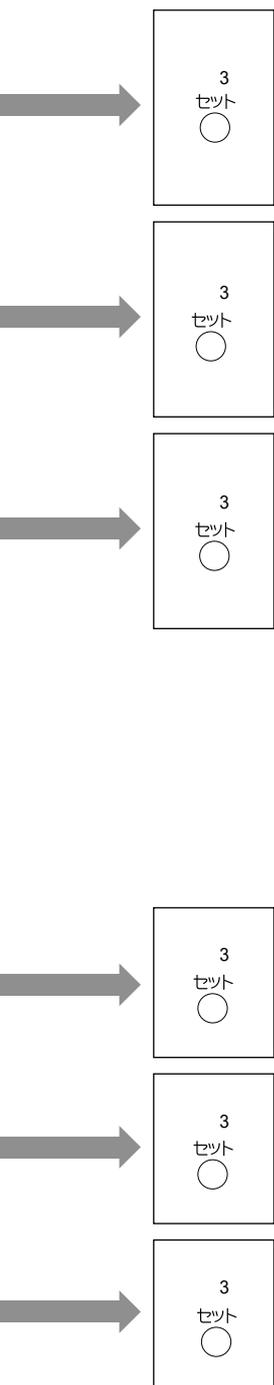


2 入力の間違ったときは、[◀◀] ボタン、[▶▶] ボタンで間違えた桁にカーソルを移動して入れなおします。最初から入力しなおすときは [保留/クリア] ボタンを押します。

3 続いてほかの登録をするときは、[セット] ボタンの代わりに [ファンクション] ボタンを押します。

表記の説明

① ② ... : ダイヤルボタンを順に押します。
ファンクション セット : 各ボタンを順に押します。
 ◀▶▶▶ / ▶▶▶▶ : [◀▶▶▶]ボタンまたは[▶▶▶▶]ボタンを押します。



STOP **お願い**

「無鳴動着信する」に設定すると、着信ベル回数の設定に関係なく、ファクス受信時には着信ベルが鳴らなくなります。また、電話の着信でベルがなったときには、電話に出なくても常に相手の方に通話料金がかかります。

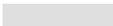
STOP **お願い**

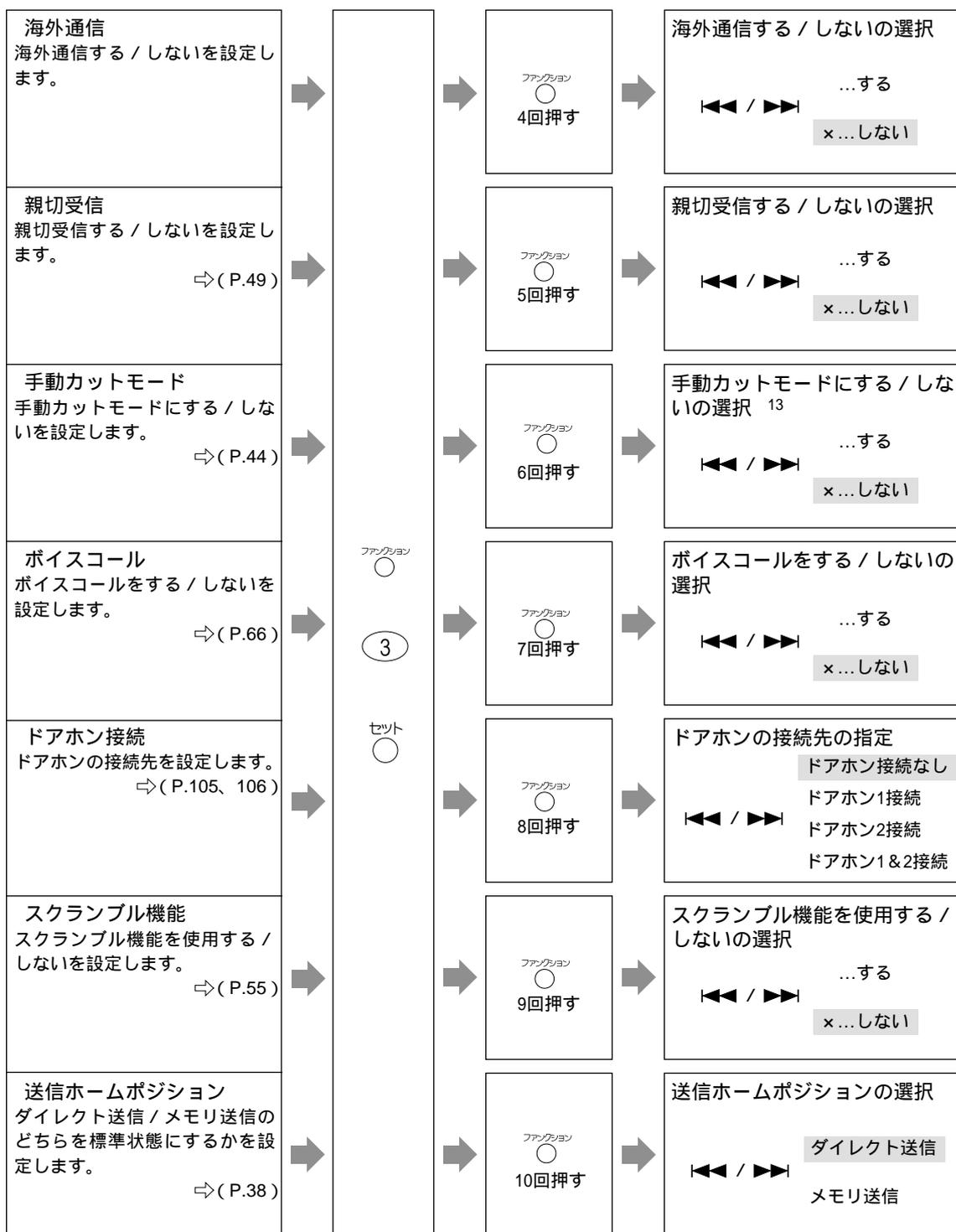
音声メッセージを「流さない(×)」に設定した場合は、自動受信したあと、相手先への課金が始まっているにもかかわらず、呼出音「プルルルル...」が聞こえるだけになりますので、ご注意ください。

STOP **お願い**

「無鳴動着信する」に設定している場合には、着信ベル回数の設定に関係なく、無鳴動着信の設定が優先されます。
 着信ベル回数を10回以上に設定すると、相手のファクシミリが自動送信の場合に自動的に受信できないことがあります。
 手動受信モード(着信ベル回数無制限)にするには、ベル回数の設定値として「*」を入力してください。

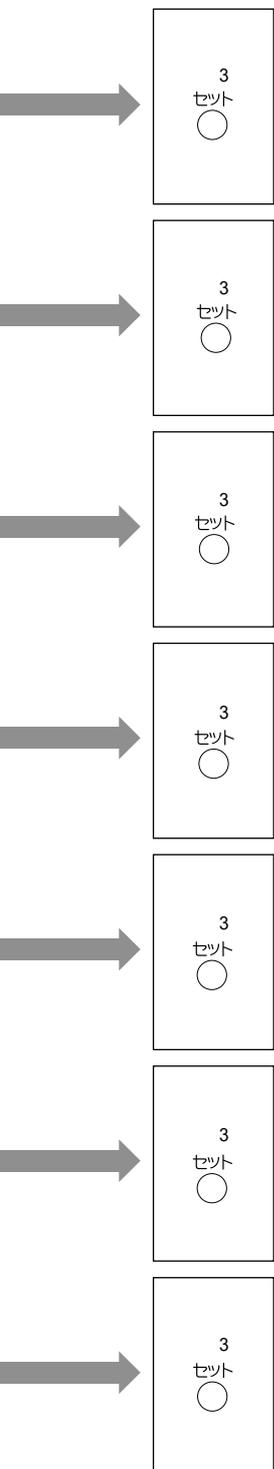
登録・設定をする際は、ハンズキャナが外れていないことを確認してください。途中で登録・設定をやめたいときは、[ストップ] ボタンを押してください。登録した内容を変更したいときは、同じ手順で登録しなおします。

お買い求めのときは、 に設定されています。



3 続いてほかの登録をするときは、[セット] ボタンの代わりに [ファンクション] ボタンを押します。

13 手動カットモードを「する ()」に設定した場合は、コピーした記録紙も、受信したときと同様に自動カットされなくなります。手動カットをするときは、[ストップ] ボタンを押すと、最後のページの終わりをカットすることができます。



表記の説明

① ② ... : ダイヤルボタンを順に押します。

ファンクション セット
○ ○ : 各ボタンを順に押します。

◀◀ / ▶▶ : [◀◀]ボタンまたは[▶▶]ボタンを押します。

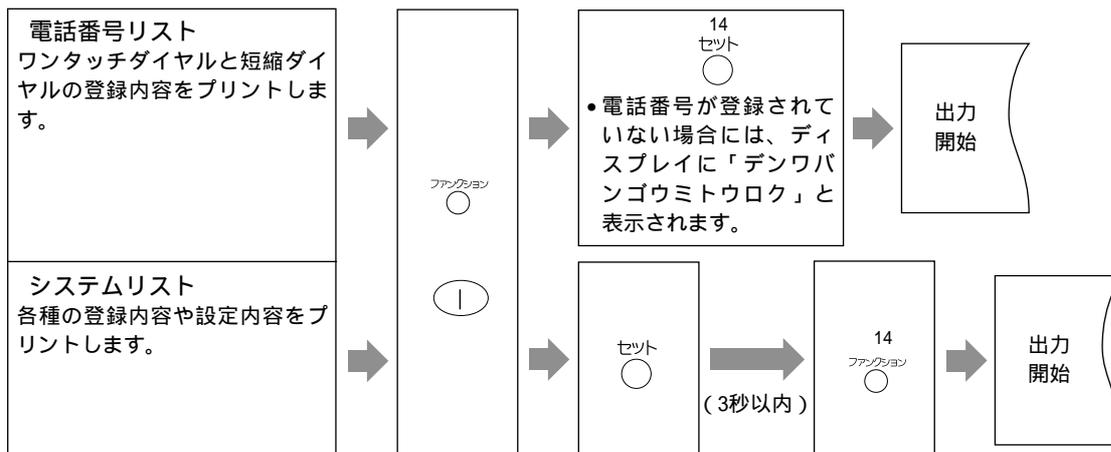
STOP お願い

国際ダイヤル通信を利用して海外にファクシミリを送る場合、国際電話番号（001、0061、0041）をダイヤル後、そのまま国番号と相手先電話番号をダイヤルしても途中で話し中になり、通信できないことがあります。このようなときは、国際電話番号のあとに[再ダイヤル/ポーズ]ボタンを2回押し（約6秒間の空白時間が入ります）、残りの電話番号をダイヤルしてください。それでも通信できない場合は、受話器をとって回線の接続具合を確認しながらダイヤルしてください。

国内の相手に送るときは、「海外通信しない」に設定してください。

リストプリント

登録・設定をする際は、ハンズキャナが外れていないことを確認してください。途中で登録・設定をやめたいときは、[ストップ] ボタンを押してください。



電話番号リストのプリント例

デ ン ワ バ ン ゴ ウ リ ス ト

1 9 9 7 . 4 . 3 0 1 2 : 0 6

トウキョウ シシャ

ワンタッチ	タンシュク	アイテサキ	デ`ンワバ`ンゴ`ウ
1	01	エイキ`ョウ	0335095538
2	02	カイハツ	0335094202
3	03	トウキョウ シシャ	0337407951
	04	トウカイ シシャ	0522641434
	05	ホクリク シシャ	0762446785
	06	シコク シシャ	0899362136
	07	キュウシュウ シシャ	0963212121
	08	ホッカイト`ウ シシャ	0112124413
	09	サイタマ シシャ	0488826645
	10	イバ`ラキ シシャ	0292311049

14 約3秒後にプリントを開始します。[セット] ボタンを押すと、すぐにプリントを開始します。
途中でプリントをやめたいときは、[ストップ] ボタンを押してください。

表記の説明

① ② ... : ダイヤルボタンを順に押します。
ファンクション セット
 ○ ○ : 各ボタンを順に押します。

お願い

システムリストを出力するときは、[セット] ボタンを押したあと3秒以内に [ファンクション] ボタンを押してください。3秒以上経過すると、電話番号リストがプリントされます。

システムリストのプリント例

システム リスト	
1 9 9 7 . 4 . 3 0 1 2 : 0 6	
エイキ ヨウ	
コ ウ モ ク	ナ イ ヨ ウ
キロクシサイズ	B 4
ムメイド ウ チャクシン	シナイ
オンセイ メッセージ	ナガ ス
チャクシンベ ル カイスウ	6 カイ
ヨビ ダ シベ ル カイスウ	1 0 カイ
ヨミトリ ノウト	フツウ
カメラ ノウト	フツウ
ペ ーパ ーセーフ	シナイ
ハッシンモト キロク	スル
カイガ イツウシン モード	シナイ
シンセツ シ ユシン	シナイ
シュド ウ カット	シナイ
ホ イスコール	スル
ト アホン1	ナシ
ト アホン2	ナシ
スクランプ ル	スル
ソウシン ホームホ シ ション	ダ イレクト ソウシン
カイセン シュベ ツ	P B
デ ンワバ ンゴ ウ	0 3 3 5 0 9 5 5 3 8
ハッシンモト	エイキ ヨウ
オヤスミ オン シ コク	2 2 : 0 0
オヤスミ オフ シ コク	6 : 0 0
リモート ソウサ	スル
リモート トリダ シ	スル リモート パ スワード = 3 2 1 0
ヨウケン テンソウ	スル
テンソウサキ	0 3 3 7 4 0 7 9 5 1
ダ イヤルイン	シナイ
カメラト アホン	シナイ
サイセイ シ ユンシ ヨ	OLD - - NEW
トールセイバ	スル
ナイセン2	アリ
ナイセン3	ナシ
ナイセン4	ナシ
ナイセン5	ナシ
FAX シ ヨウホウ	
ワンタッチ1	ナマエ ハウシキ アイテ コート NTTカイハツ ホ ーリング ハウシキ 0 3 3 5 0 9 4 2 0 2
ワンタッチ2	ナマエ ハウシキ アイテ コート NTTトウキョウ ガ イダ ンス ハウシキ 0 3 3 7 4 0 7 9 5 1 0 1 # P P 0 2 #
ワンタッチ3	ナマエ ハウシキ アイテ コート NTTトウカイ Fネット ハウシキ 1 6 2 # 2 8 4 0 5 2 2 6 4 1 4 3 4 0 1 #

文字の入れかた

発信元(自分の名前)を登録するときや、ワンタッチダイヤルや電子電話帳(短縮ダイヤル)に相手先の名前を登録するときなどの文字の入れかたを説明します。⇒(P.120)

ワンポイント

カタカナ、数字、アルファベット、記号が入力できます。

文字の選びかた

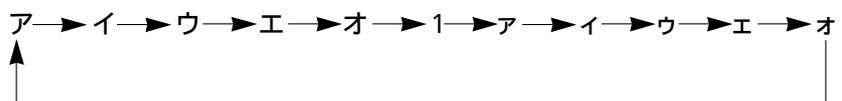
文字は、ダイヤルボタンで選びます。どのボタンを何回押すと、どの文字が表示されるのかは、下記の表をご覧ください。

ボタン	押した回数と表示する文字														
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
1	ア	イ	ウ	エ	オ	1	ア	イ	ウ	エ	オ				
2	カ	キ	ク	ケ	コ	2	A	B	C						
3	サ	シ	ス	セ	ソ	3	D	E	F						
4	タ	チ	ツ	テ	ト	4	G	H	I	ッ					
5	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	5	J	K	L						
6	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	6	M	N	O						
7	マ	ミ	ム	メ	モ	7	P	Q	R	S					
8	ヤ	ユ	ヨ	8	T	U	V	ヤ	ユ	ヨ					
9	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ヲ	ン	9	W	X	Y	Z		
0	・	°	-	.	空白	0	()	・	'	*	#	&	,	。

ワンポイント

[0] ボタンを5回押して「空白」を選ぶと1文字分間が空きます。

ダイヤルボタンを押すごとに、上の表に示す順に文字を表示します。例えば、[1] ボタンを押すごとに、次のような順で文字を表示します。



文字の入力のしかた

例 発信元登録で「エイキョウ」と登録する場合

Ⓘ

1 [1] ボタンを 4 回押します。
「Ⓘ」を表示します。

Ⓘ_

2 [▶▶] ボタンを押します。
「Ⓘ」が入力されます。

Ⓘイ

3 [1] ボタンを 2 回押します。
「イ」を表示します。

Ⓘイ_

4 [▶▶] ボタンを押します。
「イ」が入力されます。

Ⓘ住

5 [2] ボタンを 2 回押します。
「キ」を表示します。

Ⓘ住_

6 [▶▶] ボタンを押します。
「キ」が入力されます。

Ⓘ住_

7 [0] ボタンを 1 回押します。
「^レ」を表示します。

Ⓘ住^レ_

8 [▶▶] ボタンを押します。
「^レ」が入力されます。

Ⓘ住^レヨ

9 [8] ボタンを 10 回押します。
「ヨ」を表示します。

Ⓘ住^レヨ_

10 [▶▶] ボタンを押します。
「ヨ」が入力されます。

Ⓘ住^レヨウ

11 [1] ボタンを 3 回押します。
「ウ」を表示します。

カーソル

カリョウ

12 [セット] ボタンを押します。
「エイギョウ」が入力されます。

▶ 文字を間違えたときは

[◀◀] ボタン、[▶▶] ボタンで間違えた所にカーソルを移動して訂正します。最初から入れなおすときは、[保留 / クリア] ボタンを押します。

記録紙を交換するとき

記録紙がなくなると、ディスプレイに「カバー/キロクシ カクニン」と表示され、アラームランプ(赤色)が点灯します。

受信している途中で記録紙がなくなると、「ピーピーピーピー」という音がして、受信を中断します。記録紙がなくなると、次に受信した文書からはメモリに記憶され、新しい記録紙を入れると自動的にプリントします。

ワンポイント

記録紙の端に赤い帯が見えはじめたら、記録紙を交換してください。

お願い

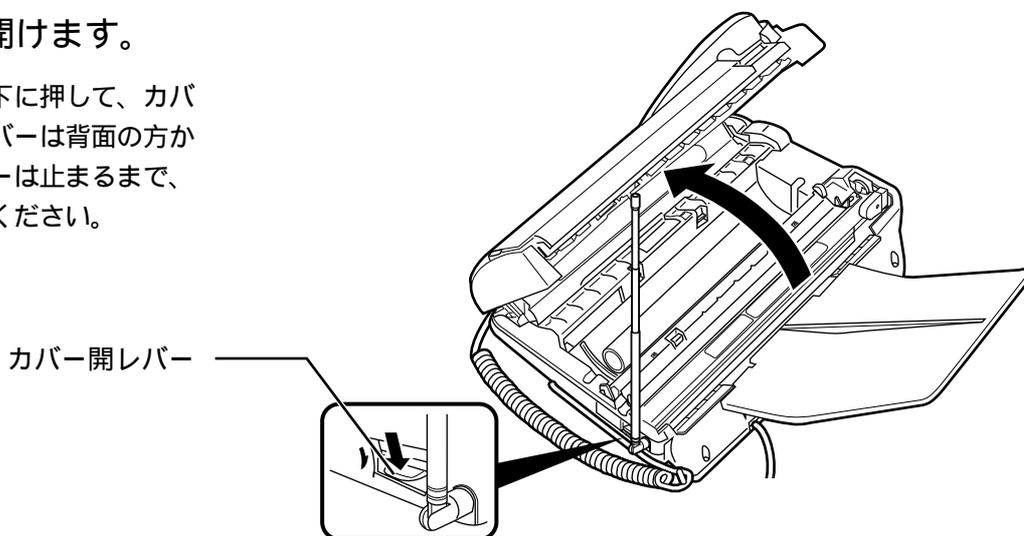
記録紙の交換は、電源を入れたまま行ってください。

記録品質への悪影響および故障の原因となることがありますので、当社指定の記録紙のご使用をお勧めします。

⇒ (P.149)

1 カバーを開けます。

カバー開レバーを下に押し、カバーを開けます。カバーは背面の方から開きます。カバーは止まるまで、いっぱいにかけてください。



注意

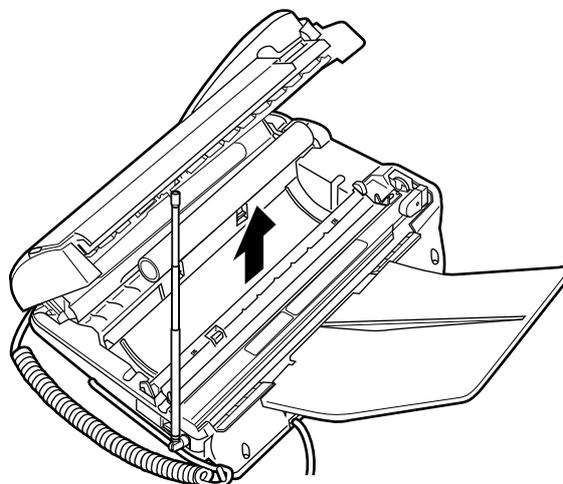


このマークの貼ってある所には手を触れないようにご注意ください。けがをする場合があります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



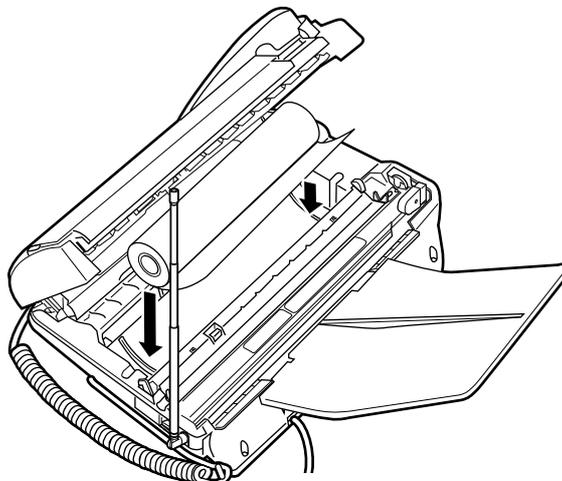
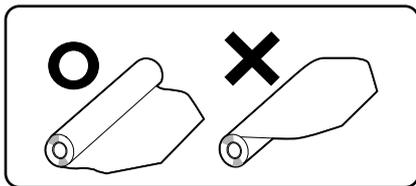
サーマルヘッド周辺は高温になっている場合があります。高温時は、手を触れないようにご注意ください。やけどをする場合があります。

2 古い記録紙の巻芯を取り除きます。



3 新しい記録紙を入れます。

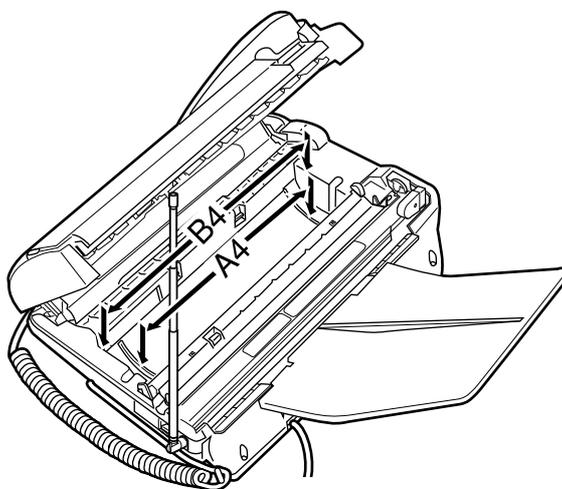
新しい記録紙を包装紙から出し、本体の中に入れます。



お願い

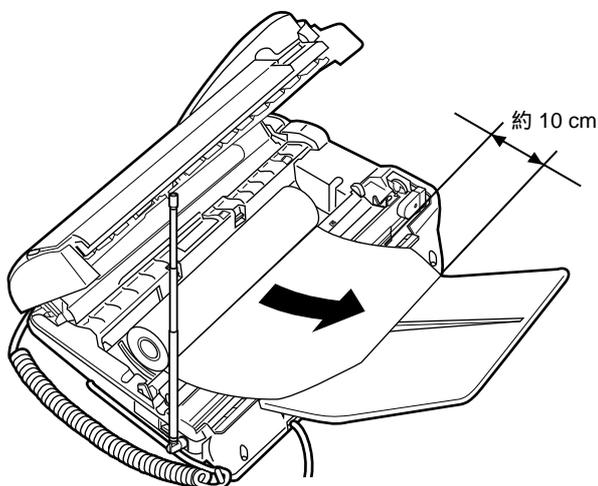
記録紙の向きを間違えないように注意してください。向きを間違えるとプリントされず、白紙が出てきます。

▶ A4サイズの記録紙を入れるときは記録紙受け部の段差の中に入れてください。



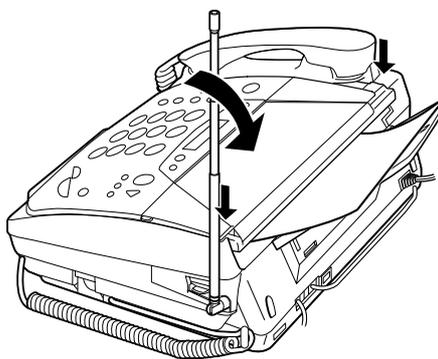
4 記録紙を引き出します。

記録紙の先端を本体より10 cm位引き出します。



5 カバーを閉めます。

記録紙をはさむように、カバーを閉めます。カバーの両端を押して、確実に閉めてください。



6 記録紙のサイズを選びます。

[1] [2] または [◀◀] [▶▶] ボタンで記録紙サイズを選びます。

キロクシハ? 1: B4 2: A4

例 B4 の記録紙をセットした場合
[1] ボタンを押します。

7 [セット] ボタンを押します。

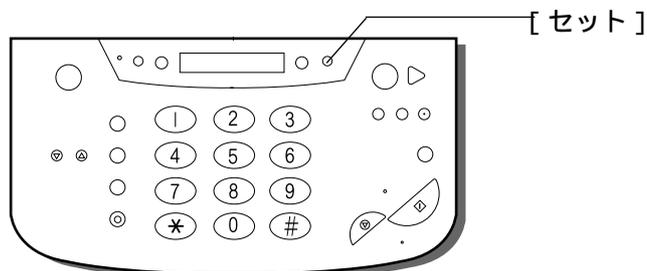
記録紙サイズが設定されます。

しばらくすると(約5秒)自動的に記録紙がカットされます。これで記録紙の交換は終わりです。

キロクシサイズ B4 ニシマシタ

シハ ラク オマチクダ サイ

4/30 12:00 0



ワンポイント

[セット] ボタンを押さなくても、30秒経つと選んだ記録紙サイズが設定されます。「キロクシサイズB4 ニシマシタ」と表示されている間に、もう一度 [セット] ボタンを押すと、すぐに記録紙をカットします。

お願い

記録紙サイズは、正しく設定してください。

記録紙サイズ	設定値	受信したサイズ	
		A 4	B 4
A 4	A 4	A4 幅にプリント	A4 縮小してプリント
	B 4	A4 幅にプリント*	A4 幅原寸 *
B 4	A 4	A4 幅にプリント	A4 縮小してプリント
	B 4	A4 幅にプリント	B4 幅原寸

* はみ出した部分はプリントされません。

記録紙を交換したら、コピーをとって記録紙が正しくセットできたか確認してください。記録紙の表裏を逆さに入れると、プリントされず白紙が出てきます。

記録紙を交換してもメモリ内の受信文書がプリント出力されないときは

メモリ内に B4 サイズの受信文書が入っているときに、B4 サイズの記録紙から A4 サイズの記録紙に交換すると、記録紙を交換してもディスプレイに「B4 キロクシライレテクダサイ」と表示され、メモリ内の受信文書がプリントされません。このようなときは、B4 の記録紙を入れてください。B4 の記録紙がないときは、一度カバーを開け、記録紙を引き出してから、もう一度カバーを閉じてください。ディスプレイに「キロクシハ? 1: B4 2: A4」と表示されますので、「B4」を選んでください。メモリ内の文書がプリントされます。ただし、この場合記録紙からはみ出した部分はプリントされません。

ワンポイント

メモリ内の受信文書をプリントしたら、もう一度カバーを開け、記録紙を引き出してからカバーを閉じ、記録紙サイズを「A4」にセットしなおしてください。

お願い

記録紙の保存方法

高温、多湿、直射日光を避け、乾燥した冷暗所に保管してください。
青焼紙等と重ねて保管しないでください。記録紙が変色します。

受信した記録紙の取り扱い

ハイグレード感熱記録紙をご使用の場合

普通の感熱紙にくらべ、長期間の保存に適しています。さらに、普通紙のように鉛筆で書き込みができ、朱肉やマーカーペンを使っても、変色しにくくなっています。

普通の感熱記録紙をご使用の場合

消しゴム、粘着テープ、ボンド、スティックのりなどを使うと、変色することがあります。硬い物で押さえたり、重い物をのせたりした場合も変色することがあります。

長期間保存したい場合は、普通紙にコピーするか、「ハイグレード感熱記録紙」をご使用ください。

紙づまりのとき

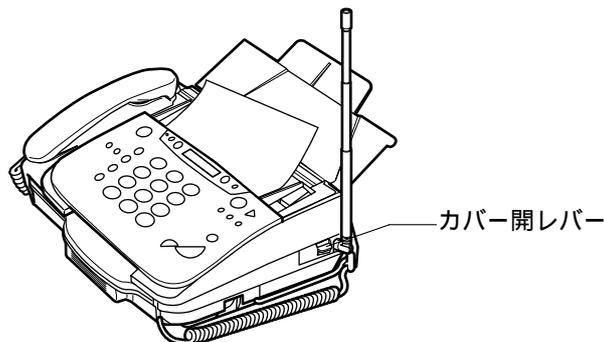
原稿が詰まったとき

原稿が正しくセットされていないか、そのままでは送れない原稿をセットしたりすると、読み取り中に原稿が詰まってしまうことがあります。

原稿が詰まると、ディスプレイに「ゲンコウ カクニン」と表示され、アラームランプ(赤色)が点灯します。送信の途中で原稿が詰まると、「ピーピーピーピー」という音がして送信を中断します。

1 カバーを開けます。

カバー開レバーを下に押し、カバーを開けます。カバーは背面の方から開きます。カバーは止まるまで、いっぱいにかけてください。原稿が軽く動かせるようになります。



⚠ 注意



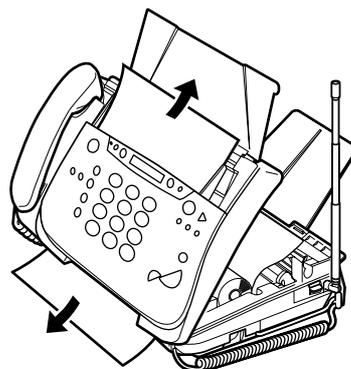
このマークの貼ってある所には手を触れないようにご注意ください。けがをする場合があります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



サーマルヘッド周辺は高温になっている場合があります。高温時は、手を触れないようにご注意ください。やけどをする場合があります。

2 原稿を取り除きます。

原稿をセットする側か、排出される側のどちらか取りやすいほうから、ゆっくりと引き抜いてください。原稿挿入口に原稿が残っているときは、残っている原稿を取ってから、つまっている原稿を取り除いてください。

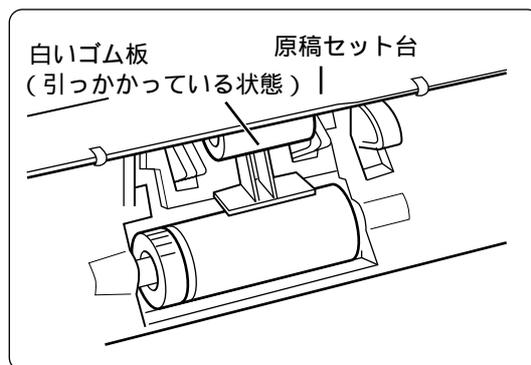
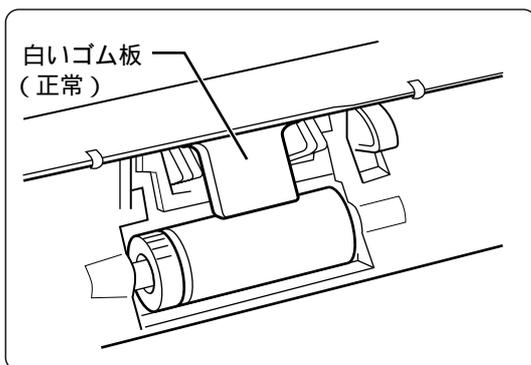


ご注意

つまった原稿をセットする側から取り除いたときは、必ず取り除いたあとに、開けたカバーの内側中央部の白いゴム板が原稿セット台に引っかかっていることを確認してください。

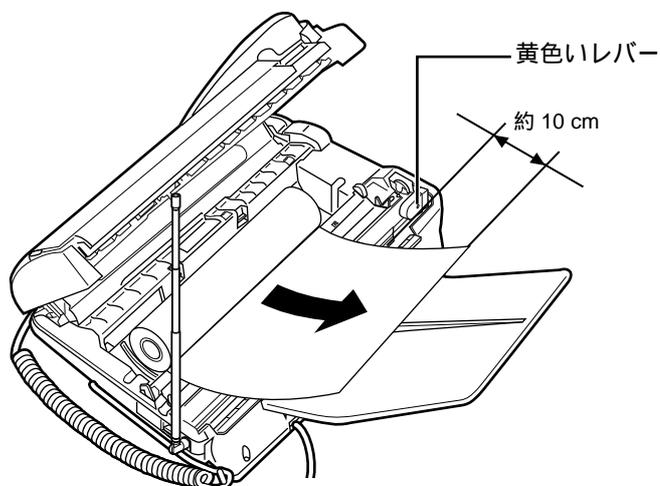
引っかかっていた場合は、左下の図のように元に戻してください。

白いゴム板が引っかかったまましていると、原稿が送り込まれていけないことがあります。



3 記録紙を引き出します。

記録紙の先端を本体より 10 cm 位引き出します。



STOP お願い

黄色いレバーが図の位置にないときは、手で押して図の位置に戻してください。レバーが正しい位置にないままカバーを閉めると、記録紙づまりの原因となることがあります。

4 カバーを閉め、[セット] ボタンを押します。

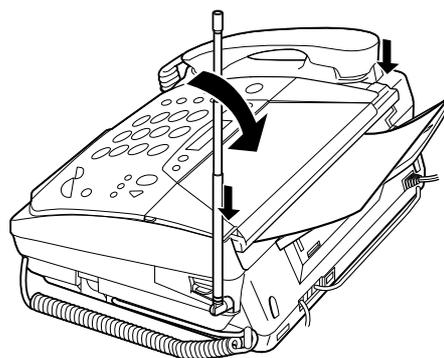
記録紙をはさむように、カバーを閉めます。カバーの両端を押して、確実に閉めてください。しばらくすると(約 5 秒)自動的に記録紙がカットされます。

ワンポイント

「キロクシサイズ B 4 ニシマシタ」と表示されている間に、もう一度 [セット] ボタンを押すと、すぐに記録紙をカットします。

シバ ラク オマチクダ サイ

4/30 12:00 0



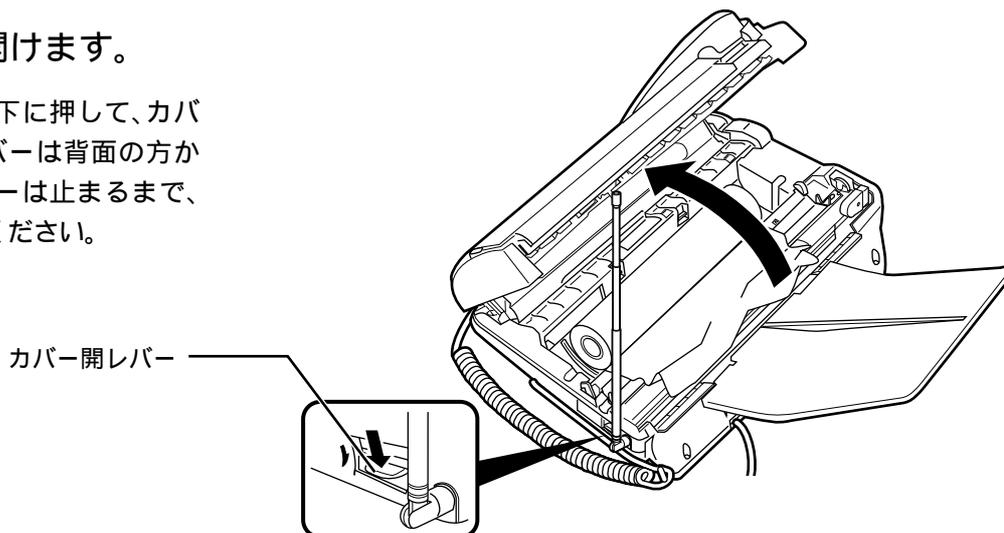
記録紙がつまったとき

記録紙がつまると、ディスプレイに「カバー / キロクシ カクニン」と表示され、アラームランプ(赤色)が点灯します。

受信の途中で記録紙がつまると、「ピーピーピーピー」という音がして受信を中断します。

1 カバーを開けます。

カバー開レバーを下に押し、カバーを開けます。カバーは背面の方から開きます。カバーは止まるまで、いっぱいにかけてください。



⚠ 注意



このマークの貼ってある所には手を触れないようにご注意ください。けがをすることがあります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



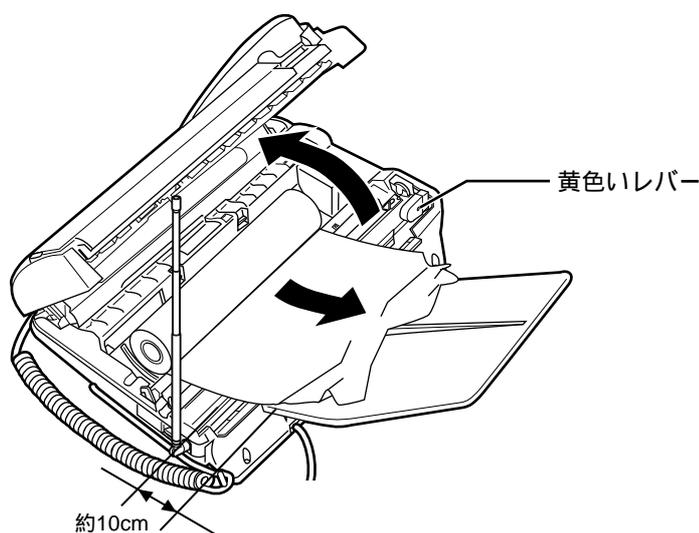
サーマルヘッド周辺は高温になっている場合があります。高温時は、手を触れないようにご注意ください。やけどをすることがあります。

STOP お願い

記録紙スタッカに記録紙が残っているときは、記録紙を取り除いてから、カバーを開けてください。記録紙がつまったときの処置は、電源を入れたままで行ってください。

2 記録紙を引き出します。

記録紙のしわになった部分から、本体より 10 cm 位長く引き出します。



STOP お願い

黄色いレバーが図の位置にないときは、手で押して図の位置に戻してください。レバーが正しい位置にないままカバーを閉めると、記録紙づまりの原因となることがあります。

記録紙は破れないように静かに取り除いてください。取り除く途中で用紙が破れたときは、紙片を機械の中に残さずすべて取り除いてください。

3 カバーを閉め、[セット]ボタンを押します。

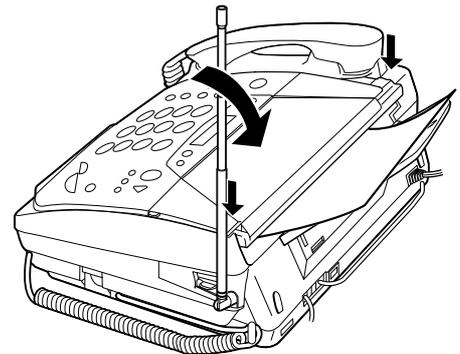
記録紙をはさむように、カバーを閉めます。カバーの両端を押して、確実に閉めてください。
しばらくすると(約5秒)、自動的に記録紙がカットされます。

ワンポイント

「キロクシサイズB4 ニシマシタ」と表示されている間に、もう一度[セット]ボタンを押すと、すぐに記録紙をカットします。

シバ ラク オマチクダ サイ

4/30 12:00 0



コードレス電話機の電池を交換するとき

充電しても、通話中にすぐに電池がなくなり、通話ができなくなったら、新しい電池パックと交換してください。

ワンポイント

電池パックの寿命は、通常の使用で約2年です。

電池パックを交換しても、短縮ダイヤルに登録した電話番号は消去されません。

電池パックについて

電池パックは必ず本機専用のものをお使いください。

新しい電池パックは、充電されていません。電池パックを交換したときは、コードレス電話機を充電器に置いて、9時間以上充電してください。

本電池パックは、リサイクル可能なニカド電池です。使用済電池につきましては端子または接続コードにテープを貼るなどの処置をしてからNTT窓口にご持参していただくか、訪問したNTTの者にお渡しいただくなど、リサイクルの推進にご協力をお願いします。



Ni-Cd

危険

火災、感電、やけど、けがを避けるために

充電は、コードレス電話機専用の充電器を使用してください。その他の充電条件で充電すると、電池パックを漏液、発熱、破裂させる原因となることがあります。

電池パックは、赤（プラス）・黒（マイナス）の向きが決められています。コードレス電話機に接続するときは、赤・黒の向きを確かめて正しく差し込んでください。電池パックを漏液、発熱、破裂させる原因となることがあります。

電池パックを単体では充電しないでください。電池パックを漏液、発熱、破裂させる原因となります。

専用の電池パックを使用してください。また、専用の電池パックは他の機器には使用しないでください。電池パックを漏液、発熱、破裂させる原因となります。

電池パックを使用する場合は、次のことを必ず守ってください。電池パックを漏液、発熱、破裂させる原因となります。

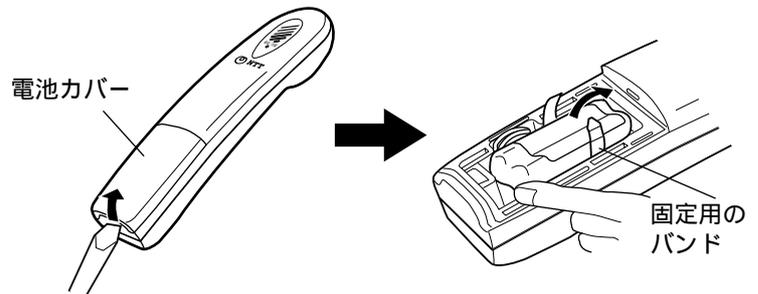
- ・火の中に投入したり、加熱しない。
- ・直接はんだ付けしない。
- ・赤（プラス）・黒（マイナス）を針金などの金属類で接触しない。

電池パックを分解・改造しないでください。電池パックの発熱、破裂の原因となることがあります。

電池パック内部の液が眼に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。

1 電池カバーを開け古い電池パックを外します。

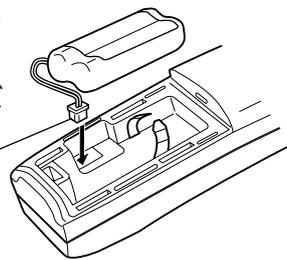
電池カバーの溝にマイナスドライバーなどを差し込み、ひねるようにすると電池カバーが外れます。
固定用のバンド（マジックテープ）を外して、電池パックを取り出し、プラグを外します。



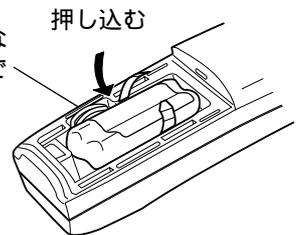
2 新しい電池パックを入れます。

新しい電池パックのプラグを差し込んでから、電池パックを押し込みます。
電池パックを入れたあと、固定用のバンドでとめます。

プラグ
向きが違うとプラグは
差し込めません。

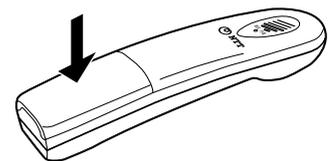
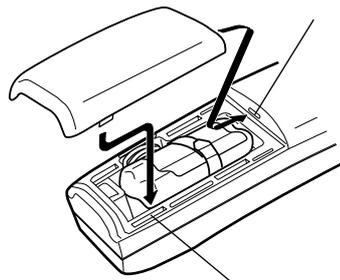


コードを溝のなかに押し込んでおきます。



3 電池カバーを閉めます。

の穴に入れてから、の穴にツメを入れるようにして、カバーを閉めます。



ワンポイント

電池交換後は、充電を始めてもしばらくの間（およそ5分程度）着信／充電ランプが点灯しないことがありますが、故障ではありません。

固定用のバンドのとめ方がゆるいと、コードレス電話機を持ったときに「カタカタ」と電池が動く音がしますので、しっかり固定してください。

お願い

電池接続用のコードを強く引っばらないでください。故障の原因となることがあります。
コードをはさまないように注意してください。

停電がおきたときは

停電がおきた場合や電源プラグをコンセントから抜いた場合は、次のようになります。

できること

本体の受話器で電話をかけた受けたり受けてたりできます。(ダイヤルボタンでダイヤルした場合のみ、電話をかけられます。)

できないこと

ファクシミリの機能・動作が停止し、ファクシミリを送ることも、受けることもできません。コードレス電話機では電話をかけることも受けることもできません。

保留、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルおよび再ダイヤルは使用できません。

停電のあとには

消えてしまう情報と消えない情報があります。

消えてしまう情報	<ul style="list-style-type: none"> ・ ハンドスキャナを使って読み込んだ原稿およびビデオキャプチャで取り込んだ画像 ・ メモリ送信でメモリに読み込んだ送信原稿 ・ 再ダイヤルに記憶された電話番号
消えない情報	<ul style="list-style-type: none"> ・ 時刻 (36時間を超えない停電のとき) ・ 留守番電話に録音した応答メッセージ ・ 留守番電話に録音された相手先の用件 ・ メモリに記憶されている受信文書 ・ 登録した電話番号、発信元、ワンタッチダイヤル、電子電話帳、パスワードなど ・ 自動的にファクシミリを受けるまでのベルの回数や、ペーパーセーブなどの設定

ワンポイント

36時間以上の停電が続いた場合は、時刻の情報は消えてしまいます。停電復旧後に、時刻を合わせてください。

消えてしまった情報は、メモリクリアレポートで知ることができます。メモリクリアレポートは、停電が復旧すると自動的に出力されます。

メモリクリアレポートの例

メモリクリア レポ [°] ート						
NTTエイギ [°] ョウ						
イカノ ナイヨウガ [°] 、テイデ [°] ンニヨリ クリア サレマシタ。						
メモリ ソウシン ブ [°] ンショ						
ウケツケ	ニチジ [°]	ツウシン	ジ [°] カン	アイテ	サキ	モード [°]
4.30	13:00		0'07"	0335094202		ECM
						マイスウ
						1
						ツウシン
						ケツカ
						テイデ [°] ン

故障かなと思ったら

故障かなと思ったときは、局番なしの113番に連絡する前に下記のことを確認してみてください。

送信のとき

こんなときは	対処方法
原稿をセットしたのに「ゲンコウ ガ アリマセン」の表示が出た。 原稿が送り込まれていかない。	<ul style="list-style-type: none"> ・原稿が自動的に引き込まれるまで軽く差し込んでください。(P.33) ・原稿が小さすぎます。ハンドスキャナ(P.96)または別売のキャリアシート(P.28)を使って送信してください。
原稿が斜めに入った。	<ul style="list-style-type: none"> ・原稿を取り除き、もう一度送りなおしてください。(P.136) ・原稿ガイドを原稿の幅に合わせてください。(P.33) ・ローラを清掃してください。(P.23、24)
原稿の読み取り中に「ピーピーピーピー」という音がして止まってしまい、「ゲンコウ カクニン」と表示が出た。	<ul style="list-style-type: none"> ・原稿を取り除き、もう一度送りなおしてください。(P.136) ・原稿が厚すぎます。ハンドスキャナを使って送信してください。(P.96) ・原稿が薄すぎます。ハンドスキャナ(P.96)または別売のキャリアシート(P.28)を使って送信してください。 ・原稿が小さすぎます。ハンドスキャナ(P.96)または別売のキャリアシート(P.28)を使って送信してください。 ・ローラを清掃してください。(P.23、24) ・中央部の白いゴム板が原稿セット台に引っかかっているか確認してください。引っかかっている場合は、元に戻してください。(P.136)
原稿が送られず、「アイテサキ ムオウトウ」と表示が出た。	<ul style="list-style-type: none"> ・相手先が電話にでません。しばらくしてから、もう一度かけなおしてください。 ・相手先のファクシミリが受信できない状態になっています。相手先に確認して、もう一度かけなおしてください。 ・回線種別を正しく設定してください。(P.15) ・電話回線が正しく接続されていません。電話回線接続コードを接続してください。電話回線接続コードを正しく接続しても、受話器をとって「ツー」という音がしないときには、他の電話回線で局番なしの113番にご連絡ください。
送信中に「ピーピーピー」という音が鳴り出した。	<ul style="list-style-type: none"> ・相手のファクシミリに記録紙切れ等が起きたため、送信が中断されました。相手先に確認して、もう一度送りなおしてください。
原稿が送られず、「アイテサキ ハナシチュウ」と表示が出た。	<ul style="list-style-type: none"> ・相手先が話中(ファクシミリの使用中)です。しばらくしてから、もう一度かけなおしてください。 ・回線が混み合っています。しばらくしてから、もう一度かけなおしてください。
原稿が送られず、「ツウシン イジョウ x x」と表示が出た。	<ul style="list-style-type: none"> ・エラー番号表(P.148)を参照して、処理してください。(x xはエラー番号を表示します)
相手側での受信の状態が鮮明でない。	<ul style="list-style-type: none"> ・本機でコピーをとってください。コピーが鮮明でないときは、原稿読み取り部を清掃してください。(P.23)コピーが鮮明なときは、回線または相手側に原因があると思われます。もう一度送りなおしてください。 ・キャッチホンが入った可能性があります。もう一度送りなおしてください。 ・「画質」を合わせてください。(P.29) ・「読み取り濃度」を調節してください。(P.31)
送信した原稿が相手先で白紙になる。	<ul style="list-style-type: none"> ・相手先の記録紙が表裏逆になっている可能性があります。相手先に確認してもう一度送りなおしてください。 ・原稿を反対向きにセットした可能性があります。原稿を裏向きにセットして、もう一度送りなおしてください。(P.32)
相手先で受信した原稿に黒いすじが入る。	<ul style="list-style-type: none"> ・本機でコピーをとってください。コピーにも黒いすじが入るときは、原稿読み取り部を清掃してください。(P.23)コピーが正常なときは、相手側に原因があると思われます。
相手先で受信した原稿がかすれた。 相手先で受信した原稿が薄い。	<ul style="list-style-type: none"> ・読み取り濃度を濃くして、もう一度送りなおしてください。(P.31)
送信に時間がかかる。	<ul style="list-style-type: none"> ・画質の設定を「コマカイ」や「シャシン」にしたときは、「フツウ」や「チイサイ」にしたときに比べ、送信に時間がかかります。(P.29) ・画質の設定を「ジドウ」にしたときは、原稿の内容により送信時間が長くなることがあります。(P.29) ・原稿に黒い部分が多いときは、送信に時間がかかります。 ・回線の状態が悪い場合は、送信に時間がかかることがあります。

受信のとき

こんなときは	対処方法
ベルが鳴り続けて、自動的に受信できない。	<ul style="list-style-type: none">・記録紙を交換してください。(P.132)・コピー中や登録中のときは、[ストップ]ボタンを押して、コピーや登録を止めてください。・手動受信モードになっていないか確認してください。(P.124)・相手先がファクシミリ信号を出さないタイプである可能性があります。受話器をとって受信の操作をしてください。(P.43)
受信した記録紙に黒いすじが入る。	<ul style="list-style-type: none">・本機でコピーをとってください。コピーが正常なときは、相手側に原因があると思われます。相手先に連絡してもう一度送りなおしてもらってください。コピーにも黒いすじが入るときは、局番なしの113番にご連絡ください。
「シバラク オマチクダサイ」と表示が出たままになった。	<ul style="list-style-type: none">・電源を入れたまま、しばらくご使用を控えてください。
「ツウシン イジョウ x x」と表示が出た。	<ul style="list-style-type: none">・エラー番号表(P.148)を参照して、処理してください。(x xはエラー番号を表示します)
「カバー/キロクシ カクニン」と表示が出た。	<ul style="list-style-type: none">・記録紙がつまりました。取り除いてください。(P.138)・新しい記録紙を入れてください。(P.132)・カバーを閉めてください。
受信中に「ピーピーピー」という音が鳴り出した。	<ul style="list-style-type: none">・相手のファクシミリに原稿つまり等が起きたため、受信が中断されました。相手先に確認して、もう一度送りなおしてもらってください。
受信中に「ピーピーピーピー」という音が鳴り出した。	<ul style="list-style-type: none">・[ストップ]ボタンを押すと、「ピー」という音が止まります。・記録紙がつまりました。取り除いてください。(P.138)・記録紙がなくなりました。新しい記録紙を入れてください。(P.132)・相手先に原因がある可能性があります。相手先に確認してください。
受信した原稿が白紙になる。	<ul style="list-style-type: none">・記録紙が表裏逆になっています。記録紙を入れなおしてください。(P.13)・相手先の原稿が表裏逆になっていないか確認してください。
受信した画像が鮮明でない。	<ul style="list-style-type: none">・キャッチホンが入った可能性があります。もう一度送りなおしてもらってください。・本機でコピーをとってください。コピーが鮮明なときは、回線または送信側の異常です。相手先に連絡して、もう一度送りなおしてもらってください。・当社推奨品の記録紙を使用してください。
親切受信できない。	<ul style="list-style-type: none">・親切受信するように設定されているか確認してください。(P.126)

コピーのとき

こんなときは	対処方法
コピーが鮮明でない。	<ul style="list-style-type: none">・原稿読み取り部を清掃してください。(P.23)・当社推奨品の記録紙を使用してください。
コピーが白紙になる。	<ul style="list-style-type: none">・原稿を裏向きにセットして、もう一度コピーをとってください。・記録紙が表裏逆になっています。記録紙を入れなおしてください。(P.13)
コピーがかすれた。 コピーが薄い。	<ul style="list-style-type: none">・読み取り濃度を濃くして、もう一度コピーをとってください。(P.31)
コピー中に「ピーピーピーピー」という音が鳴り出した。	<ul style="list-style-type: none">・[ストップ]ボタンを押すと、「ピー」という音が止まります。・記録紙がつまりました。取り除いてください。(P.138)・記録紙がなくなりました。新しい記録紙を入れてください。(P.132)

待機中のとき

こんなときは	対処方法
ディスプレイに何も表示されない。	・電源プラグを確認してください。(P.12)
「カバー/キロクシ カクニン」と表示が出た。	・新しい記録紙を入れてください。(P.132) ・カバーを閉めてください。

電話のとき

こんなときは	対処方法
電話がかかけられない	・回線種別の設定がご使用の回線の種別に合っているか確認してください。(P.15)
受話器から何も聞こえない。	・本機のコールコードが受話器に接続されているか確認してください。(P.11) ・回線が接続されているか確認してください。(P.12)
電話をとったが何も聞こえない。	・相手がファクシミリである可能性があります。[スタート]ボタンを押してください。
相手の声が聞き取りにくい。 ダイヤルしても呼出音が受話口から聞こえない。	・受話音量を調節してください。(P.52)
ダイヤルしても呼出音がモニタスピーカから聞こえない。 ハンズフリー通話のとき、相手の声が聞き取りにくい。	・モニタ音量を調節してください。(P.34、60)
電話の呼出ベルの音が小さい(大きい)。	・呼出ベルの音量を調節してください。(P.47)

コードレス電話機のとき

こんなときは	対処方法
コードレス電話機から「ツー」という音がしない。 電話がかかけられない。	・本体の電源プラグを確認してください。 ・[外線]ボタンを押してください。 ・コードレス電話機を充電してください。(P.16) ・本体の回線が接続されているか確認してください。(P.12) ・本体の回線種別の設定がご使用の回線の種別に合っているか確認してください。(P.15)
通話中に声のとぎれたり雑音が入る。	・本体に近づいてみてください。 ・本体のアンテナの向きを変えてみてください。 ・テレビやラジオなどから離れてみてください。
電話をとったが何も聞こえない。	・相手がファクシミリである可能性があります。[FAX]ボタンを押してください。 ・コードレス電話機を充電してください。(P.16)
ベル(呼出音)が鳴らない。	・ベルが鳴らないように設定してないか確認してください。(P.47) ・[切]ボタンを押して一度電話を切ってください。 ・本体に近づいてみてください。 ・本体のアンテナの向きを変えてみてください。 ・本体の電源プラグを確認してください。(P.12) ・コードレス電話機を充電してください。(P.16)
通話中にすぐに電池がなくなる。	・電池パックを交換してください。(P.140)
通話中にファクシミリに切り替わった。 (受話器から何も聞こえなくなった)	・誤って[FAX]ボタンに触った可能性があります。もう一度かけなおしてください。

こんなときは	対処方法
相手の声が聞き取りにくい。	・ [外線] ボタンを押してください。(P.55)
ハンズフリー通話のとき、相手の声が聞き取りにくい。	・ [ハンズフリー] ボタンを押してください。(P.62)
通話中に「ピーピーピーピー」という音が鳴りだした。	・ 本体から離れすぎています。このまま 10 秒経つと保留になってしまい、1 分以上経つと電話が切れてしまいます。本体に近づいてください。
電話をかけようとしたら「ピッピッ」という音が鳴りだした。	・ 本体から離れすぎています。本体に近づいてください。
通話中に「ピーッ・ピーッ・」という音が鳴りだした。	・ 電池が残り少なくなっています。充電器に置いて充電してください。(P.16) 話を続けたいときは、一度保留にして本体に転送して、受話器で話をしてください。

留守番電話のとき

こんなときは	対処方法
留守設定できない。 「メモリ残量が少なくなっています。不要な用件を消去してください。」と聞こえた。	・ 用件がいっぱいです。用件を消去してください。(P.78)
リモート操作ができない。	・ パスワードを登録してください。(P.120) ・ プッシュホンまたはプッシュ信号の出せる電話機から電話をかけてください。(P.84) ・ 「リモート操作する」に設定してください。(P.120)

ハンドスキャナのとき

こんなときは	対処方法
「ハンドスキャナ カクニン」と表示が出た。	・ ハンドスキャナを取り外し、もう一度セットしてください。(P.92)
ハンドスキャナで読み取ると、拡大コピーになる。 ハンドスキャナで読み取ると、縮小コピーになる。	・ 拡大・縮小コピーの設定を確認してください。(P.98)

メモランプが点灯したとき

メモランプが点灯しているときは、次のそれぞれの場合の処置に従い、メモリ内の文書をプリントしてください。

- ▶ 「カバー / キロクシ カクニン」と表示されているとき
記録紙がなくなっています。記録紙を交換してください。(P.132)
記録紙がつまっています。つまった部分を取り除いてください。(P.138)
- ▶ [おやすみ] ボタンが点灯しているとき
おやすみボタンを押して、おやすみモードを解除してください。(P.91)
- ▶ [留守] ボタンが点滅しているとき
リモート取り出し、受信文書転送の設定をしてあるときは、受信文書がメモリに記憶されています。[留守] ボタンを押して、留守設定を解除してください。(P.85、89)

メモリの容量について

メモリには、「フツウ」モードで送られてきた、A4判に700字程度の文字が書かれた原稿で、最大20枚程度記憶することができます。ただし、受信文書を記憶するメモリは、留守番電話の用件を録音するメモリと同じものなので、留守番電話の用件がたくさん入っていると記憶できる文書が少なくなってしまう。用済みの用件は、こまめに消去するようにしてください。

主なエラー番号

ファクシミリの送信中や受信中に異常があると、ディスプレイに「ツウシン イジョウ ××」と表示されたり、不達レポートのツウシンケツカ欄に「××」とプリントされます。「××」は、2桁の英数字で異常の内容を示しています。この2桁の番号をエラー番号と呼びます。

エラー番号が出たときは、ここで説明している処置を行ってください。

ワンポイント

ここに示した以外のエラー番号が出たときは、当社のサービス取扱所にお問い合わせください。

エラー番号	内容と対処方法
00	原稿が正しくセットされていないため、送信できませんでした。原稿を正しくセットして、もう一度送りなおしてください。
72	受信の途中で相手先が送信を終了してしまいました。相手先で原稿が
74	つまった可能性があります。相手先に確認してください。
77	相手先から応答がないため、送信できませんでした。相手機の電源が
78	入っていない可能性があります。相手先に確認してください。
92	送信の途中で相手先が受信を終了してしまいました。相手機の記録紙
97	がなくなった、もしくは、記録紙が つまった可能性があります。相手
98	先に確認してください。
40	記録紙がなくなりました。記録紙を交換してください。
41	記録紙が つまりました。取り除いてください。
46	原稿が つまりました。セットしなおしてください。
47	カバーが開いています。カバーを閉じてください。
71	相手先から応答がないため、送信できませんでした。相手先に確認し
	てください。

消耗品・別売品の購入について

感熱記録紙

A4サイズ (210 mm × 30 m)

B4サイズ (257 mm × 30 m)

(ロール紙：外径62 mm以下、巻き芯内径25 mm(約1インチ))

ハイグレード感熱記録紙

A4サイズ (210 mm × 20 m)

B4サイズ (257 mm × 20 m)

(ロール紙：外径62 mm以下、巻き芯内径25 mm(約1インチ))

記録紙にハイグレード感熱記録紙を使うと、受け取ったファクシミリに書き込みがしやすくなります。

感熱記録紙は記録品質への悪影響および故障の原因となることがありますので、当社指定の記録紙のご使用をお勧めします。当社指定の記録紙については、テルウェルファックス受注センタへお申しつけください。

なお、当社指定の記録紙の他に、日本電気製感熱記録紙(20mまたは30m)の使用も可能です。

キャリアシート

A4サイズ

B4サイズ

電池パック(コードレス電話機用)

(コードレスホン電池パック - 033)

コードレス電話機

(ファクシミリ用コードレス電話機「NE3」)

NTTの窓口等にお申しつけください。

コードレス電話機の増設

別売のコードレス電話機を増設できます。

増設できるコードレス電話機 : ファクシミリ用コードレス電話機「NE3」

「NE3」以外のコードレス電話機は、増設できません。

増設できる台数

: 最大3台(本体に付属のコードレス電話機を合わせて4台)まで。
内線番号3~5(P.66)になります(付属のコードレス電話機が内線番号2です)。

識別番号の登録

: ご使用前に識別番号(IDコード)の登録が必要です。

登録には、増設するコードレス電話機とファクシミリ本体が必要です。
詳しくは、NTT窓口等にお問い合わせください。

コードレス電話機を増設すると: 本体からコードレス電話機を指定して、内線通話ができます。

コードレス電話機からコードレス電話機へ外線電話を転送できます。

コードレス電話機どうして内線通話することはできません。

登録・設定の一覧

登録したり設定したりできる項目のすべてを次に示します。

音量の調節やブッシュ信号の出力、画質の調節など、ボタンひとつで操作できる項目については本文をご覧ください。

本体の登録・設定

ワンポイント

お買い求めいただいたときは、アンダーラインで示した設定になっています。

送信設定

	設定内容	参照ページ
メモリ送信選択	する	P.38
	× しない	

受信設定(在宅時のための設定)

	設定内容	参照ページ
無鳴動着信	する	P.124
	× しない	
音声メッセージ	流す	P.124
	× 流さない	
着信ベル	1 ~ 19回(<u>6回</u>) 無制限	P.124
呼出ベル	1 ~ 19回(<u>10回</u>)	P.124

設定モード

	設定内容	参照ページ
読み取り濃度 (送信時/コピー時)	薄くプリント	P.31、124
	濃くプリント	
カメラ濃度 (カメラドアホン使用時)	明るくプリント	P.124
	暗くプリント	
ペーパーセーブ (受信時)	する	P.124
	× しない	
発信元記録 (送信時)	する	P.124
	× しない	
海外通信 (送受信時)	する	P.126
	× しない	
親切受信 (受信時)	する	P.126
	× しない	
手動カットモード (受信時)	する	P.126
	× しない	
ボイスコール	する	P.126
	× しない	
ドアホン接続	ドアホン1 ドアホン2 ドアホン1 & 2 <u>ドアホンセツゾクナシ</u>	P.126
スクランブル機能	する	P.126
	× しない	
送信ホームポジション	<u>ダイレクト送信</u> メモリ送信	P.126

登録モード

	登録内容		参照ページ
宛先	ワンタッチダイヤル/電子電話帳(短縮ダイヤル)の相手先の名前と電話番号		P.120
電話番号	自分の電話番号		P.120
発信元	自分の名前または会社名(自分の電話番号)		P.120
おやすみモードタイマ切替	オン	× 時刻 する <u>しない</u>	P.120
	オフ	× 時刻 する <u>しない</u>	
リモート操作	リモート操作	× する <u>しない</u>	P.120
	リモート取り出し	× する <u>しない</u>	
	リモートパスワード		
転送先	用件転送(転送先登録)	× する <u>しない</u>	P.122
	転送先		
ダイヤルイン	× する <u>しない</u>	ファクシミリ番号と電話番号(本体とコードレス電話機)	P.122
カメラドアホン画像自動プリント	× する <u>しない</u>	ドアホン1またはドアホン2を選択	P.122
時刻	日付、時刻		P.122

コードレス電話機の登録・設定

	登録・設定内容	参照ページ
短縮	短縮ダイヤルの電話番号	P.57
優先着信	ベルを優先して鳴らす設定	P.108

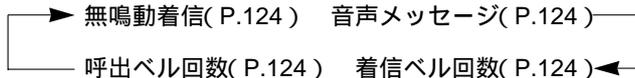
機能選択早見表

メモリ送信選択 [ファンクション]+
[ファンクション] (P.38)

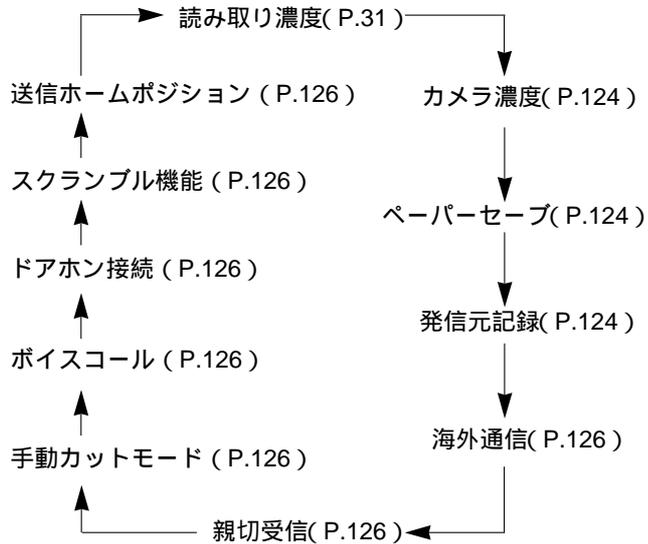
リストプリント [ファンクション]+
[1]+[セット] [ファンクション]を押すごとに次のように変化します。



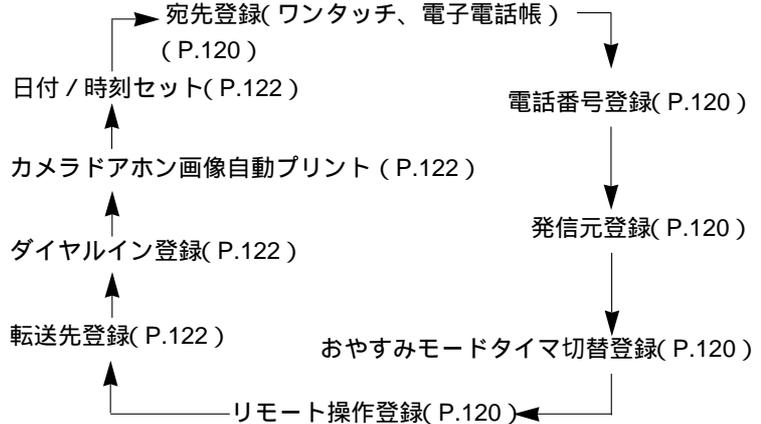
受信設定 [ファンクション]+
[2]+[セット] [ファンクション]を押すごとに次のように変化します。



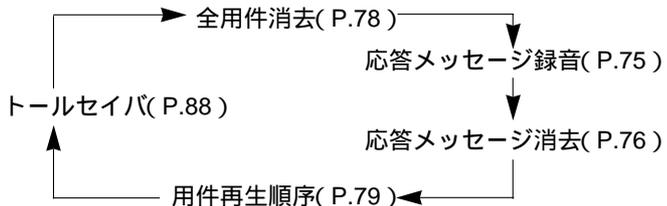
設定モード [ファンクション]+
[3]+[セット] [ファンクション]を押すごとに次のように変化します。



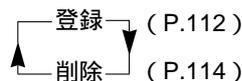
登録モード [ファンクション]+
[4]+[セット] [ファンクション]を押すごとに次のように変化します。



留守番電話機能 [ファンクション]+
[5]+[セット] [ファンクション]を押すごとに次のように変化します。



FAX 情報登録 [ファンクション]+
[FAX 情報] [ファンクション]を押すごとに次のように変化します。



索引

アルファベット

FAX情報ボタン	21, 109
FAXボタン	22
Fネット	116
PBボタン	21, 22

五十音

【ア行】

アンテナ	11, 20
液晶ディスプレイ	21
エラー番号	148
応答メッセージ	74
自作の応答メッセージを録音する	75
送りボタン	21, 22
おやすみボタン	21
おやすみモード	91
おやすみモードタイマ切替	91
おやすみモードタイマ切替を設定する	120
音声メッセージ	45
音声メッセージを設定する	124
音量ボタン	21
音量を調節する	
受話音量	52, 55
ハンズフリー通話中の音量	60, 62
呼出ベルの音量	47
モニタ音量	34, 60

【カ行】

海外通信	126
回線種別	15
回線接続端子	12, 20
回線種別設定スイッチ	15, 20
外線転送	70
コードレス電話機から	
コードレス電話機に転送する	71
コードレス電話機から本体に転送する	71
本体からコードレス電話機に転送する	70
外線ボタン	22
画質を調節する	29
画質ボタン	21
カバー	13, 20
カバー開レバー	13, 20
カメラドアホン	106
カメラドアホン画像自動プリントを	
登録する	122
カメラドアホンの画像をプリントする	107
カメラ濃度を設定する	124
感熱記録紙	149
機能選択早見表	152
キャッチホンサービス	64
キャリアシート	28

切ボタン	22
記録紙	

記録紙がつまったとき	138
記録紙サイズの設定	134
記録紙の向き	14, 133
記録紙を交換する	132
記録紙を交換しても	
プリントされないとき	135
記録紙をセットする	13

記録紙スタッカ	20
---------	----

記録紙スタッカを取り付ける	13
---------------	----

記録紙排出口	20
--------	----

原稿

画質を調節する	29
キャリアシートの使いかた	28
原稿がつまったとき	136
原稿について	27
原稿の色	28
原稿をセットする	32
読み取り濃度を調節する	31

原稿セットガイド	20, 33
----------	--------

原稿挿入口	20, 32
-------	--------

原稿排出口	20
-------	----

故障かな?と思ったら	143
------------	-----

コードレス電話機のと看	145
コピーのと看	144
受信のと看	144
送信のと看	143
待機中のと看	145
電話のと看	145
ハンズキャナのと看	146
メモリランプが点灯したとき	147
留守番電話のと看	146

コードレス電話機	22
----------	----

相手の声が聞き取りにくいとき	55
コードレス電話機を増設する	66, 149
充電器を壁にかけて使う	18
充電する	16
使用可能時間	17
短縮ダイヤルで電話をかける	56
短縮ダイヤルを登録する	57
電池パックを交換する	140
電話を受ける	47
電話をかける	55
ドアホン通話をする	104
内線電話をする	66
ハンズフリー通話をする	61
話をしてからファクシミリを受ける	48
親切受信	49
ベルを優先して鳴らす	108
保留する	63
本体の短縮ダイヤルで電話をかける	57
呼出ベルの音量を調節する	47
リバーシブル充電	17
留守番電話を操作する	80

コピーする	51
【サ行】	
再生ボタン	22
再生/マイクオフボタン	21
再ダイヤル	58
再ダイヤル/ポーズボタン	21, 22
在宅モード	43
時刻	19
日付/時刻を合わせる	122
システムリスト	128
自動送信	34
充電	
コードレス電話機を充電する	16
リバーシブル充電	17
充電器	22
壁に掛けて使う	18
受信	43
在宅モード	43
受信モードについて	43
手動カットモード	44
手動受信モード	43, 44, 45, 46
親切受信	49
話をしてからファクシミリを受ける	48
ファクシミリ/電話自動切替モード	43, 45
ペーパーセーブ	44
留守モード	43
受信文書転送	
転送された受信文書を外出先で取り出す	89
手動カットモード	44
手動カットモードを設定する	126
手動受信モード	43, 44, 45, 46
手動送信	36
受話音量	52, 55
受話器	20
受話器を取り付ける	11
受話器接続端子	11
受話口	20, 22
消去ボタン	21, 22
商品の構成	7
消耗品・別売品の購入	149
親切受信	49
親切受信を設定する	126
スクランブル機能	55
スクランブル機能を設定する	126
スタートボタン	21
ストップボタン	21
清掃	23
ハンドスキャナ(原稿読み取り部とローラ)	23
本体	23
ローラ	24
接続(設置)	11
回線種別を設定する	15
記録紙スタッカを取り付ける	13
記録紙をセットする	13
受話器を取り付ける	11
電源を接続する	12
電話回線を接続する	12

設定

音声メッセージ	124
海外通信	126
回線種別	15
カメラドアホン画像自動プリント	122
カメラ濃度	124
手動カットモード	126
親切受信	126
スクランブル機能	126
送信ホームポジション	126
着信ベル回数	124
ドアホン接続	126
トールセイバ	88
発信元記録	124
ペーパーセーブ	124
ボイスコール	126
無鳴動着信	124
メモリ送信選択	38
呼出ベル回数	124
セットボタン	21
操作パネル	20, 21
送信	
相手が話中のとき	35
海外通信	126
自動送信	34
手動送信	36
送信できなかったとき	35
送信の準備をする	29
送信を中断する	36
電子電話帳(短縮ダイヤル)	41
メモリ送信	38
ワンタッチダイヤル	40
送信ホームポジション	38
送信ホームポジションを設定する	126
送話口	20, 22
【タ行】	
ダイヤルイン	118
共通鳴動をする	119
個別呼び出しをする	118
ダイヤルインを登録する	122
代理応答をする	119
ダイヤルボタン	21, 22
ダストカバー	20, 32
短縮ダイヤル	
短縮ダイヤルを登録する	
(コードレス電話機)	57
短縮ダイヤルを登録する(本体)	120
電話をかける(コードレス電話機)	56
電話をかける(本体)	54
ファクシミリを送る	41
短縮/登録ボタン	22
着信/充電ランプ	17
着信ベル回数	44, 45, 46
着信ベル回数を設定する	124
通信/アラームランプ	21

通話録音	
通話中の会話を録音する	82
停止ボタン	22
停電がおきたときは	142
電源を接続する	12
電源コード	12,20
電子電話帳	
電子電話帳を登録する	120
電話をかける	54
ファクシミリを送る	41
転送	
外線転送	70
受信文書転送	89
転送先を登録する	122
ポケットベルを呼び出す	90
用件転送	89
電池パック	
電池パックを入れる	16
電池パックを交換する	140
電話回線を接続する	12
電話機コード	12
電話帳 / キャッチボタン	21
電話番号リスト	128
電話番号登録	19
自分の電話番号を登録する	120
電話を受ける	47
呼出ベルの音量を調節する	47
電話をかける	52
相手の声が聞き取りにくいとき	52,55
再ダイヤル	58
電子電話帳 (短縮ダイヤル)	54
電話をかける (コードレス電話機)	55
電話をかける (本体)	52
内線電話をする	66
ハンズフリー通話	59,61
保留する	63
ワンタッチダイヤル	53
ドアホン通話	104
カメラドアホンの画像をプリントする	107
カメラドアホン画像自動プリントを	
登録する	122
カメラ濃度を設定する	124
ドアホン接続を設定する	126
ドアホンと通話する	105
ドアホンをモニタする	106
登録	
おやすみモードタイマ切替	120
カメラドアホン画像自動プリント	122
最初に必要な登録	19
自分の電話番号	120
自分の名前	120
ダイヤルイン	122
短縮ダイヤル (コードレス電話機)	57
短縮ダイヤル (本体)	120
転送先	122
電子電話帳	120
日付 / 時刻	122
リモート操作	120
リモート取り出し	120
リモートパスワード	120
ワンタッチダイヤル	120
登録・設定の一覧	150
トールセイバ	84
トールセイバを設定する	88
【ナ行】	
内線電話	66
コードレス電話機から本体にかける	68
内線電話の途中で外線電話がかかって	
きたとき	69
内線電話のベルの鳴りかた	66
ボイスコール	66
ボイスコールを設定する	126
本体からコードレス電話機にかける	67
内線 / ドアホンボタン	21,22
内線番号	66
名前	19
自分の名前を登録する	120
【ハ行】	
ハイグレード感熱記録紙	149
発信元記録	19
発信元記録を設定する	124
自分の名前を登録する	120
ハンズフリー通話	59,61
相手の声が聞き取りにくいとき	60,62
コードレス電話機を持たずに話をする	61
ハウリング音がしたとき	60,62
本体の受話器を持たずに話をする	59
ハンズフリーボタン	21,22
ハンズスキャナ	20,92
原稿を読み取る時の注意	93
ハンズスキャナでコピーする	95
ハンズスキャナで送信する	96
ハンズスキャナの設定をする	98
本体から外す	92
本体に戻す	93
ハンドセット	20
日付 / 時刻	19
日付 / 時刻を合わせる	122
ビデオキャプチャ	99
ビデオキャプチャで	
送信 (プリント) する	102
ビデオキャプチャの準備をする	99
ビデオキャプチャ端子	20,100
ファクシミリ情報サービス	109
FAX情報ボタンの使いかた	109
Fネット方式で取り出す	111
ガイドンス方式で取り出す	110
ポーリング方式で取り出す	109
ワンタッチボタンで取り出す	112
ファクシミリ / 電話自動切替モード	43
ファクシミリ / 電話自動切替のしくみ	45

ファクシミリを受ける	43
在宅モード	43
受信モードについて	43
手動カットモード	44
手動受信モード	43,44,45,46
親切受信	49
話をしてからファクシミリを受ける	48
ファクシミリ/電話自動切替モード	43,45
ペーパーセーブ	44
留守モード	43
ファクシミリを送る	34
相手先が話中のとき	35
海外通信	126
自動送信	34
手動送信	36
送信できなかったとき	35
送信の準備をする	29
送信を中断する	36
電子電話帳(短縮ダイヤル)	41
メモリ送信	38
ワンタッチダイヤル	40
ファンクションボタン	21
不達レポート	35
フックスイッチ	20
プッシュホンサービス	65
ペーパーセーブ	44
ペーパーセーブを設定する	124
ボイスコール	66
ボイスコールを設定する	126
ポケットベルの呼び出し	90
保守サービス	26
保留する	63
保留/クリアボタン	21
保留ボタン	22
【マ行】	
マイク	21
無鳴動着信	44,45,46
無鳴動着信を設定する	124
メモリクリアレポート	142
メモリ送信	38
読み取り中にメモリがいっぱいになったとき	39
メモリ送信選択の設定	38
メモリの容量	147
メモリランプ	21
メモリランプが点灯したとき	147
文字	
文字の選びかた	130
文字の入力のしかた	131
戻しボタン	21,22
モニタ音量を調節する	34,60

【ヤ行】

優先/キャッチボタン	22
------------	----

優先着信	108
用件転送	
外出先で転送された用件を聞く	89
呼出音量ボタン	22
呼び出し回数について	46
呼出ベル回数	45,46
呼出ベル回数を設定する	124
呼出ベルの音量	47
読み取り濃度を調節する	31

【ラ行】

リストプリント	128
システムリストをプリントする	128
電話番号リストをプリントする	128
リバーシブル充電	17
リモコン/マイクオフボタン	22
リモート操作	84
外出先から留守番電話の用件を聞く	84
外出先のファクシミリで	
受信文書を取り出す	85
ツールセイバ	84
ツールセイバを設定する	88
リモート操作コード表	87
リモート操作を設定する	120
リモート取り出しを設定する	120
リモートパスワードを登録する	120
リモート取り出し	85
留守解除ボタン	22
留守設定ボタン	22
留守番電話	72
応答メッセージの内容	74
帰宅したとき	74
コードレス電話機で操作する	80
自作の応答メッセージを消去する	76
自作の応答メッセージを録音する	75
用件の再生順序を設定する	79
用件を再生する	77
用件を消去する	78
留守番電話をセットする	72
留守にするとき	73
留守ボタン	21
留守モード	43
録音	
自作の応答メッセージ	75
通話録音	82
録音ボタン	22

【ワ行】

ワンタッチダイヤル	
電話をかける	53
ファクシミリを送る	40
ワンタッチダイヤルを登録する	120
ワンタッチボタン	21

NTT FAX T-240CL 操作ガイド

NTT

電源は常に入れておいてください。

詳しくは取扱説明書をご覧ください。

送信のしかた (P.34)

ダストカバーを開き、原稿をセットします。



原稿は送る面を下にしてください。

自動送信

受話器を置いたまま相手先の電話番号をダイヤルします。

手動送信

受話器をとり、相手先の電話番号をダイヤルします。

相手と話をします。受信の操作をしてももらいます。

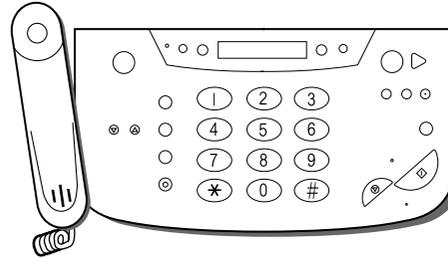
[スタート]ボタンを押します。

受話器を戻します。

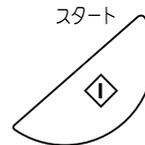
送信が終わると「ピーッ」という音がします。ダストカバーを閉じてください。

受信のしかた (P.43)

ベルが鳴ったら受話器をとります。
(「ポー・ポー・ポー...」という音が聞こえます。声が聞こえたときは電話です。)



[スタート]ボタンを押してから受話器を戻します。
(「ファクシミリを受信します。受話器を置いてお待ちください。」と聞こえたときは、そのまま受話器を戻します。)

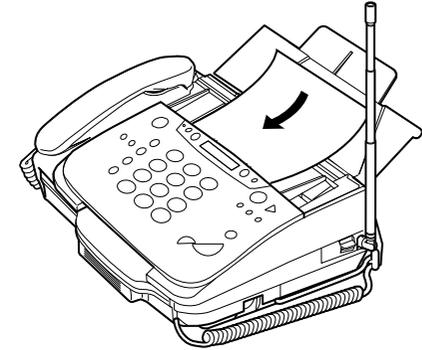


受信を開始します。

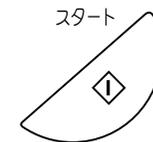
受信が終わると「ピーッ」という音がします。

コピーのしかた (P.51)

ダストカバーを開き、原稿をセットします。



[スタート]ボタンを押します。



コピーを開始します。

コピーが終わると「ピーッ」という音がします。ダストカバーを閉じてください。

NTT FAX T-240CL 操作ガイド

NTT

電源は常に入れておいてください。

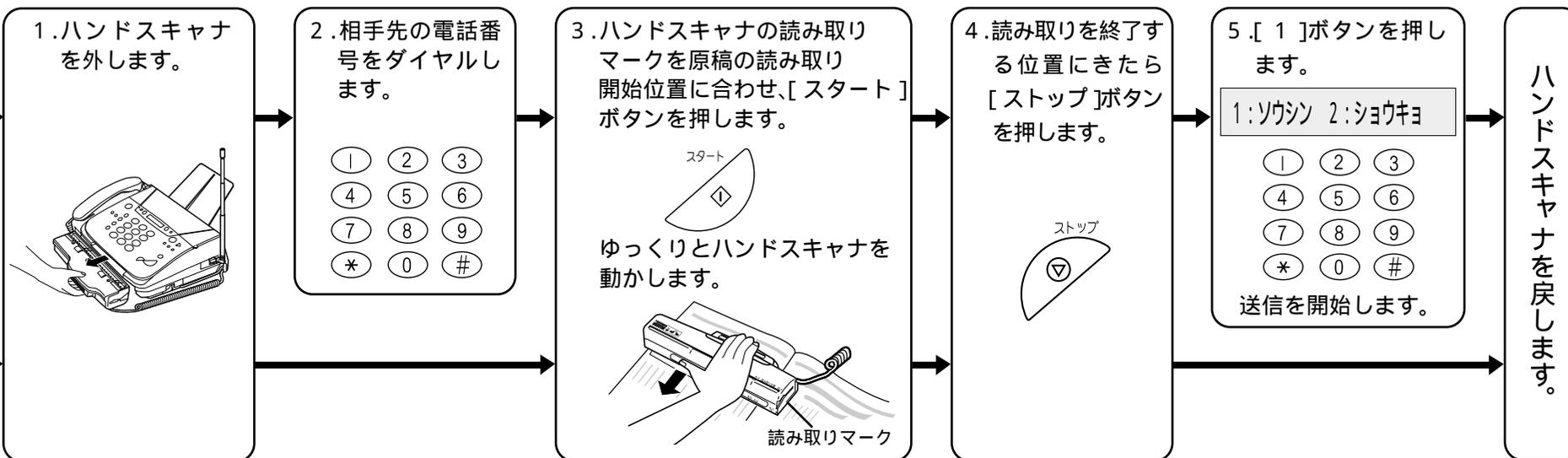
詳しくは取扱説明書をご覧ください。

ハンズキャナの使いかた

(P.92)

送信

コピー



記録紙交換のしかた

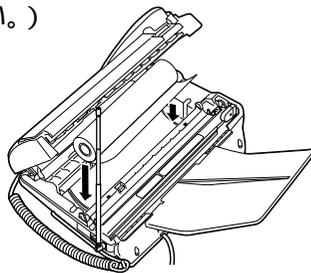
(P.132)

次のような表示が出たときは記録紙を交換します。
(電源を切らずに交換してください。)

カバー-/キロクシ カニン



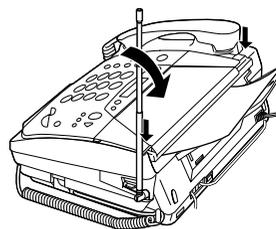
1. カバーを開けて古い記録紙の巻芯を取り除き、新しい記録紙を入れます。
(紙の方向を間違えないようにしてください。)



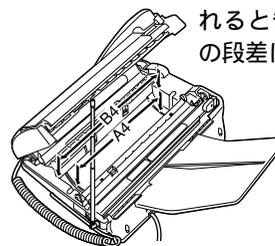
注意

このマークの貼ってある所には手を触れないようにご注意ください。けがをすることがあります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。サーマルヘッド周辺は高温になっている場合があります。高温時は、手を触れないようにご注意ください。やけどをすることがあります。

2. 記録紙の先端を 10 cm くらい引き出してからカバーを閉めます。



A4 サイズの記録紙を入れるときは記録紙受け部の段差に入れてください。



記録紙は当社指定の感熱記録紙をご使用ください。

3. 記録紙のサイズを選びます。

(例)
B4 の記録紙をセットした場合は [1] ボタンを押します。

キロクシハ? 1: B4 2: A4

4 [セット] ボタンを押します。

ファンクション セット



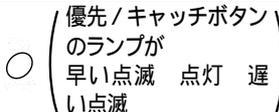
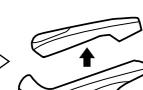


コードレス電話機の使い方

早見表の見方

ダイヤルボタンを押す	コードレス電話機を取り上げる	コードレス電話機を充電器に置く	表示のボタンを押す

操 作	手 順
電話をかける	(待受け状態のときは) → 「ツーン」音が聞こえたら → 通話が終わったら
電話を受ける 外線	(待受け状態のときは) → 通話が終わったら
電話を受ける 内線：ドアホン	(待受け状態のときは) → 通話が終わったら
コードレス電話機を持たずに話をする (ハンズフリー)	→ 「ツーン」音が聞こえたら → 通話が終わったら <p>ハンズフリー使用上の注意は、「コードレス電話機を持たずに話をする」(P.61)をご覧ください。</p>
相手に待ってもらおう (保留)	通話中に... → 再び話をするとき <p>保留中に充電器に置いたときは、取り上げるだけで保留が解除されます。</p>
1人転送 (コードレス電話機で保留し、ファクシミリ本体でとり直す)	通話中に... → → <p>ファクシミリ本体で話せます。</p>
かけ直す (再ダイヤル)	話中などのとき → しばらく待ってから → 「ツーン」音が聞こえたら
短縮ダイヤル	登録する 待受け状態のとき → → 短縮番号 (0) ~ (9) → 相手の電話番号 (16桁まで) →
	電話をかける → 「ツーン」音が聞こえたら → かけたい相手の短縮番号 (コードレス電話機の短縮番号) (0) ~ (9)
	ファクシミリ本体の短縮番号で電話をかける → 「ツーン」音が聞こえたら → → → ファクシミリ本体の短縮番号 (0) ~ (9) <p>(短縮番号01~09にかける (0) ~ (9) 短縮番号10にかける (0))</p>
呼出音量を変える	待受け状態のとき (1秒以上押す) <p>押し続けると、「切」「標準」「大」と1秒おきに切り替わります。「切」のときは「ピピッ」音が鳴ります。 ① ボタンから手を離れたときの音量が設定されます。</p>
受話音量を変える	通話中に... 押すごとに → 標準 → 大 → 特大 → と順番に変わります。
モニタ音量を変える (ハンズフリー)	通話中に... 押すごとに → 標準 → 大 → 特大 → と順番に変わります。

操 作	手 順	
優先着信の予約	待受け状態のとき ○  → 電話がかかってくると → コードレス電話機の呼出音が5回まで優先して鳴ります。 (使用状態によっては、4~5回優先して鳴ることがあります。)	
キャッチホンを利用する	通話中に... 「ブルルル・プップ」音が聞こえたら ○ → はじめの人に返すとき ○	
PB (プッシュホン) 信号による各種サービスの利用	 → 「ツ」音が聞こえたら →  相手先にダイヤルする。 → PB (※) → 相手先の指示に従ってダイヤルボタンを押す。	
内線電話 内線3 内線1 (ファクシミリ本体)	待受け状態のとき ○ → ① 内線番号 → トゥルトゥル... (内線1のベルが鳴ります。) → 内線1と話せます。	
外線転送 内線3 内線1 (ファクシミリ本体)	通話中に... ○ → ① 内線番号 → 内線1のベルが鳴り内線1がでたら → 内線通話 (転送することを伝えられます。) →  相手が出ないとき、○ ボタンを押すと、元に戻ります。	
外線転送 (メッセージ転送) 内線3 内線2	通話中に... ○ → ② 内線番号 → 内線2のベルが鳴り内線2がでたら → メッセージ(20秒以内)を伝える (内線2からの声は聞こえませんが一方的にメッセージを伝えることはできます。) → 	
外線転送の一斉呼出 内線3 一斉	通話中に... ○ → PB (※) 一斉呼出の場合 → トゥルトゥル... (すべての内線のベルが鳴ります。) → 転送できます。	
リモコン	留守番に設定する	待受け状態のとき ○ → ⑦ 留守設定 → ○
	留守番を解除する	待受け状態のとき ○ → ⑨ 留守解除 → ○
	用件の再生をする	待受け状態のとき ○ → ② 再生 → 再生が終わったら → ○
	用件の消去をする	用件の再生中 → 再生が終わったら → ⑧ 消去 → ○
	通話中に録音する (通話録音)	通話中に... ○ → ⑤ 録音 → 通話の内容が録音されます。 → ⑥ 録音を開始します。 → ⑦ 録音 → ⑧ 録音が終わったら → ○
ファクシミリ受信	通話中に... ○ → ファクシミリ受信となります。	

コードレス電話機を増設した場合の内線番号は、「内線3」、「内線4」、「内線5」となります。

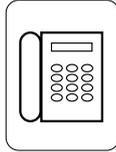


NTTFAX T-240CLリモート操作カード **NTT**

外から
電話をかける

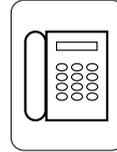
リモートパスワード
(4桁)を入力する

電話を切る



→ # 1 2 3 4 # →

リモート操
作コードを
入力する
(裏面参照)



プッシュ信号に切り換えてから#ボタンを押します。

リモートパスワード

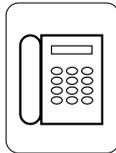
 

NTTFAX T-240CLリモート操作カード **NTT**

外から
電話をかける

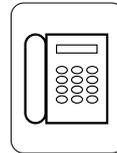
リモートパスワード
(4桁)を入力する

電話を切る



→ # 1 2 3 4 # →

リモート操
作コードを
入力する
(裏面参照)



プッシュ信号に切り換えてから#ボタンを押します。

リモートパスワード

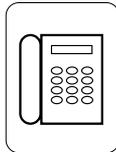
 

NTTFAX T-240CLリモート操作カード **NTT**

外から
電話をかける

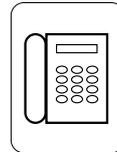
リモートパスワード
(4桁)を入力する

電話を切る



→ # 1 2 3 4 # →

リモート操
作コードを
入力する
(裏面参照)



プッシュ信号に切り換えてから#ボタンを押します。

リモートパスワード

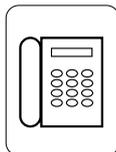
 

NTTFAX T-240CLリモート操作カード **NTT**

外から
電話をかける

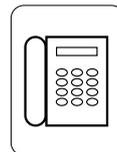
リモートパスワード
(4桁)を入力する

電話を切る



→ # 1 2 3 4 # →

リモート操
作コードを
入力する
(裏面参照)



プッシュ信号に切り換えてから#ボタンを押します。

リモートパスワード

リモート操作コード表

# 2 #	用件の再生 再生中の入力で高速再生
# 1 #	用件再生中に、1つ前の用件を再生
# 3 #	用件再生中に、次の用件を再生
# 8 #	用件の消去
# 6 1 #	用件転送の設定
# 6 2 #	用件転送の解除
# 7 #	留守設定
# 9 #	留守設定解除
# 0 #	リモート取り出しの開始 / 設定

リモート操作コード表

# 2 #	用件の再生 再生中の入力で高速再生
# 1 #	用件再生中に、1つ前の用件を再生
# 3 #	用件再生中に、次の用件を再生
# 8 #	用件の消去
# 6 1 #	用件転送の設定
# 6 2 #	用件転送の解除
# 7 #	留守設定
# 9 #	留守設定解除
# 0 #	リモート取り出しの開始 / 設定

リモート操作コード表

# 2 #	用件の再生 再生中の入力で高速再生
# 1 #	用件再生中に、1つ前の用件を再生
# 3 #	用件再生中に、次の用件を再生
# 8 #	用件の消去
# 6 1 #	用件転送の設定
# 6 2 #	用件転送の解除
# 7 #	留守設定
# 9 #	留守設定解除
# 0 #	リモート取り出しの開始 / 設定

リモート操作コード表

# 2 #	用件の再生 再生中の入力で高速再生
# 1 #	用件再生中に、1つ前の用件を再生
# 3 #	用件再生中に、次の用件を再生
# 8 #	用件の消去
# 6 1 #	用件転送の設定
# 6 2 #	用件転送の解除
# 7 #	留守設定
# 9 #	留守設定解除
# 0 #	リモート取り出しの開始 / 設定

主な仕様

ファクシミリ

原稿サイズ	最大：257(幅)×1000(長さ)mm 最大：128(幅)×100(長さ)mm
記録紙サイズ	感熱記録紙：257mm×30mまたは210mm×30m ハイグレード感熱記録紙：257mm×20mまたは210mm×20m (ロール紙：外径62mm以下、巻き芯内径25mm (約1インチ))
有効読取幅	250mm(B4) 205mm(A4)
有効記録幅	252mm(B4) 208mm(A4)
走査方法	送信：CCDによる原稿移動型平面走査または CCD内蔵ハンドスキャナ移動による平面走査 受信：感熱記録ヘッドによる平面走査
走査線密度	主走査：8画素/mm 副走査：15.4本/mm(細かい) 7.7本/mm(小さい) 3.85本/mm(普通)
通信モード	G3/ECM
通信速度	14400/12000/9600/7200/4800/2400 bit/s
電送時間 ¹	G3約15秒、ECM約6秒(メモリ送信時)
記録方式	感熱記録
適用回線	一般電話回線、ファクシミリ通信網(G3サービス)、 ダイヤルイン回線、NCC回線
自動受信	有(FAX/電話自動切替機能内蔵)
電源	AC 100±10V 50/60Hz
消費電力	待機時：約8W 最大時：約140W 送信時：約20W(標準的原稿) 受信時：約35W(標準的原稿)
直流抵抗	285(20mA)
外形寸法	333(横幅)×270(奥行き)×116(高さ)mm (突起部を除く)
重量	約4.2kg(記録紙を除く)
使用環境	温度：5～35、湿度：45～85%

¹ 電送時間は、A4判700字程度 of 原稿を標準的画質(8画素×3.85本/mm)で高速モード(14400bit/s)で送った場合の速さです。これは画像情報のみの電送速度で通信の制御時間は含まれておりません。なお、実際の通信時間は、原稿の内容、相手の機種、回線状態により異なります。

外観、仕様などは改良のため予告なく変更することがあります。

コードレス電話

使用可能距離	見通し距離約100m
使用周波数	250MHz/380MHz
送信出力	10mW(FM変調)
電波のチャンネル数	89チャンネル 通話：87チャンネル 制御：02チャンネル

コードレス電話機

電源	DC2.4V (コードレス電話機) (ニカド電池使用)
電池充電時間	約9時間
電池持続時間	連続待受時：約200時間 連続通話時：約8時間
外形寸法	54(横幅)×53(奥行き)× 198(高さ)mm(突起部を除く)
重量	約230g(ニカド電池を含む)

充電器

外形寸法	66(横幅)×234(奥行き)× 74(高さ)mm
重量	約240g
消費電力	4VA(充電時)
電源	AC100V 50/60Hz

留守番電話

録音方式	DSP方式
最大録音時間	1件につき3分
合計録音時間	約15分(標準音声)
最大録音件数	30件
応答メッセージ	自作：2、固定：1

使い方等でご不明の点がございましたら、NTT通信機器お取扱相談センターへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センター：☎ 0120-109217



NTT

NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE
CORPORATION

日本電信電話株式会社
〒163-19 東京都新宿区西新宿3-19-2



この取扱説明書は、エコマーク認定の再生紙を使用しています。

本1697-3 (97.11)

EOI-800341-J.3